

犬山市  
高齢者福祉・介護に関する  
アンケート調査

調査結果報告書

令和2年3月  
犬山市

# 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的 .....	1
2 調査の対象 .....	1
3 調査の方法 .....	1
4 調査の実施時期 .....	1
5 配布・回収の結果 .....	2
6 報告書の表記及び注意点について .....	2
<b>II 高齢者福祉・介護に関するアンケート調査</b> .....	<b>3</b>
<b>①一般高齢者、総合事業対象者、在宅要支援認定者向け調査</b> .....	<b>3</b>
1 調査対象者の基本属性 .....	3
(1) 調査票記入者 .....	3
(2) 性別 .....	3
(3) 年齢 .....	4
(4) 居住地区 .....	4
(5) 要介護度 .....	5
2 家族や生活状況について .....	6
(1) 家族構成 .....	6
(2) 普段、介護・介助が必要か .....	7
(3) 介護・介助が必要になった主な原因 .....	8
(4) 主な介護者 .....	10
(5) 現在の暮らしの状況 .....	10
(6) 住居形態 .....	11
3 からだを動かすことについて .....	12
(1) 日常の生活動作 .....	12
(2) 外出について .....	15
(3) 外出回数 .....	15
(4) 外出を控えているか .....	16
(5) 外出を控える理由 .....	16
(6) 外出する際の移動手段 .....	17
4 食えることについて .....	19
(1) 本人の身長、体重 .....	19
(2) 口腔について .....	20
(3) 入れ歯について .....	22
(4) 噛み合わせについて .....	23
(5) 体重変化について .....	23
(6) 食事について .....	24
5 毎日の生活について .....	25
(1) 物忘れについて .....	25
(2) 日常生活の状況 .....	26
(3) 社会参加の状況 .....	29
(4) 趣味について .....	33
(5) 生きがいについて .....	33

<b>6</b>	<b>地域での活動について</b>	<b>34</b>
(1)	グループ活動等の参加頻度	34
(2)	社会参加について	39
(3)	ボランティアによる支援について	43
<b>7</b>	<b>たすけあいについて</b>	<b>44</b>
(1)	「たすけあい」について	44
(2)	家族や友人・知人以外の相談相手	45
(3)	友人関係について	46
<b>8</b>	<b>健康について</b>	<b>48</b>
(1)	健康状態について	48
(2)	幸せの程度について	50
(3)	こころの健康について	51
(4)	飲酒について	52
(5)	喫煙について	54
(6)	治療中、または後遺症のある病気	56
(7)	かかりつけ医師	58
(8)	かかりつけ歯科医師	60
(9)	かかりつけ薬局・薬剤師	61
(10)	通院頻度	62
<b>9</b>	<b>認知症にかかる相談窓口の把握について</b>	<b>63</b>
<b>10</b>	<b>在宅医療とご自身の将来について</b>	<b>64</b>
(1)	医療機関への入院について	64
(2)	長期療養時の過ごしたい場所について	65
(3)	在宅医療について	65
(4)	人生の最終段階（終末期）に過ごす場所について	66
<b>11</b>	<b>介護保険料や介護サービスの利用料について</b>	<b>67</b>
(1)	介護保険料について	67
(2)	本市の介護保険料と介護サービスのあり方について	67
<b>12</b>	<b>高齢者あんしん相談センターについて</b>	<b>68</b>
(1)	高齢者あんしん相談センターの認知度について	68
(2)	高齢者あんしん相談センターの利用について	68
(3)	高齢者あんしん相談センターへの要望について	70
(4)	成年後見制度について	71
<b>13</b>	<b>交通支援施策について</b>	<b>72</b>
(1)	コミュニティバスについて	72
(2)	コミュニティバスへの要望について	73
(3)	タクシー助成について	74
<b>14</b>	<b>高齢者施策全般について</b>	<b>75</b>
(1)	元気で生活するために行っていること、やりたいことについて	75
(2)	介護予防事業への参加について	76
(3)	参加したい市の介護予防事業について	76
(4)	介護予防事業の参加場所について	77
(5)	高齢者施設の利用について	78
(6)	高齢社会に対応していくため、市が力を入れていくべき取組について	79

<b>②</b>	<b>居宅サービス利用者向け調査</b>	<b>80</b>
<b>1</b>	<b>調査対象者の基本属性</b>	<b>80</b>
(1)	調査票記入者	80
(2)	性別	80
(3)	年齢	81
(4)	家族構成	81
(5)	住居形態	82
(6)	居住地区	82
(7)	要介護度	83
<b>2</b>	<b>あなた自身のことについて</b>	<b>84</b>
(1)	要介護認定を受けた理由	84
(2)	介護・介助が必要になった主な原因	86
(3)	要介護認定への理解	90
(4)	要介護認定への不満	90
(5)	要介護認定の手続きについて	91
(6)	要介護度の変化	91
(7)	要介護度が変化した要因	92
(8)	要介護度重度化予防について	94
(9)	生活の状況について	95
(10)	主な介護者	96
(11)	認知症状について	96
(12)	認知症状に気づいた人について	99
(13)	認知症状に気づいたきっかけについて	100
(14)	認知症にかかる相談窓口の把握について	101
(15)	身体の状態について	101
(16)	外出の頻度について	102
(17)	買い物について	102
(18)	移動手段について	103
<b>3</b>	<b>介護保険料や介護サービスの利用料について</b>	<b>105</b>
(1)	介護保険料について	105
(2)	本市の介護保険料と介護サービスのあり方について	105
(3)	介護サービスの利用料について	106
<b>4</b>	<b>介護サービスの今後の利用意向について</b>	<b>107</b>
(1)	在宅生活の継続について	107
(2)	在宅医療について	108
<b>5</b>	<b>高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）について</b>	<b>109</b>
(1)	高齢者あんしん相談センターの認知度について	109
(2)	高齢者あんしん相談センターの利用について	109
(3)	高齢者あんしん相談センターへの要望について	111
(4)	成年後見制度について	112
<b>6</b>	<b>ご自身の将来について</b>	<b>113</b>
(1)	長期療養時の過ごしたい場所について	113
(2)	在宅医療について	114
(3)	人生の最終段階（終末期）に過ごす場所について	115
<b>7</b>	<b>交通支援施策について</b>	<b>116</b>
(1)	コミュニティバスについて	116
(2)	コミュニティバスへの要望について	117
(3)	タクシー助成について	118
<b>8</b>	<b>高齢者施策全般について</b>	<b>119</b>
(1)	元気で生活するために行っていること、やりたいことについて	119
(2)	参加したい市の介護予防事業について	120
(3)	高齢社会に対応していくため、市が力を入れていくべき取組について	121

<b>Ⅲ 調査結果のまとめ</b> .....	<b>125</b>
<b>①一般高齢者、総合事業対象者、在宅要支援認定者向け調査</b> .....	<b>125</b>
1 調査結果のまとめ .....	125
2 地域活動の参加意識について .....	129
3 ボランティアによる支援について .....	130
4 認知症にかかる相談窓口の把握について .....	131
5 交通支援施策について .....	132
6 市が力を入れていくべき取組について .....	133
7 リスク分析 .....	134
(1) 日常生活圏域 .....	134
(2) 運動器の機能低下について .....	135
(3) 転倒リスクについて .....	138
(4) 閉じこもり傾向について .....	141
(5) 口腔機能の低下について .....	144
(6) BMI .....	147
(7) 低栄養状態について .....	149
(8) 認知機能の低下について .....	152
(9) IADL*（手段的日常生活動作）の低下について .....	155
(10) うつ傾向について .....	158
8 リスク状況（リスク高齢者の割合） .....	161
<b>②居宅サービス利用者向け調査</b> .....	<b>165</b>
1 要介護（要支援）認定者の状況について .....	165
2 介護保険サービスについて .....	169
3 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）について .....	170
4 今後のサービスについて .....	170
5 在宅医療について .....	171
<b>Ⅳ 自由記述</b> .....	<b>175</b>
<b>①一般高齢者、総合事業対象者、在宅要支援認定者向け調査</b> .....	<b>175</b>
(1) 高齢者福祉サービス .....	175
(2) 介護保険制度 .....	178
(3) 行政 .....	180
(4) 将来 .....	182
(5) その他 .....	183
<b>②居宅サービス利用者向け調査</b> .....	<b>189</b>
(1) 高齢者福祉サービス .....	189
(2) 介護保険制度 .....	189
(3) 行政 .....	189
(4) 将来 .....	190
(5) その他 .....	190



# I 調査の概要





# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、令和3年度から令和5年度を計画期間とする「第9次犬山市高齢者福祉計画・第8次犬山市介護保険事業計画」を策定するための基礎資料として、一般の高齢者、総合事業対象者、介護保険の要介護（要支援）認定者の日常生活および社会生活の実態並びに介護・福祉サービス等に対する意向について把握するために実施しました。

## 2 調査の対象

一般高齢者  
総合事業対象者  
在宅要支援認定者

: 犬山市に住む、介護保険の要介護認定を受けていない 65 歳以上の高齢者、総合事業対象者、要支援認定者

居宅サービス利用者 : 要介護認定者で、在宅で介護保険サービスを利用した方

## 3 調査の方法

高齢者福祉・介護に関するアンケート調査 : 郵送による配布・回収

## 4 調査の実施時期

高齢者福祉・介護に関するアンケート調査 : 令和元年12月9日～24日  
(ただし、令和2年1月14日に回収された分まで集計に含んでいます。)

## 5 配布・回収の結果

種 類	対象者	配布数	回収数	回収率
高齢者福祉・介護に関するアンケート調査	一般高齢者 総合事業対象者 在宅要支援認定者	2,200 件	1,530 件	69.5%
	居宅サービス利用者	300 件	153 件	51.0%

## 6 報告書の表記及び注意点について

1. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率（%）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
2. 複数回答となっている回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える場合があります。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表しています。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「n」と表記し、その数を表示しています。

## Ⅱ 高齢者福祉・介護に関する アンケート調査



## Ⅱ 高齢者福祉・介護に関するアンケート調査

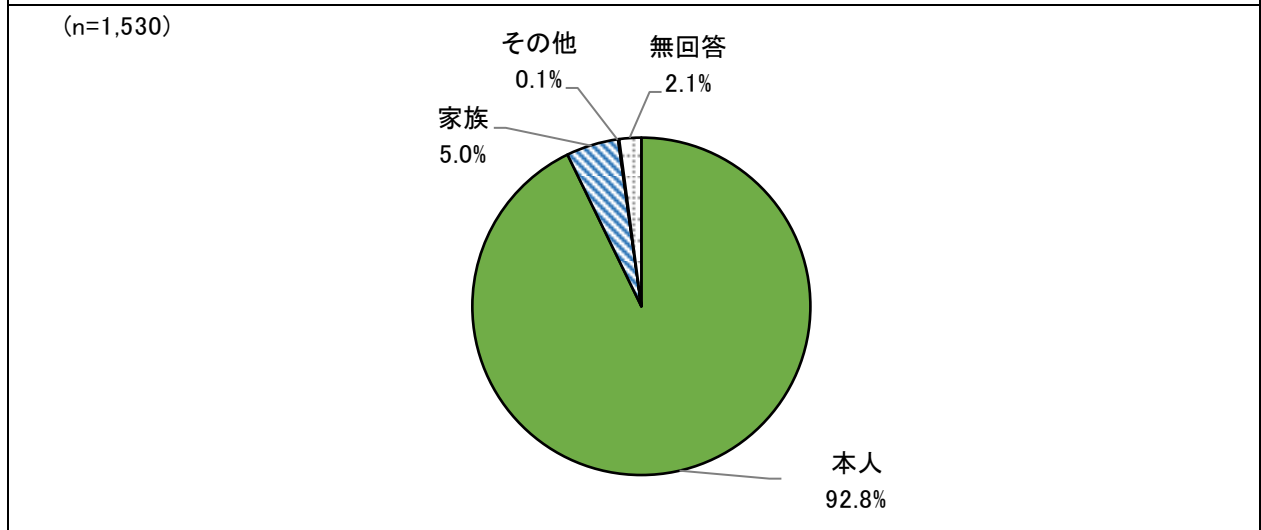
### ①一般高齢者、総合事業対象者、在宅要支援認定者向け調査

#### 1 調査対象者の基本属性

##### (1) 調査票記入者

###### 調査票記入者

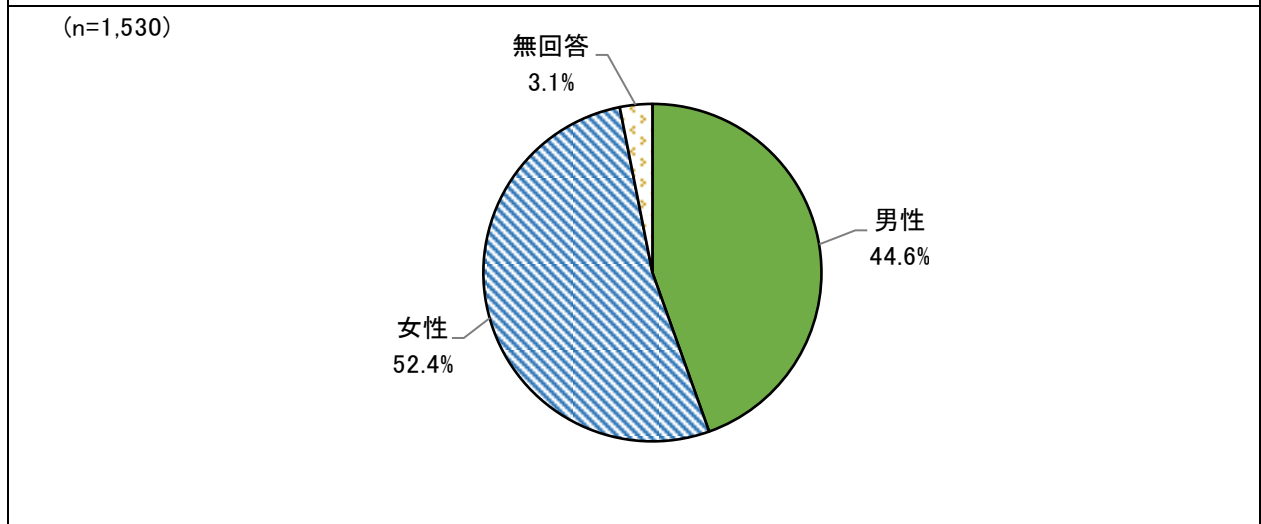
調査票の記入者は、「本人」が 92.8%、「家族」が 5.0%、「その他」が 0.1%となっています。



##### (2) 性別

###### 性別

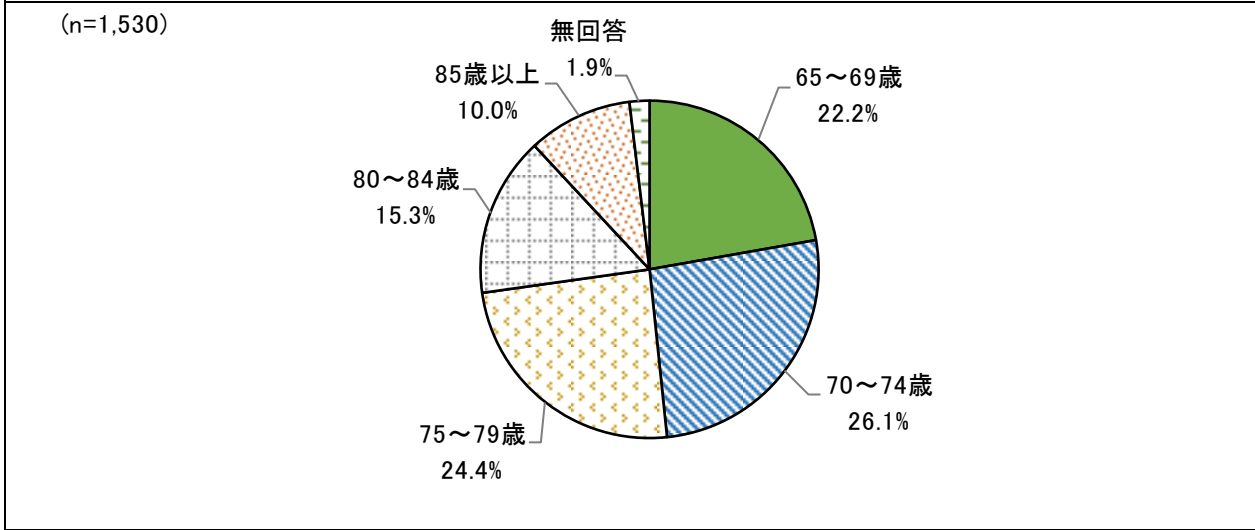
性別は、「男性」が 44.6%、「女性」が 52.4%となっています。



(3) 年齢

年齢

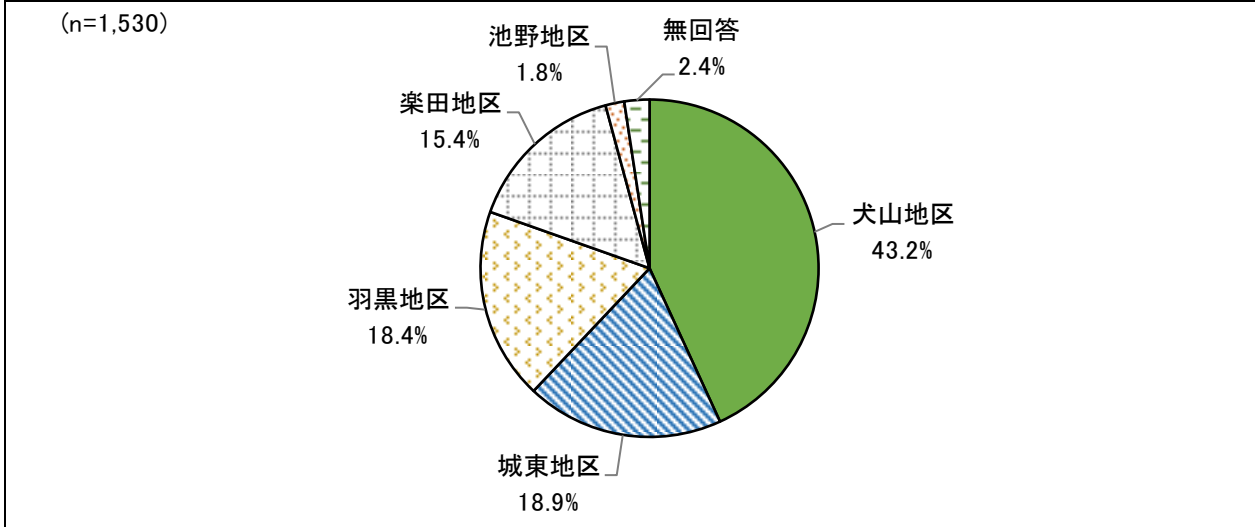
年齢は、「65～69歳」が22.2%、「70～74歳」が26.1%、「75～79歳」が24.4%、「80～84歳」が15.3%、「85歳以上」が10.0%となっています。



(4) 居住地区

居住地区

居住地区は、「犬山地区」が43.2%、「城東地区」が18.9%、「羽黒地区」が18.4%、「楽田地区」が15.4%、「池野地区」が1.8%となっています。

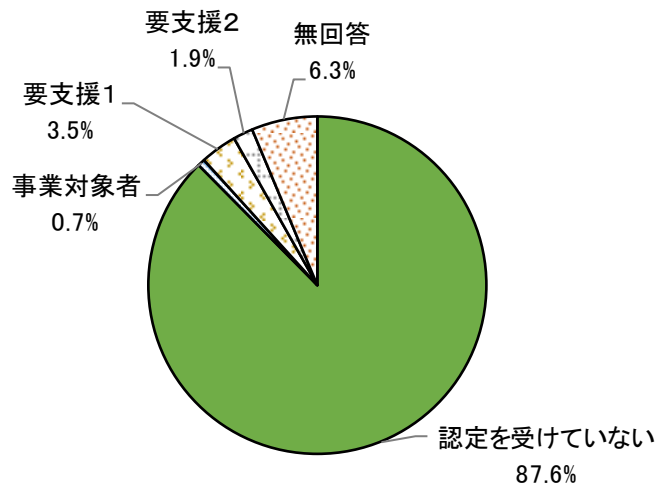


(5) 要介護度

要介護度

要介護度は、「認定を受けていない」が 87.6%、「事業対象者」が 0.7%、「要支援 1」が 3.5%、「要支援 2」が 1.9%となっています。

(n=1,530)

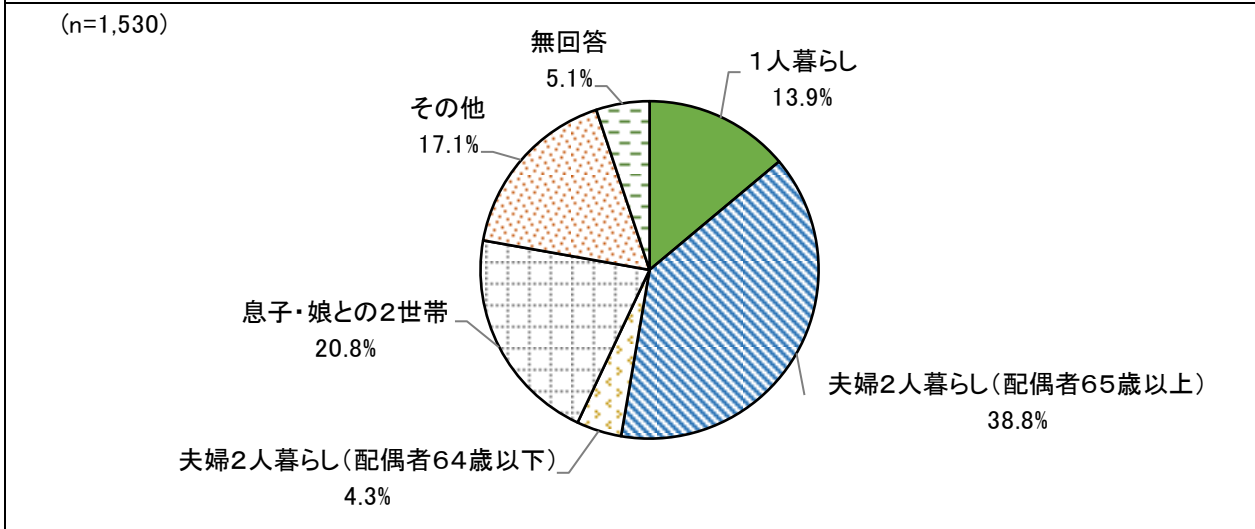


## 2 家族や生活状況について

### (1) 家族構成

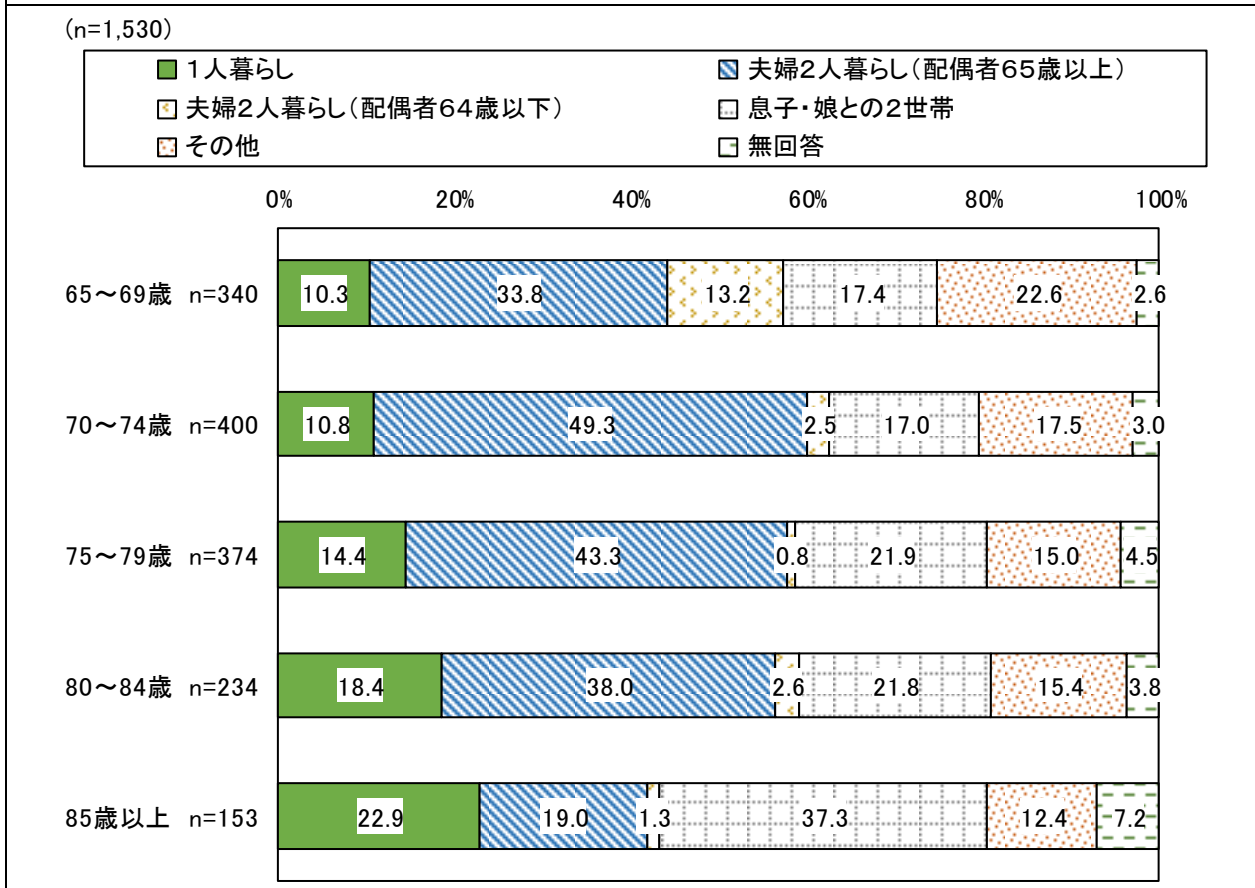
問2 家族構成を教えてください。(○印は1つだけ)

家族構成は、「1人暮らし」が13.9%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が38.8%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が4.3%、「息子・娘との2世帯」が20.8%、「その他」が17.1%となっています。

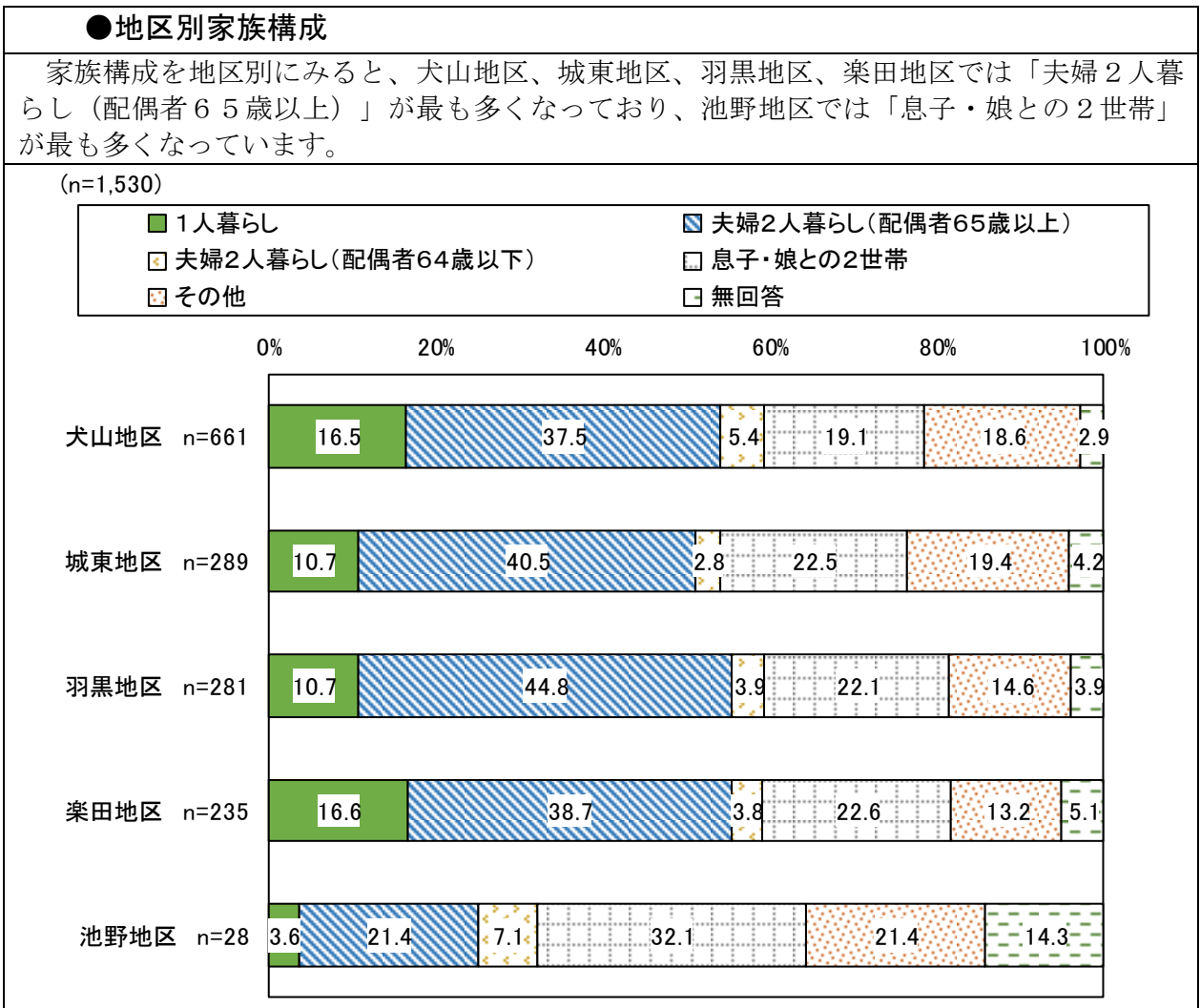


### ●年齢別家族構成

家族構成を年齢別にみると、「65～84歳」では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が、「85歳以上」は「息子・娘との2世帯」が、それぞれ最も多くなっています。また、年齢が上がるにつれて「1人暮らし」の割合が増えています。





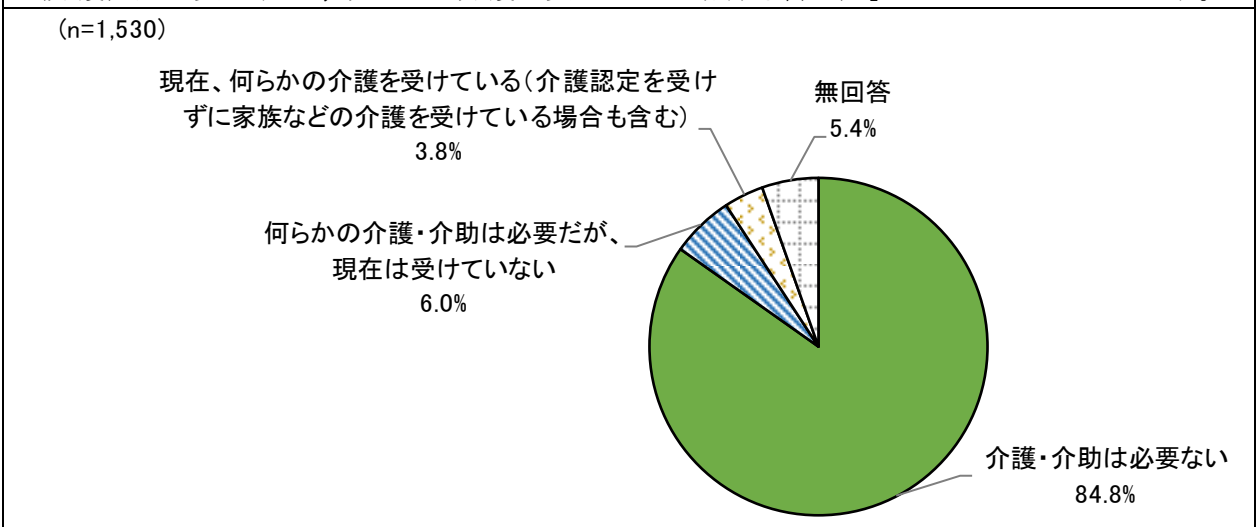


(2) 普段、介護・介助が必要か

問3 あなたは、普段の生活の中でどなたかの介護・介助が必要ですか。

(○印は1つだけ)

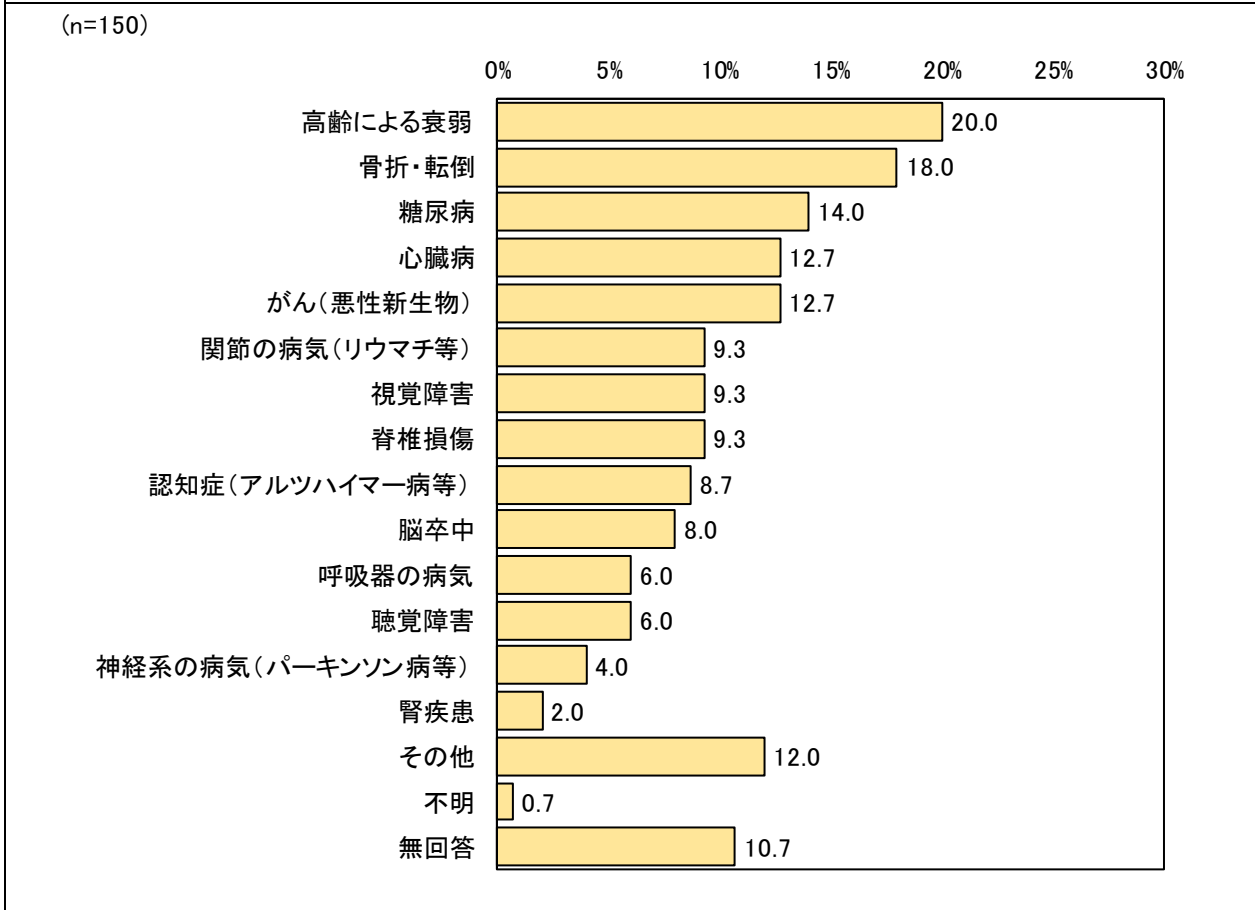
普段の生活で介護・介助が必要かは、「介護・介助は必要ない」が 84.8%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 6.0%、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が 3.8%となっています。



(3) 介護・介助が必要になった主な原因

問3-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(〇印はいくつでも)

問3で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方に、介護・介助が必要になった原因を尋ねると、「高齢による衰弱」が20.0%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が18.0%、「糖尿病」が14.0%、「心臓病」と「がん(悪性新生物)」がともに12.7%などとなっています。



○病気別介護・介助が必要になった主な原因

<b>脳卒中</b>
具体的病名：脳梗塞（14 件）、くも膜下出血、高血圧、モヤモヤ病、左中大脳動脈閉塞病（いずれも 1 件）

<b>心臓病</b>
具体的病名：狭心症（12 件）、心筋梗塞（4 件）、心不全（3 件）、ペースメーカー装備（2 件）、大動脈解離、高血圧、人工弁（いずれも 1 件）

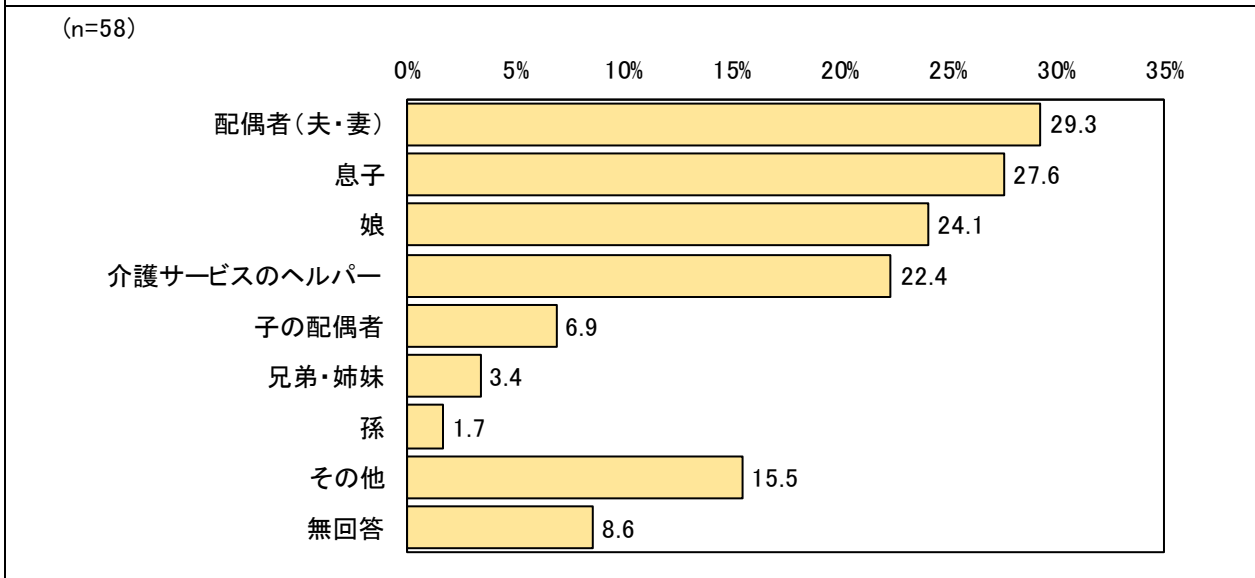
<b>がん</b>
具体的病名：大腸（5 件）、乳（4 件）、前立腺、肝臓、腎臓、胆管（いずれも 2 件）、胃、喉頭、直腸、リンパ、膀胱、肺、食道、がん性胸膜炎（いずれも 1 件）

<b>呼吸器の病気</b>
具体的病名：肺気腫（4件）、肺炎、間質性肺炎（いずれも2件）、喘息、左肺気胸、慢性肺気腫（いずれも1件）
<b>関節の病気</b>
具体的病名：膝関節症（3件）、関節リウマチ、手指のリウマチ、リウマチによる左肘損傷、変形性膝関節症、変形性股関節症による両人工関節全置換、股関節炎症、ヘバーデン結節、膠原病（いずれも1件）
<b>認知症</b>
具体的病名：もの忘れの多さ（2件）、認知症用の薬の使用、レビー小体型認知症（いずれも1件）
<b>神経系の病気</b>
具体的病名：パーキンソン病（2件）、ALS、神経障害（いずれも1件）
<b>糖尿病</b>
具体的状況：血糖値が高い、月一回通院・服薬中、インスリン自己注射・内服コントロール中、HA1Cが7ある、49歳の時に発症した（いずれも1件）
<b>腎疾患</b>
具体的病名：透析を受けている（4件）、腎不全、膀胱がん尿管移転による腎萎縮（いずれも1件）
<b>視覚障害</b>
具体的病名：緑内障（7件）、加齢黄斑変性（4件）、白内障（2件）、左目糖尿病網膜症、網膜色素変性症、弱視、メガネが必要、3か月に1回眼科へ通院（いずれも1件）
<b>聴覚障害</b>
具体的病名：耳が遠い・聞こえにくい（3件）、補聴器を使用している（2件）、ろう者、中耳炎、障害者3級（いずれも1件）
<b>骨折・転倒</b>
具体的病名：圧迫骨折（3件）、大腿骨骨折（2件）、腰椎圧迫骨折による人工関節置換、骨盤骨折、背骨の骨折、変形性股関節症（いずれも1件）
<b>脊椎損傷</b>
具体的病名：すべり症、脊柱管狭窄症（いずれも2件）、脊椎のずれ、圧迫骨折、転倒による損傷、後縦靭帯骨化症（いずれも1件）
<b>その他</b>
具体的病名：シェーグレン症候群、高血圧、失語症、右上下肢不全、脊髄小脳変性症血圧処方薬使用、脊椎カリエス、前立腺肥大、知的障害、痛風、変形性股関節症、慢性甲状腺炎、頸椎脱臼骨折、骨粗しょう症 など

(4) 主な介護者

問3-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(○印はいくつでも)

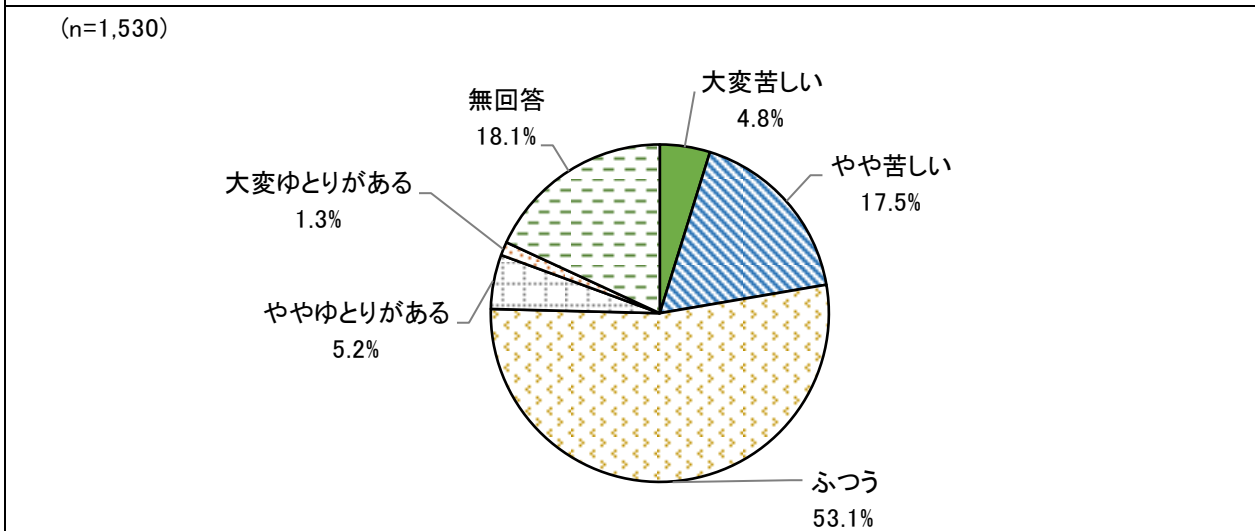
問3で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方に、主な介護者・介助者を尋ねると、「配偶者(夫・妻)」が29.3%で最も多く、次いで「息子」が27.6%、「娘」が24.1%、「介護サービスのヘルパー」が22.4%、「子の配偶者」が6.9%などとなっています。



(5) 現在の暮らしの状況

問4 現在の暮らしの状況を、経済的にみてどう感じていますか。(○印は1つだけ)

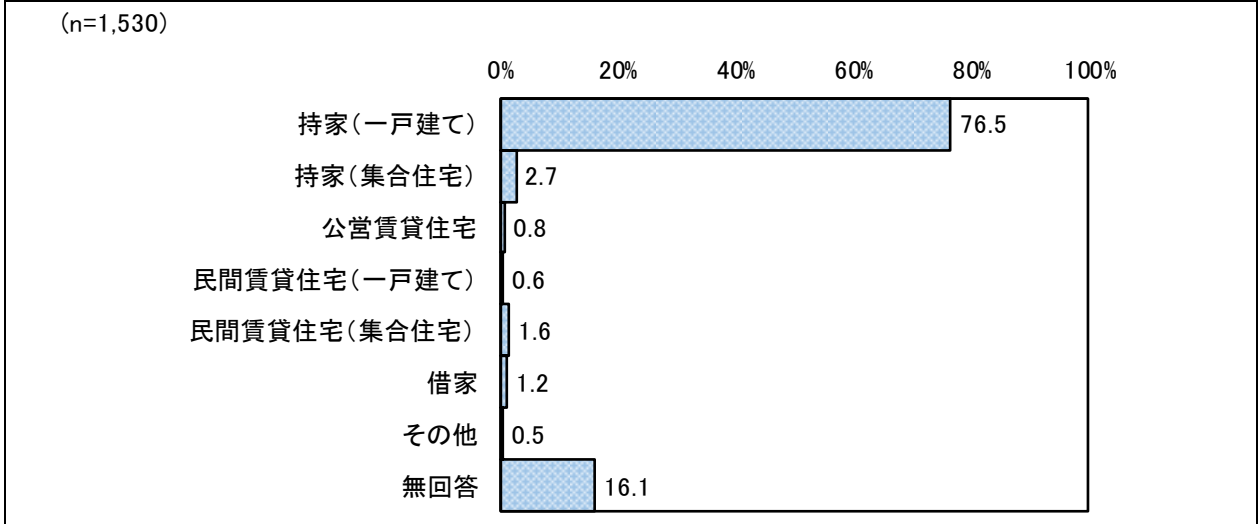
現在の暮らしの状況は、「大変苦しい」が4.8%、「やや苦しい」が17.5%、「ふつう」が53.1%、「ややゆとりがある」が5.2%、「大変ゆとりがある」が1.3%となっています。



(6) 住居形態

問5 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。以下の住居形態から選んでください。(○印は1つだけ)

住居形態は、「持家(一戸建て)」が76.5%、「持家(集合住宅)」が2.7%、「公営賃貸住宅」が0.8%、「民間賃貸住宅(一戸建て)」が0.6%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が1.6%、「借家」が1.2%、「その他」が0.5%となっています。



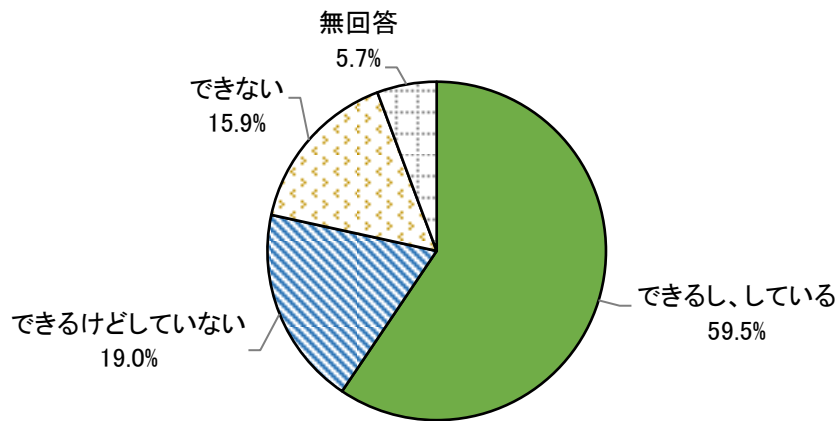
### 3 からだを動かすことについて

#### (1) 日常の生活動作

問6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○印は1つだけ)

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかは、「できるし、している」が59.5%、「できるけどしていない」が19.0%、「できない」が15.9%となっています。

(n=1,530)

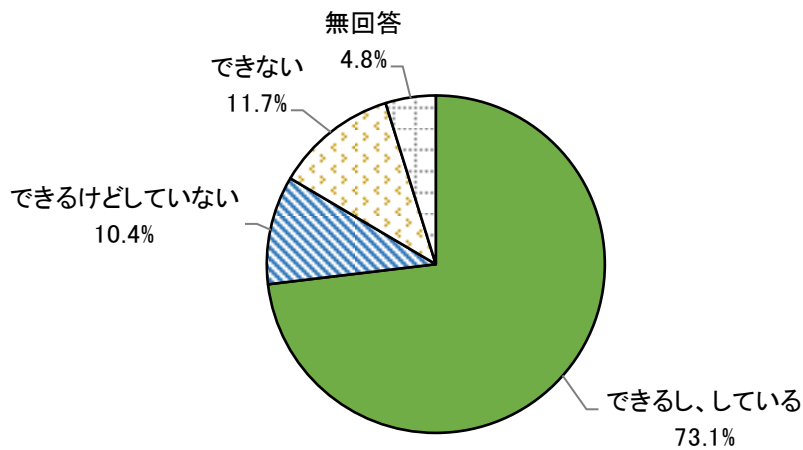


問7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

(○印は1つだけ)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかは、「できるし、している」が73.1%、「できるけどしていない」が10.4%、「できない」が11.7%となっています。

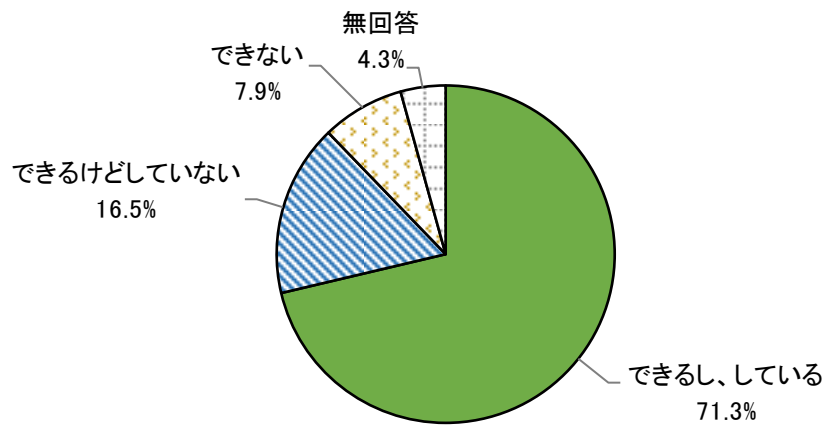
(n=1,530)



問8 15分くらい続けて歩いていますか。(○印は1つだけ)

15分くらい続けて歩いているかは、「できるし、している」が71.3%、「できるけどしていない」が16.5%、「できない」が7.9%となっています。

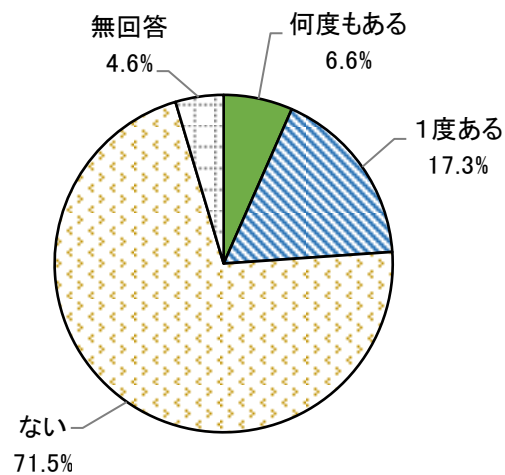
(n=1,530)



問9 過去1年間に転んだ経験はありますか。(○印は1つだけ)

過去1年間に転んだ経験があるかは、「何度もある」が6.6%、「1度ある」が17.3%、「ない」が71.5%となっています。

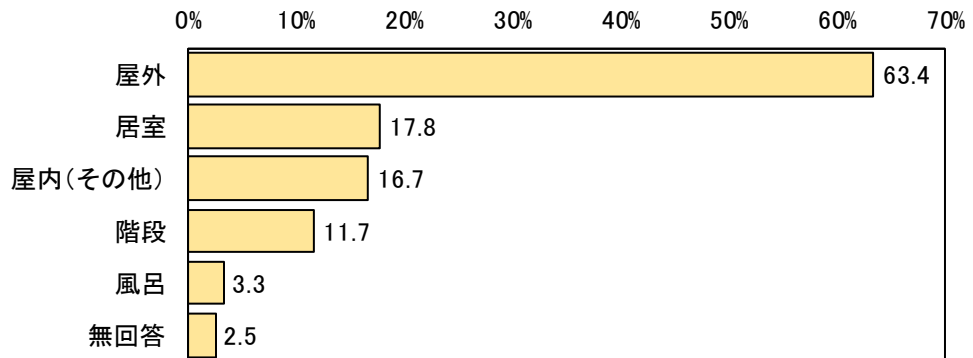
(n=1,530)



問9-1 転んだ場所はどこですか。(○印はいくつでも)

問9で「1. 何度もある」、「2. 1度ある」と回答した方に、転んだ場所を尋ねると、「屋外」が63.4%で最も多く、次いで「居室」が17.8%、「屋内(その他)」が16.7%、「階段」が11.7%、「風呂」が3.3%となっています。

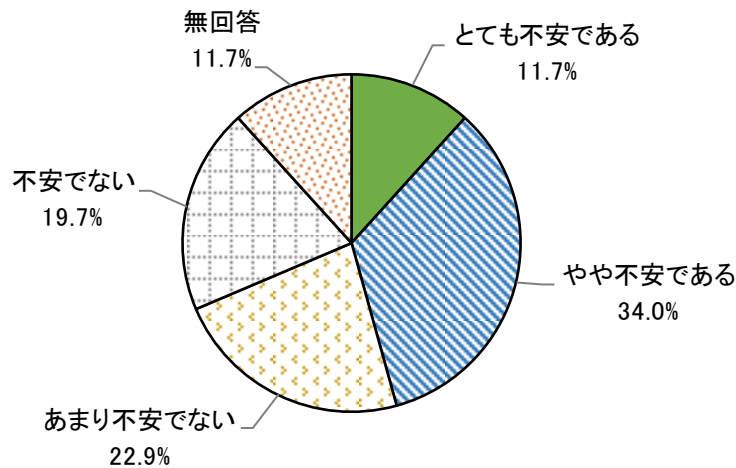
(n=366)



問10 転倒に対する不安は大きいですか。(○印は1つだけ)

転倒に対する不安は、「とても不安である」が11.7%、「やや不安である」が34.0%、「あまり不安でない」が22.9%、「不安でない」が19.7%となっています。

(n=1,530)

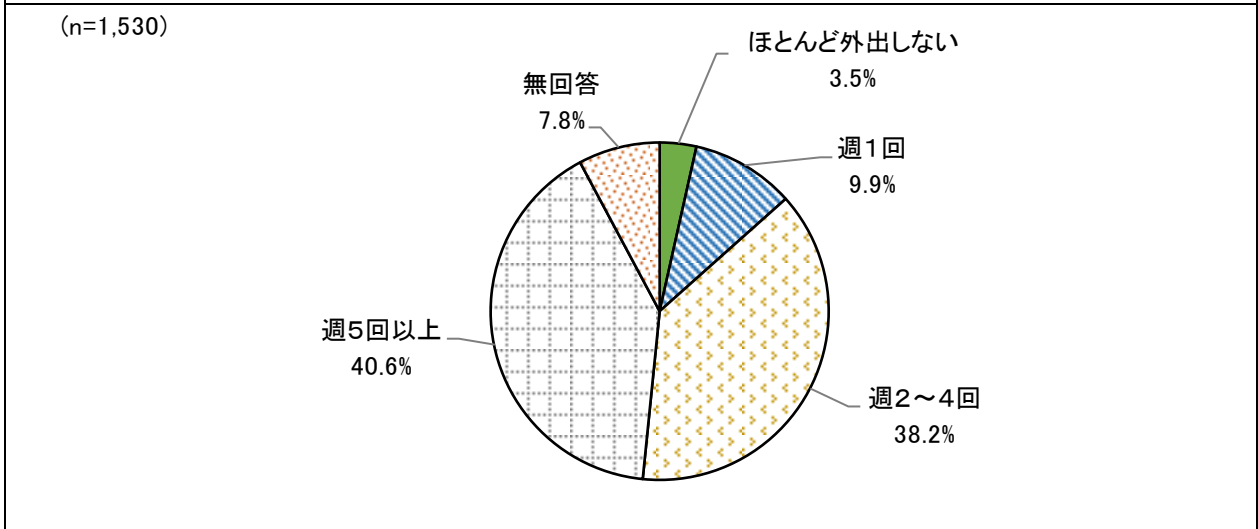




(2) 外出について

問1 1 週に1回以上は外出していますか。(○印は1つだけ)

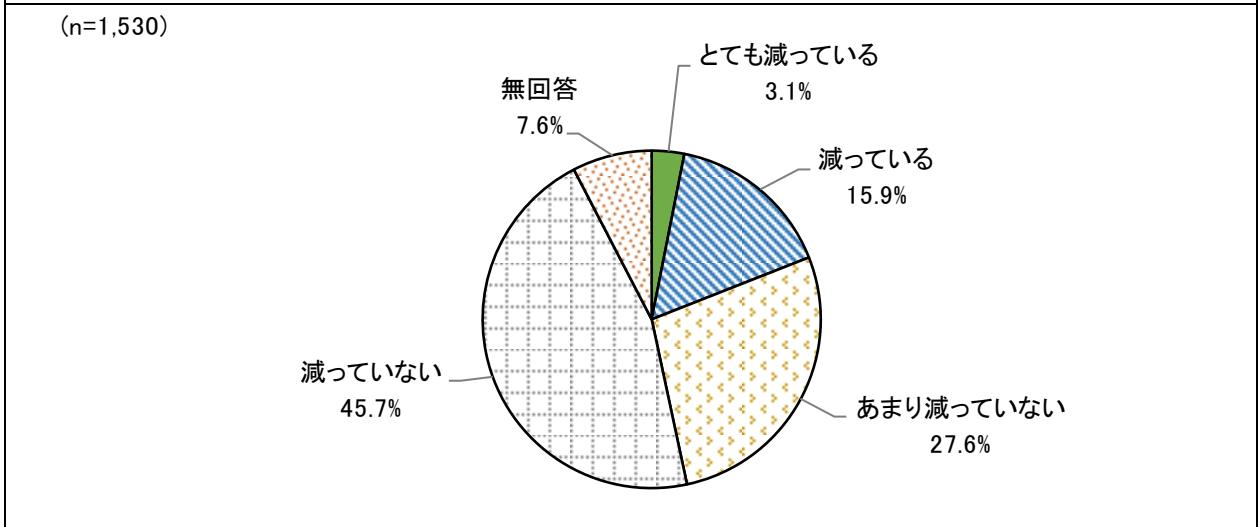
外出の状況は、「ほとんど外出しない」が3.5%、「週1回」が9.9%、「週2～4回」が38.2%、「週5回以上」が40.6%となっています。



(3) 外出回数

問1 2 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○印は1つだけ)

外出回数の減少について、「とても減っている」が3.1%、「減っている」が15.9%、「あまり減っていない」が27.6%、「減っていない」が45.7%となっています。

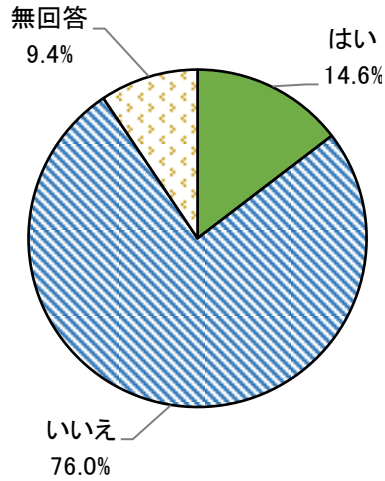


(4) 外出を控えているか

問13 外出を控えていますか。(○印は1つだけ)

外出を控えているかは、「はい」が14.6%、「いいえ」が76.0%となっています。

(n=1,530)

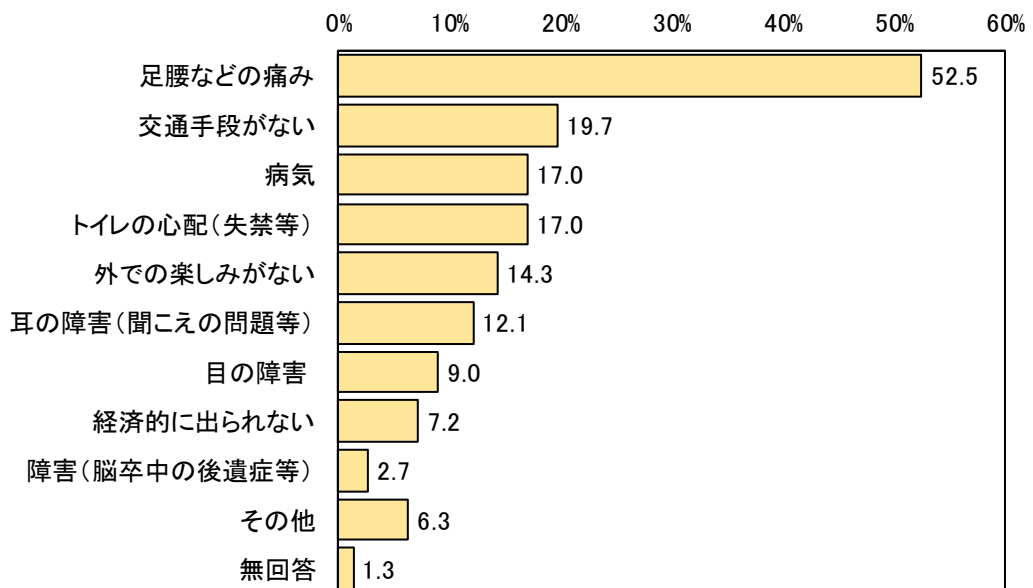


(5) 外出を控える理由

問13-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○印はいくつでも)

問13で外出を控えていると回答した方に、その理由を尋ねたところ、「足腰などの痛み」が52.5%で最も多く、次いで「交通手段がない」が19.7%、「病気」と「トイレの心配(失禁等)」がともに17.0%、「外での楽しみがない」が14.3%などとなっています。

(n=223)

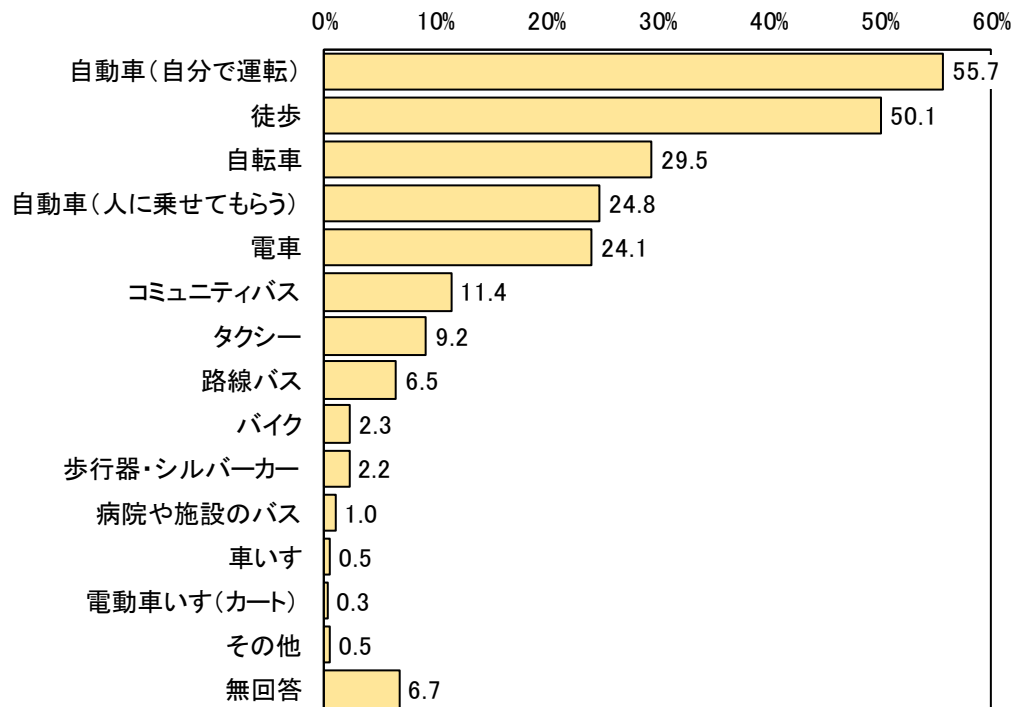


(6) 外出する際の移動手段

問14 外出する際の移動手段は何ですか。(○印はいくつでも)

外出する際の移動手段について、「自動車(自分で運転)」が55.7%で最も多く、次いで「徒歩」が50.1%、「自転車」が29.5%、「自動車(人に乗せてもらう)」が24.8%、「電車」が24.1%などとなっています。

(n=1,530)



○年齢別外出する際の移動手段

外出する際の移動手段を年齢別にみると、「65～69歳」と「70～74歳」では「自動車(自分で運転)」が、「75～79歳」と「80～84歳」では「徒歩」が、「85歳以上」では「自動車(人に乗せてもらう)」が、それぞれ最も多くなっています。

	件数	徒歩	自転車	バイク	(自分で運転) 自動車	(人に乗せてもらう) 自動車	電車	路線バス	コミュニティバス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
65～69歳	340	55.6	31.8	2.6	73.2	21.2	32.4	6.5	7.9	0.9	0.3	0.0	0.9	2.6	0.6	7.4
70～74歳	400	48.5	33.0	1.3	69.5	19.3	24.3	5.0	6.8	0.8	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	7.2
75～79歳	374	51.6	31.8	1.9	51.3	24.1	25.7	7.2	14.7	0.0	0.5	0.0	1.1	7.5	0.5	6.1
80～84歳	234	50.0	22.6	4.3	38.9	31.2	18.4	8.1	16.7	1.7	0.9	0.9	4.3	14.1	0.9	5.1
85歳以上	153	38.6	20.3	1.3	20.9	39.2	11.8	5.9	15.7	3.3	1.3	2.0	10.5	35.3	0.7	5.2

○地区別外出する際の移動手段

外出する際の移動手段を地区別にみると、「犬山地区」では「徒歩」が、「城東地区」、「羽黒地区」、「楽田地区」、「池野地区」では「自動車（自分で運転）」が、それぞれ最も多くなっています。

	件数	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	コミュニティバス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行者・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
犬山地区	661	58.4	35.7	1.4	52.5	25.9	26.3	4.8	10.1	0.6	0.5	0.3	3.0	12.3	0.2	6.1
城東地区	289	40.8	18.7	5.2	62.6	23.2	19.7	3.8	13.1	1.4	0.0	0.3	0.3	6.9	0.7	6.2
羽黒地区	281	50.5	26.3	1.4	59.1	23.1	26.7	16.0	12.1	2.1	0.7	0.0	2.1	8.2	0.4	5.7
楽田地区	235	40.4	32.8	1.7	54.5	24.7	23.4	2.1	11.1	0.9	0.4	0.9	2.1	6.8	0.9	8.1
池野地区	28	42.9	7.1	3.6	60.7	17.9	10.7	14.3	21.4	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	3.6	7.1

○家族構成別外出する際の移動手段

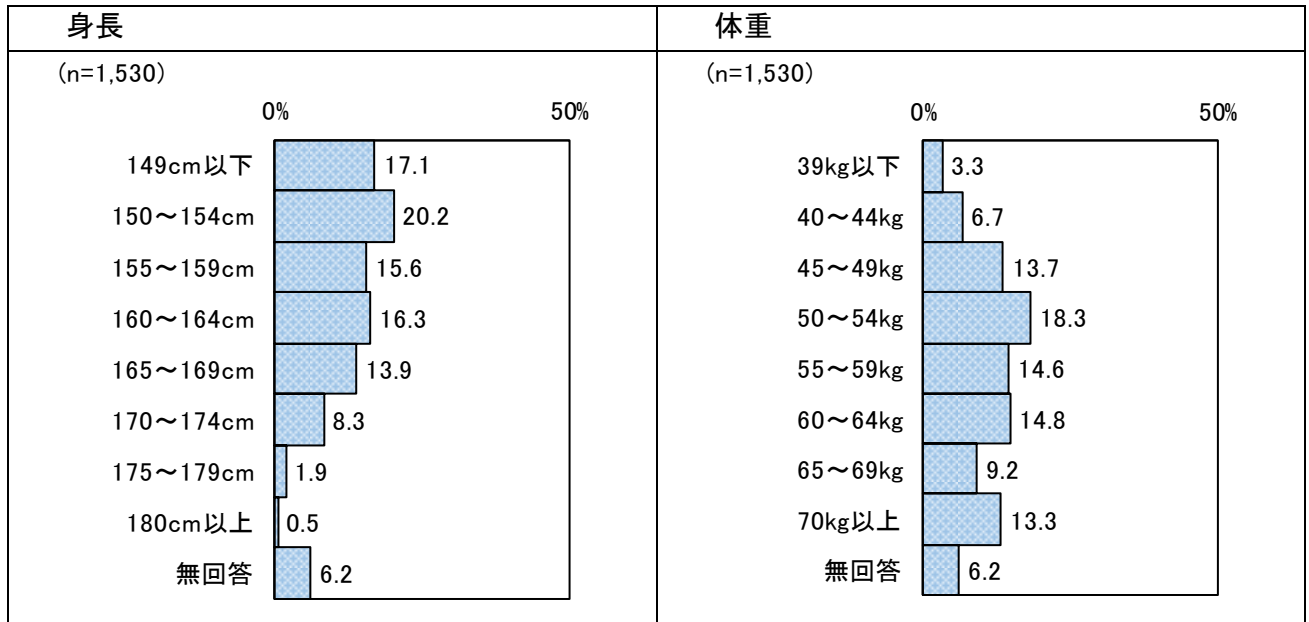
外出する際の移動手段を家族構成別にみると、「1人暮らし」、「息子・娘との2世帯」では「徒歩」が、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」、「その他」では「自動車（自分で運転）」が、それぞれ最も多くなっています。

	件数	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	コミュニティバス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行者・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
1人暮らし	212	57.5	29.7	3.3	46.7	17.0	32.1	6.6	17.5	0.0	0.0	0.5	6.1	16.0	1.4	4.2
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	594	48.8	31.5	1.5	63.5	24.2	25.3	7.2	8.9	1.9	0.8	0.3	0.7	5.7	0.0	6.2
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	66	57.6	28.8	0.0	83.3	16.7	28.8	6.1	6.1	0.0	0.0	0.0	1.5	4.5	0.0	6.1
息子・娘との2世帯	319	49.8	27.9	4.1	47.6	32.3	17.6	7.5	13.8	0.6	0.0	0.3	2.2	11.0	0.0	6.3
その他	261	49.0	28.0	1.9	54.0	25.7	24.5	5.4	10.7	0.8	0.8	0.4	2.3	11.1	1.1	7.7

## 4 食べることについて

### (1) 本人の身長、体重

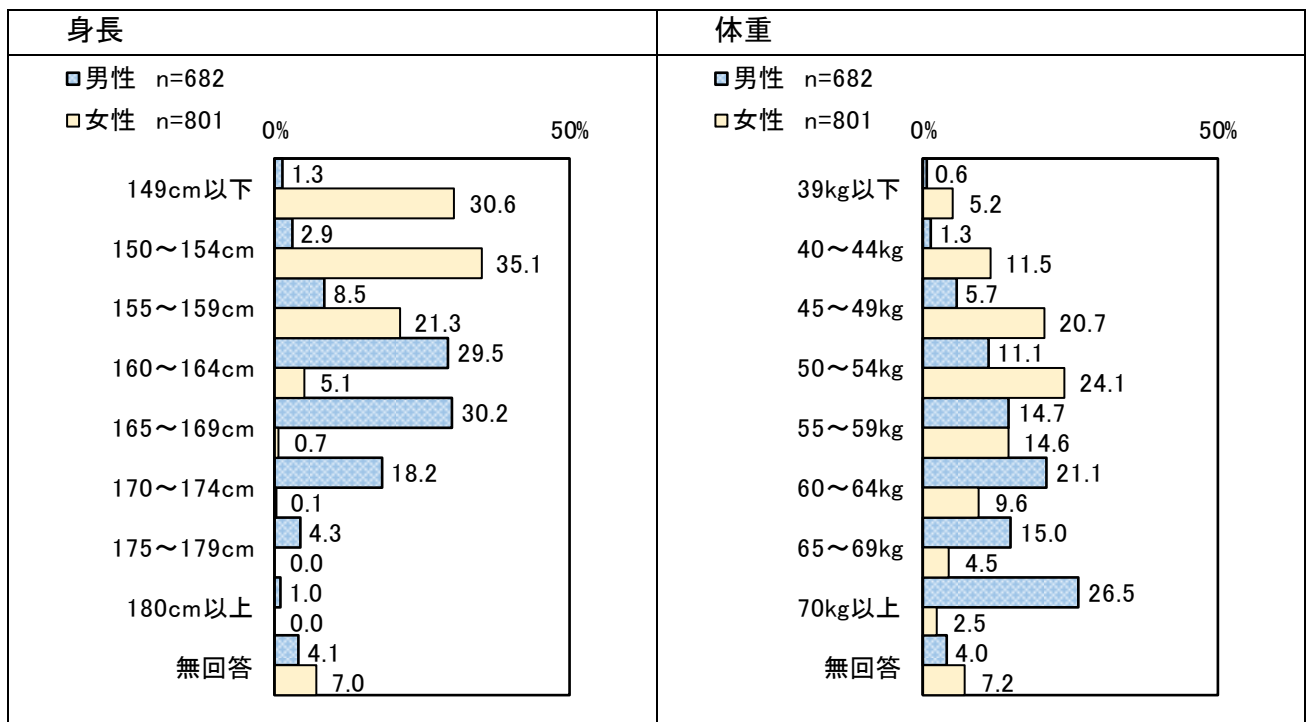
問15 身長・体重を教えてください。



身長は、「150～154cm」が20.2%で最も多く、次いで「149cm以下」が17.1%、「160～164cm」が16.3%、「155～159cm」が15.6%、「165～169cm」が13.9%となっています。

体重は、「50～54kg」が18.3%で最も多く、次いで「60～64kg」が14.8%、「55～59kg」が14.6%、「45～49kg」が13.7%、「70kg以上」が13.3%となっています。

### ○男女別身長・体重



身長を男女別にみると、男性は「165～169cm」、女性は「150～154cm」が、それぞれ最も多くなっています。

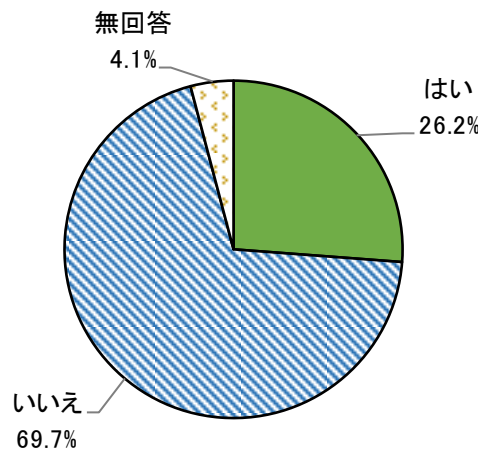
体重は、男女別にみると、男性は「70kg以上」、女性は「50～54kg」が、それぞれ最も多くなっています。

(2) 口腔について

問16 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○印は1つだけ)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかは、「はい」が26.2%、「いいえ」が69.7%となっています。

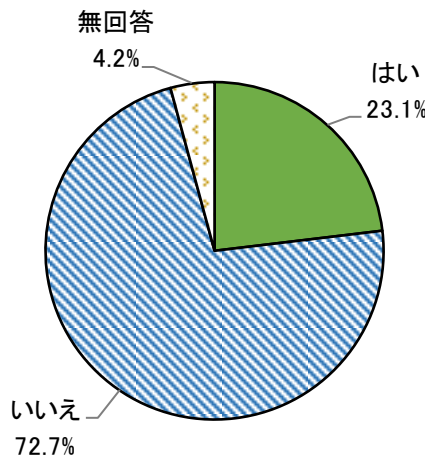
(n=1,530)



問17 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○印は1つだけ)

お茶や汁物等でむせることがあるかは、「はい」が23.1%、「いいえ」が72.7%となっています。

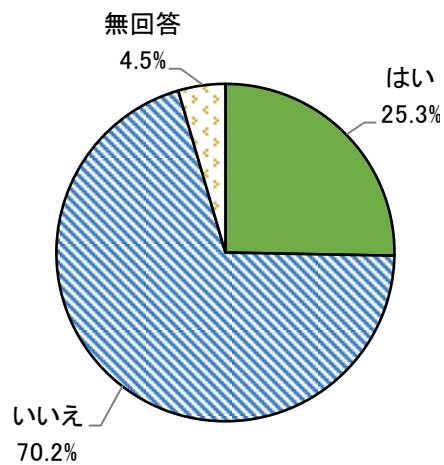
(n=1,530)



問18 口の渇きが気になりますか。(○印は1つだけ)

口の渇きが気になるかは、「はい」が25.3%、「いいえ」が70.2%となっています。

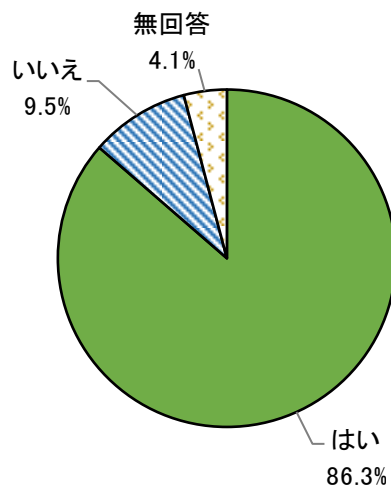
(n=1,530)



問19 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。  
(○印は1つだけ)

歯磨きを毎日しているかは、「はい」が86.3%、「いいえ」が9.5%となっています。

(n=1,530)



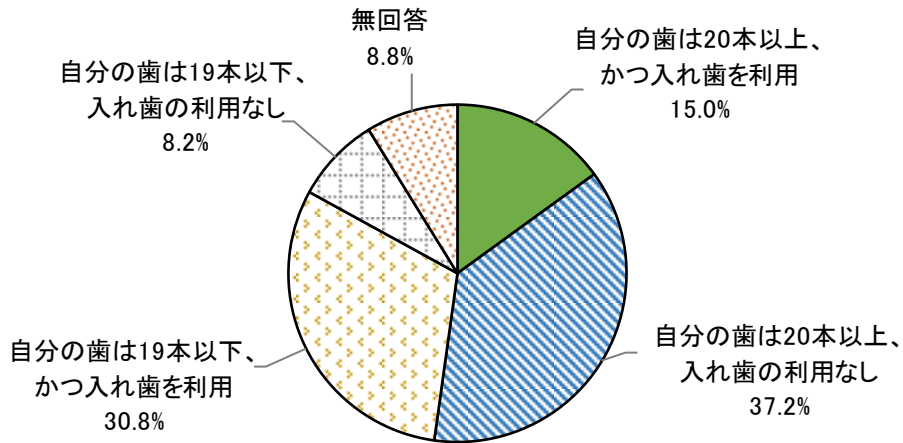
(3) 入れ歯について

問20 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(○印は1つだけ)

※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が15.0%、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が37.2%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が30.8%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が8.2%となっています。

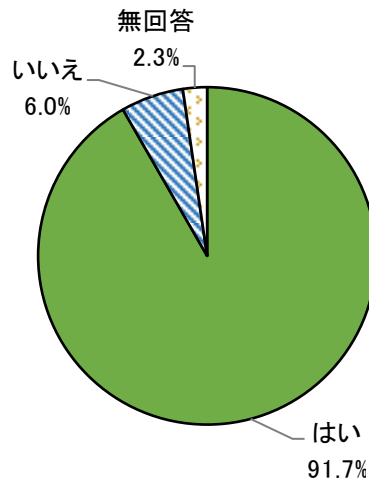
(n=1,530)



問20-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○印は1つだけ)

問20で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方に、毎日入れ歯の手入れについて尋ねると、「はい」が91.7%、「いいえ」が6.0%となっています。

(n=700)



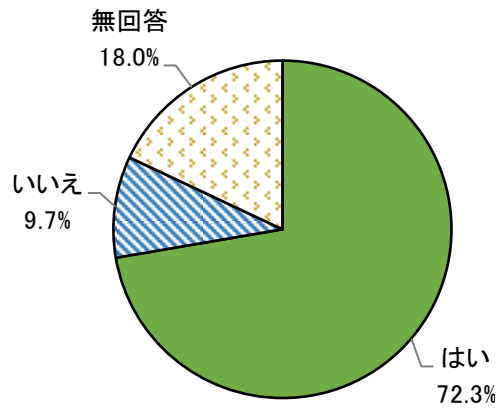


(4) 噛み合わせについて

問2 1 噛み合わせは良いですか。(○印は1つだけ)

噛み合わせが良いかについて、「はい」が72.3%、「いいえ」が9.7%となっています。

(n=1,530)

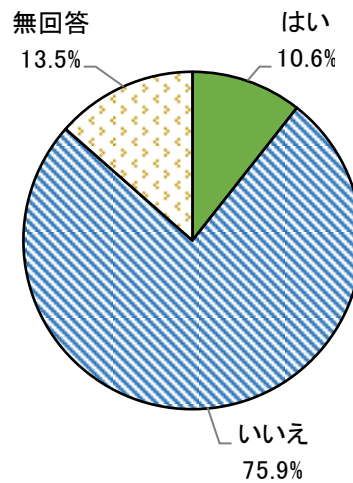


(5) 体重変化について

問2 2 最近6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○印は1つだけ)

最近6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかは、「はい」が10.6%、「いいえ」が75.9%となっています。

(n=1,530)

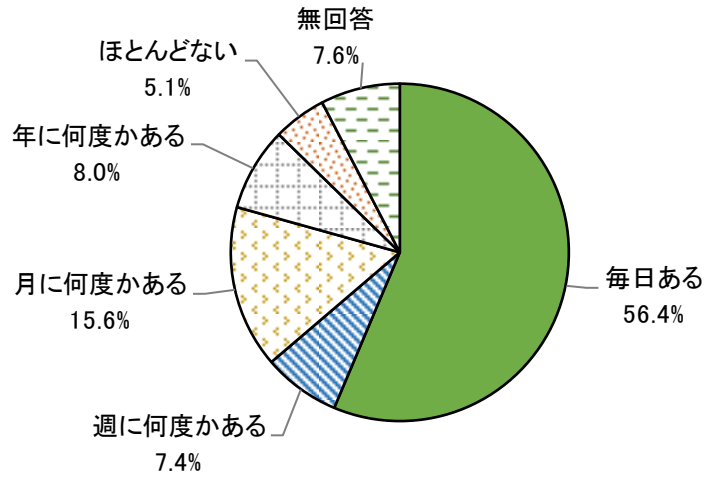


(6) 食事について

問23 どなたかと食事をとる機会がありますか。(○印は1つだけ)

誰かと食事をとる機会があるかは、「毎日ある」が56.4%、「週に何度かある」が7.4%、「月に何度かある」が15.6%、「年に何度かある」が8.0%となっています。また、「ほとんどない」が5.1%となっています。

(n=1,530)



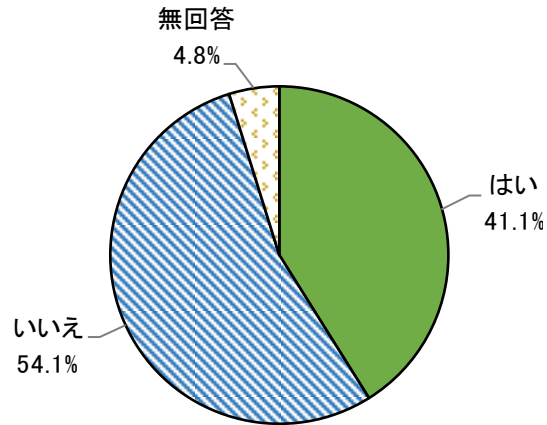
## 5 毎日の生活について

### (1) 物忘れについて

問24 物忘れが多いと感じますか。(○印は1つだけ)

物忘れが多いと感じるかは、「はい」が41.1%、「いいえ」が54.1%となっています。

(n=1,530)

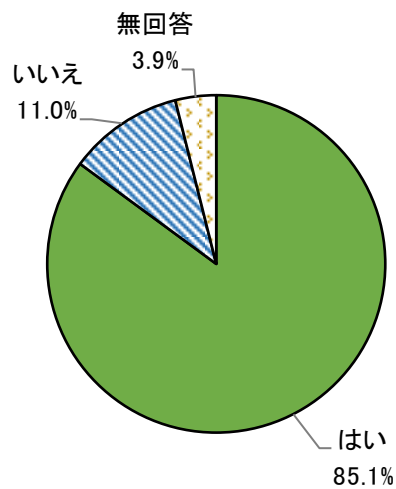


問25 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

(○印は1つだけ)

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかは、「はい」が85.1%、「いいえ」が11.0%となっています。

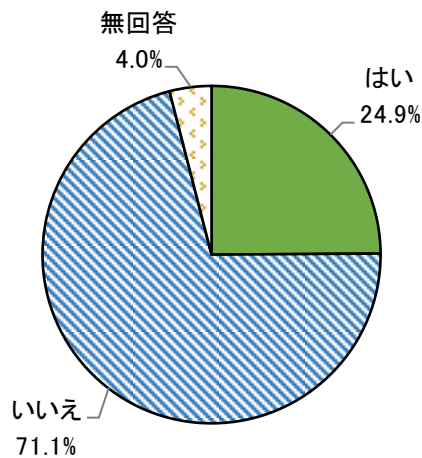
(n=1,530)



問26 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○印は1つだけ)

今日が何月何日かわからない時があるかは、「はい」が24.9%、「いいえ」が71.1%となっています。

(n=1,530)



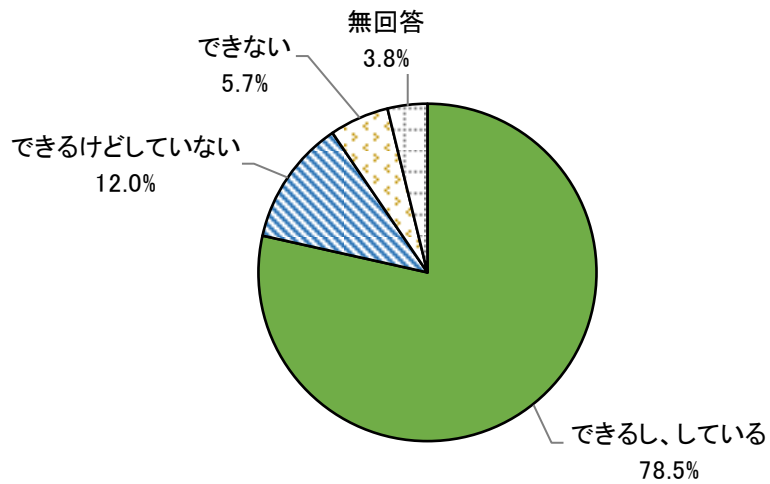
(2) 日常生活の状況

問27 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

(○印は1つだけ)

バスや電車を使って1人で外出しているかは、「できるし、している」が78.5%、「できるけどしていない」が12.0%、「できない」が5.7%となっています。

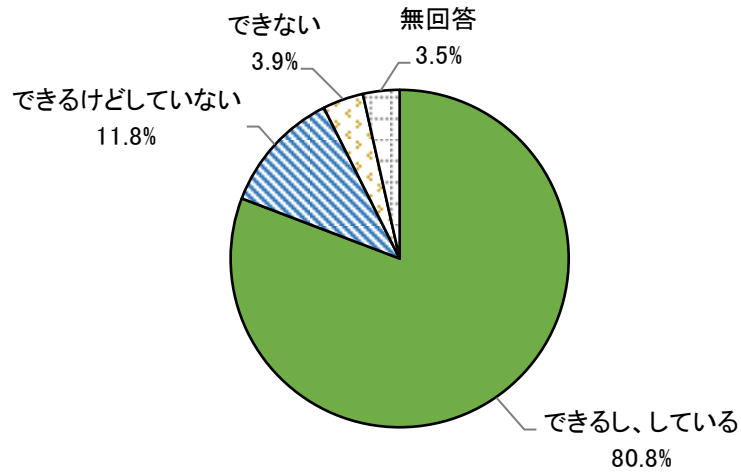
(n=1,530)



問28 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(○印は1つだけ)

自分で食品・日用品の買い物をしているかは、「できるし、している」が80.8%、「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が3.9%となっています。

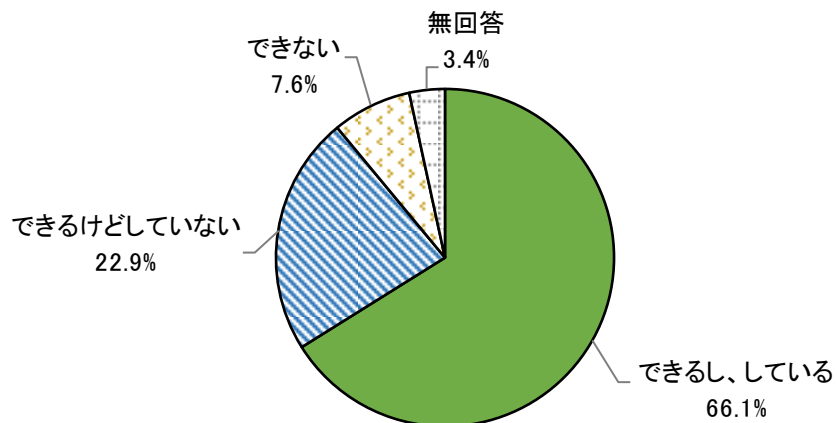
(n=1,530)



問29 自分で食事の用意をしていますか。(○印は1つだけ)

自分で食事の用意をしているかは、「できるし、している」が66.1%、「できるけどしていない」が22.9%、「できない」が7.6%となっています。

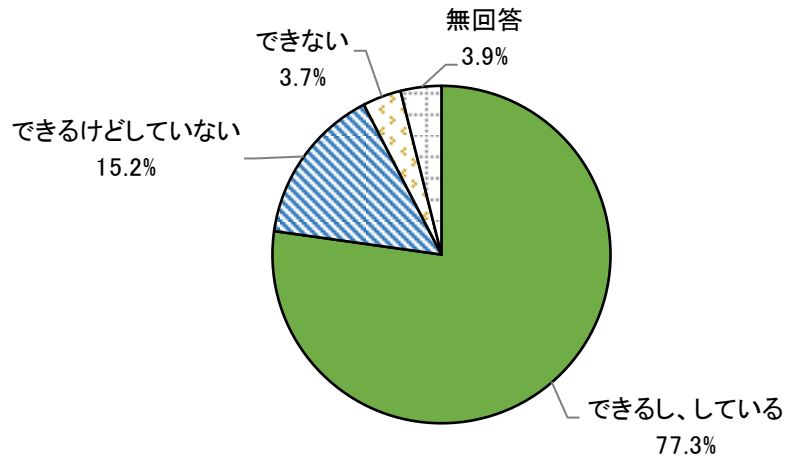
(n=1,530)



問30 自分で請求書の支払いをしていますか。(○印は1つだけ)

自分で請求書の支払いをしているかは、「できるし、している」が77.3%、「できるけどしていない」が15.2%、「できない」が3.7%となっています。

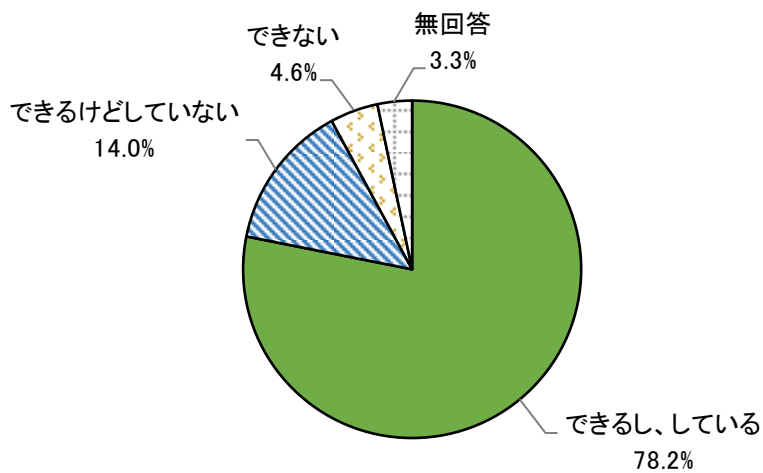
(n=1,530)



問31 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○印は1つだけ)

自分で預貯金の出し入れをしているかは、「できるし、している」が78.2%、「できるけどしていない」が14.0%、「できない」が4.6%となっています。

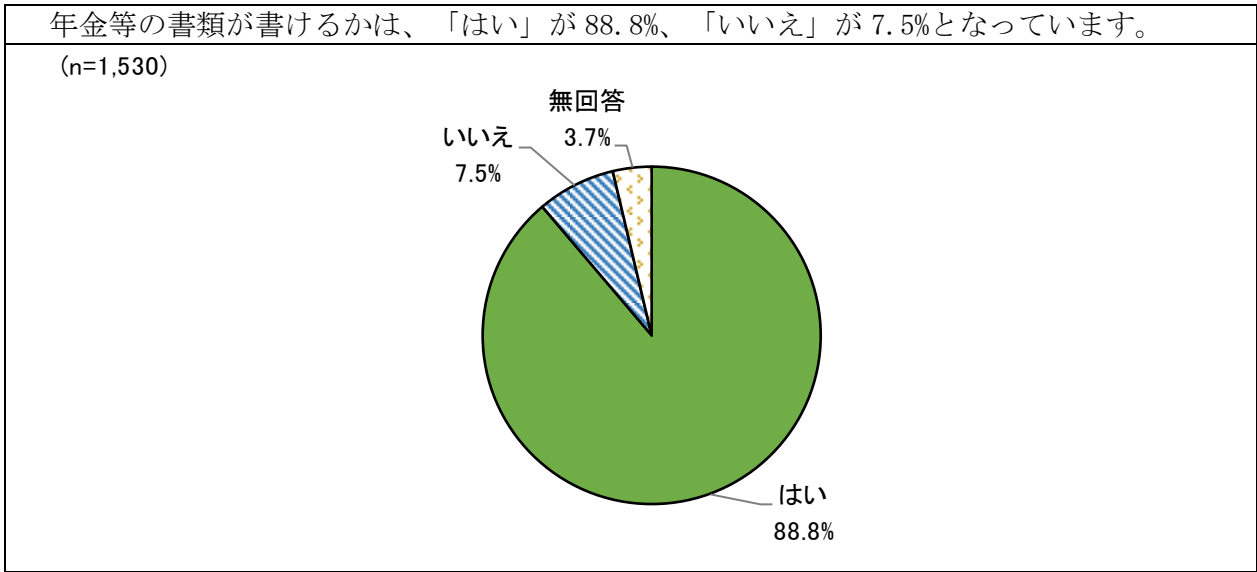
(n=1,530)



(3) 社会参加の状況

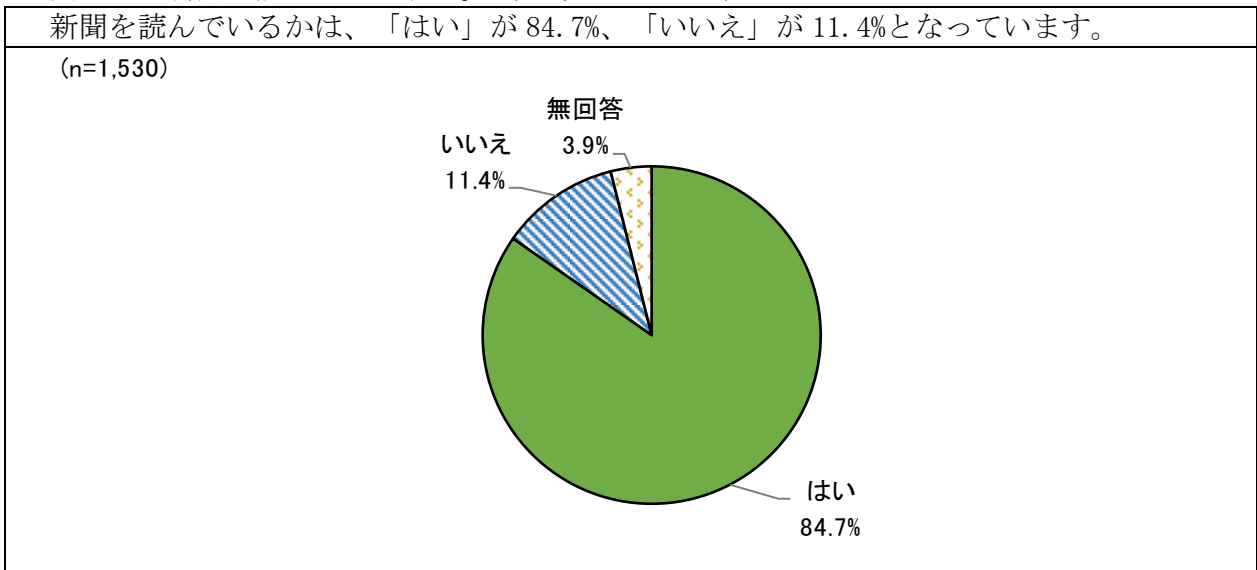
問32～問39は、社会参加について問う設問です。

問32 年金等の書類（役所や病院等に出す書類）が書けますか。（○印は1つだけ）  
年金等の書類が書けるかは、「はい」が88.8%、「いいえ」が7.5%となっています。



問33 新聞を読んでいますか。（○印は1つだけ）

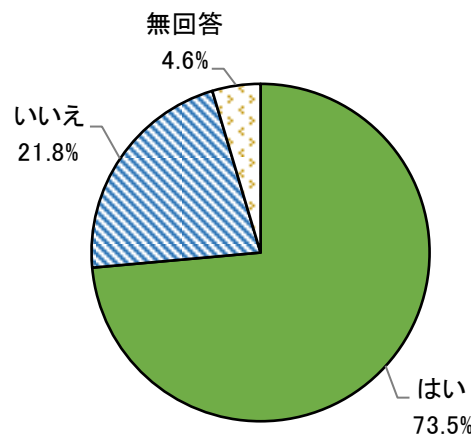
新聞を読んでいるかは、「はい」が84.7%、「いいえ」が11.4%となっています。



問34 本や雑誌を読んでいますか。(○印は1つだけ)

本や雑誌を読んでいるかは、「はい」が73.5%、「いいえ」が21.8%となっています。

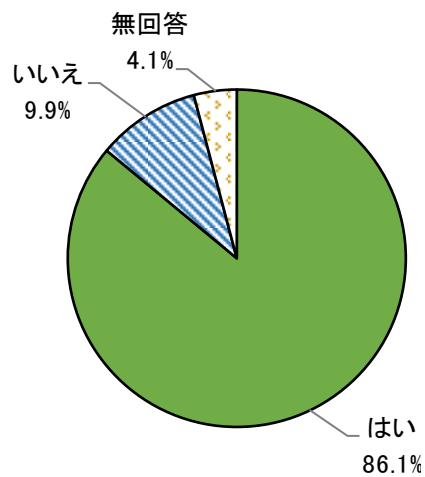
(n=1,530)



問35 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○印は1つだけ)

健康についての記事や番組に関心があるかは、「はい」が86.1%、「いいえ」が9.9%となっています。

(n=1,530)

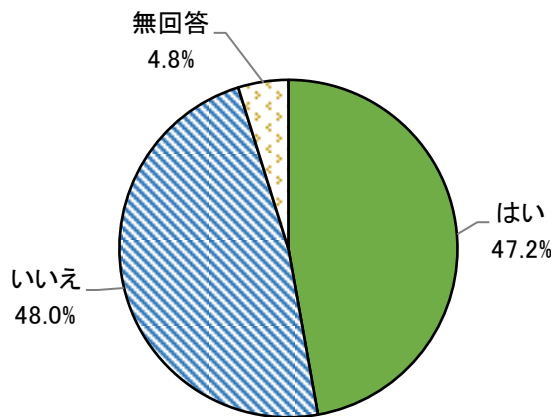




問36 友人の家を訪ねていますか。(○印は1つだけ)

友人の家を訪ねているかは、「はい」が47.2%、「いいえ」が48.0%となっています。

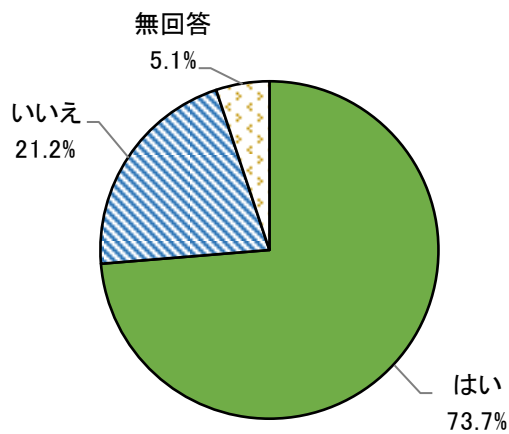
(n=1,530)



問37 家族や友人の相談にのっていますか。(○印は1つだけ)

家族や友人の相談にのっているかは、「はい」が73.7%、「いいえ」が21.2%となっています。

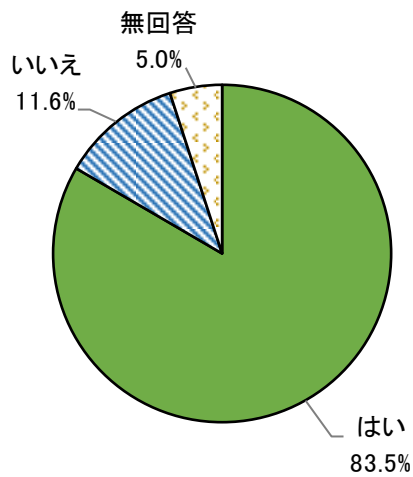
(n=1,530)



問38 病人を見舞うことができますか。(○印は1つだけ)

病人を見舞うことができるかは、「はい」が83.5%、「いいえ」が11.6%となっています。

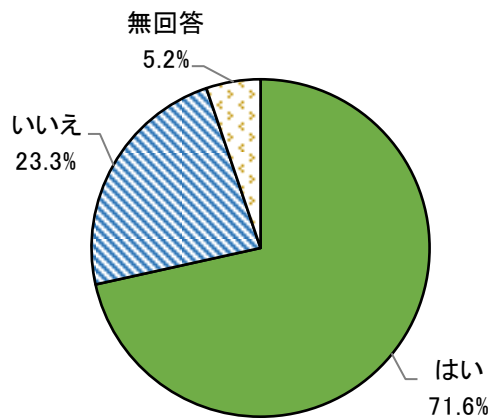
(n=1,530)



問39 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○印は1つだけ)

若い人に自分から話しかけることがあるかは、「はい」が71.6%、「いいえ」が23.3%となっています。

(n=1,530)

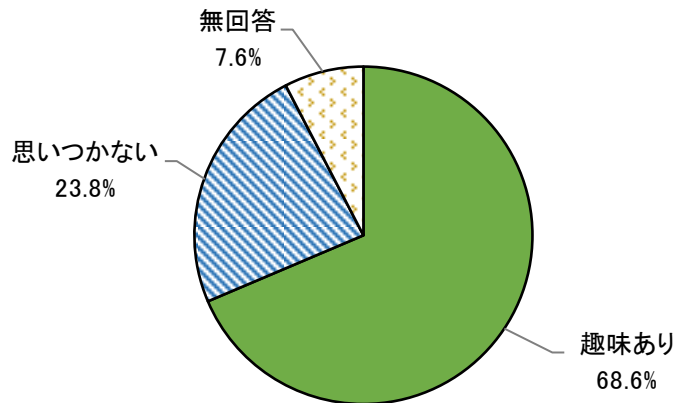


(4) 趣味について

問40 趣味はありますか。(○印は1つだけ)

趣味について、「趣味あり」が68.6%、「思いつかない」が23.8%となっています。

(n=1,530)



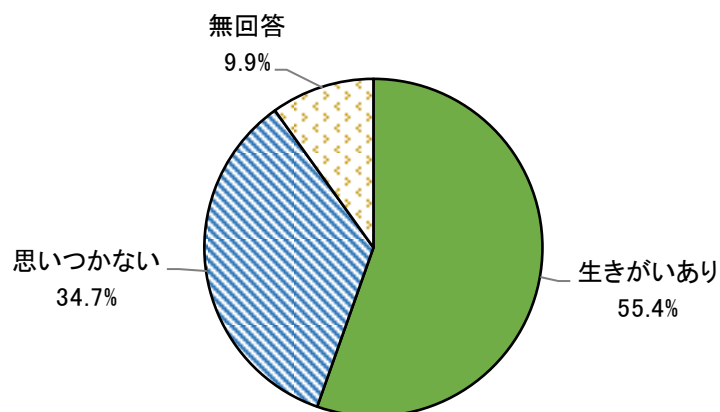
具体的な内容：カラオケ、園芸、家庭菜園、手芸、ゴルフ、釣り、読書、旅行、パソコン

(5) 生きがいについて

問41 生きがいはありますか。(○印は1つだけ)

生きがいについて、「生きがいあり」が55.4%、「思いつかない」が34.7%となっています。

(n=1,530)



具体的な内容：健康、孫・ひ孫の成長、友達と会う、家庭菜園、旅行、仕事

## 6 地域での活動について

### (1) グループ活動等の参加頻度

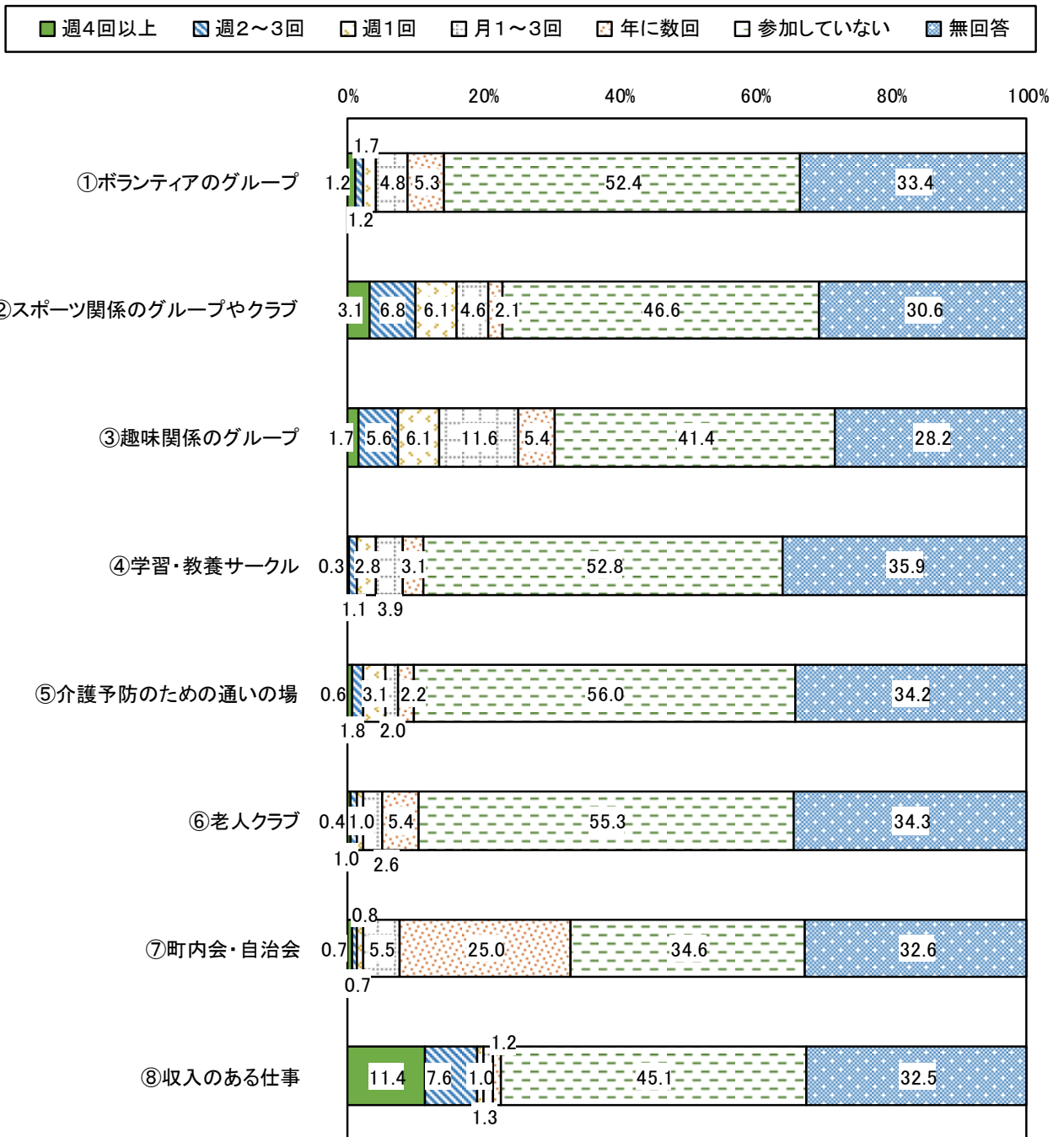
問42 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(①～⑧それぞれ○印は1つだけ)

グループ活動等にどのくらいの頻度で参加しているかは、「⑦町内会・自治会」の参加状況が比較的高く、「参加していない」を除いて、約3割が参加しています。

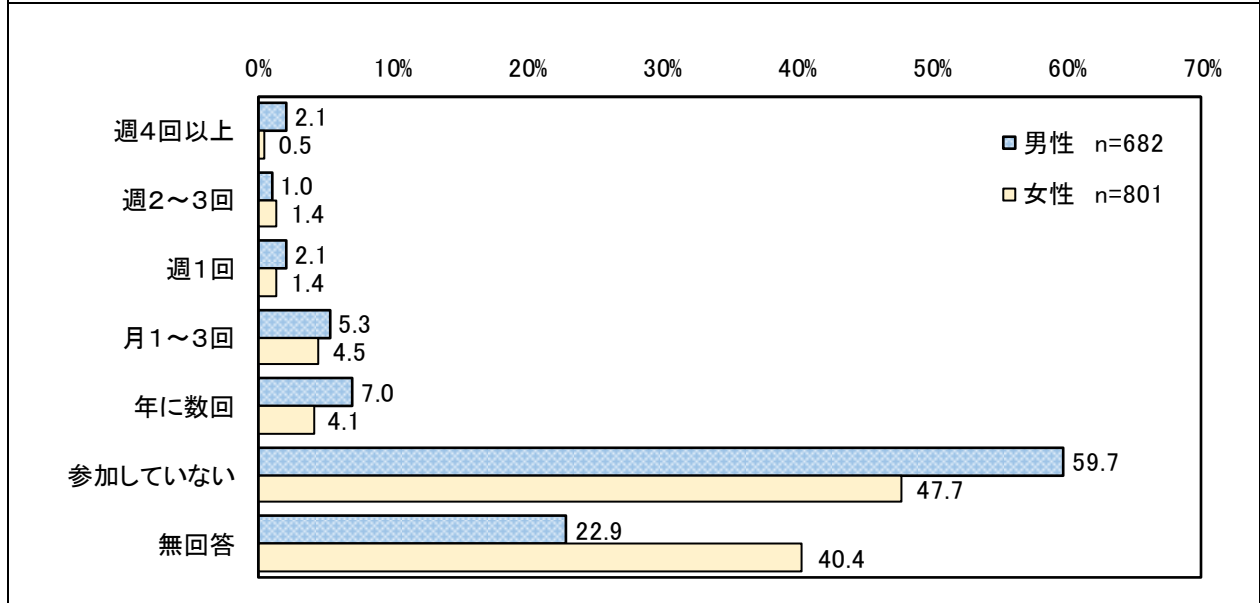
また、「参加していない」という回答が最も多かったのは、「⑤介護予防のための通いの場」(56.0%)となっています。

(n=1,530)



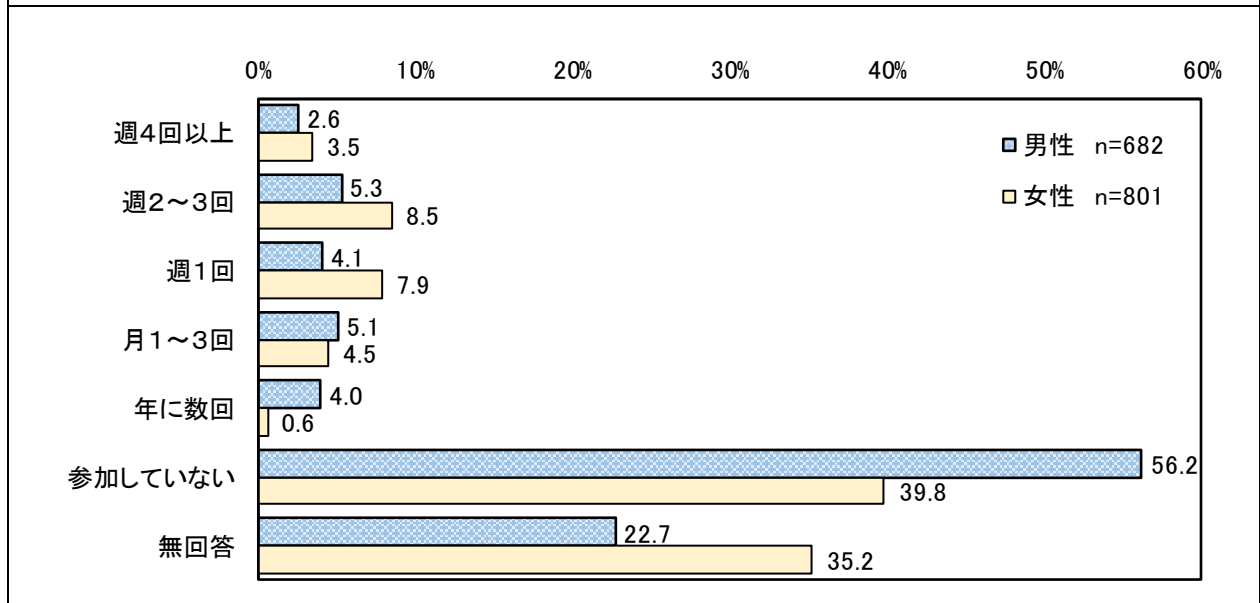
○男女別グループ活動等の参加頻度（ボランティアのグループ）

ボランティアのグループの参加頻度を男女別にみると、男性は全体の17.5%、女性は全体の11.9%が活動に参加しています。



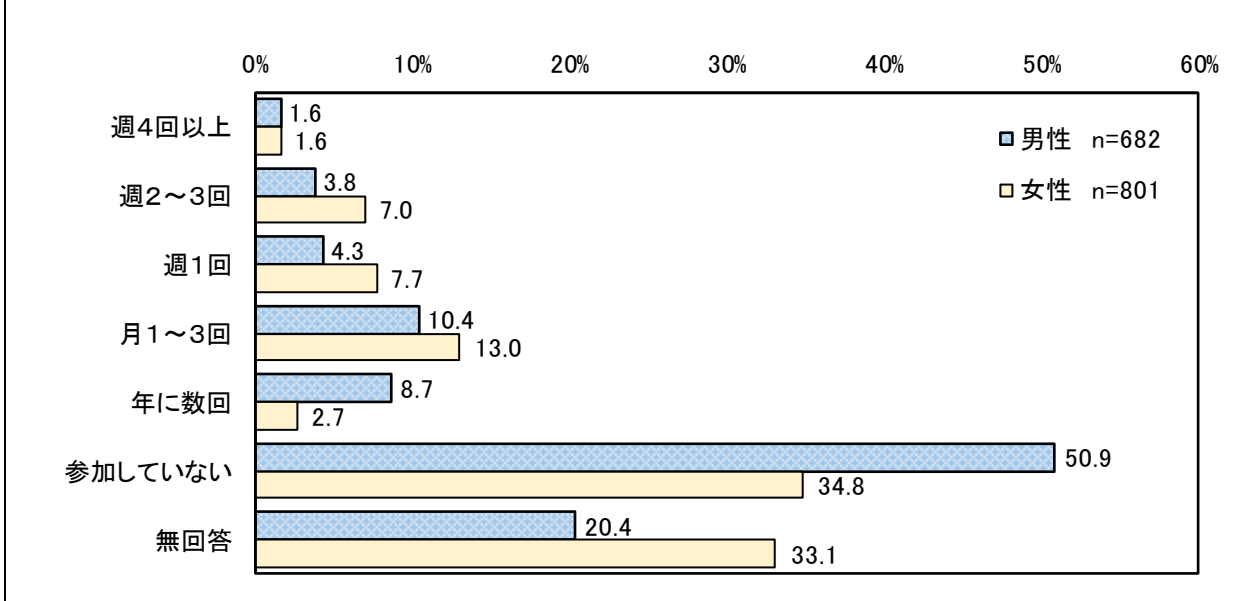
○男女別グループ活動等の参加頻度（スポーツ関係のグループやクラブ）

スポーツ関係のグループやクラブの参加頻度を男女別にみると、男性は全体の21.1%、女性は全体の25.0%が活動に参加しています。



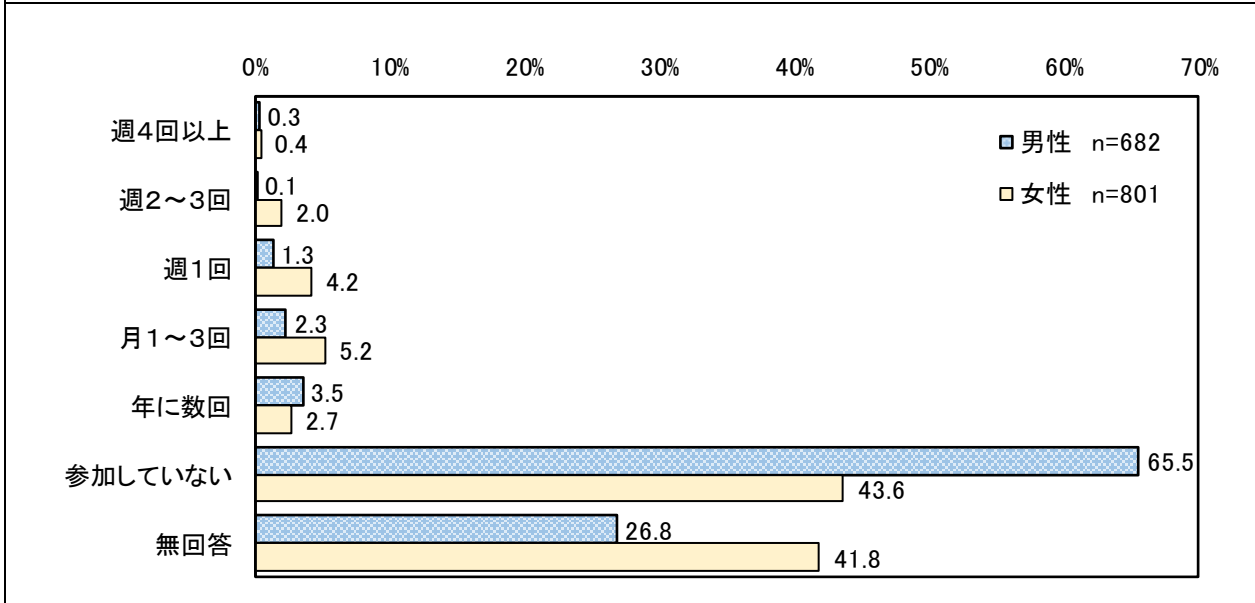
○男女別グループ活動等の参加頻度（趣味関係のグループ）

趣味関係のグループの参加頻度を男女別にみると、男性は全体の 28.8%、女性は全体の 32.0%が活動に参加しています。



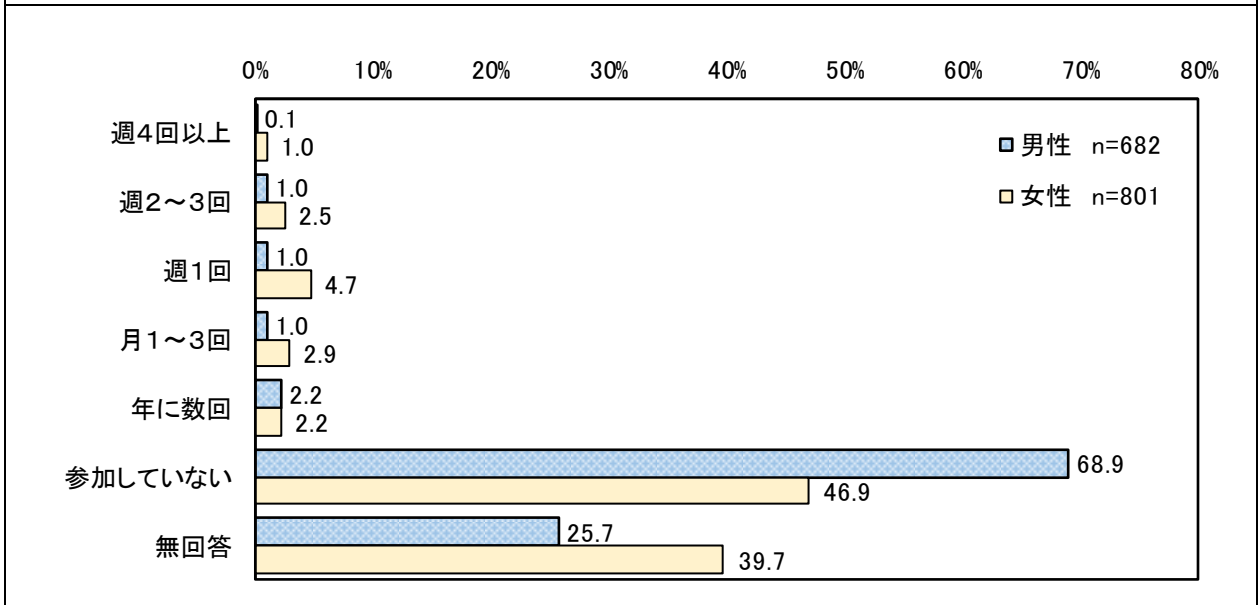
○男女別グループ活動等の参加頻度（学習・教養サークル）

学習・教養サークルの参加頻度を男女別にみると、男性は全体の 7.5%、女性は全体の 14.5%が活動に参加しています。



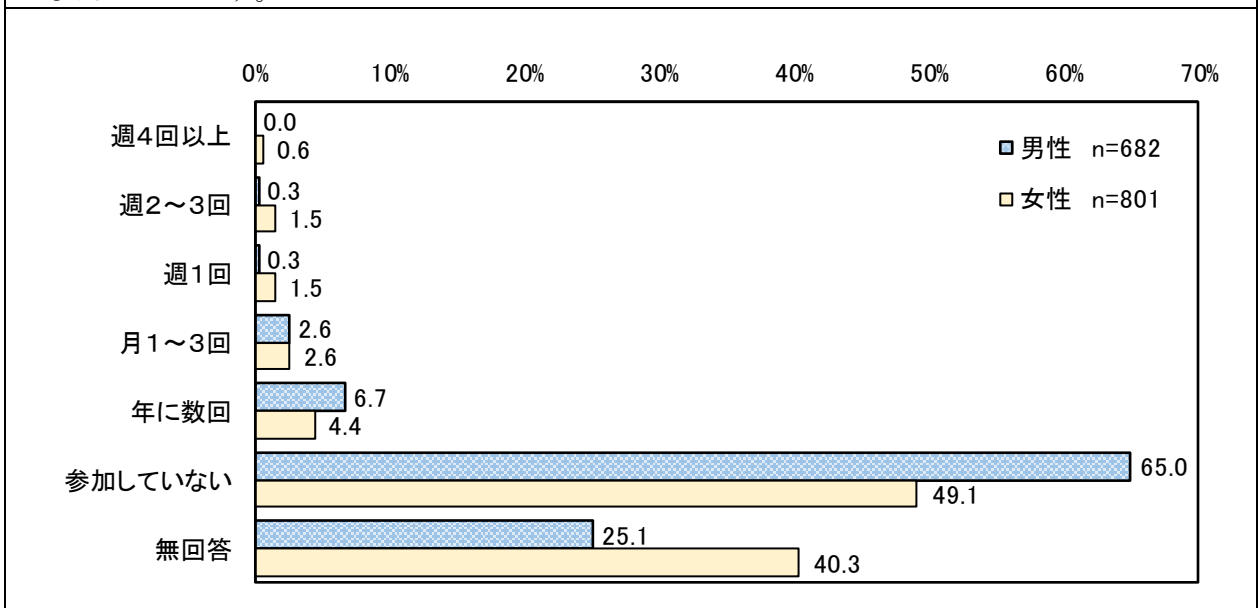
○男女別グループ活動等の参加頻度（介護予防のための通いの場）

介護予防のための通いの場の参加頻度を男女別にみると、男性は全体の 5.3%、女性は全体の 13.3%が活動に参加しています。



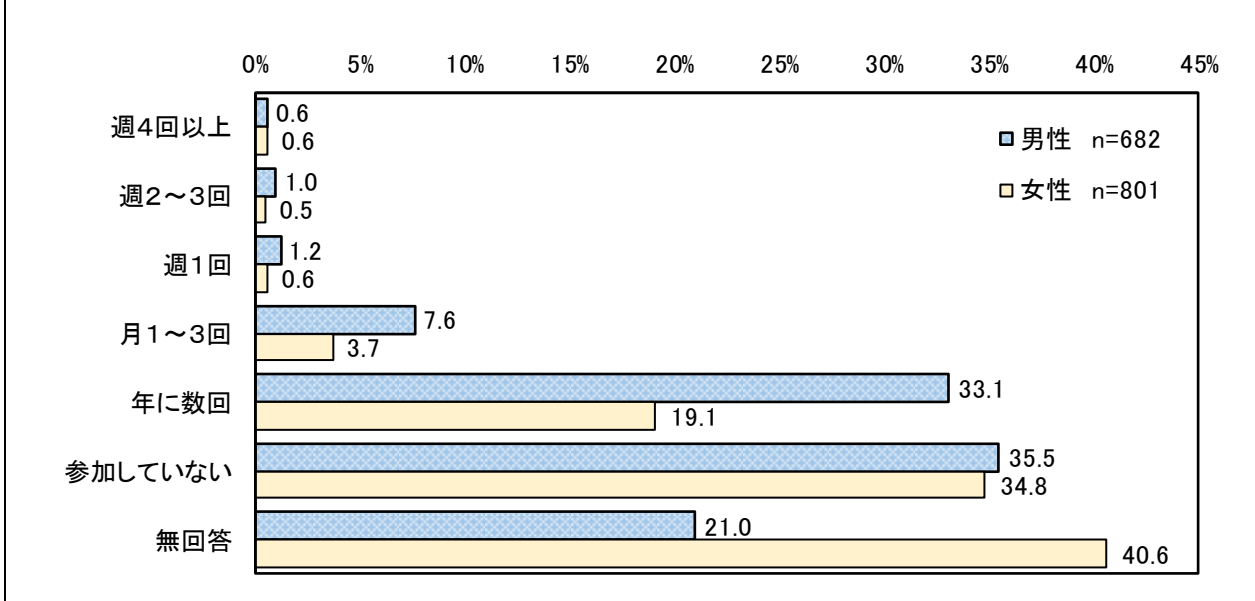
○男女別グループ活動等の参加頻度（老人クラブ）

老人クラブの参加頻度を男女別にみると、男性は全体の 9.9%、女性は全体の 10.6%が活動に参加しています。



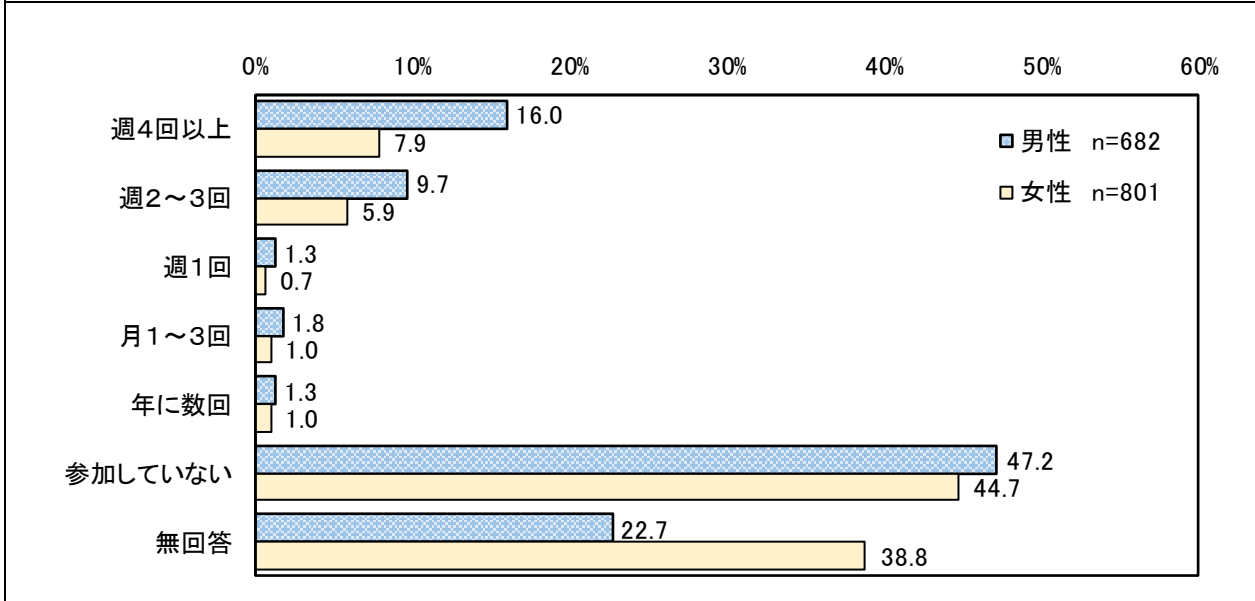
○男女別グループ活動等の参加頻度（町内会・自治会）

町内会・自治会の参加頻度を男女別にみると、男性は全体の 43.5%、女性は全体の 24.5%が活動に参加しています。



○男女別グループ活動等の参加頻度（収入のある仕事）

収入のある仕事の参加頻度を男女別にみると、男性は全体の 30.1%、女性は全体の 16.5%が活動に参加しています。

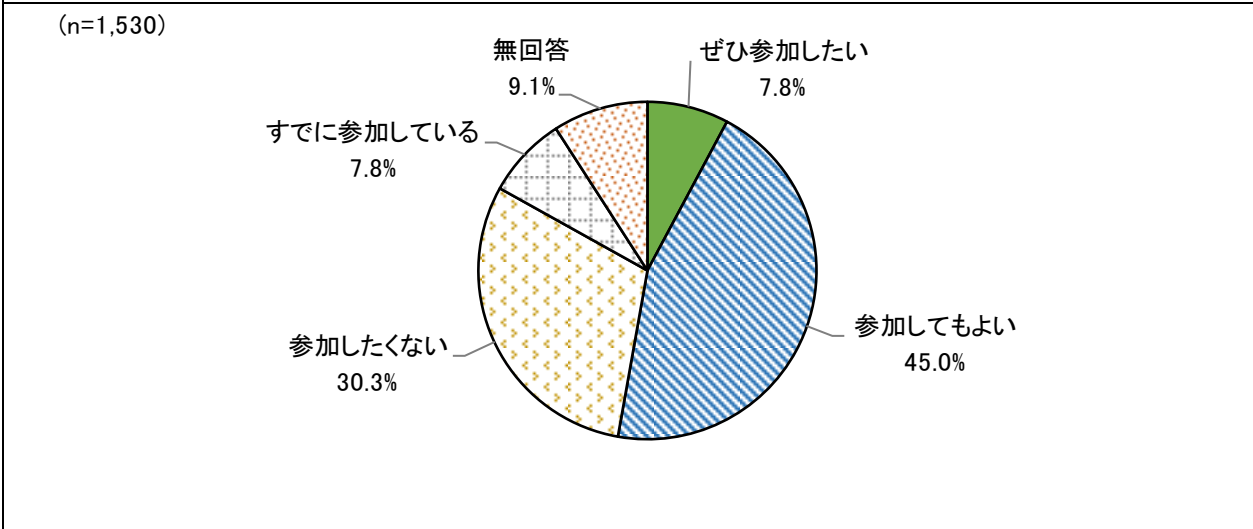




(2) 社会参加について

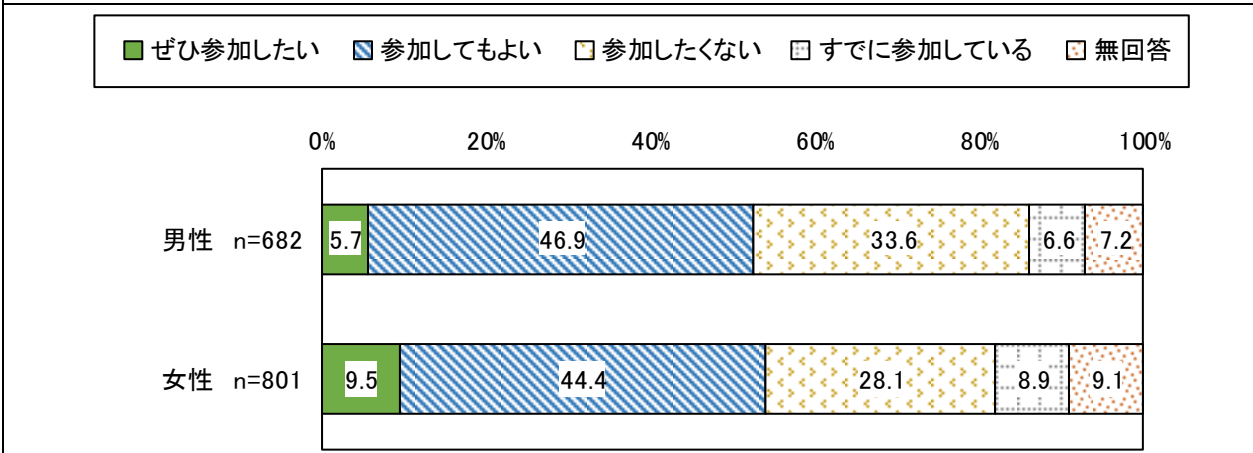
問43 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○印は1つだけ)

地域づくりの活動に参加者として参加してみたいと思うかは、「ぜひ参加したい」が7.8%、「参加してもよい」が45.0%、「参加したくない」が30.3%、「すでに参加している」が7.8%となっています。



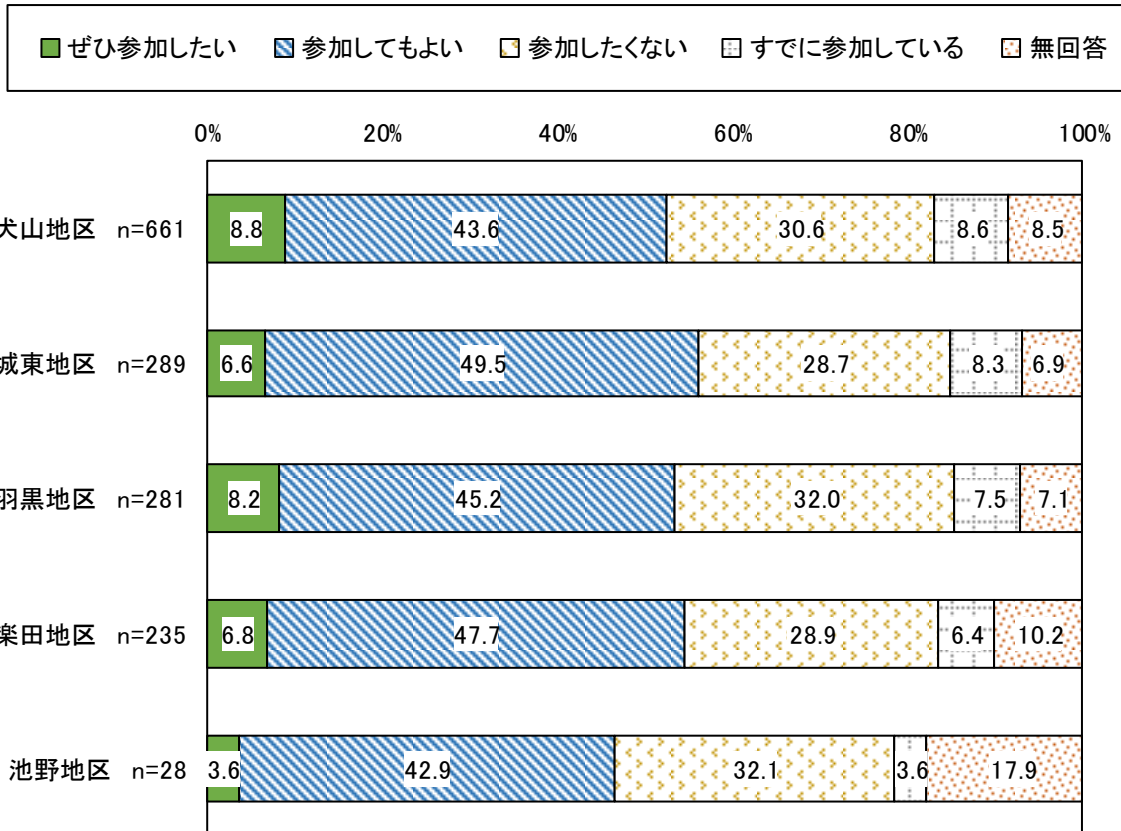
○男女別参加意向

参加意向を男女別にみると、「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」の合計が、男性は52.6%、女性は53.9%となっています。



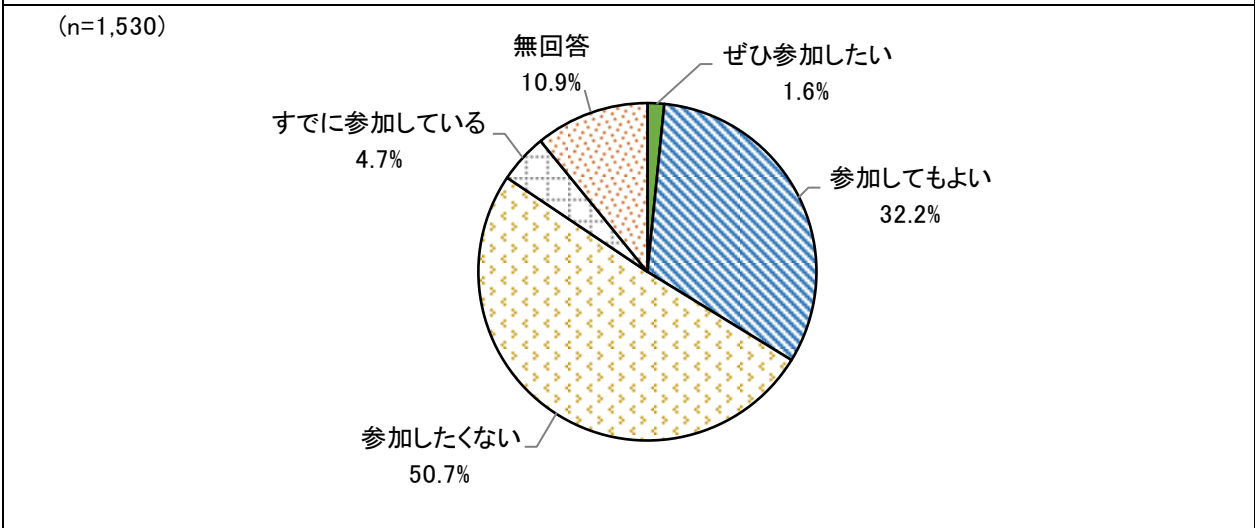
○地区別参加意向

参加意向を居住地区別にみると、「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」の合計が、「犬山地区」は 52.4%、「城東地区」は 56.1%、「羽黒地区」は 53.4%、「楽田地区」は 54.5%、「池野地区」は 46.5%となっています。



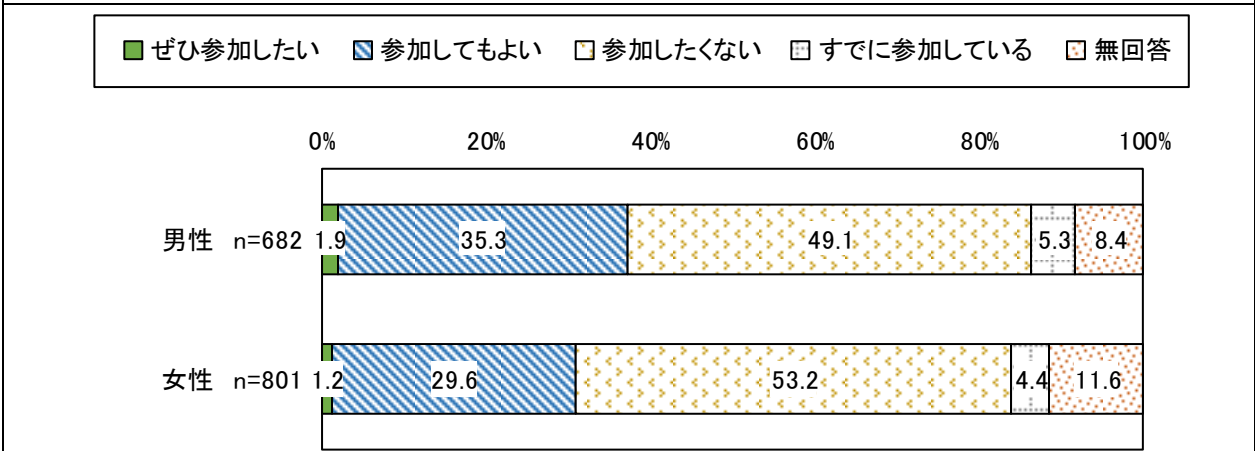
問4 4 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○印は1つだけ）

地域づくりの活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うかは、「ぜひ参加したい」が1.6%、「参加してもよい」が32.2%、「参加したくない」が50.7%、「すでに参加している」が4.7%となっています。



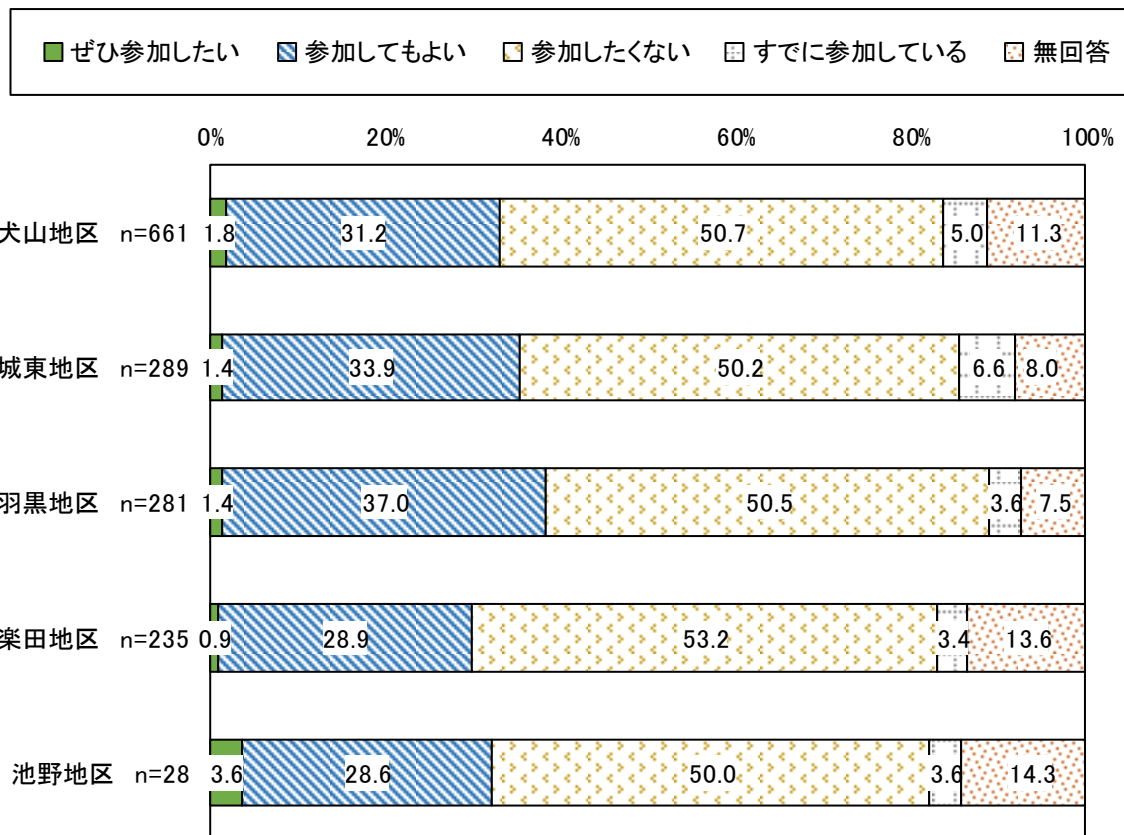
○男女別参加意向

参加意向を男女別にみると、「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」の合計が、男性は37.2%、女性は30.8%となっています。



○地区別参加意向

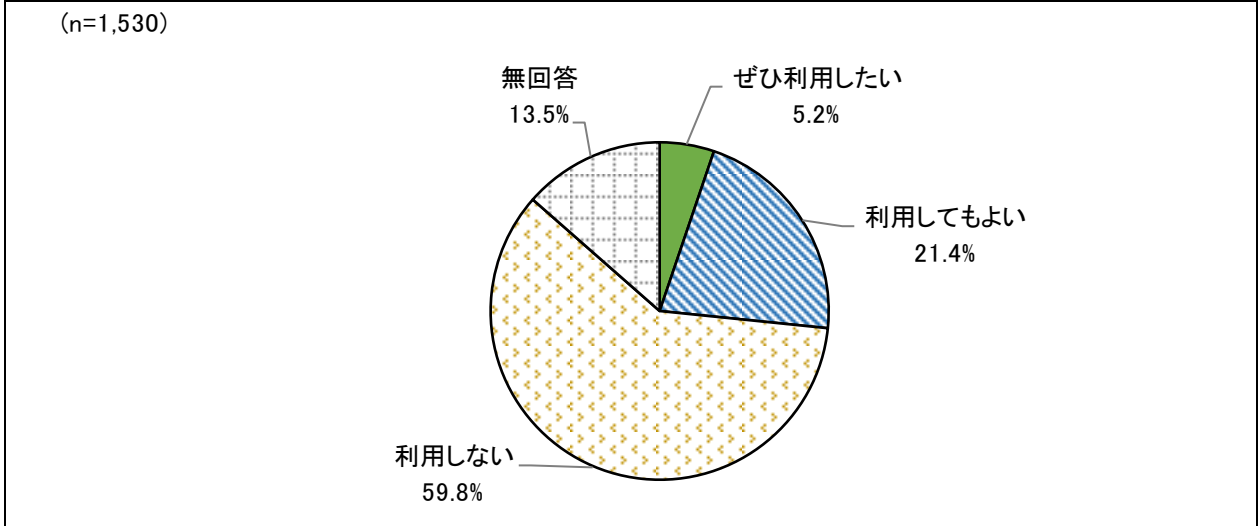
参加意向を居住地区別にみると、「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」の合計が、「犬山地区」は 33.0%、「城東地区」は 35.3%、「羽黒地区」は 38.4%、「楽田地区」は 29.8%、「池野地区」は 32.2%となっています。



(3) ボランティアによる支援について

問45 地域のボランティアの方が自宅へ訪問し、生活支援等の手助けをしてくれるとしたら、あなたは利用しますか。(○印は1つだけ)

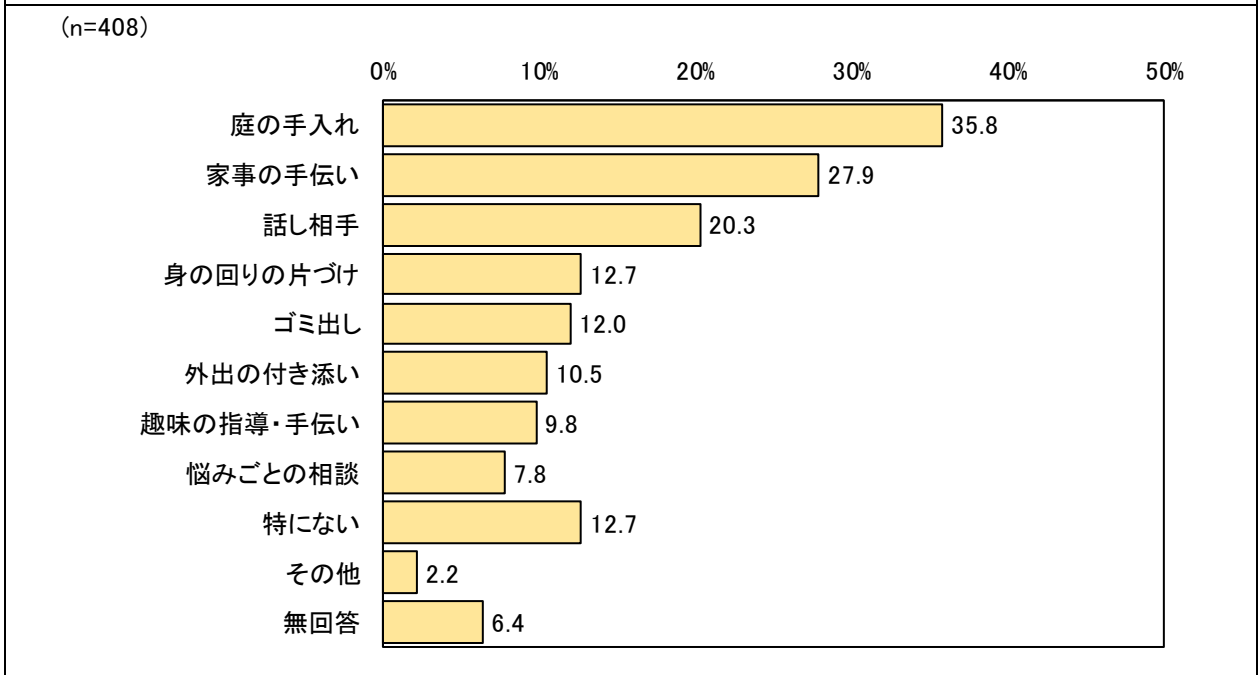
地域のボランティアによる手助けの利用は、「ぜひ利用したい」が5.2%、「利用してもよい」が21.4%、「利用しない」が59.8%となっています。



問45-1 どのようなことについて手助けを求めたいと思いますか。(○印は3つまで)

問45で「1. ぜひ利用したい」、「2. 利用してもよい」と回答した方に、どのようなことについて手助けを求めたいかを尋ねると、「庭の手入れ」が35.8%で最も多く、次いで「家事の手伝い」が27.9%、「話し相手」が20.3%、「身の回りの片づけ」が12.7%、「ゴミ出し」が12.0%などとなっています。

また、「特にない」が12.7%となっています。



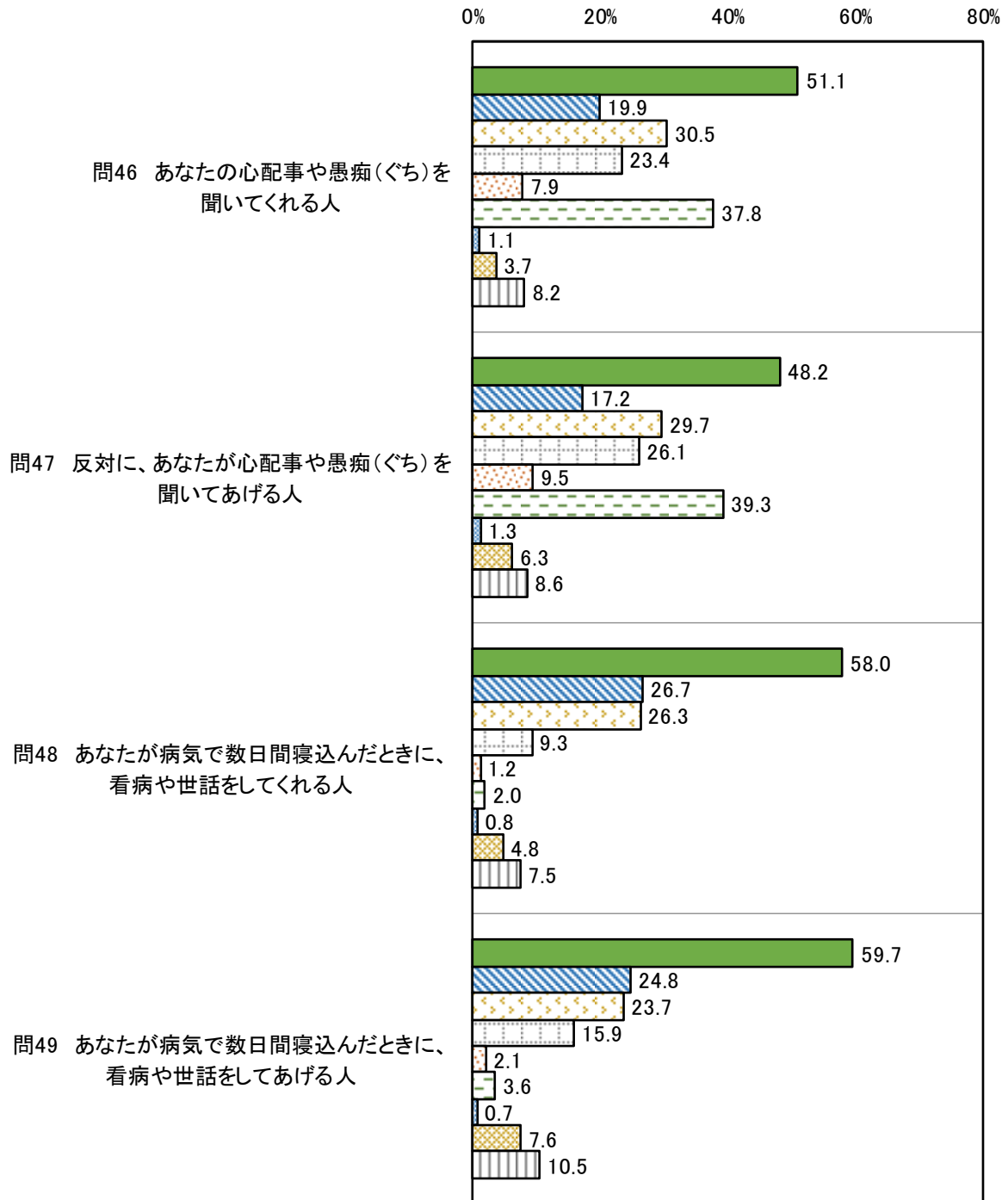
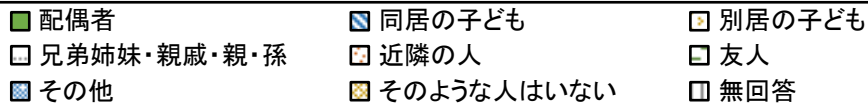
## 7 たすけあいについて

### (1) 「たすけあい」について

問46～問49 あなたとまわりの人の「たすけあい」について。(○はいくつでも)

あなたとまわりの人の「たすけあい」について、全ての項目において「配偶者」という回答が最も多くなっています。

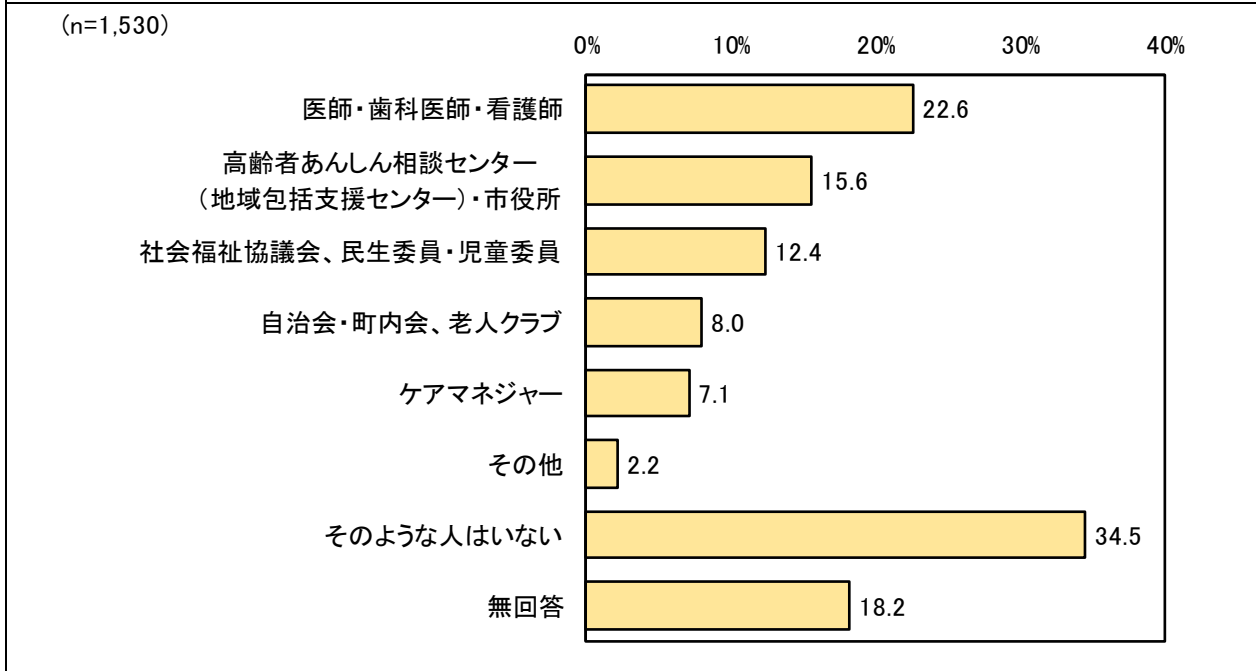
(n=1,530)



(2) 家族や友人・知人以外の相談相手

問50 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する人を教えてください。  
(○印はいくつでも)

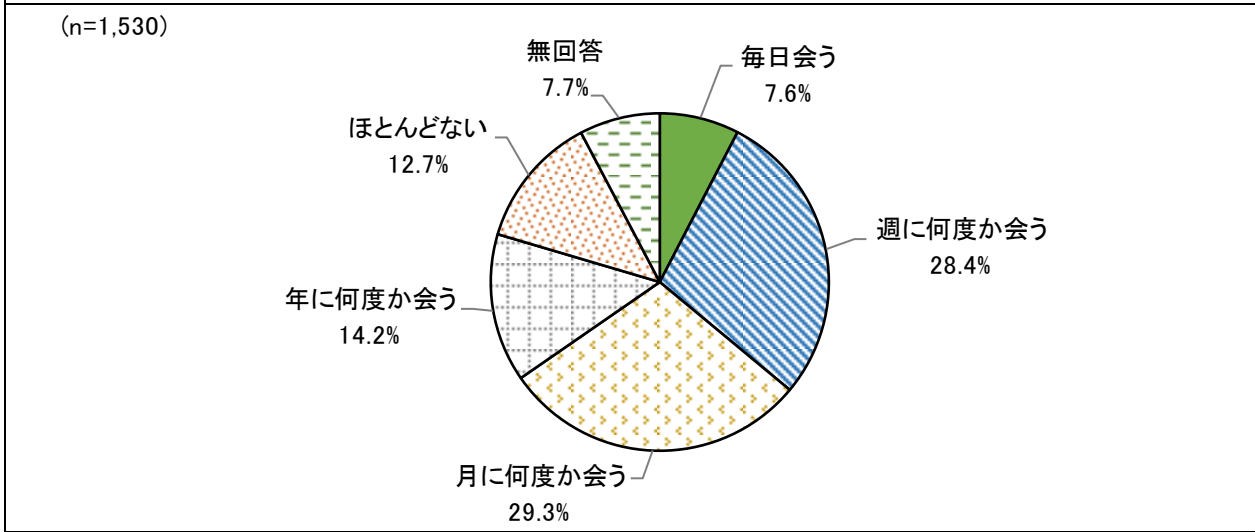
家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は、「医師・歯科医師・看護師」が22.6%で最も多く、次いで「高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）・市役所」が15.6%、「社会福祉協議会・民生委員・児童委員」が12.4%、「自治会・町内会、老人クラブ」が8.0%、「ケアマネジャー」が7.1%などとなっています。  
また、「そのような人はいない」が34.5%となっています。



(3) 友人関係について

問5 1 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○印は1つだけ)

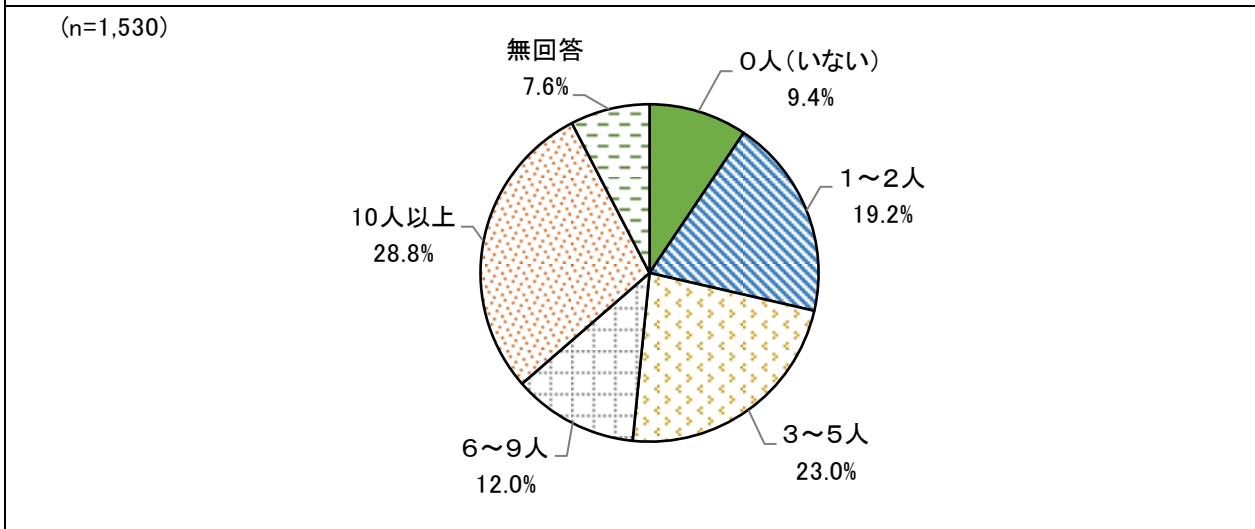
友人・知人と会う頻度は、「毎日会う」が 7.6%、「週に何度か会う」が 28.4%、「月に何度か会う」が 29.3%、「年に何度か会う」が 14.2%、「ほとんどない」が 12.7%となっています。



問5 2 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。

(同じ人には何度会っても1人と数えることとします) (○印は1つだけ)

この1か月間に会った友人・知人の人数は、「0人(いない)」が 9.4%、「1~2人」が 19.2%、「3~5人」が 23.0%、「6~9人」が 12.0%、「10人以上」が 28.8%となっています。

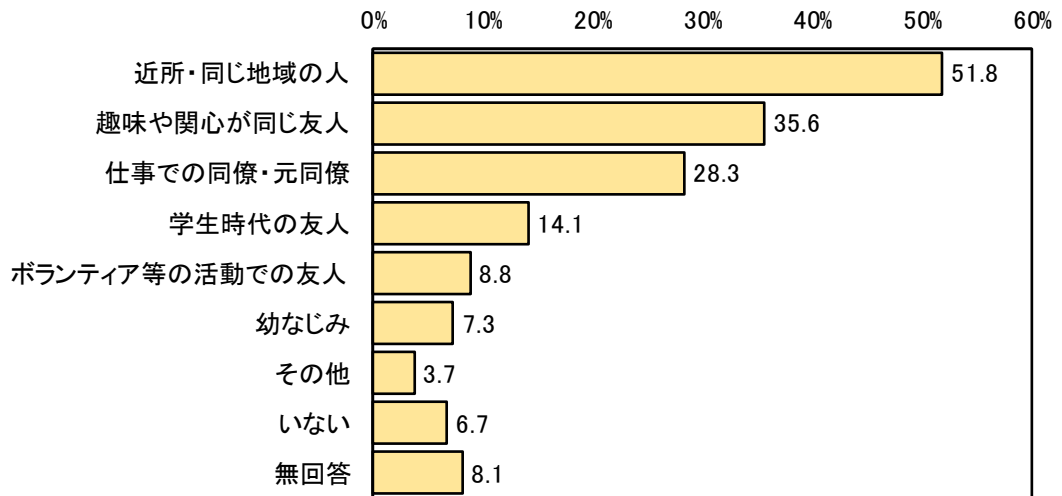




問53 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇印はいくつでも)

よく会う友人・知人の関係は、「近所・同じ地域の人」が51.8%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が35.6%、「仕事での同僚・元同僚」が28.3%、「学生時代の友人」が14.1%、「ボランティア等の活動での友人」が8.8%などとなっています。

(n=1,530)



## 8 健康について

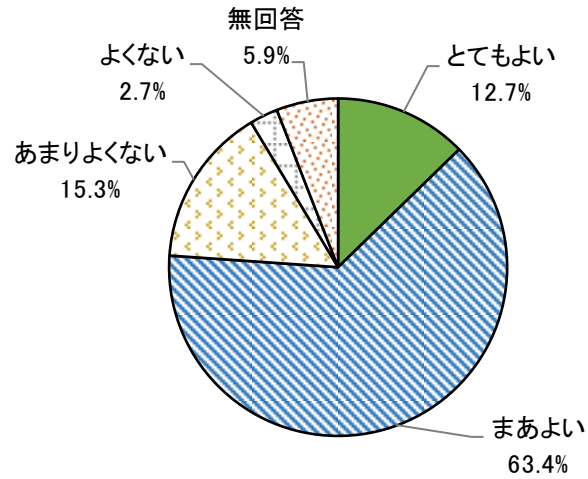
### (1) 健康状態について

問54 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○印は1つだけ)

現在の健康状態は、「とてもよい」(12.7%)、「まあよい」(63.4%)を合わせると、76.1%が健康状態はよいと回答しています。

また、「よくない」(2.7%)、「あまりよくない」(15.3%)を合わせると、18.0%が健康状態はよくないと回答しています。

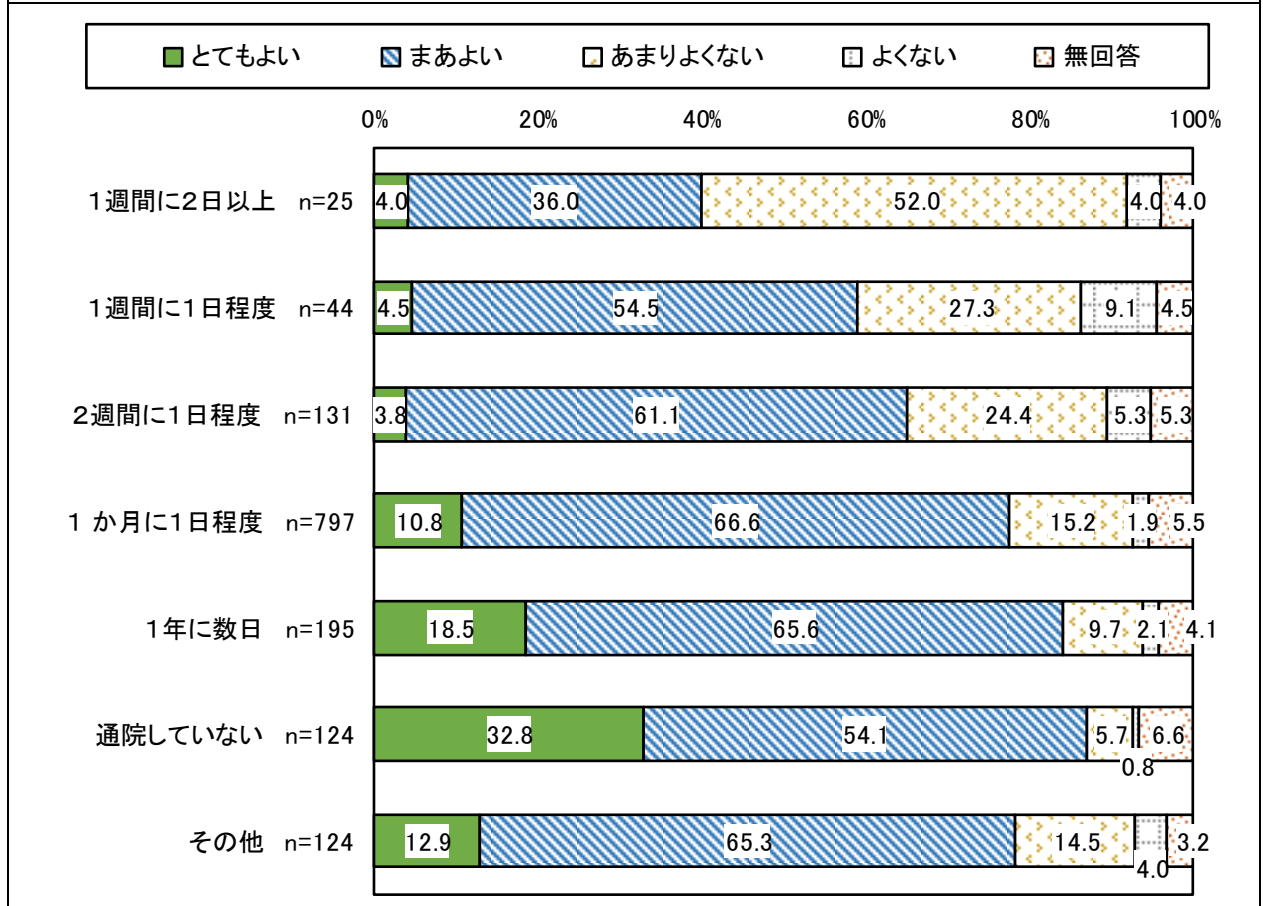
(n=1,530)



○通院頻度別健康状態

現在の健康状態を通院頻度別にみると、通院頻度が上がるにつれて「よくない」と「あまりよくない」の合計の割合が大きくなっていき、通院頻度が「1週間に2日以上」では56.0%となっています。

また、「通院していない」の「とてもよい」と「まあよい」の合計は86.9%となっています。



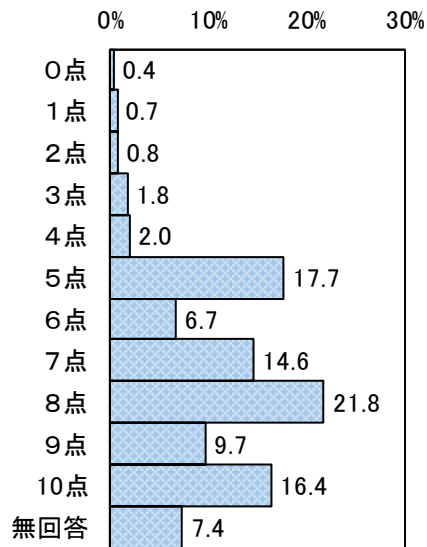
(2) 幸せの程度について

問55 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○印は1つだけ)

「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。

現在どの程度幸せかは、「8点」が21.8%で最も多く、次いで「5点」が17.7%、「10点」が16.4%、「7点」が14.6%、「9点」が9.7%などとなっています。  
また、平均すると「7.3点」となります。

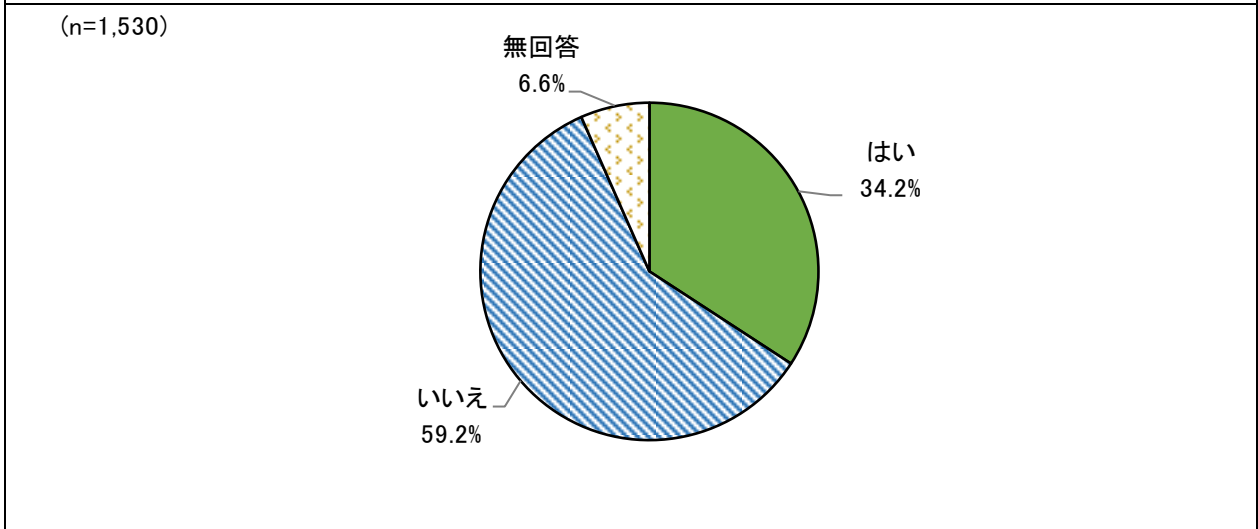
(n=1,530)



(3) こころの健康について

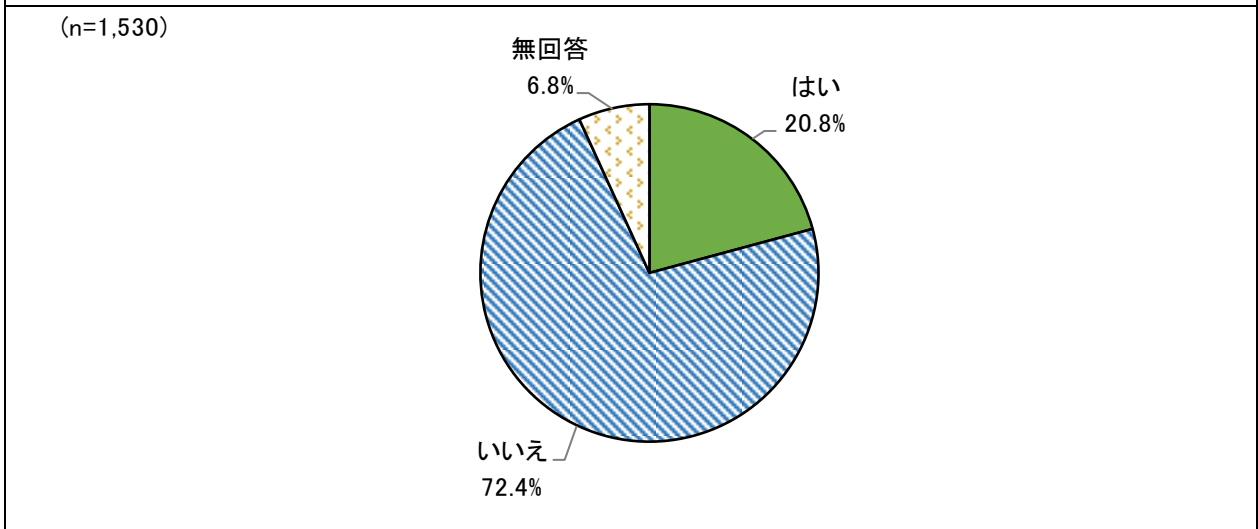
問56 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○印は1つだけ)

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかは、「はい」が34.2%、「いいえ」が59.2%となっています。



問57 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○印は1つだけ)

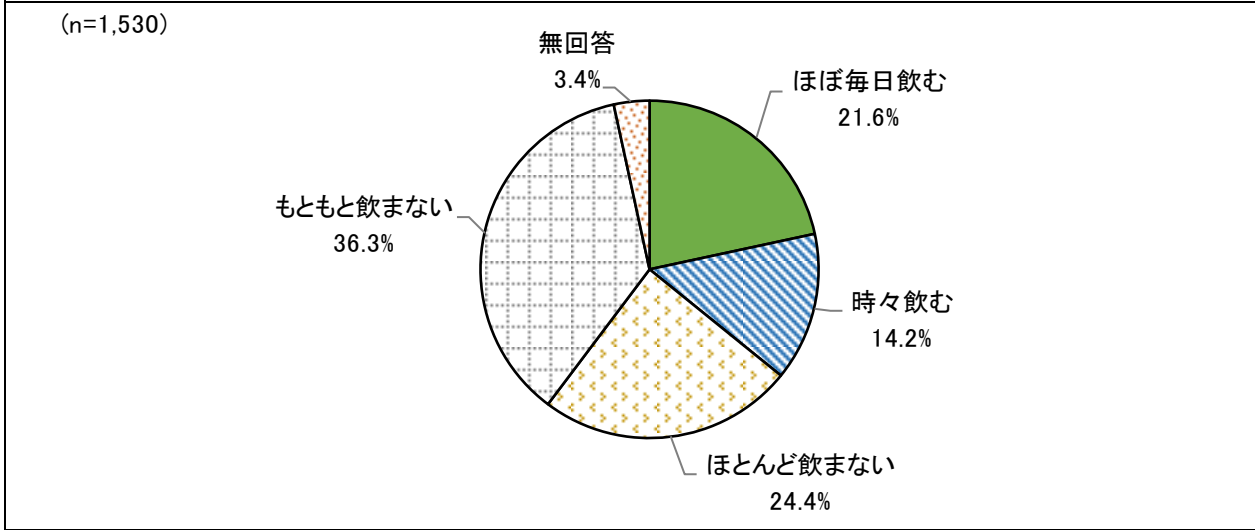
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかは、「はい」が20.8%、「いいえ」が72.4%となっています。



(4) 飲酒について

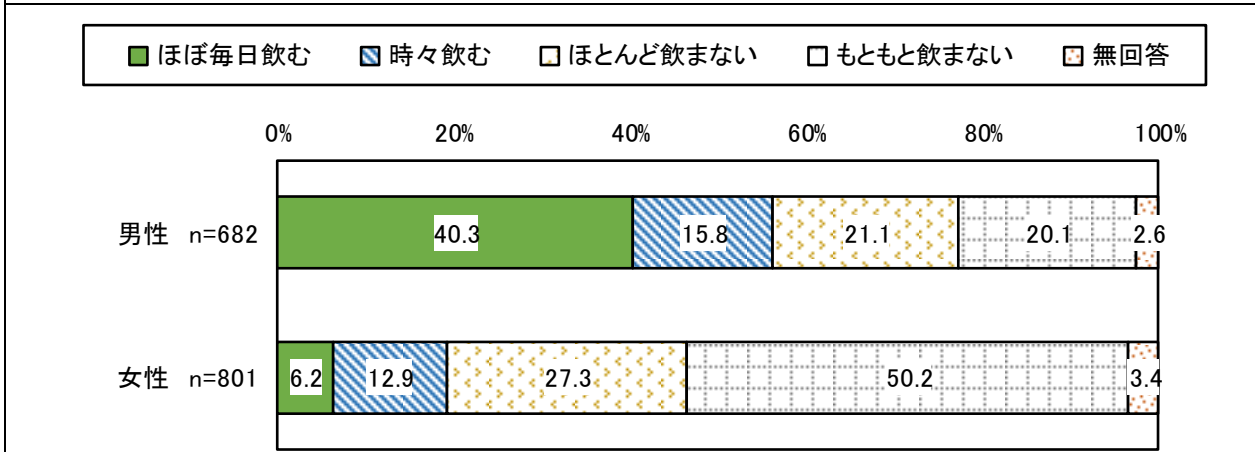
問58 お酒は飲みますか。(○印は1つだけ)

飲酒について、「ほぼ毎日飲む」が21.6%、「時々飲む」が14.2%、「ほとんど飲まない」が24.4%、「もともと飲まない」が36.3%となっています。



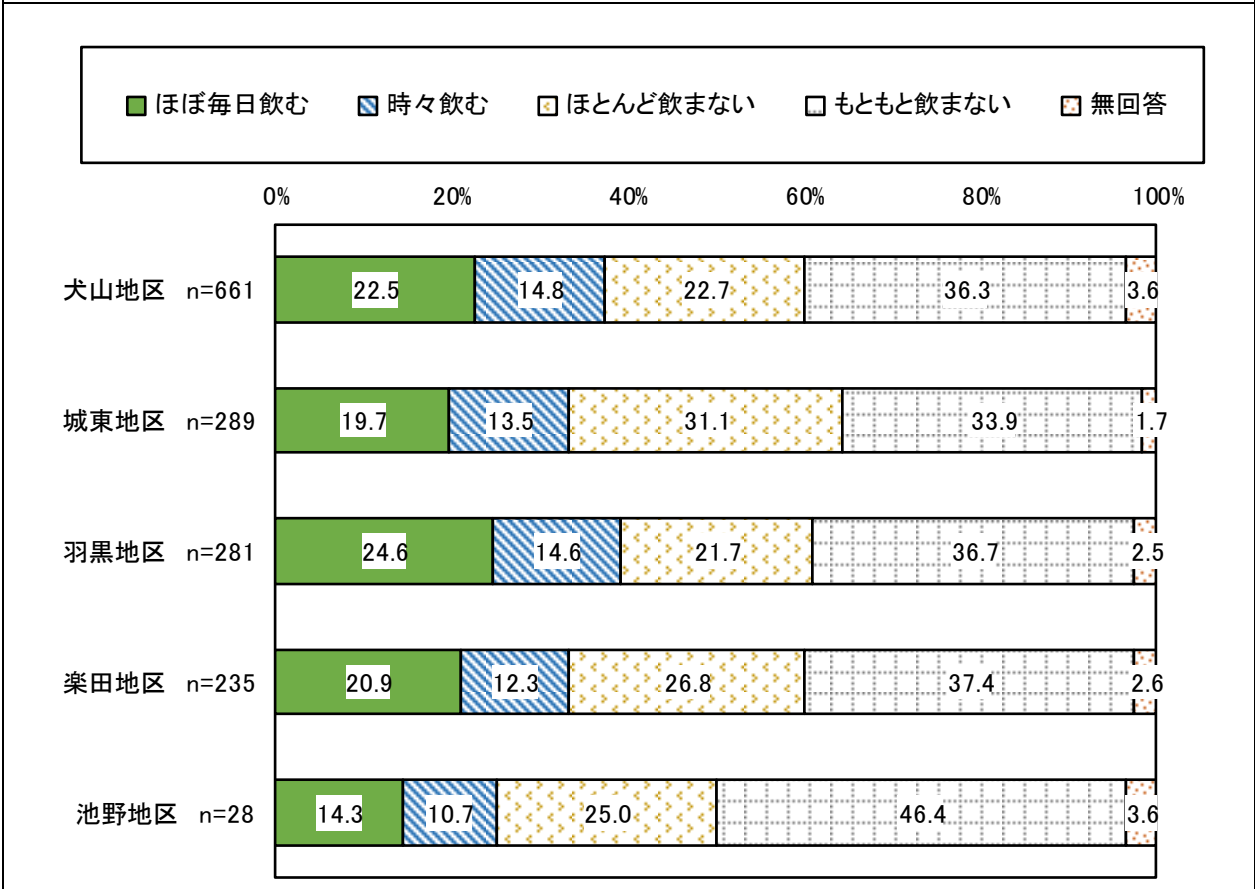
○男女別飲酒について

飲酒について男女別にみると、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」の合計は「男性」が56.1%、「女性」19.1%となっています。



○地区別飲酒について

飲酒について居住地区別にみると、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」の合計が最も多いのは、「羽黒地区」(39.2%)となっており、次いで「犬山地区」(37.3%)、「城東地区」と「楽田地区」(ともに33.2%)、「池野地区」(25.0%)となっています。

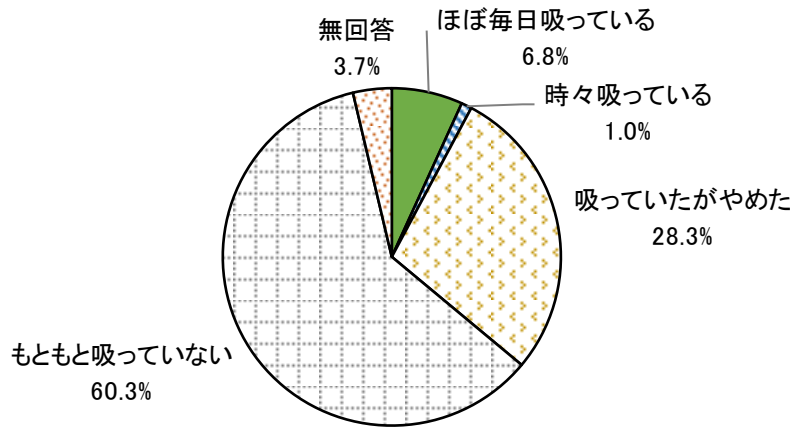


(5) 喫煙について

問59 タバコは吸っていますか。(○印は1つだけ)

喫煙について、「ほぼ毎日吸っている」が6.8%、「時々吸っている」が1.0%、「吸っていたがやめた」が28.3%、「もともと吸っていない」が60.3%となっています。

(n=1,530)

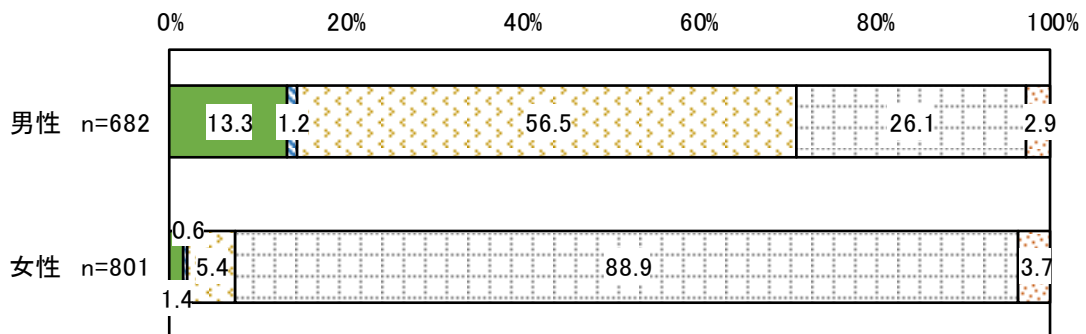


○男女別喫煙について

喫煙について男女別にみると、「男性」では、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」の合計が14.5%、「吸っていたがやめた」が56.5%となっています。

また、「女性」では、「もともと吸っていない」が88.9%となっています。

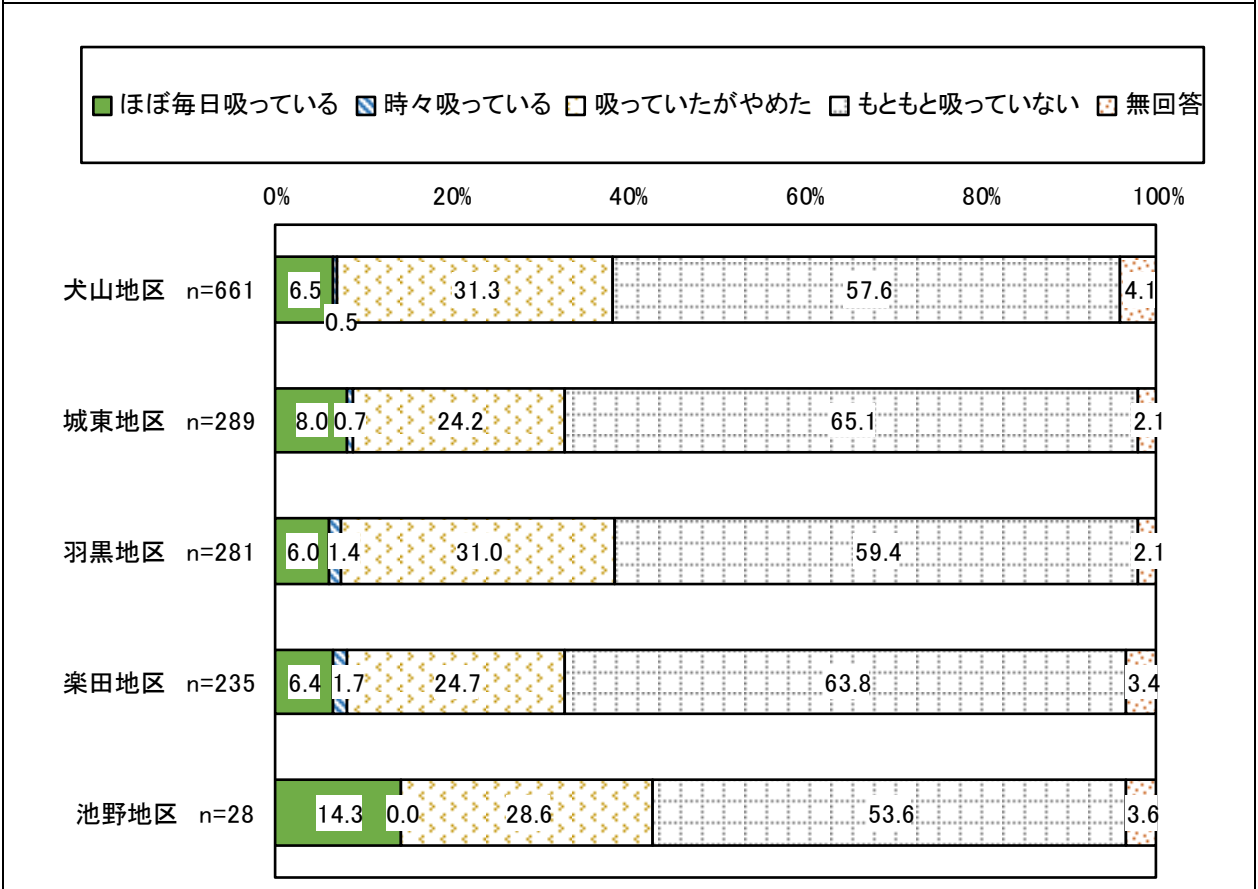
■ ほぼ毎日吸っている ■ 時々吸っている ■ 吸っていたがやめた □ もともと吸っていない □ 無回答





○地区別喫煙について

喫煙について居住地区別にみると、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」の合計が最も多いのは、「池野地区」(14.3%)となっており、次いで「城東地区」(8.7%)、「楽田地区」(8.1%)、「羽黒地区」(7.4%)、「犬山地区」(7.0%)となっています。



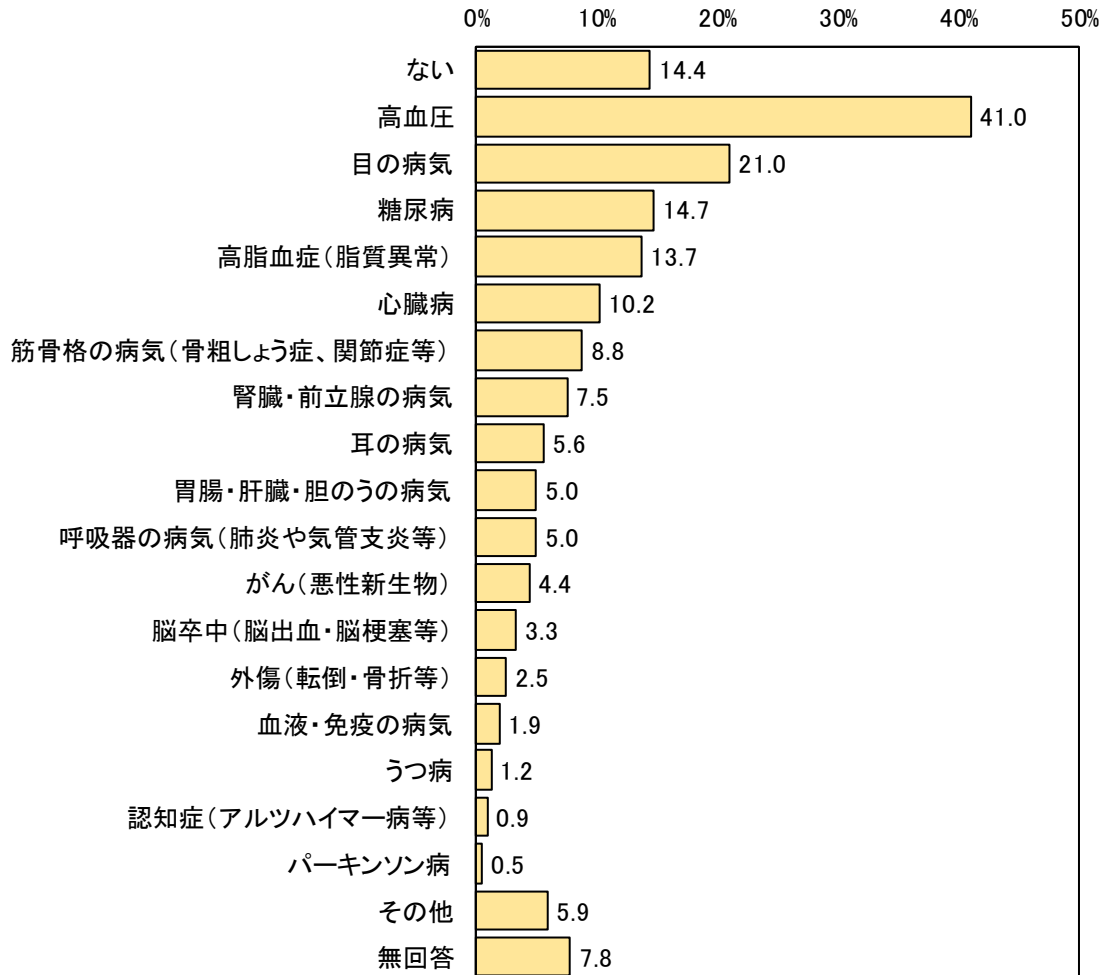
(6) 治療中、または後遺症のある病気

問60 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇印はいくつでも)

現在治療中もしくは後遺症のある病気は、「高血圧」が41.0%で最も多く、次いで「目の病気」が21.0%、「糖尿病」が14.7%、「高脂血症(脂質異常)」が13.7%などとなっています。

また、「ない」が14.4%となっています。

(n=1,530)



○男女別治療中、または後遺症のある病気

	件数	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	(アルツハイマー病等)	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
男性	682	15.7	41.6	4.5	13.6	19.5	12.3	6.5	5.1	14.8	4.1	1.5	4.8	1.5	1.2	1.2	0.3	17.4	6.2	6.3	6.6	
女性	801	13.4	40.6	2.0	7.4	10.7	15.1	4.0	5.0	1.7	13.1	3.5	4.1	2.1	1.1	0.6	0.6	24.6	5.1	5.9	8.2	

治療中、または後遺症のある病気を男女別にみると、男女ともに「高血圧」が最も多くなっています。

○年齢別治療中、または後遺症のある病気

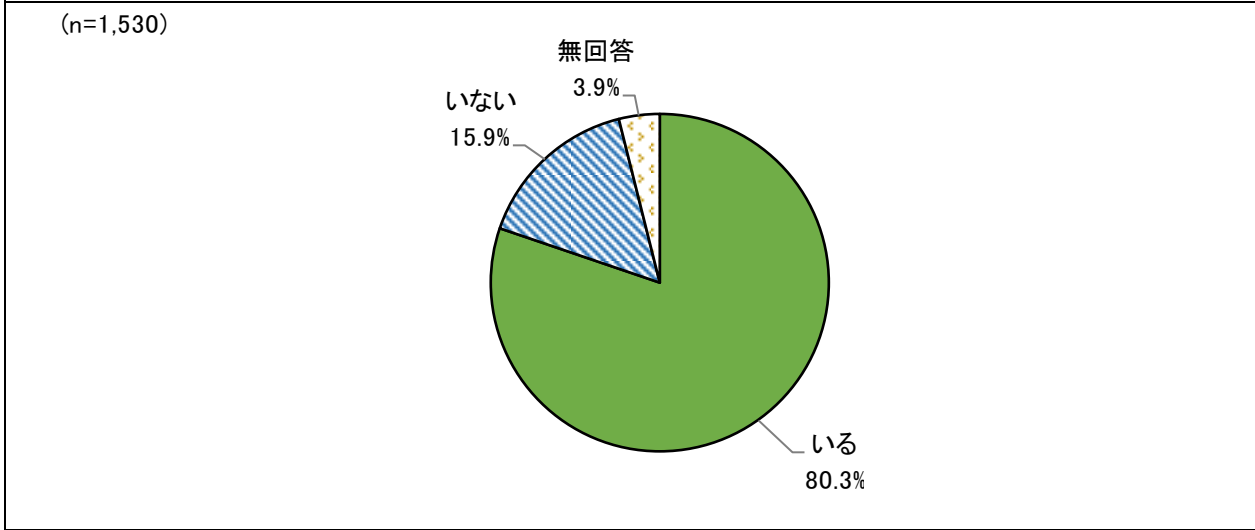
	件数	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	(アルツハイマー病等)	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
65～69歳	340	24.1	32.1	2.4	5.6	13.2	15.9	2.4	5.3	4.7	5.0	0.9	3.5	1.8	1.5	0.0	0.3	15.6	2.6	6.2	7.6	
70～74歳	400	15.5	42.8	3.5	7.8	17.0	15.5	4.8	3.5	6.5	5.5	2.3	3.8	1.3	1.3	0.3	0.3	18.5	3.5	5.5	8.0	
75～79歳	374	11.0	45.5	4.0	11.8	14.2	15.8	5.9	5.6	9.1	11.5	2.1	4.3	2.7	1.3	1.1	0.5	25.1	5.1	6.4	6.4	
80～84歳	234	9.4	44.9	3.4	13.2	16.7	9.4	5.6	7.3	9.8	9.4	3.4	6.4	2.1	1.3	1.7	0.9	23.1	9.4	7.3	7.7	
85歳以上	153	7.2	41.2	2.0	19.0	11.8	4.6	9.2	3.9	10.5	19.0	6.5	5.2	1.3	0.0	3.3	0.7	28.1	13.7	4.6	7.2	

治療中、または後遺症のある病気を年齢別にみると、全ての年齢層で「高血圧」が最も多くなっています。

(7) かかりつけ医師

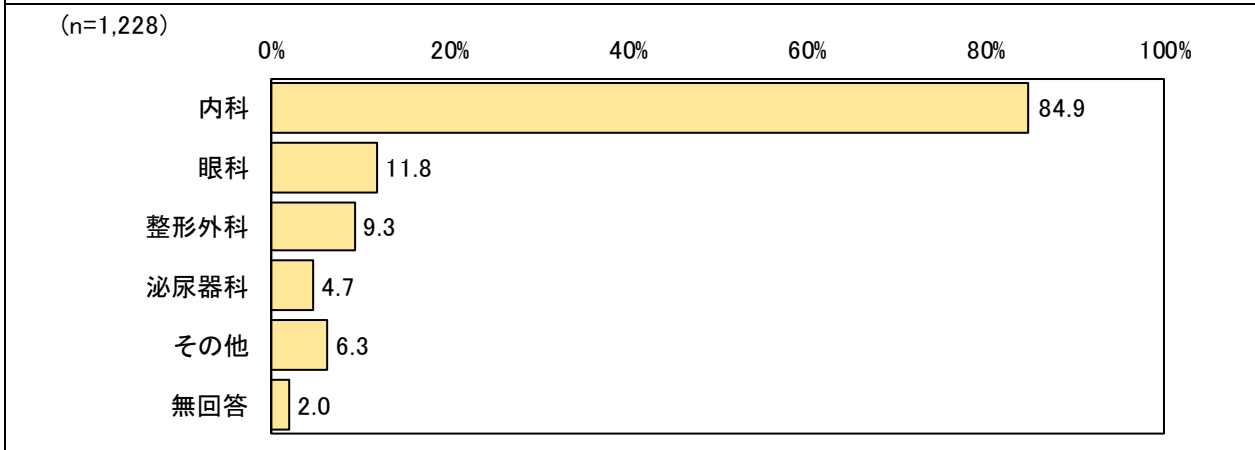
問6 1 相談ができるかかりつけの医師がいますか。(○印は1つだけ)

相談ができるかかりつけの医師は、「いる」が80.3%、「いない」が15.9%となっています。



問6 1-1 診療科をお答えください。(○印は1つだけ)

問6 1で「1. いる」と回答した方に、その診療科を尋ねると、「内科」が84.9%で最も多く、次いで「眼科」が11.8%、「整形外科」が9.3%、「泌尿器科」が4.7%などとなっています。

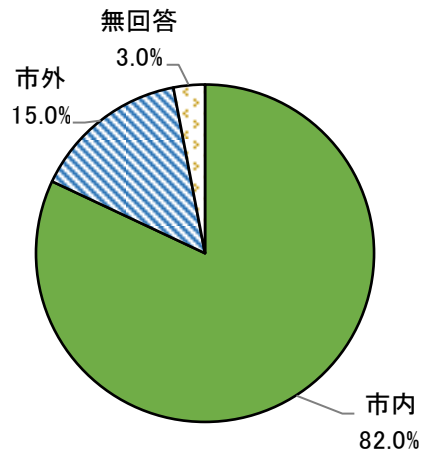


※複数回答された方が多かったので、複数回答として集計しています。

問6 1-2 通院は市内・市外のどちらですか。(○印は1つだけ)

問6 1で「1. いる」と回答した方に、通院している診療科が市内と市外のどちらかを尋ねると、「市内」が82.0%、「市外」が15.0%となっています。

(n=1,228)

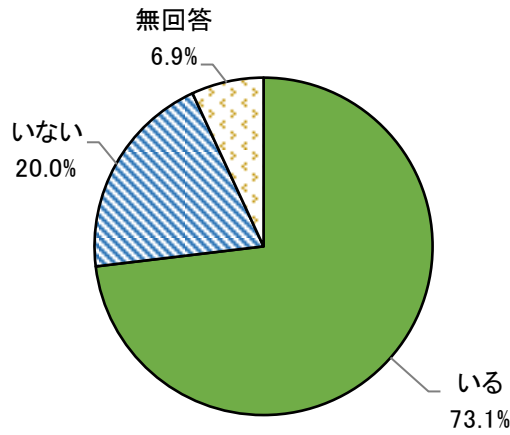


(8) かかりつけ歯科医師

問6 2 相談ができるかかりつけの歯科医師がいますか。(○印は1つだけ)

相談ができるかかりつけの歯科医師は、「いる」が73.1%、「いない」が20.0%となっています。

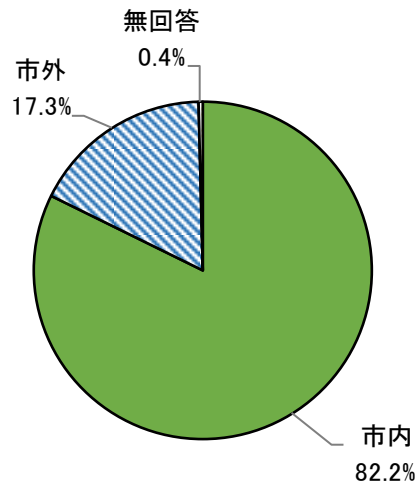
(n=1,530)



問6 2-1 通院している歯科医院は市内・市外のどちらですか。(○印は1つだけ)

問6 2で「1. いる」と回答した方に、通院している歯科医院が市内と市外のどちらかを尋ねると、「市内」が82.2%、「市外」が17.3%となっています。

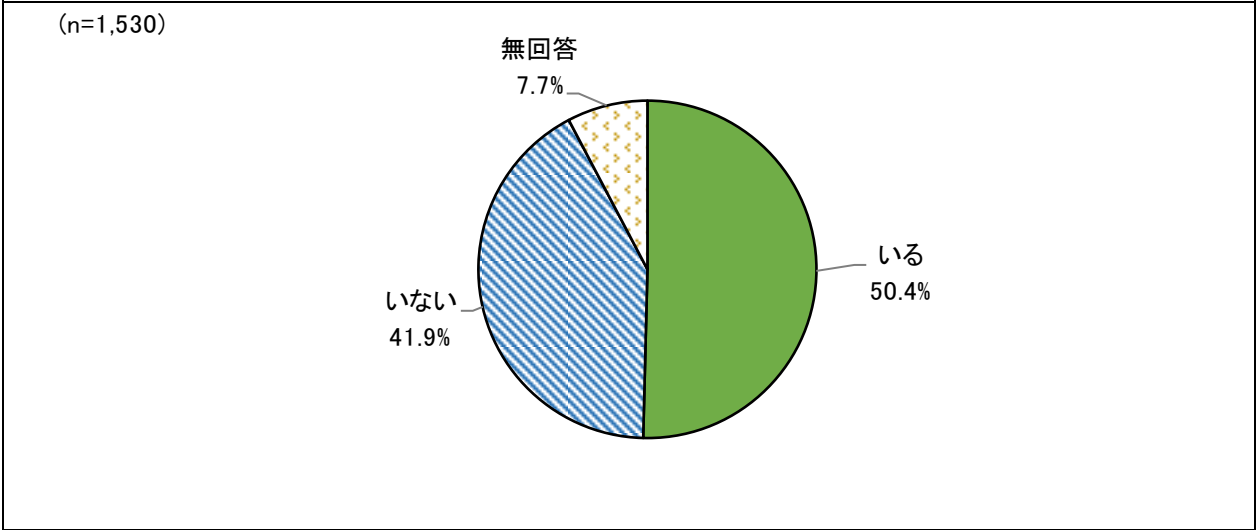
(n=1,119)



(9) かかりつけ薬局・薬剤師

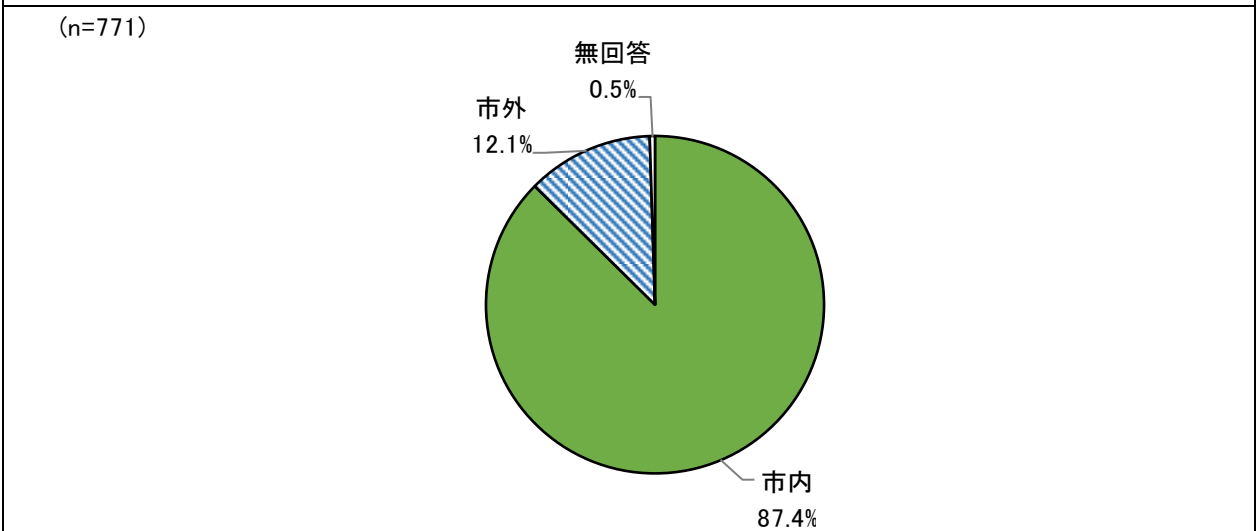
問6-3 相談ができるかかりつけの薬局・薬剤師がいますか。(○印は1つだけ)

相談ができるかかりつけの薬局・薬剤師がいるかは、「いる」が50.4%、「いない」が41.9%となっています。



問6-3-1 通っている薬局・薬剤師は市内・市外のどちらですか。(○印は1つだけ)

問6-3で「1. いる」と回答した方に、通っている薬局・薬剤師が市内と市外のどちらなのかを尋ねると、「市内」が87.4%、「市外」が12.1%となっています。

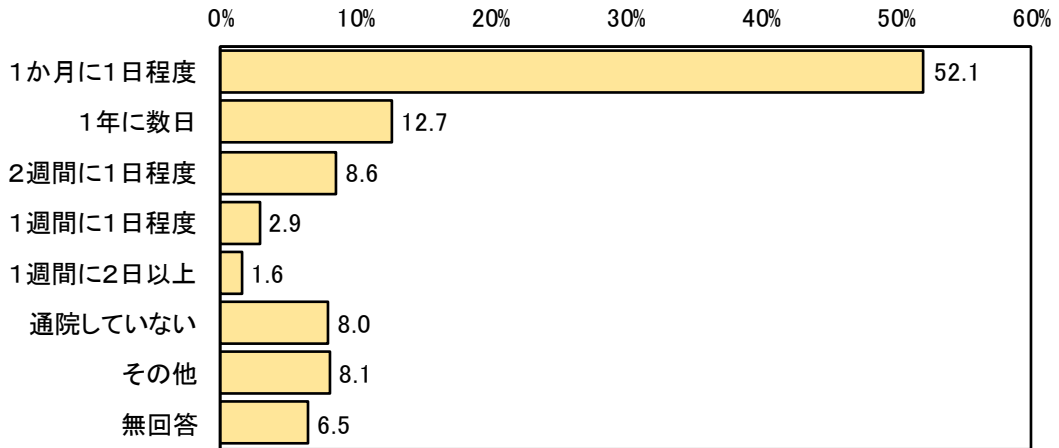


(10) 通院頻度

問64 どのくらいの頻度で通院していますか。(○印は1つだけ)

どのくらいの頻度で通院しているかは、「1か月に1日程度」が52.1%で最も多く、次いで「1年に数日」が12.7%、「2週間に1日程度」が8.6%、「1週間に1日程度」が2.9%、「1週間に2日以上」が1.6%となっています。  
また、「通院していない」が8.0%となっています。

(n=1,530)



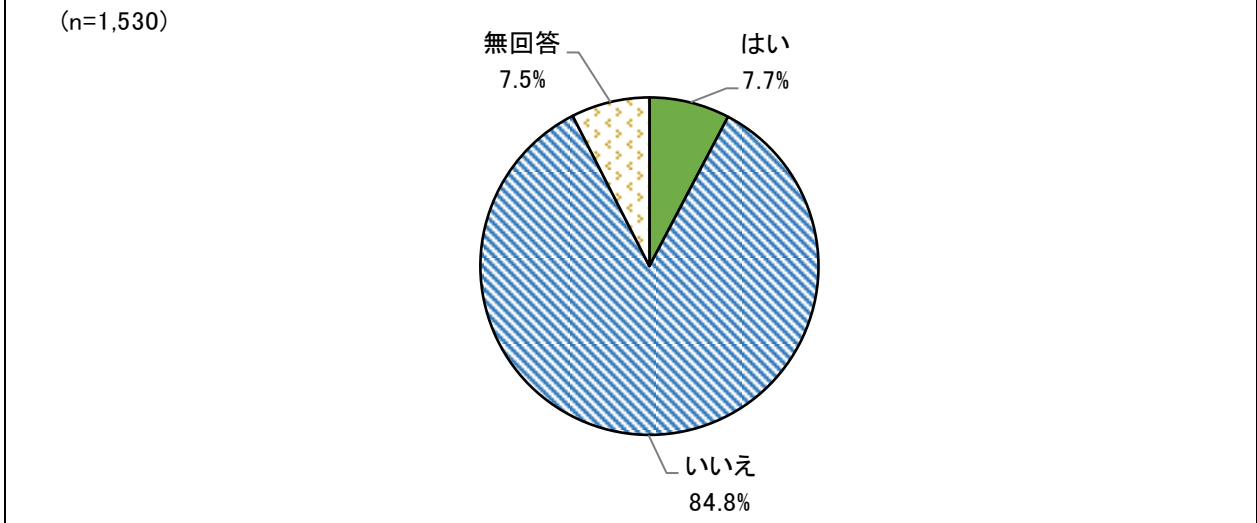
※複数回答された方が多かったため、複数回答として集計しています。



## 9 認知症にかかる相談窓口の把握について

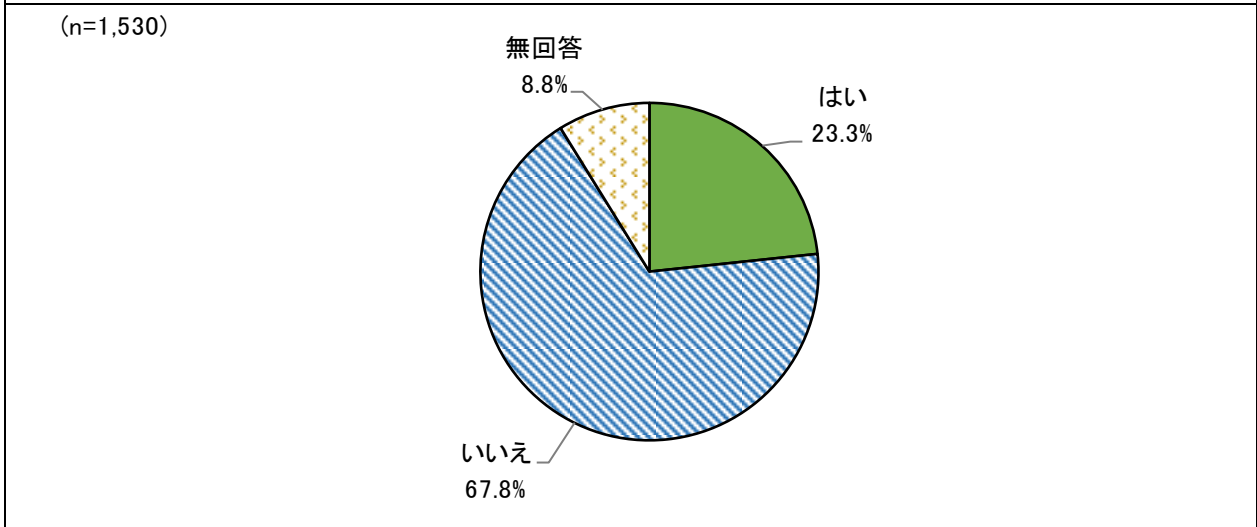
問65 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。  
(○印は1つだけ)

認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるかは、「はい」が7.7%で、「いいえ」が84.8%となっています。



問66 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○印は1つだけ)

認知症に関する相談窓口を知っているかは、「はい」が23.3%、「いいえ」が67.8%となっています。



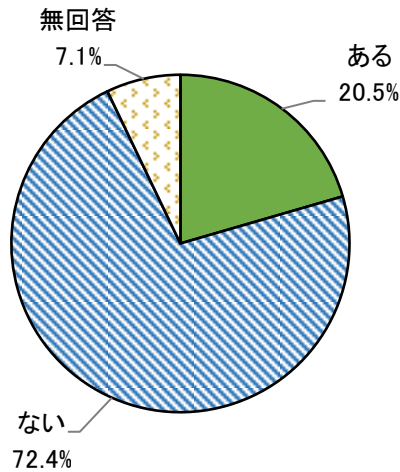
## 10 在宅医療とご自身の将来について

### (1) 医療機関への入院について

問67 3年以内に医療機関に入院をしたことがありますか。(○印は1つだけ)

3年以内に医療機関に入院をしたことがあるかは、「ある」が20.5%、「ない」が72.4%となっています。

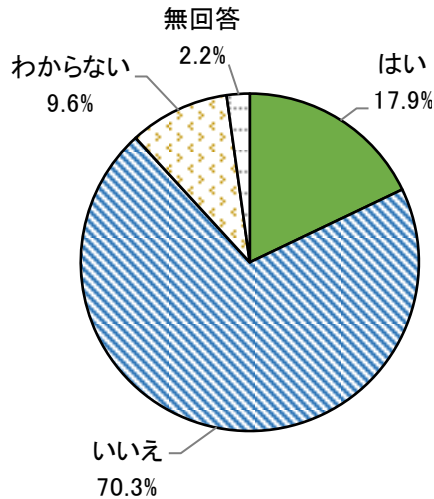
(n=1,530)



問67-1 退院時にケースワーカー・相談員に在宅医療のことを聞いたことがありますか。(○印は1つだけ)

問67で「1. ある」と回答した方に、退院時に在宅医療のことを聞いたことがあるかを尋ねると、「はい」が17.9%、「いいえ」が70.3%となっています。

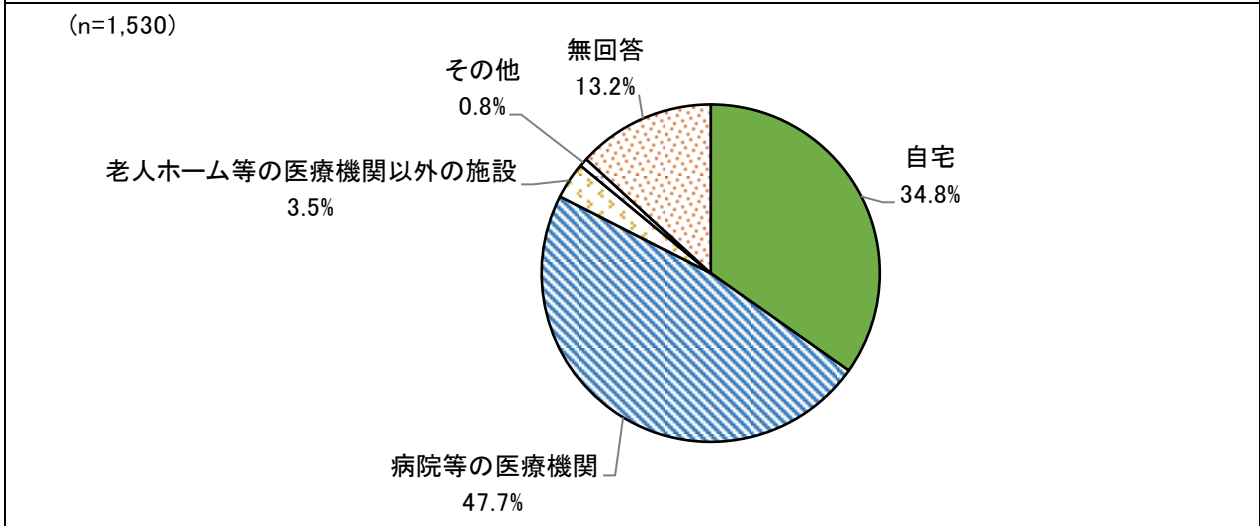
(n=313)



(2) 長期療養時の過ごしたい場所について

問68 病気等で長期の治療・療養が必要になった場合、どこで過ごしたいですか。  
(○印は1つだけ)

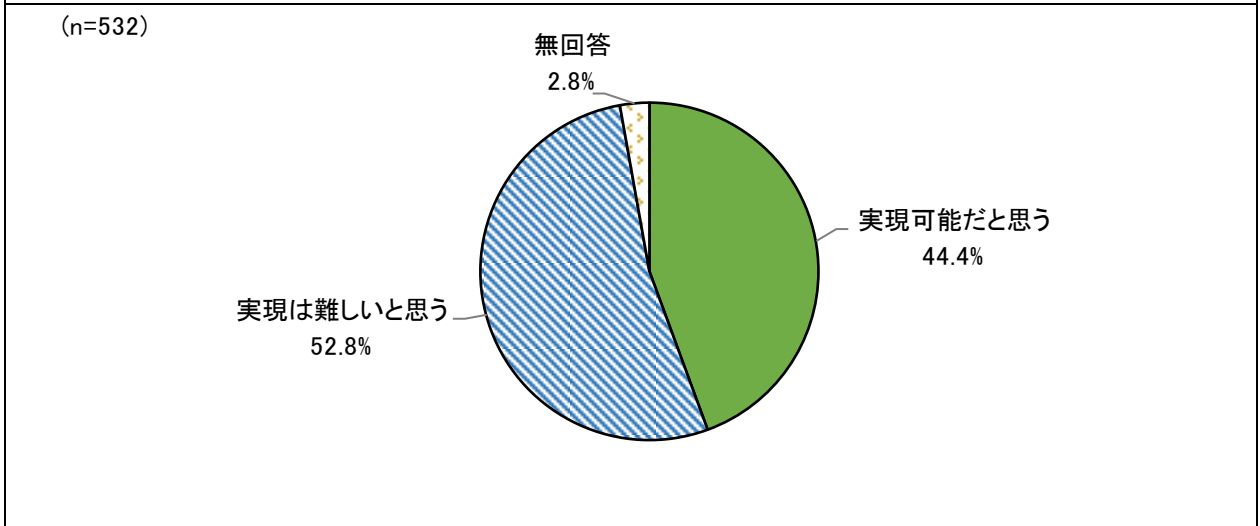
病気等で長期の治療・療養が必要になった場合に過ごしたい場所は、「自宅」が34.8%、「病院等の医療機関」が47.7%、「老人ホーム等の医療機関以外の施設」が3.5%などとなっています。



(3) 在宅医療について

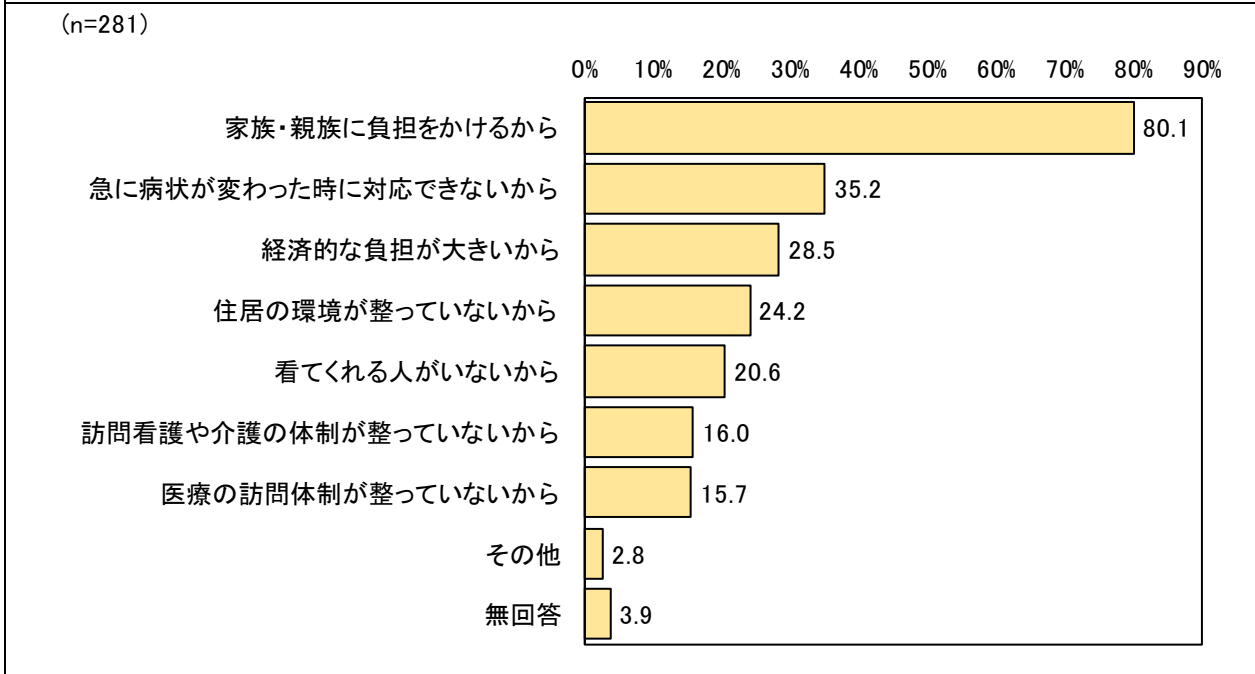
問68-1 自宅での在宅医療の実現は可能だと思いますか。(○印は1つだけ)

問68で「1. 自宅」と回答した方に、自宅での在宅医療の実現は可能だと思うかを尋ねると、「実現可能だと思う」が44.4%、「実現は難しいと思う」が52.8%となっています。



問68-2 在宅医療が難しいと考える理由は何ですか。(○印は3つまで)

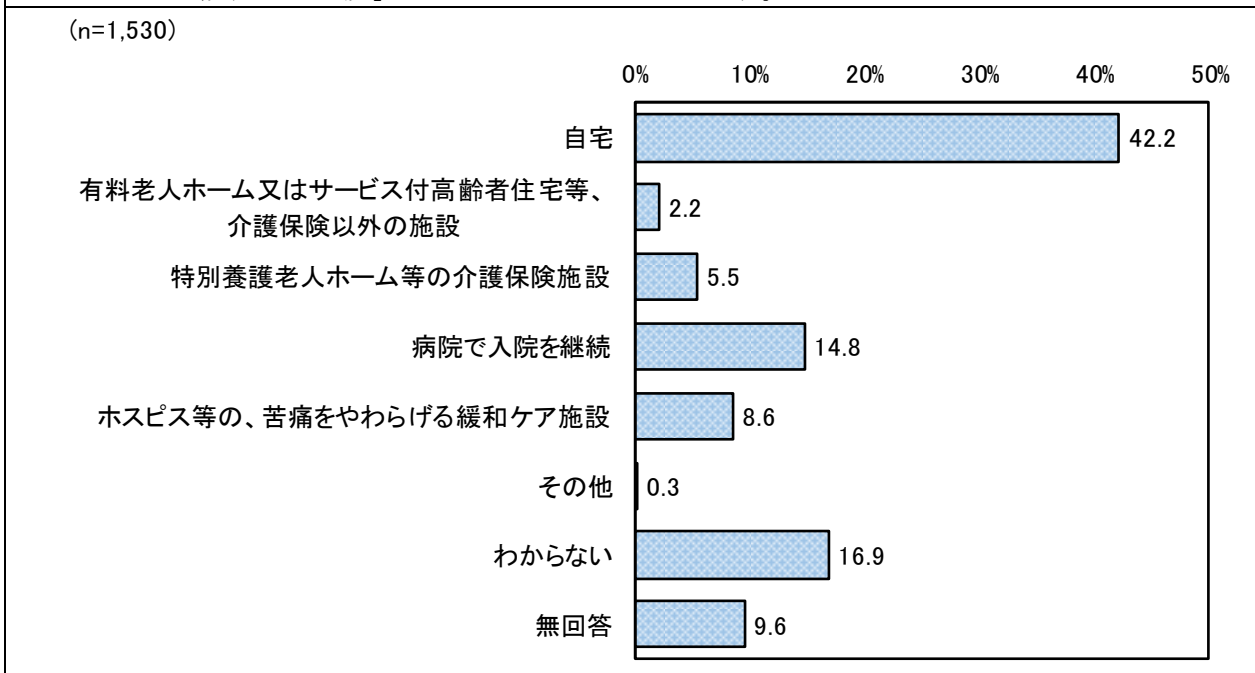
問68-1で「2. 実現は難しいと思う」と回答した方に、在宅医療が難しいと考える理由を尋ねると、「家族・親族に負担をかけるから」が80.1%で最も多く、次いで「急に病状が変わった時に対応できないから」が35.2%、「経済的な負担が大きいから」が28.5%、「住居の環境が整っていないから」が24.2%、「見てくれる人がいないから」が20.6%などとなっています。



(4) 人生の最終段階(終末期)に過ごす場所について

問69 人生の最終段階(終末期)を迎えた時、どこで過ごすことを望みますか。(○印は1つだけ)

人生の最終段階(終末期)を迎えた時に過ごすことを望む場所は、「自宅」が42.2%、「有料老人ホーム又はサービス付高齢者住宅等、介護保険以外の施設」が2.2%、「特別養護老人ホーム等の介護保険施設」が5.5%、「病院で入院を継続」が14.8%、「ホスピス等の、苦痛をやわらげる緩和ケア施設」が8.6%などとなっています。

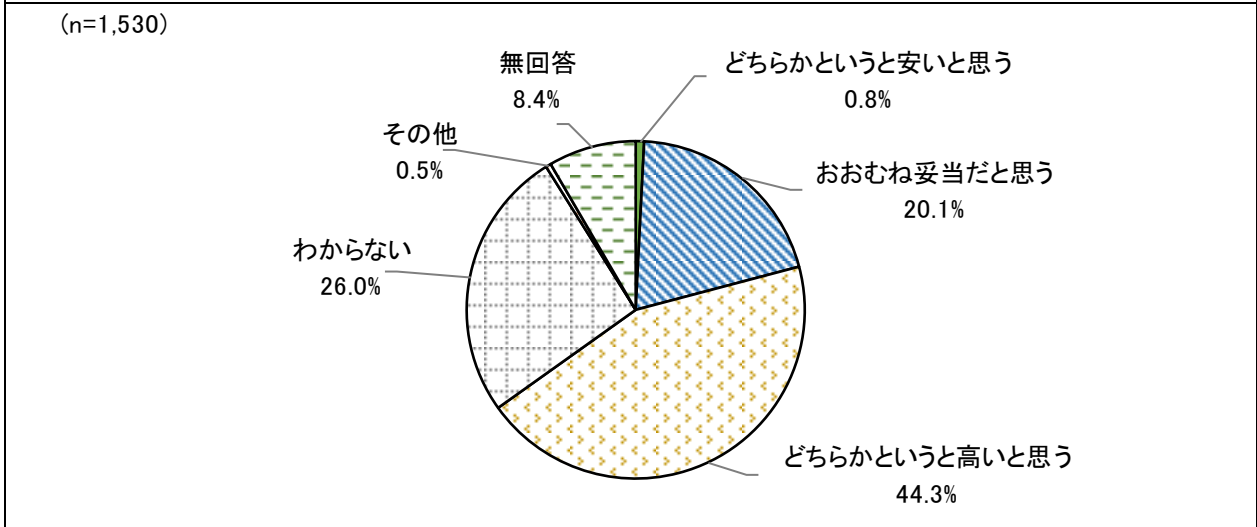


## 1 1 介護保険料や介護サービスの利用料について

### (1) 介護保険料について

問70 現在支払っている介護保険料の額について、どのように感じていますか。  
(○印は1つだけ)

現在支払っている介護保険料の額について、「どちらかという安いと思う」が0.8%、「おおむね妥当だと思う」が20.1%、「どちらかという高いと思う」が44.3%、「わからない」が26.0%などとなっています。

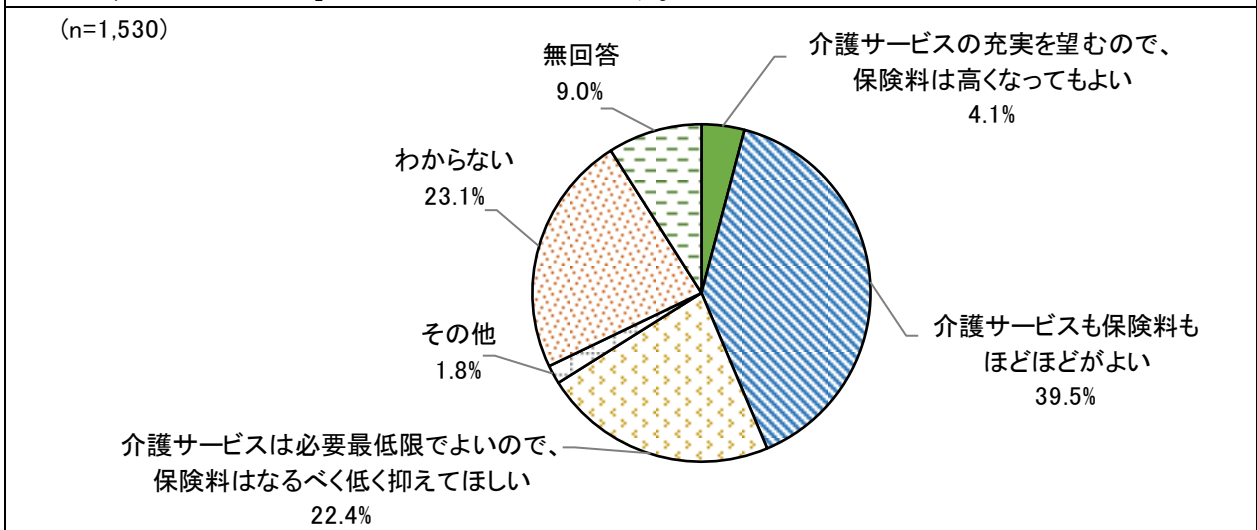


### (2) 本市の介護保険料と介護サービスのあり方について

問71 現在の本市の介護保険料と介護サービスのあり方について、あなたはどう思いますか。(○印は1つだけ)

現在の本市の介護保険料と介護サービスのあり方について、「介護サービスの充実を望むので、保険料は高くなってもよい」が4.1%、「介護サービスも保険料もほどほどがよい」が39.5%、「介護サービスは必要最低限でよいので、保険料はなるべく低く抑えてほしい」が22.4%などとなっています。

また、「わからない」が23.1%となっています。



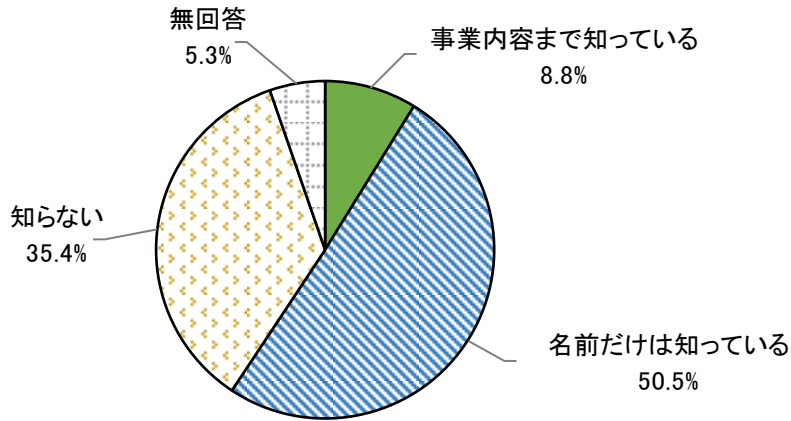
## 1 2 高齢者あんしん相談センターについて

### (1) 高齢者あんしん相談センターの認知度について

問72 あなたは、高齢者あんしん相談センターを知っていますか。(○印は1つだけ)

高齢者あんしん相談センターについて、「事業内容まで知っている」が8.8%、「名前だけは知っている」が50.5%、「知らない」が35.4%となっています。

(n=1,530)

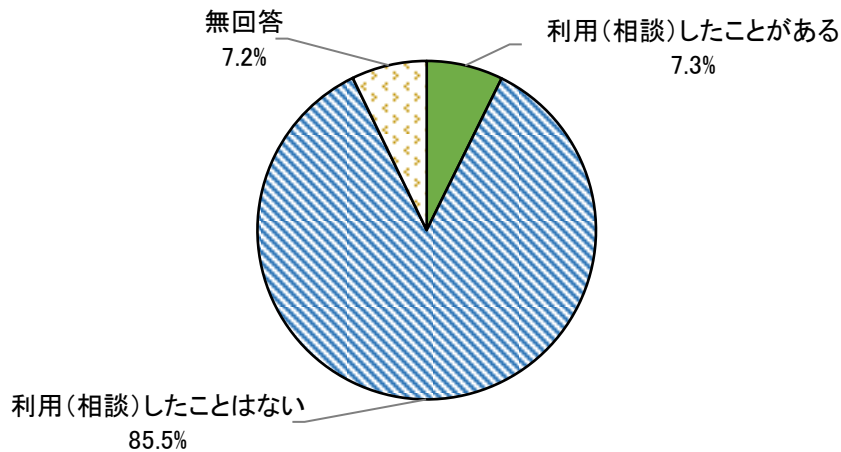


### (2) 高齢者あんしん相談センターの利用について

問73 あなたは、高齢者あんしん相談センターを利用(相談)したことがありますか。(○印は1つだけ)

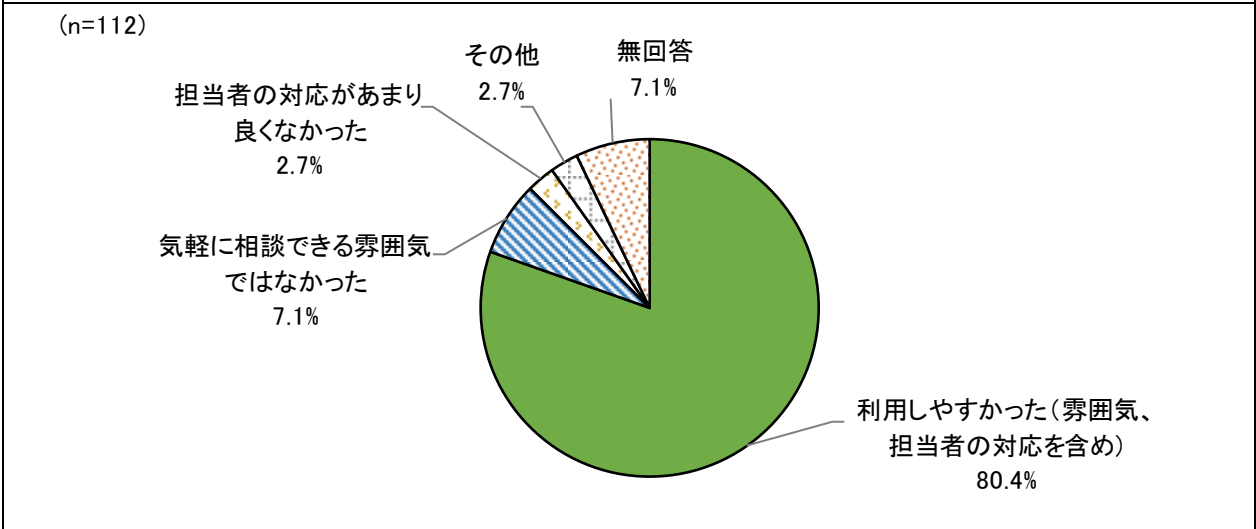
高齢者あんしん相談センターの利用(相談)について、「利用(相談)したことがある」が7.3%、「利用(相談)したことはない」が85.5%となっています。

(n=1,530)



問73-1 高齢者あんしん相談センターの印象はいかがでしたか。(○印は1つだけ)

問73で「1. 利用(相談)したことがある」と回答した方に、印象を尋ねると、「利用しやすかった(雰囲気、担当者の対応を含め)」が80.4%、「気軽に相談できる雰囲気ではなかった」が7.1%、「担当者の対応があまり良くなかった」が2.7%などとなっています。

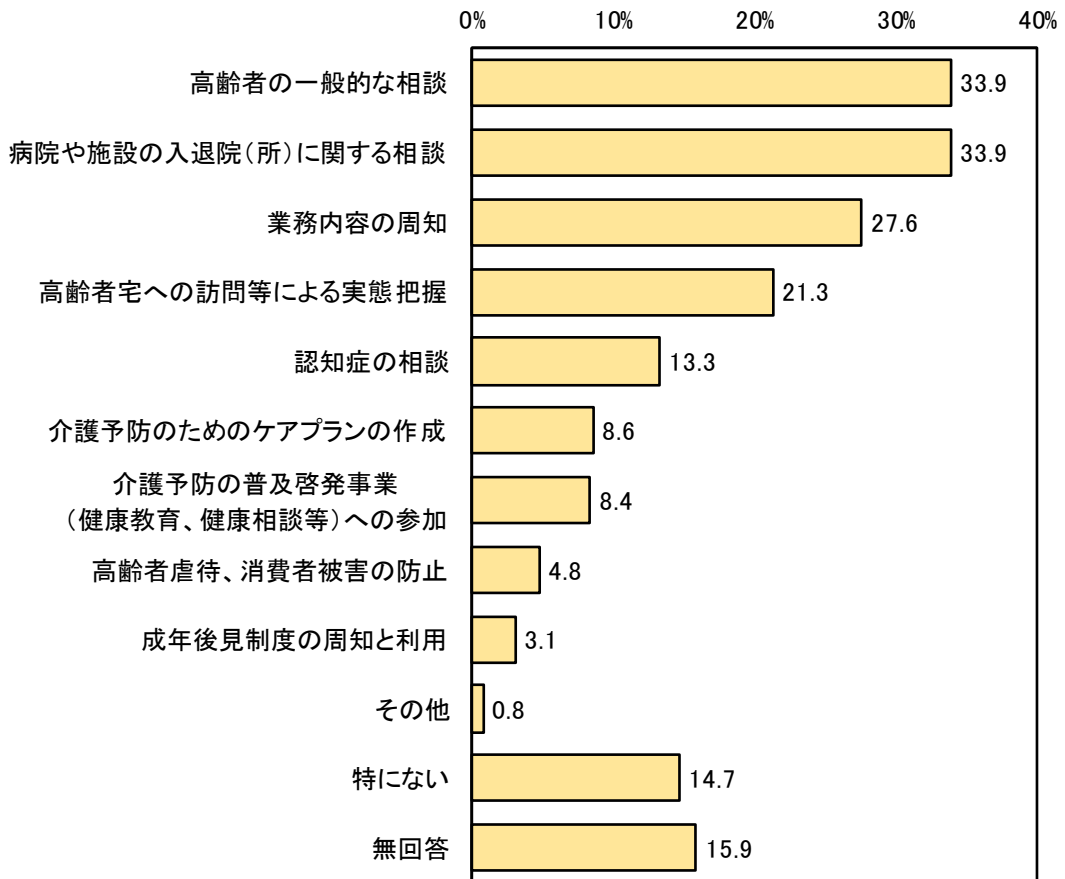


(3) 高齢者あんしん相談センターへの要望について

問74 今後、高齢者あんしん相談センターに特に力を入れてほしい事業は何ですか。  
(○印は3つまで)

今後、高齢者あんしん相談センターに特に力を入れてほしい事業は、「高齢者の一般的な相談」と「病院や施設の入退院(所)に関する相談」がともに33.9%で最も多く、次いで、「業務内容の周知」が27.6%、「高齢者宅への訪問等による実態把握」が21.3%、「認知症の相談」が13.3%などとなっています。

(n=1,530)

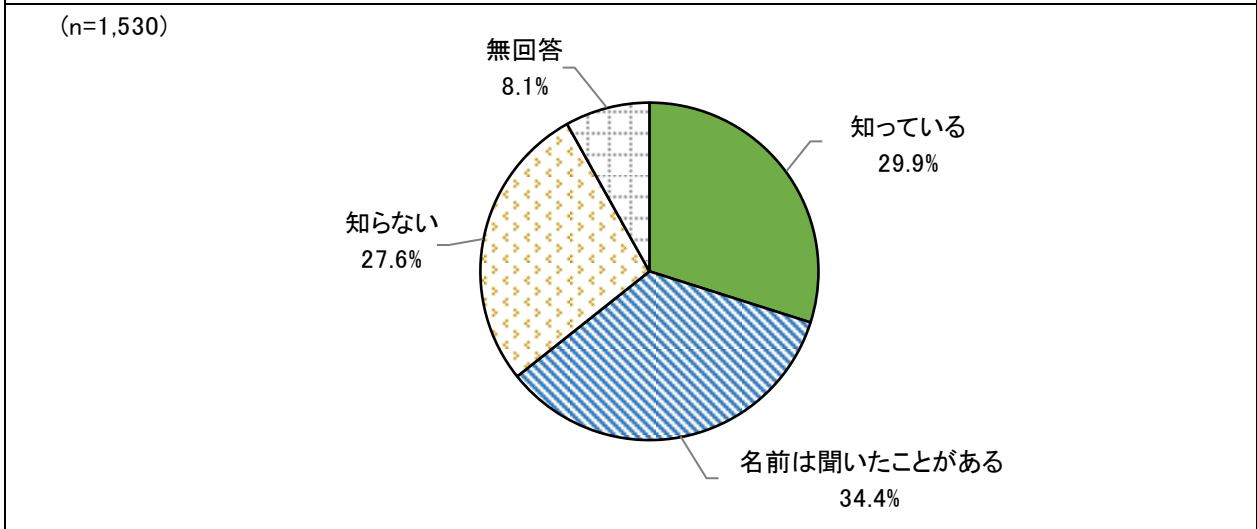




(4) 成年後見制度について

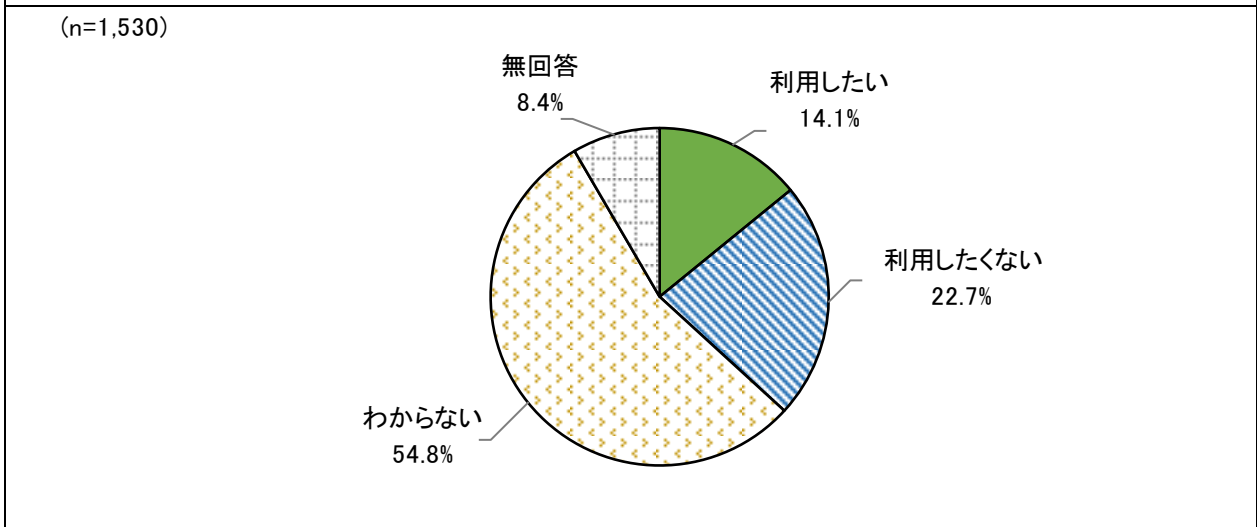
問75 「成年後見制度」について知っていますか。(○印は1つだけ)

「成年後見制度」について、「知っている」が29.9%、「名前は聞いたことがある」が34.4%、「知らない」が27.6%となっています。



問76 あなたは将来、支援が必要になった場合に「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(○印は1つだけ)

将来、支援が必要になった場合に「成年後見制度」を利用したいと思うかは、「利用したい」が14.1%、「利用したくない」が22.7%、「わからない」が54.8%となっています。



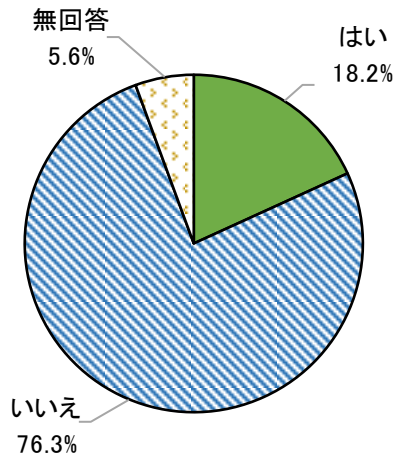
### 13 交通支援施策について

#### (1) コミュニティバスについて

問77 普段、コミュニティバスを利用しますか。(○印は1つだけ)

普段、コミュニティバスを利用するかは、「はい」が18.2%、「いいえ」が76.3%となっています。

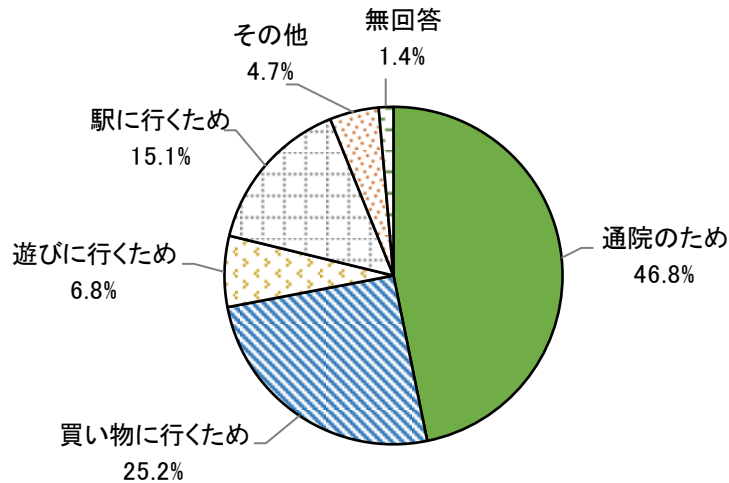
(n=1,530)



問77-1 主にどのような時にコミュニティバスを利用しますか。(○印は1つだけ)

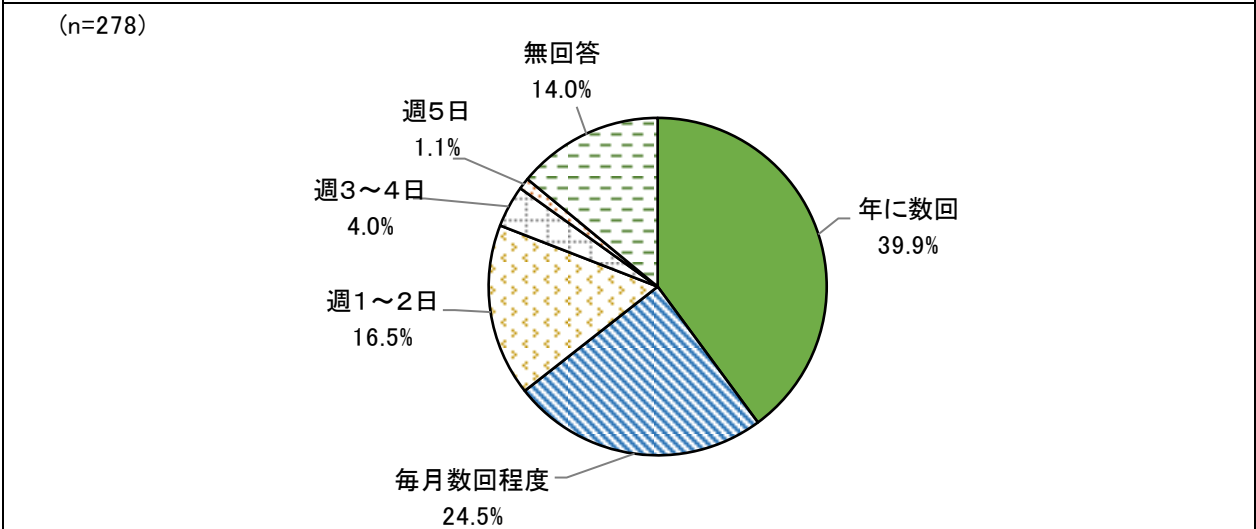
問77で「1. はい」と回答した方に、どのような時に利用するかを尋ねると、「通院のため」が46.8%、「買い物に行くため」が25.2%、「遊びに行くため」が6.8%、「駅に行くため」が15.1%などとなっています。

(n=278)



問77-2 どれくらいの頻度で利用しますか。(○印は1つだけ)

問77で「1. はい」と回答した方に、どれくらいの頻度で利用するかを尋ねると、「年に数回」が39.9%、「毎月数回程度」が24.5%、「週1～2日」が16.5%、「週3～4日」が4.0%、「週5日」が1.1%となっています。

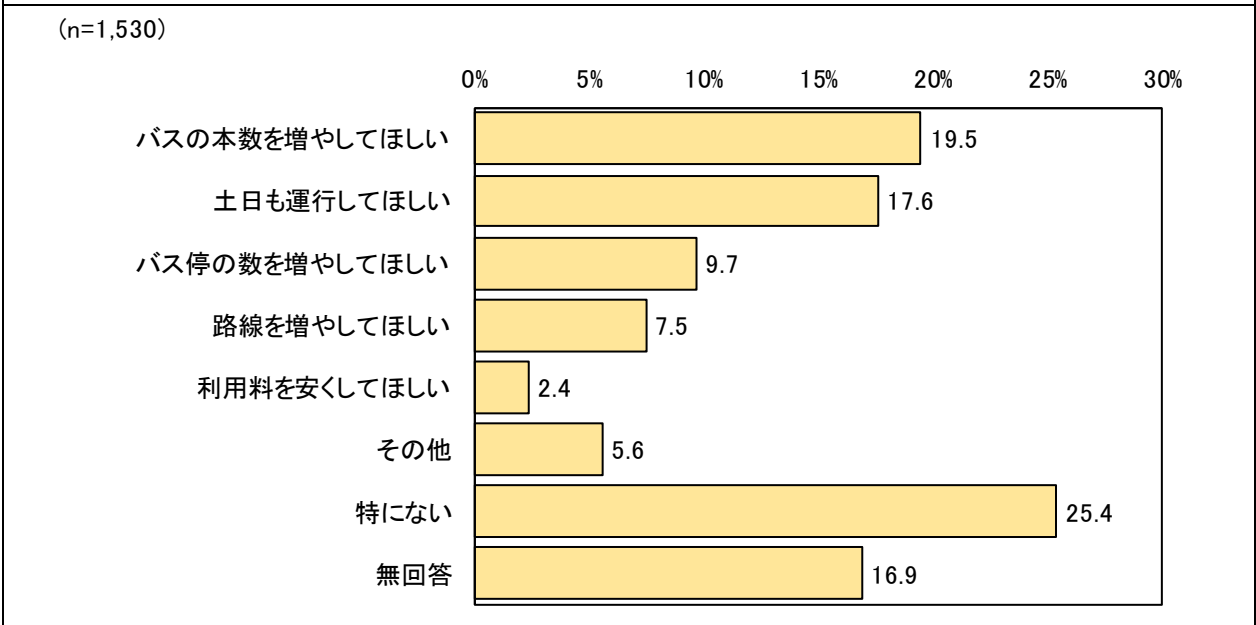


(2) コミュニティバスへの要望について

問78 コミュニティバス事業について、今後どのようなことを求めますか。

(○印は1つだけ)

コミュニティバス事業について求めることは、「バスの本数を増やしてほしい」が19.5%で最も多く、次いで「土日も運行してほしい」が17.6%、「バス停の数を増やしてほしい」が9.7%、「路線を増やしてほしい」が7.5%などとなっています。また、「特にない」が25.4%となっています。

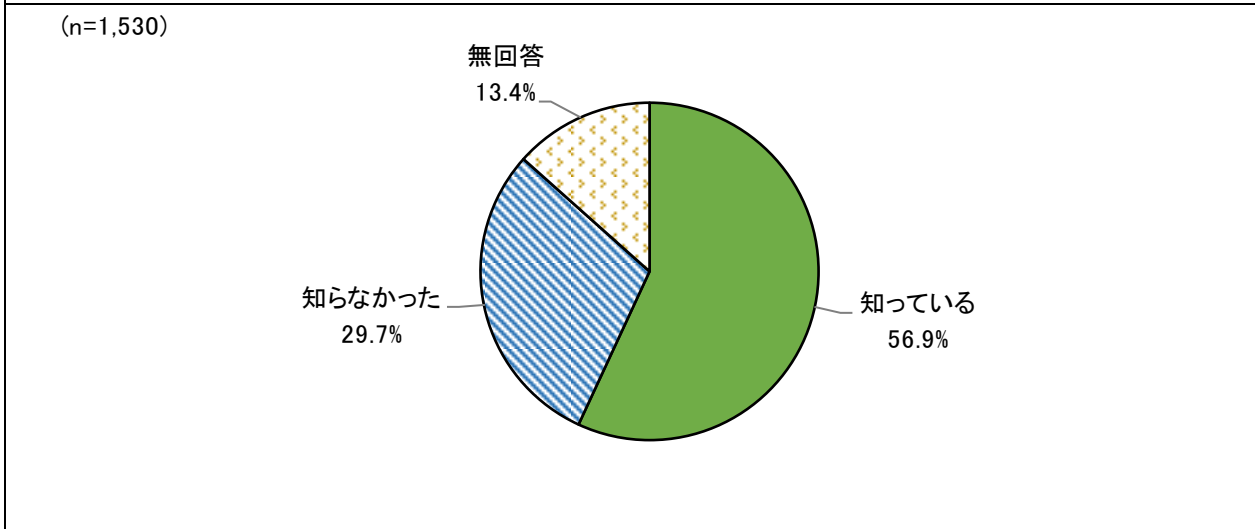


※複数回答された方が多いため、複数回答として集計しています。

(3) タクシー助成について

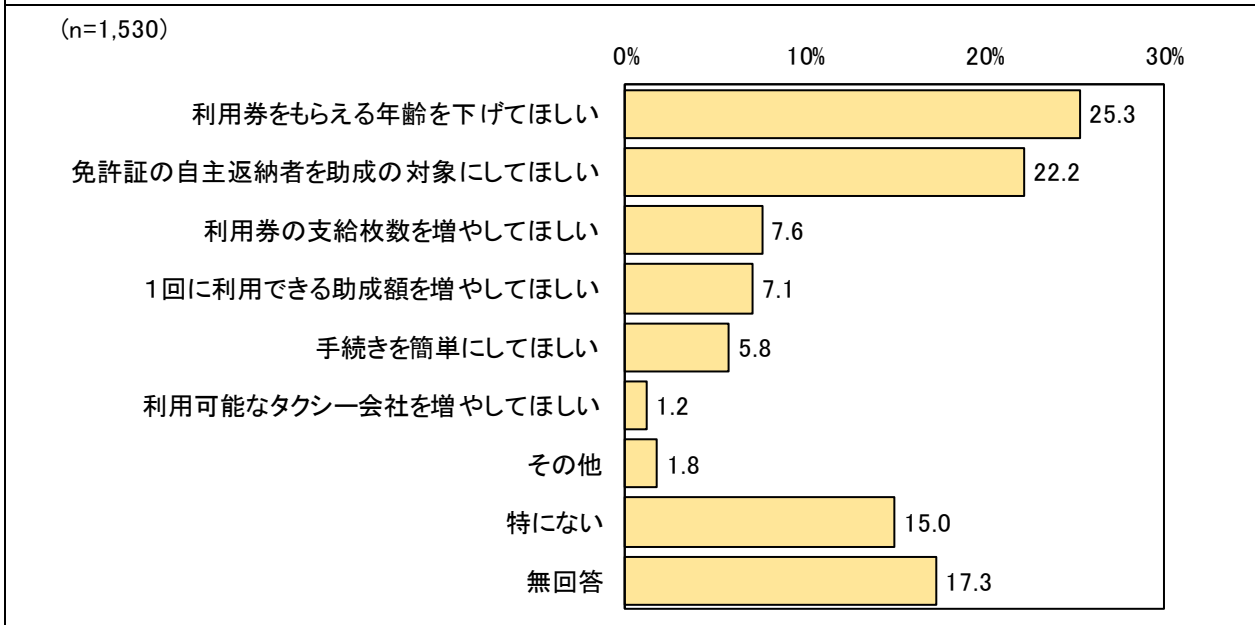
問79 本市では、満85歳以上の方にタクシーの基本料金を助成しています。(最大28枚の利用券) この支援について知っていましたか。(○印は1つだけ)

タクシー助成について、「知っている」が56.9%、「知らなかった」が29.7%となっています。



問80 本市のタクシー助成について、今後どのようなことを求めますか。(○印は1つだけ)

タクシー助成について求めることは、「利用券をもらえる年齢を下げしてほしい」が25.3%で最も多く、次いで「免許証の自主返納者を助成の対象にしてほしい」が22.2%、「利用券の支給枚数を増やしてほしい」が7.6%、「1回に利用できる助成額を増やしてほしい」が7.1%、「手続きを簡単にしてほしい」が5.8%などとなっています。



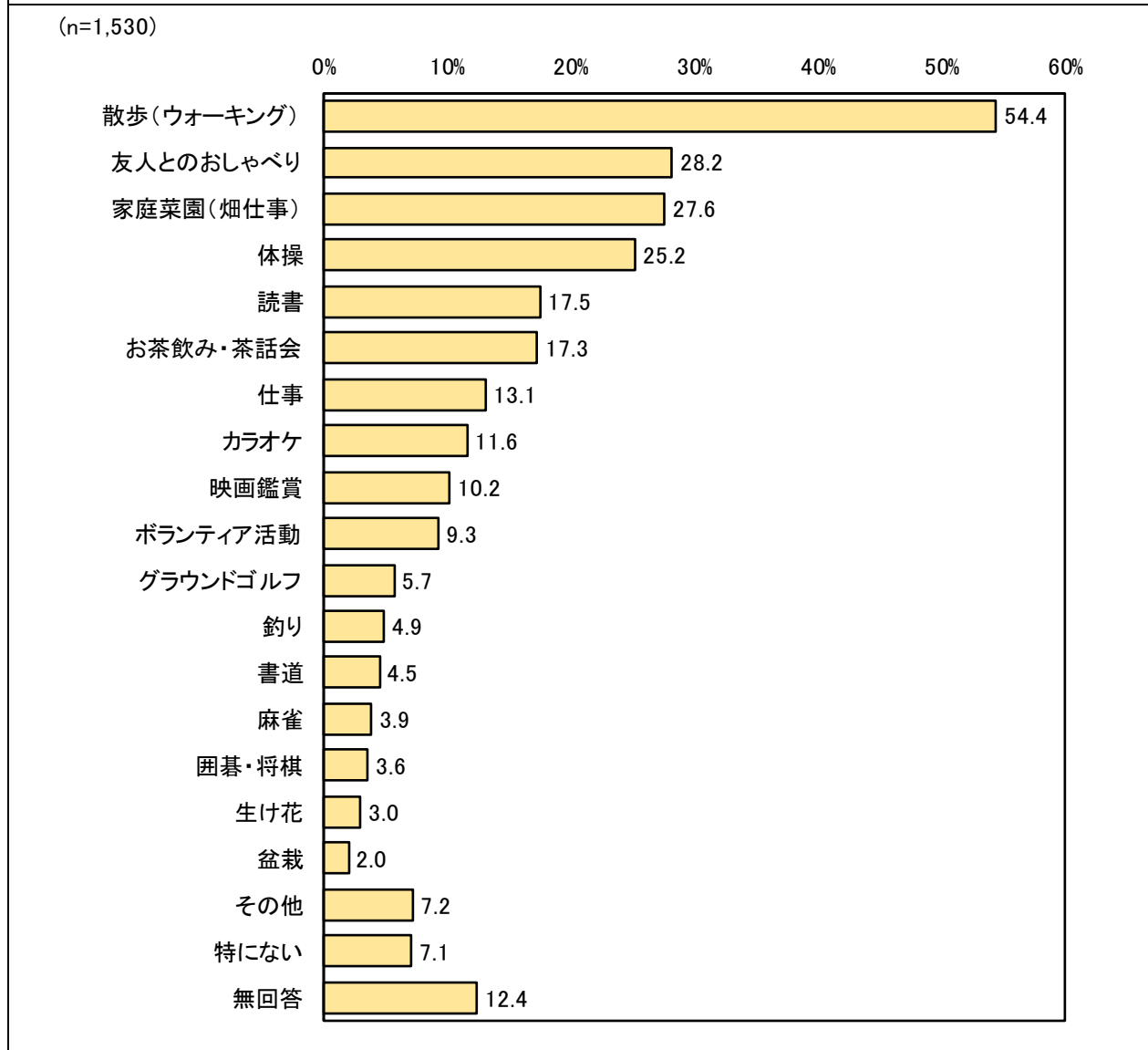
※複数回答された方が多かったので、複数回答として集計しています。

## 1.4 高齢者施策全般について

### (1) 元気で生活するために行っていること、やりたいことについて

問8 1 あなたが元気で生活するために、現在、行っていることや、これからやりたいと思っていることは何ですか。(〇印はいくつでも)

元気で生活するために、現在、行っていることや、これからやりたいと思っていることは、「散歩(ウォーキング)」が54.4%で最も多く、次いで「友人とのおしゃべり」が28.2%、「家庭菜園(畑仕事)」が27.6%、「体操」が25.2%、「読書」が17.5%などとなっています。

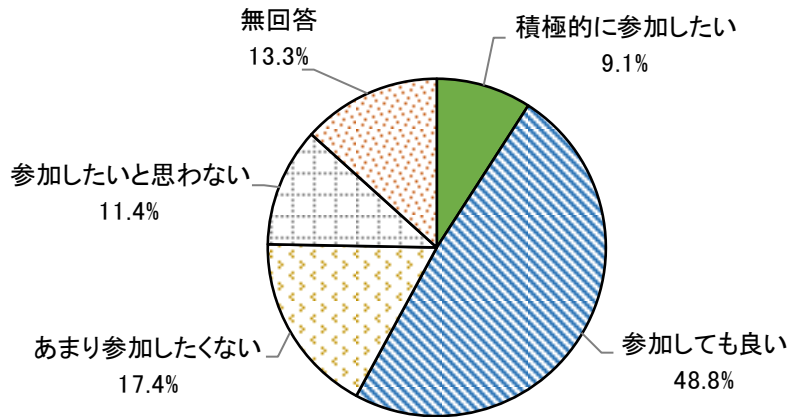


(2) 介護予防事業への参加について

問82 あなたは、医師や保健師等の専門家から生活機能低下予防や閉じこもり予防、筋力向上トレーニング等の介護予防事業への参加を勧められた場合、どうしますか。(○印は1つだけ)

介護予防事業への参加を勧められた場合は、「積極的に参加したい」が9.1%、「参加しても良い」が48.8%、「あまり参加したくない」が17.4%、「参加したいと思わない」が11.4%となっています。

(n=1,530)



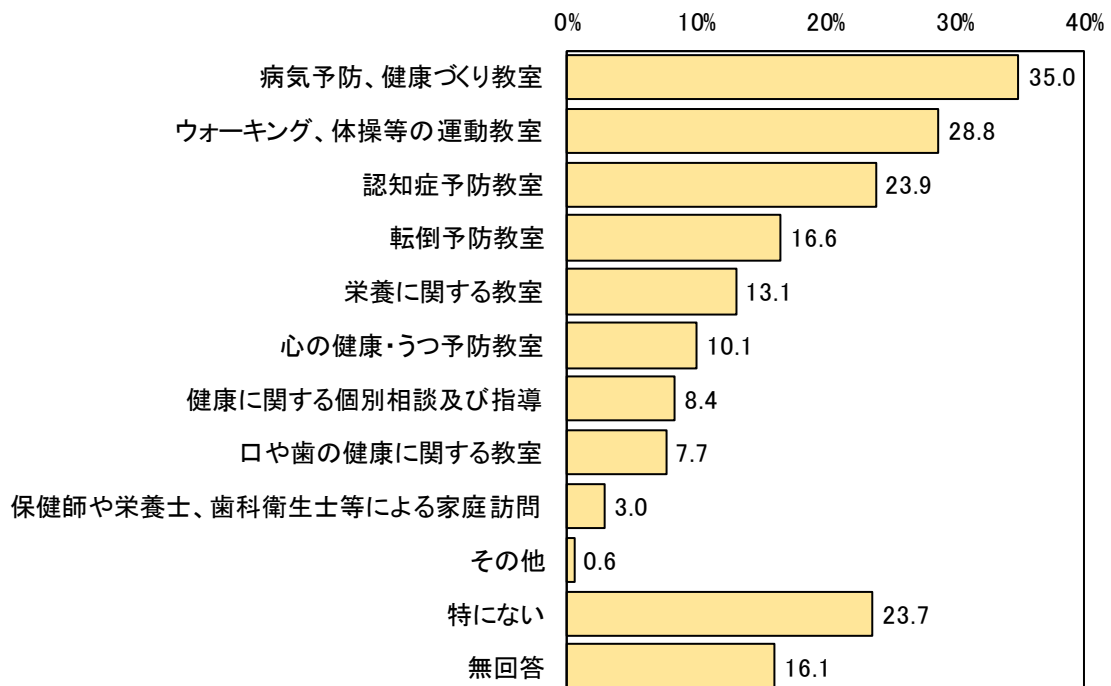
(3) 参加したい市の介護予防事業について

問83 今後、本市で以下のような介護予防事業を実施するとしたら、参加したいですか。参加したい事業を選んでください。(○印はいくつでも)

参加したい介護予防事業は、「病気予防、健康づくり教室」が35.0%で最も多く、次いで「ウォーキング、体操等の運動教室」が28.8%、「認知症予防教室」が23.9%、「転倒予防教室」が16.6%、「栄養に関する教室」が13.1%などとなっています。

また、「特にない」が23.7%となっています。

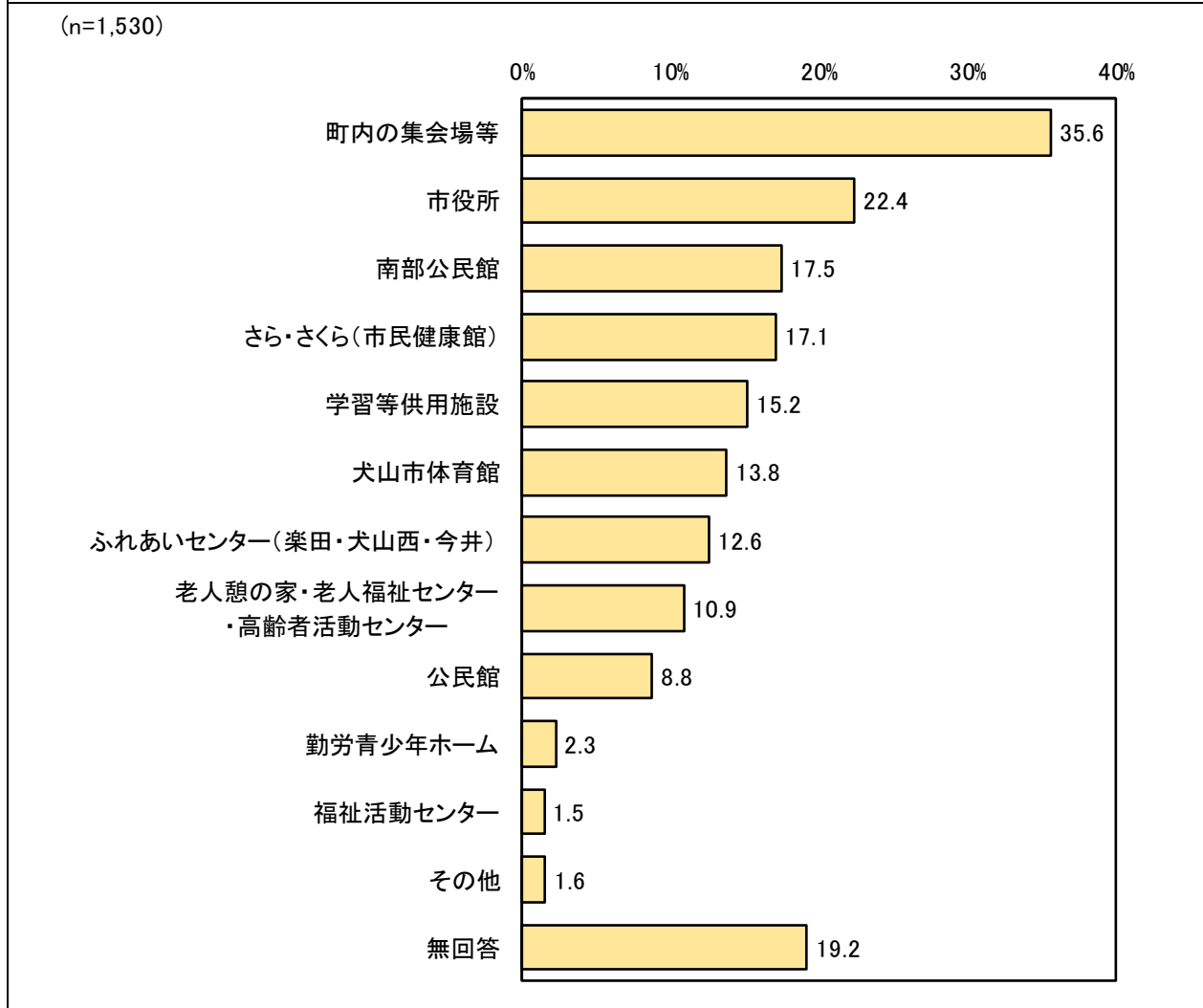
(n=1,530)



(4) 介護予防事業の参加場所について

問84 健康づくりや介護予防の事業に参加するとしたら、どこの会場なら通えますか。  
(○印は3つまで)

健康づくりや介護予防の事業に参加するとしたら、どこの会場なら通えるかは、「町内の集会場等」が35.6%で最も多く、次いで「市役所」が22.4%、「南部公民館」が17.5%、「さら・さくら(市民健康館)」が17.1%、「学習等供用施設」が15.2%などとなっています。

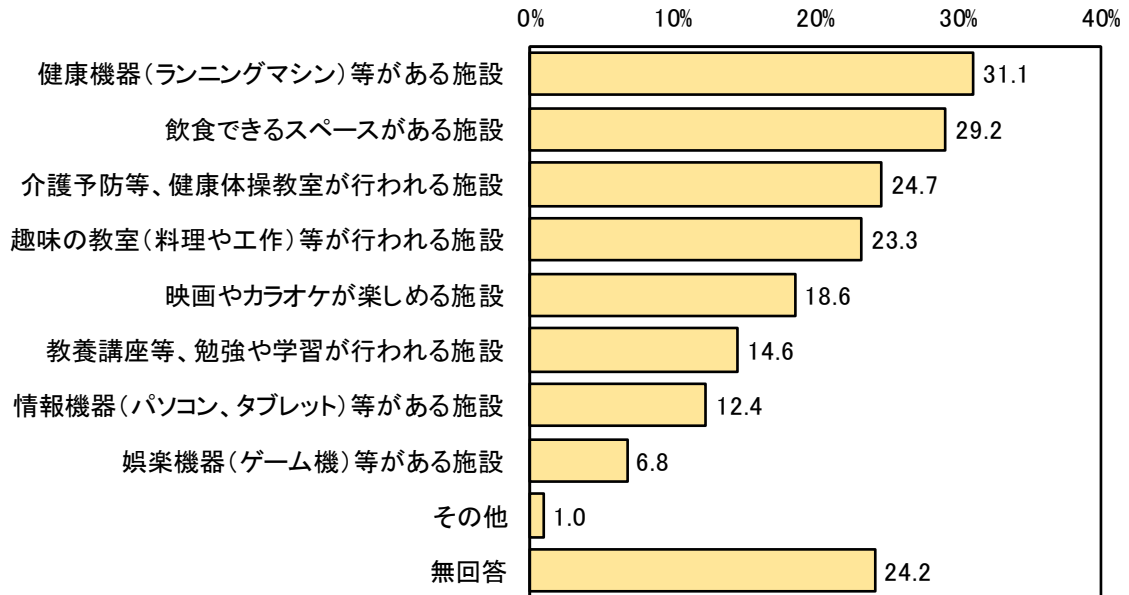


(5) 高齢者施設の利用について

問 8 5 どのような高齢者施設なら利用してみたいと思いますか。(〇印は3つまで)

どのような高齢者施設なら利用してみたいと思うかは、「健康機器(ランニングマシン)等がある施設」が31.1%で最も多く、次いで「飲食できるスペースがある施設」が29.2%、「介護予防等、健康体操教室が行われる施設」が24.7%、「趣味の教室(料理や工作)等が行われる施設」が23.3%、「映画やカラオケが楽しめる施設」が18.6%などとなっています。

(n=1,530)



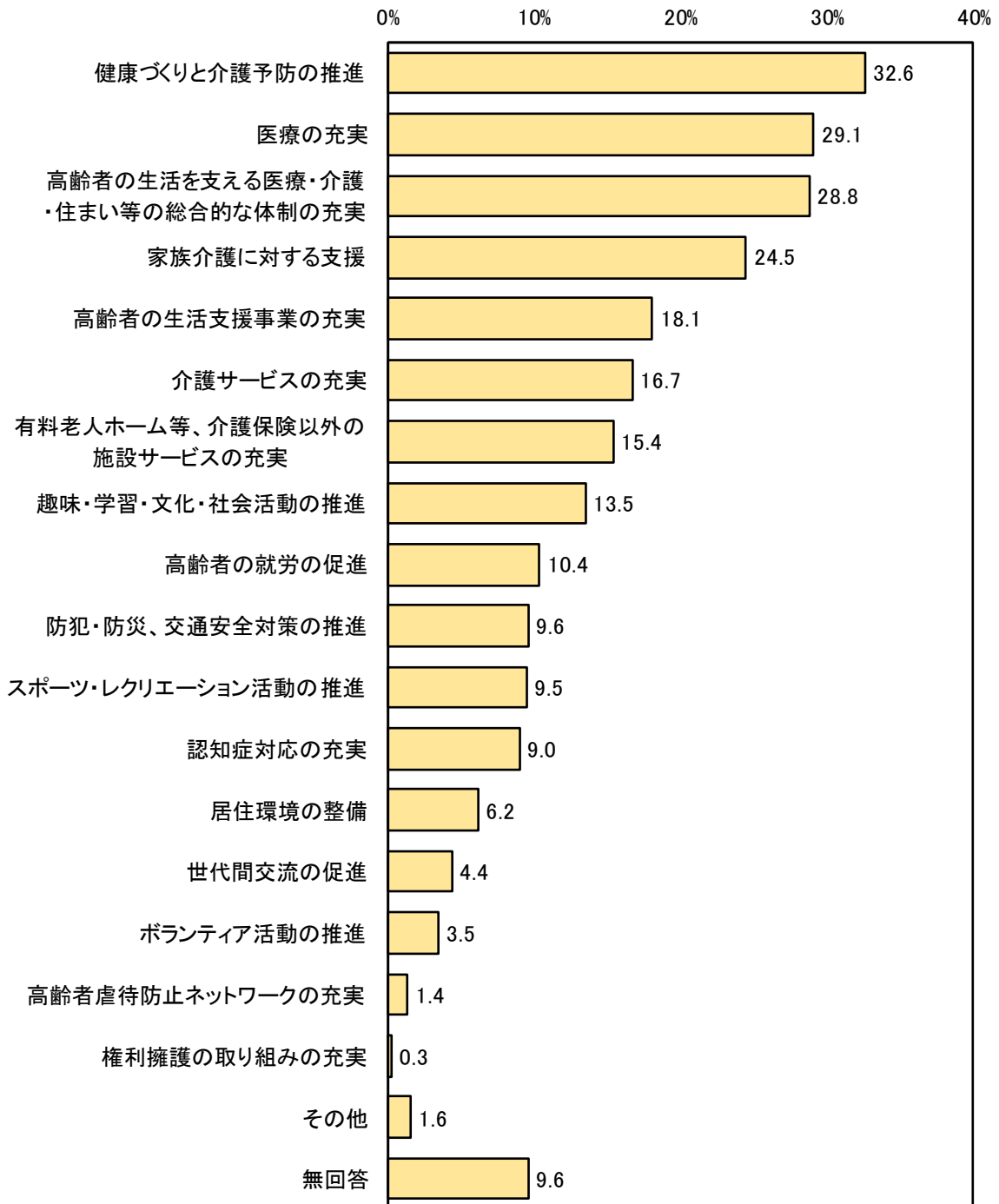


(6) 高齢社会に対応していくため、市が力を入れていくべき取組について

問86 高齢社会に対応していくため、本市は何に力を入れていくべきだと思いますか。  
(○印は3つまで)

高齢社会に対応していくため、力を入れていくべきだと思うことは、「健康づくりと介護予防の推進」が32.6%で最も多く、次いで「医療の充実」が29.1%、「高齢者の生活を支える医療・介護・住まい等の総合的な体制の充実」が28.8%、「家族介護に対する支援」が24.5%、「高齢者の生活支援事業の充実」が18.1%などとなっています。

(n=1,530)



## ②居宅サービス利用者向け調査

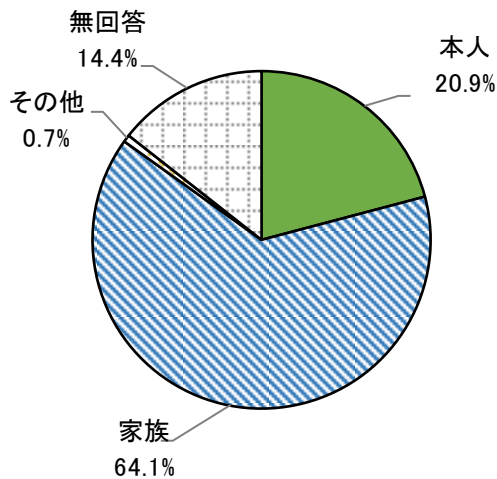
### 1 調査対象者の基本属性

#### (1) 調査票記入者

##### 調査票記入者

調査票の記入者は、「本人」が20.9%、「家族」が64.1%、「その他」が0.7%となっています。

(n=153)

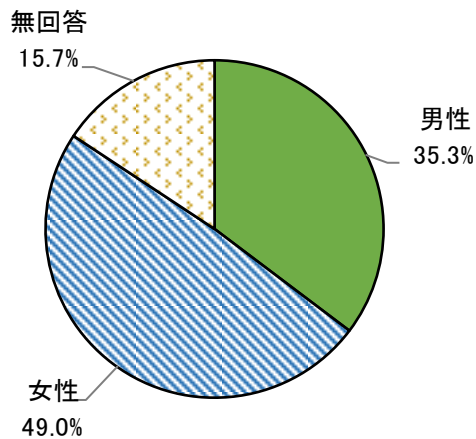


#### (2) 性別

##### 性別

性別は、「男性」が35.3%、「女性」が49.0%となっています。

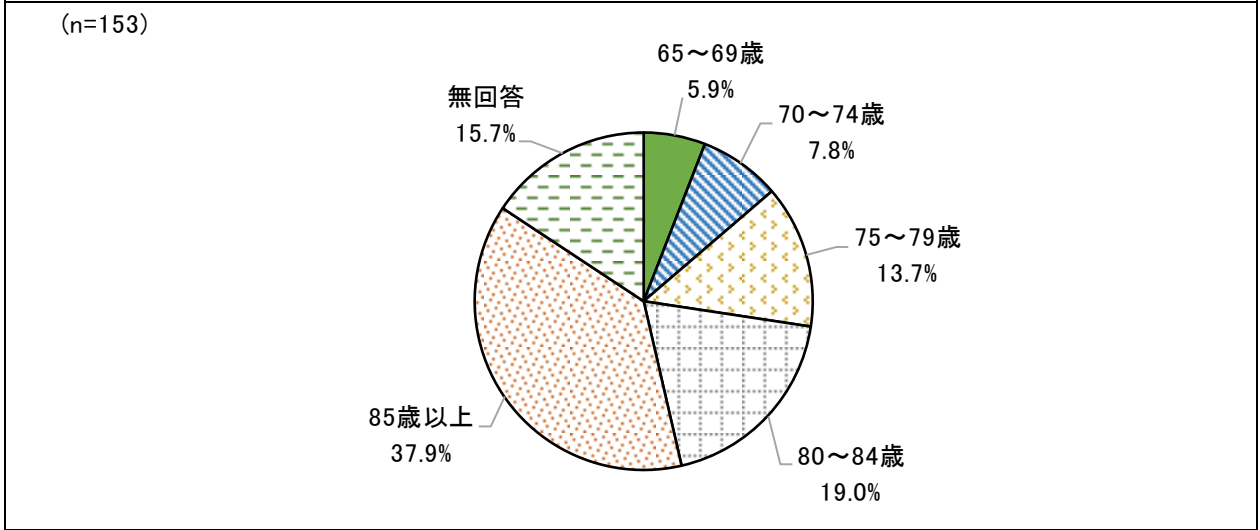
(n=153)



(3) 年齢

年齢

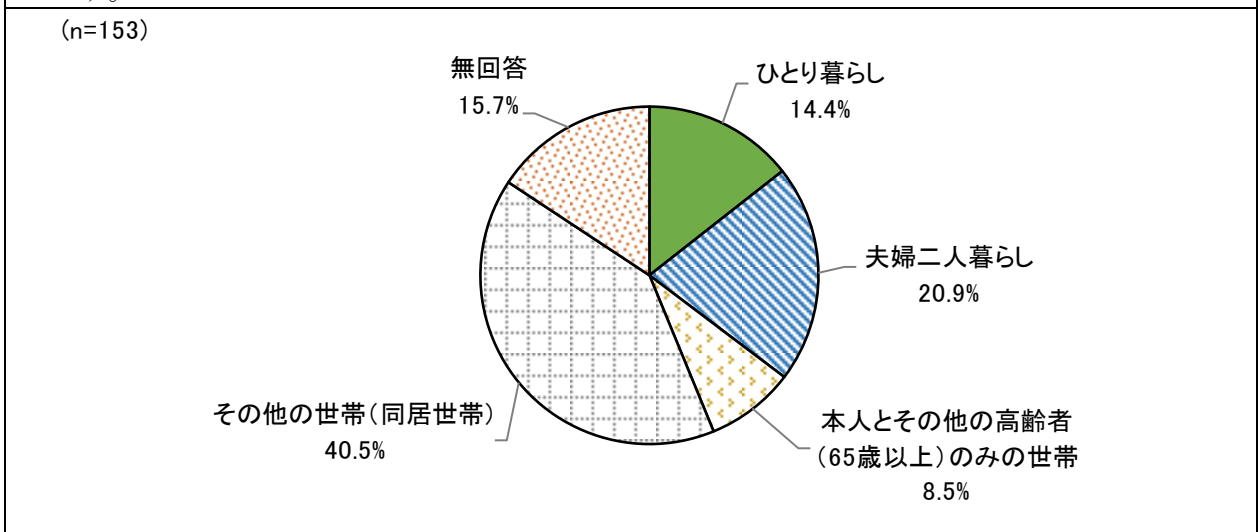
年齢は、「65～69歳」が5.9%、「70～74歳」が7.8%、「75～79歳」が13.7%、「80～84歳」が19.0%、「85歳以上」が37.9%となっています。



(4) 家族構成

家族構成

家族構成は、「ひとり暮らし」が14.4%、「夫婦二人暮らし」が20.9%、「本人とその他の高齢者(65歳以上)のみの世帯」が8.5%、「その他の世帯(同居世帯)」が40.5%となっています。

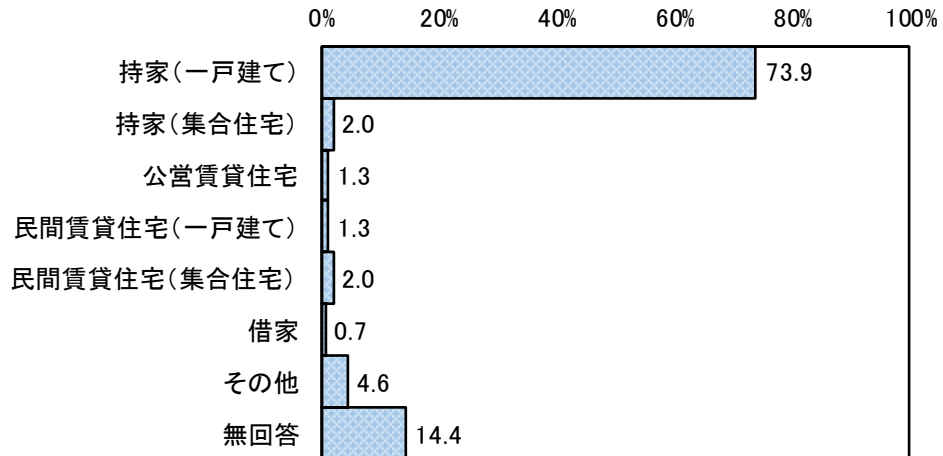


(5) 住居形態

住居形態

住居形態は、「持家（一戸建て）」が 73.9%、「持家（集合住宅）」が 2.0%、「公営賃貸住宅」が 1.3%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」が 1.3%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 2.0%、「借家」が 0.7%などとなっています。

(n=153)

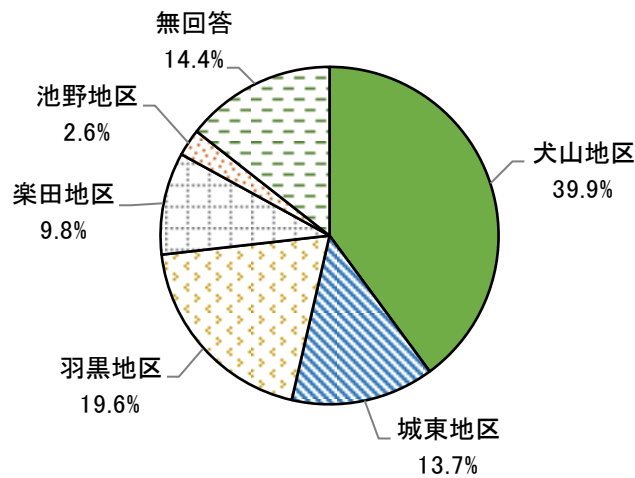


(6) 居住地区

居住地区

居住地区は、「犬山地区」が 39.9%、「城東地区」が 13.7%、「羽黒地区」が 19.6%、「楽田地区」が 9.8%、「池野地区」が 2.6%となっています。

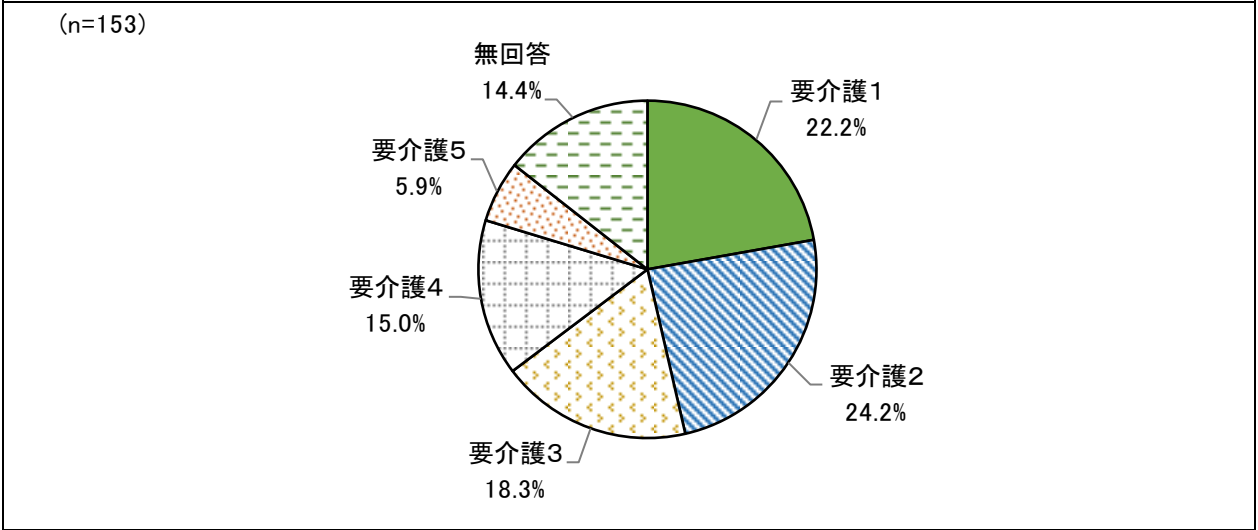
(n=153)



(7) 要介護度

要介護度

要介護度は、「要介護1」が 22.2%、「要介護2」が 24.2%、「要介護3」が 18.3%、「要介護4」が 15.0%、「要介護5」が 5.9%となっています。

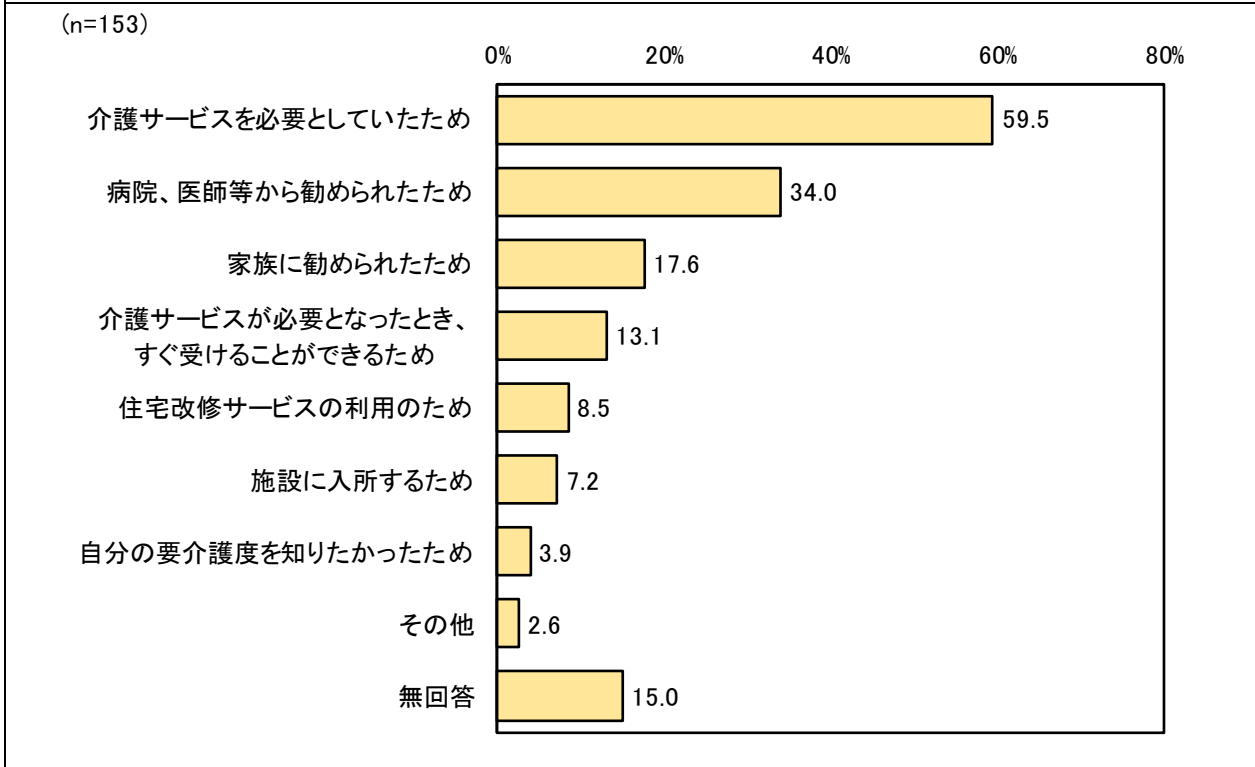


## 2 あなた自身のことについて

### (1) 要介護認定を受けた理由

問2 要介護認定を受けられたのは、どのような理由からですか。(○印は3つまで)

要介護認定を受けた理由は、「介護サービスを必要としていたため」が59.5%で最も多く、次いで「病院、医師等から勧められたため」が34.0%、「家族に勧められたため」が17.6%、「介護サービスが必要となったとき、すぐ受けることができるため」が13.1%、「住宅改修サービスの利用のため」が8.5%などとなっています。



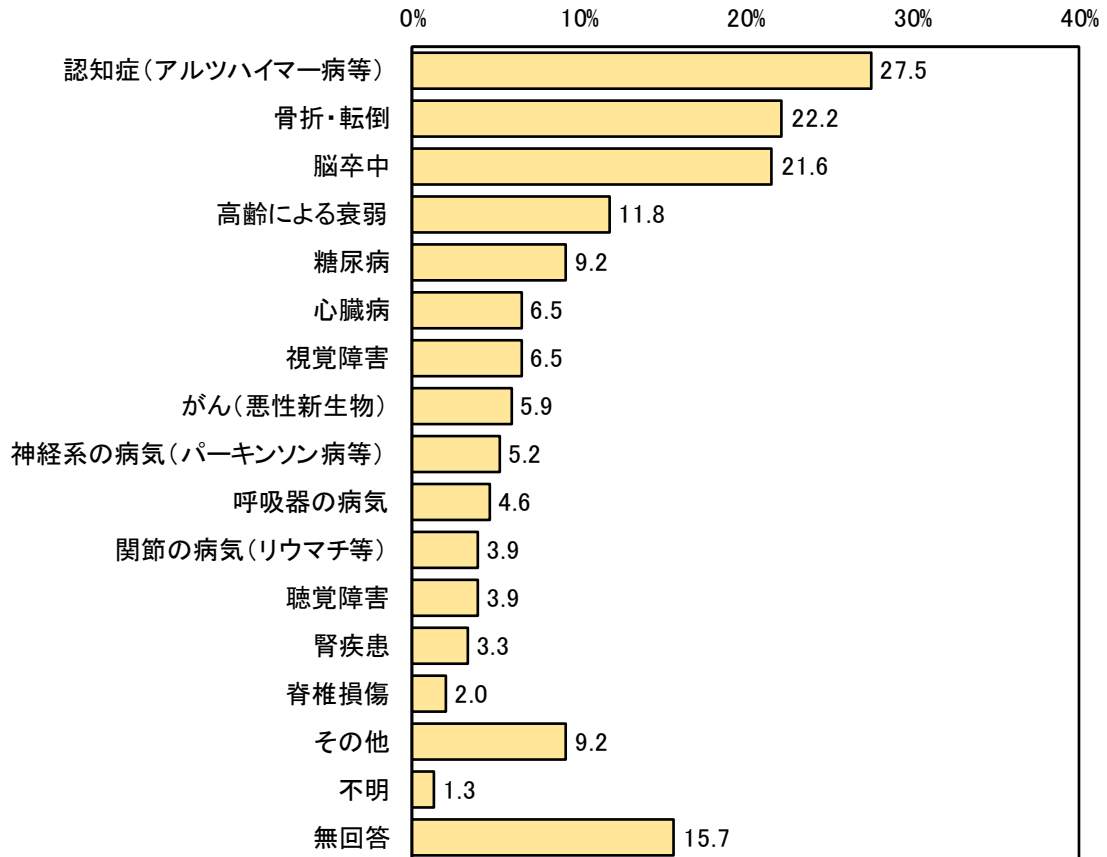
○要介護度別要介護認定を受けた理由										
要介護認定を受けた理由を要介護度別にみると、「要介護1」、「要介護2」、「要介護3」、「要介護4」は、いずれも「介護サービスを必要としていたため」が最も多くなっており、「要介護5」は「病院、医師等から勧められたため」が最も多くなっています。										
	件数	介護サービスを必要としていたため	介護サービスが必要となったとき、すぐ受けることができるため	家族に勧められたため	病院、医師等から勧められたため	自分の要介護度を知りたかったため	施設に入所するため	住宅改修サービスの利用のため	その他	無回答
要介護1	34	55.9	5.9	23.5	41.2	2.9	5.9	2.9	5.9	5.9
要介護2	37	70.3	21.6	18.9	43.2	10.8	2.7	16.2	2.7	0.0
要介護3	28	82.1	14.3	21.4	28.6	3.6	14.3	10.7	0.0	0.0
要介護4	23	82.6	17.4	17.4	26.1	0.0	4.3	0.0	4.3	4.3
要介護5	9	44.4	22.2	22.2	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0

(2) 介護・介助が必要になった主な原因

問3 要介護状態になった主なきっかけは何ですか。(〇印はいくつでも)

介護状態になった主なきっかけは、「認知症(アルツハイマー病等)」が27.5%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が22.2%、「脳卒中」が21.6%、「高齢による衰弱」が11.8%、「糖尿病」が9.2%などとなっています。

(n=153)





○男女別介護・介助が必要になった主な原因

介護状態になった主なきっかけを男女別にみると、「男性」は「脳卒中」、「女性」は「骨折・転倒」が、それぞれ最も多くなっています。

	件数	脳卒中	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	神経系の病気（パーキンソン病等）	糖尿病	腎疾患	視覚障害	聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
男性	54	35.2	11.1	11.1	9.3	0.0	31.5	5.6	11.1	1.9	7.4	1.9	14.8	1.9	7.4	13.0	1.9	0.0
女性	75	17.3	5.3	4.0	2.7	8.0	29.3	6.7	10.7	4.0	6.7	5.3	34.7	1.3	18.7	8.0	1.3	6.7

○年齢別介護・介助が必要になった主な原因

介護状態になった主なきっかけを年齢別にみると、「65～69歳」は「認知症（アルツハイマー病等）」、「70～74歳」は「脳卒中」と「骨折・転倒」、「75～79歳」は「脳卒中」、「80～84歳」は「脳卒中」と「認知症（アルツハイマー病等）」と「骨折・転倒」、「85歳以上」は「認知症（アルツハイマー病等）」が、それぞれ最も多くなっています。

	件数	脳卒中	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	神経系の病気（パーキンソン病等）	糖尿病	腎疾患	視覚障害	聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
65～69歳	9	33.3	0.0	0.0	11.1	11.1	44.4	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
70～74歳	12	25.0	0.0	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	25.0	0.0	8.3	33.3	8.3	0.0
75～79歳	21	38.1	4.8	19.0	9.5	0.0	14.3	14.3	9.5	0.0	4.8	0.0	9.5	0.0	0.0	9.5	4.8	4.8
80～84歳	29	31.0	17.2	3.4	0.0	3.4	31.0	13.8	17.2	3.4	3.4	10.3	31.0	3.4	6.9	13.8	0.0	0.0
85歳以上	58	12.1	6.9	5.2	5.2	5.2	39.7	0.0	12.1	5.2	6.9	3.4	29.3	3.4	22.4	5.2	0.0	6.9

○地区別介護・介助が必要になった主な原因

介護状態になった主なきっかけを地区別にみると、「犬山地区」、「城東地区」、「羽黒地区」は「認知症（アルツハイマー病等）」、「楽田地区」は「骨折・転倒」、「池野地区」は「脳卒中」が、それぞれ最も多くなっています。

	件数	脳卒中	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	神経系の病気（パーキンソン病等）	糖尿病	腎疾患	視覚障害	聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
犬山地区	61	24.6	9.8	3.3	6.6	4.9	34.4	4.9	3.3	1.6	6.6	1.6	27.9	3.3	21.3	14.8	3.3	1.6
城東地区	21	19.0	4.8	14.3	4.8	4.8	28.6	0.0	23.8	0.0	0.0	9.5	23.8	0.0	9.5	0.0	0.0	9.5
羽黒地区	60	20.0	10.0	13.3	0.0	6.7	33.3	13.3	13.3	10.0	10.0	10.0	16.7	3.3	6.7	10.0	0.0	3.3
楽田地区	15	26.7	0.0	0.0	13.3	0.0	33.3	6.7	20.0	0.0	13.3	0.0	40.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0
池野地区	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

○病気別介護・介助が必要になった主な原因

**脳卒中**  
 具体的病名：脳梗塞（14件）、脳出血（7件）、脳梗塞によるパーキンソン症候群（1件）、脳幹梗塞（1件）、左半身まひ（1件）

**心臓病**  
 具体的病名：心筋梗塞（2件）、狭心症（1件）、心臓肥大（1件）、ペースメーカー装備（1件）、低酸素脳症・高次脳機能障害（1件）

**がん**  
 具体的病名：大腸（4件）、肺（2件）、胃（1件）、前立腺（1件）

**呼吸器の病気**  
 具体的病名：肺気腫（2件）、肺気胸（1件）、嚥下障害による肺炎（1件）、上気道ポリープ（1件）

**関節の病気**  
 具体的病名：骨粗しょう症（1件）、膠原病（1件）、足を人工関節にしている（1件）

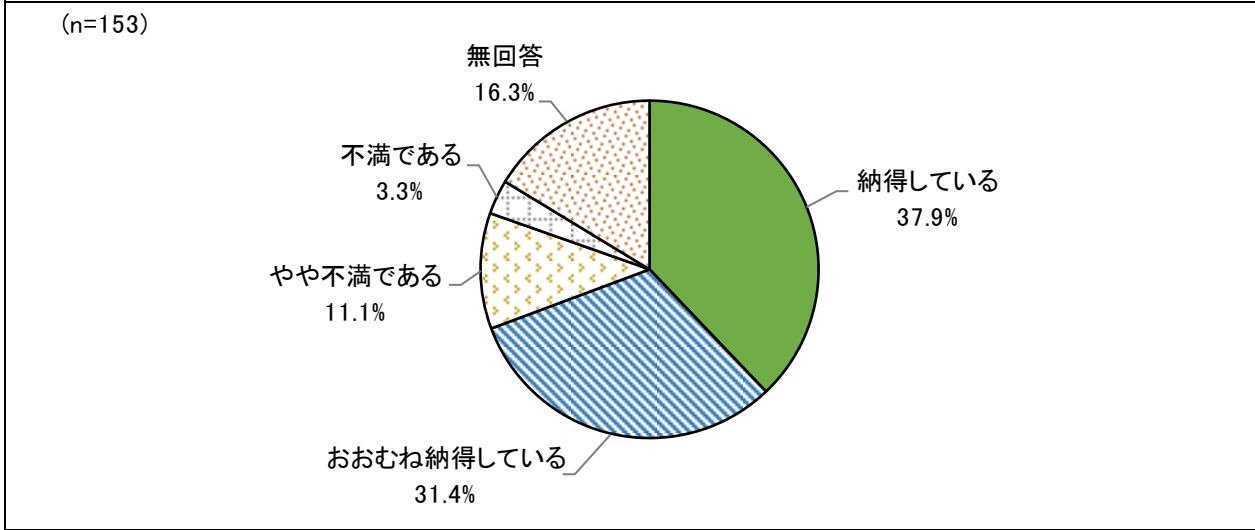
**認知症**  
 具体的病名：アルツハイマー型認知症（7件）、レビー小体型認知症（1件）、前頭葉側頭葉型認知症（1件）、脳梗塞による認知症（1件）、記憶障害（1件）

<b>神経系の病気</b>
具体的病名：パーキンソン病（4件）、大脳皮質基底核変性症（1件）
<b>糖尿病</b>
具体的状況：糖尿病（3件）
<b>腎疾患</b>
具体的病名：透析を受けていない（4件）
<b>視覚障害</b>
具体的病名：緑内障（4件）、白内障（1件）、糖尿病網膜症（1件）、片目失明（1件）、高齢のための視力衰え（1件）
<b>聴覚障害</b>
具体的病名：高音が聞き取りにくい（1件）、軽微な難聴（1件）
<b>骨折・転倒</b>
具体的病名：圧迫骨折（2件）、左大腿骨骨折（2件）、左大腿骨頸部骨折（1件）、右大腿骨骨折（1件）、腰骨骨折（1件）、腰椎骨折（1件）、首の骨骨折（1件）、人工骨頭置換術（1件）、骨折するも治療が遅れたため（1件）
<b>脊椎損傷</b>
具体的病名：頸椎圧迫骨折（1件）、頸椎症性脊髄症（1件）
<b>その他</b>
具体的病名：B型ウイルスによる肝硬変、イレウス、うつ病、不安障害、高血圧、食堂破裂、人工関節への置換、帯状疱疹、知的障害、歩行困難 など

(3) 要介護認定への理解

問4 あなたやご家族の方は要介護認定の結果に納得していますか。(○印は1つだけ)

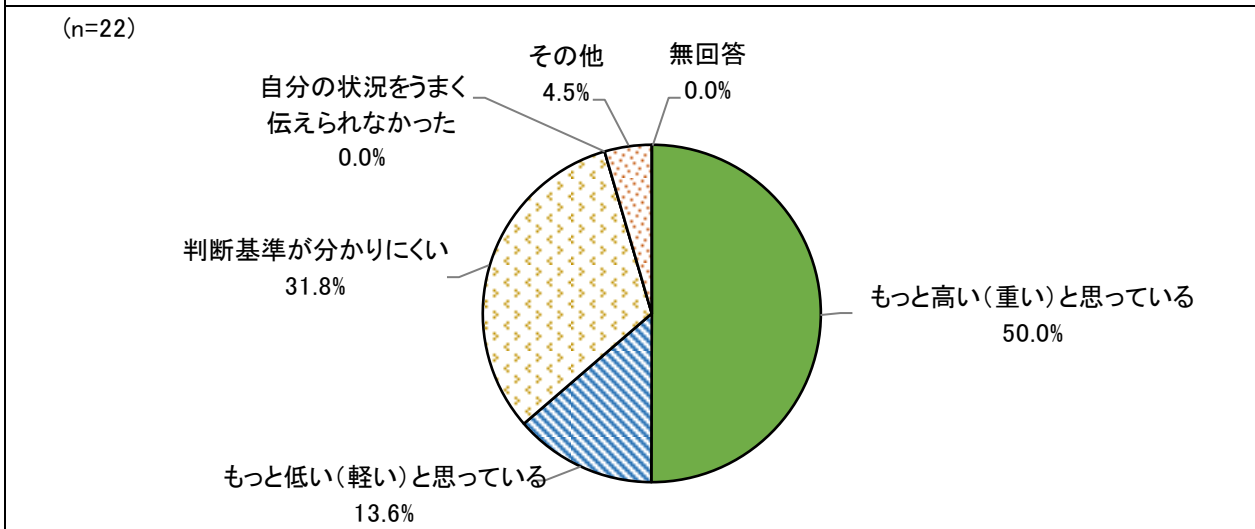
要介護認定の結果に納得しているかは、「納得している」が37.9%、「おおむね納得している」が31.4%、「やや不満である」が11.1%、「不満である」が3.3%となっています。



(4) 要介護認定への不満

問4-1 要介護認定の結果に不満である理由は何ですか。(○印は1つだけ)

問4で「3. やや不満である」、「4. 不満である」と回答した方に、その理由を尋ねると、「もっと高い(重い)と思っている」が50.0%、「もっと低い(軽い)と思っている」が13.6%、「判断基準が分かりにくい」が31.8%などとなっています。

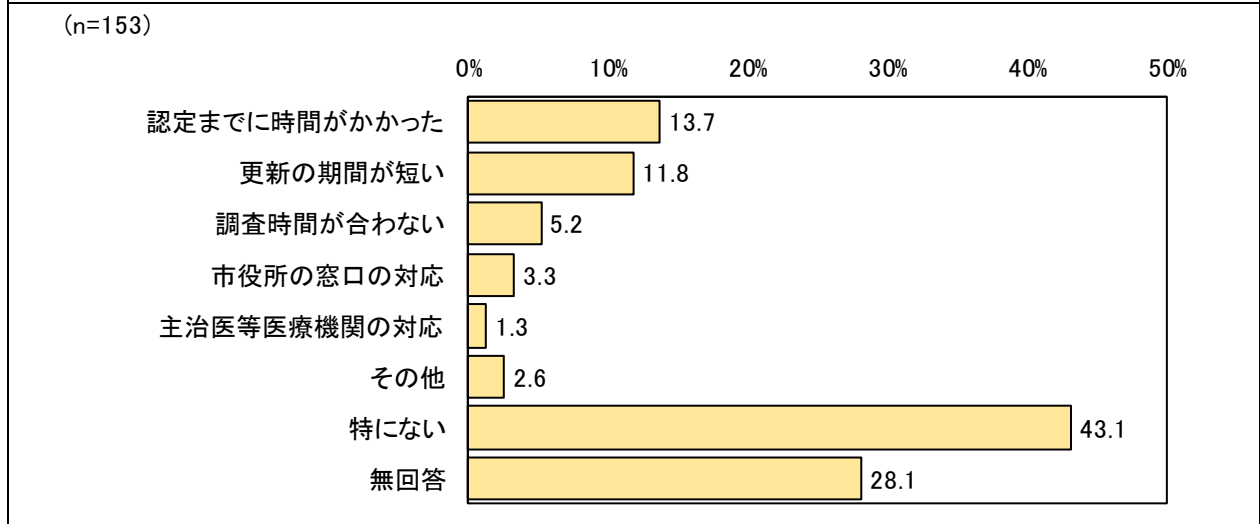


(5) 要介護認定の手続きについて

問5 申請から認定までの手続きの中で困ったことや不満はありますか。  
(○印はいくつでも)

申請から認定までの手続きの中で困ったことや不満はあるかは、「認定までに時間がかかった」が13.7%で最も多く、次いで「更新の期間が短い」が11.8%、「調査時間が合わない」が5.2%、「市役所の窓口の対応」が3.3%、「主治医等医療機関の対応」が1.3%などとなっています。

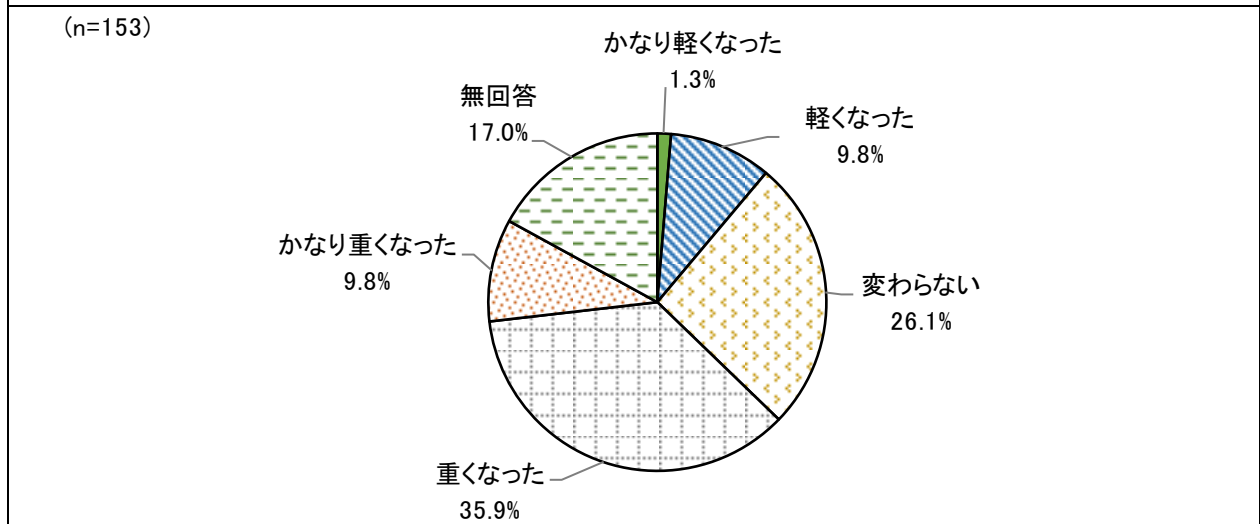
また、「特にない」が43.1%となっています。



(6) 要介護度の変化

問6 最初に要介護（支援）認定を受けた時と、現在の要介護度に変化はありましたか。  
(○印は1つだけ)

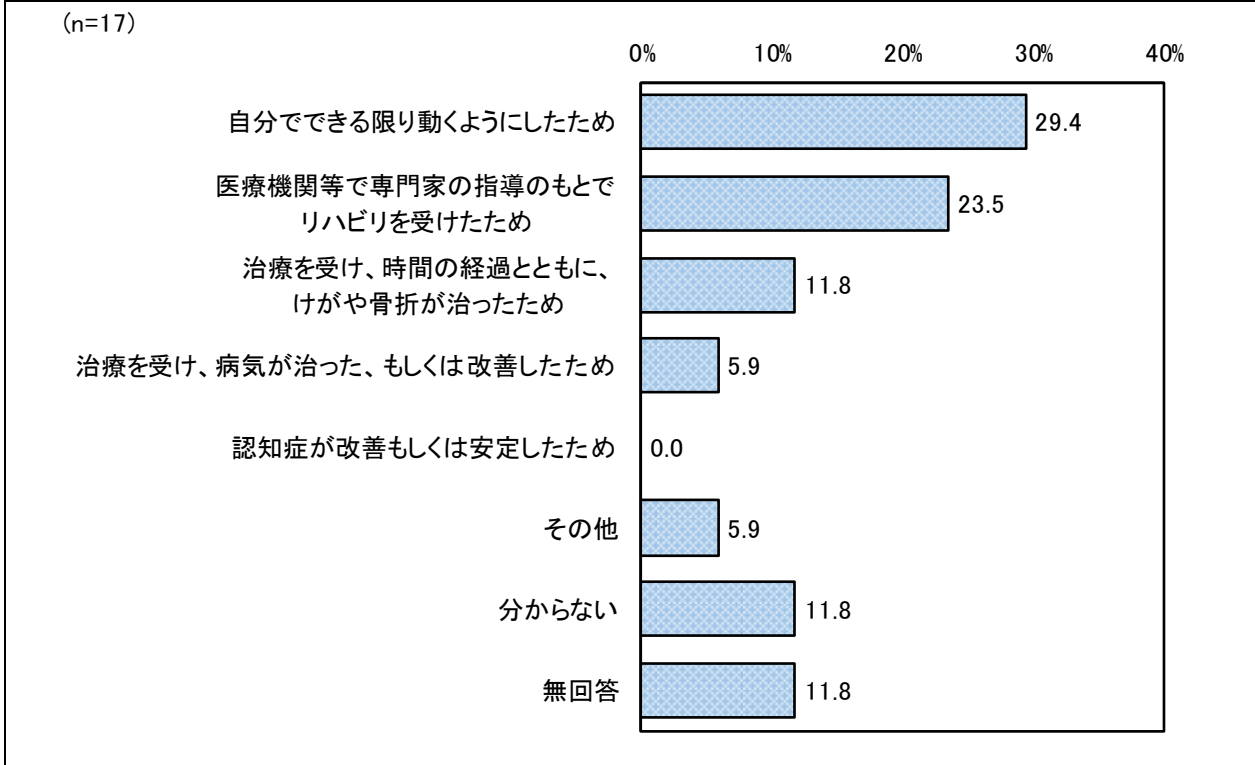
最初に要介護（支援）認定を受けた時と、現在の要介護度に変化はあったかは、「かなり軽くなった」が1.3%、「軽くなった」が9.8%、「変わらない」が26.1%、「重くなった」が35.9%、「かなり重くなった」が9.8%となっています。



(7) 要介護度が変化した要因

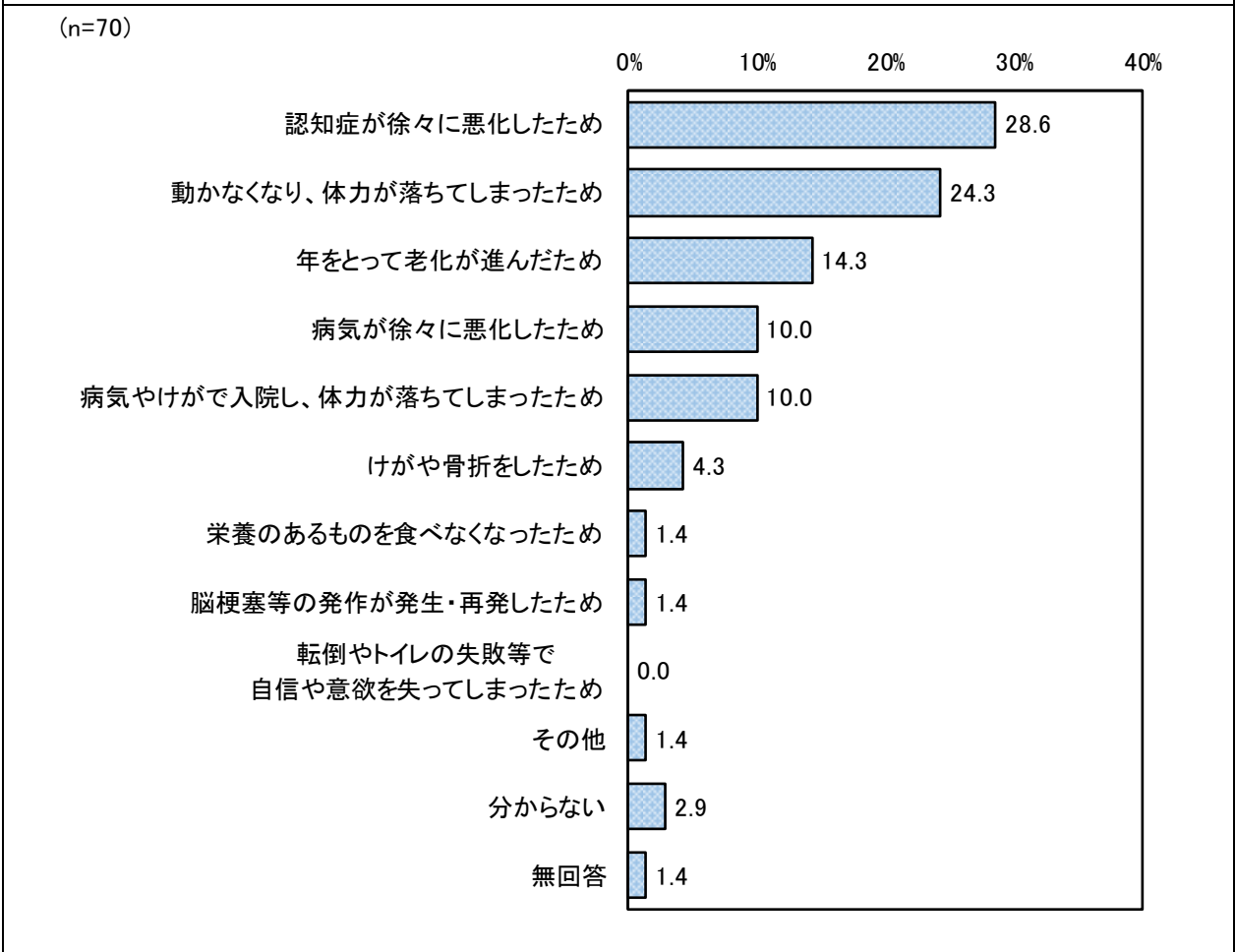
問6-1 要介護度が軽くなったのはなぜですか。(○印は1つだけ)

問6で「1. かなり軽くなった」、「2. 軽くなった」と回答した方に、その要因を尋ねると、「自分でできる限り動くようにしたため」が29.4%で最も多く、次いで「医療機関等で専門家の指導のもとでリハビリを受けたため」が23.5%、「治療を受け、時間の経過とともに、けがや骨折が治ったため」が11.8%、「治療を受け、病気が治った、もしくは改善したため」が5.9%などとなっています。



問6-2 要介護度が重くなったのはなぜですか。(○印は1つだけ)

問6で「4. 重くなった」、「5. かなり重くなった」と回答した方に、その要因を尋ねると、「認知症が徐々に悪化したため」が28.6%で最も多く、次いで「動かなくなり、体力が落ちてしまったため」が24.3%、「年をとって老化が進んだため」が14.3%、「病気が徐々に悪化したため」と「病気やけがで入院し、体力が落ちてしまったため」がともに10.0%などとなっています。

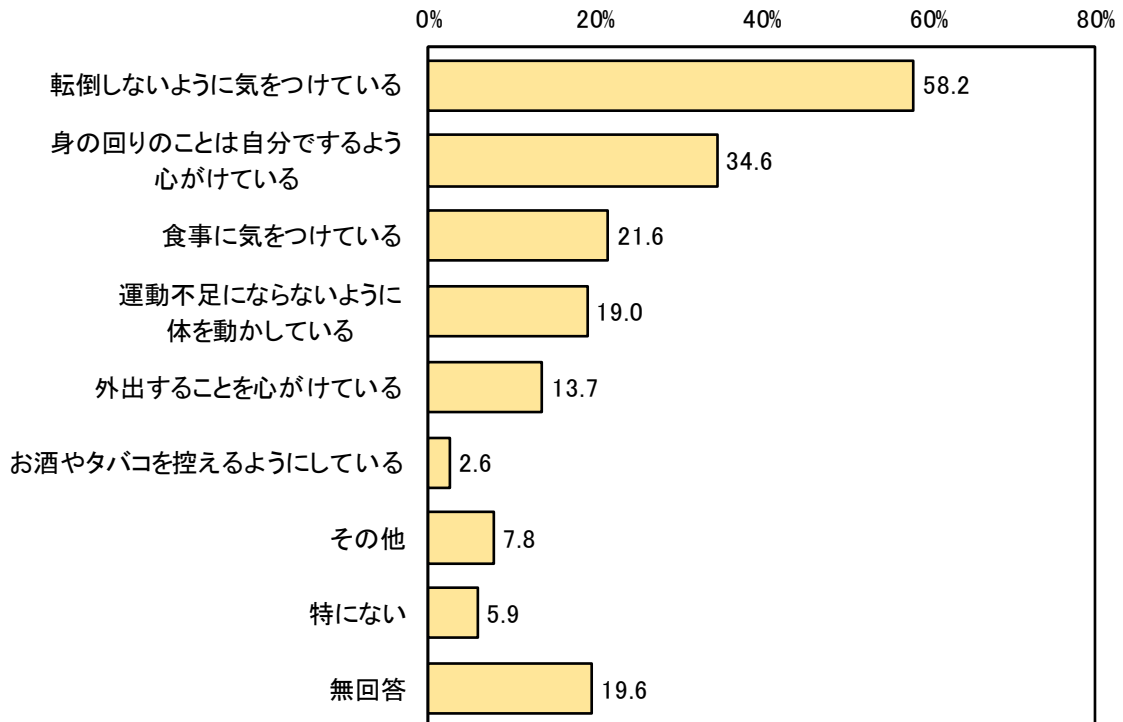


(8) 要介護度重度化予防について

問7 要介護度が重くならないように気をつけていることはありますか。  
(○印はいくつでも)

要介護度が重くならないように気をつけていることは、「転倒しないように気をつけている」が 58.2%で最も多く、次いで「身の回りのことは自分でするよう心がけている」が 34.6%、「食事に気をつけている」が 21.6%、「運動不足にならないように体を動かしている」が 19.0%、「外出することを心がけている」が 13.7%などとなっています。

(n=153)

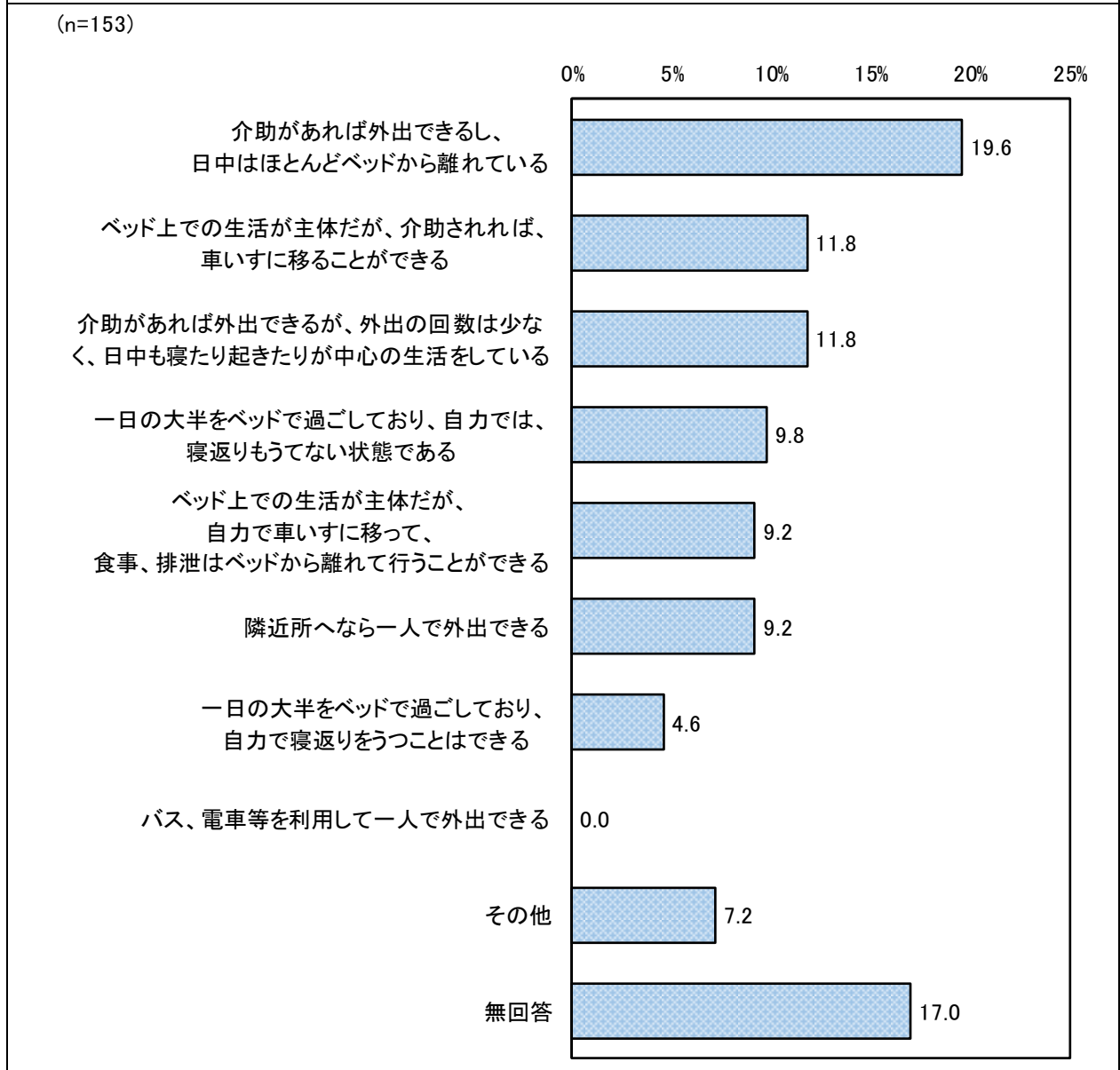




(9) 生活の状況について

問8 現在の生活全体はどのような状況ですか。(○印は1つだけ)

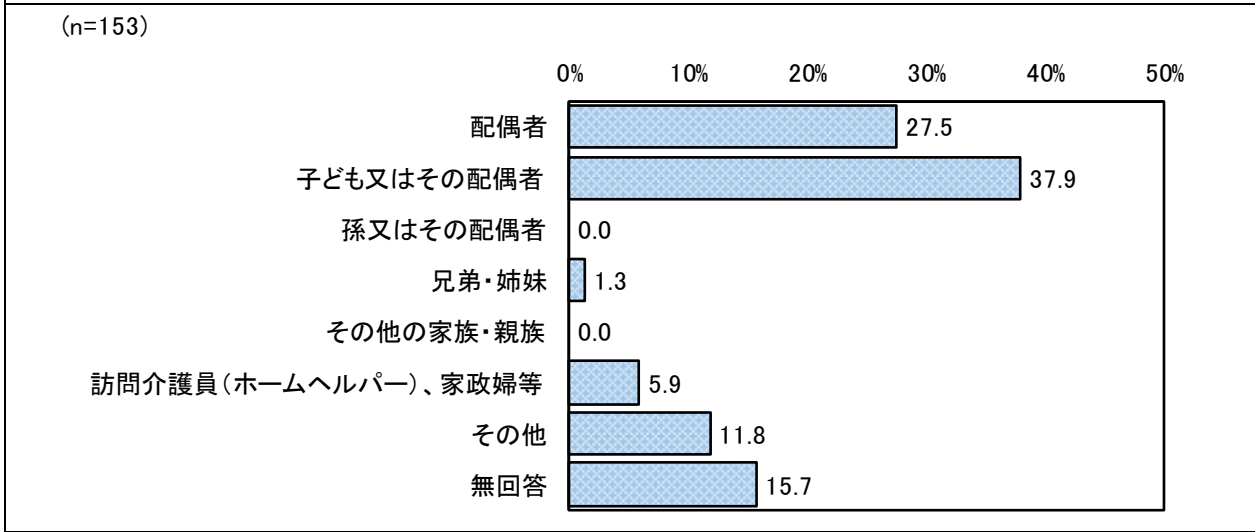
現在の生活全体の状況は、「介助があれば外出できるし、日中はほとんどベッドから離れている」が19.6%で最も多く、次いで「ベッド上での生活が主体だが、介助されれば、車いすに移ることができる」と「介助があれば外出できるが、外出の回数は少なく、日中も寝たり起きたりが中心の生活をしている」がともに11.8%、「一日の大半をベッドで過ごしており、自力では、寝返りもうてない状態である」が9.8%、「ベッド上での生活が主体だが、自力で車いすに移って、食事、排泄はベッドから離れて行うことができる」と「隣近所へなら一人で外出できる」がともに9.2%などとなっています。



(10) 主な介護者

問9 現在ご本人を介護している方は主にどなたですか。(○印は1つだけ)

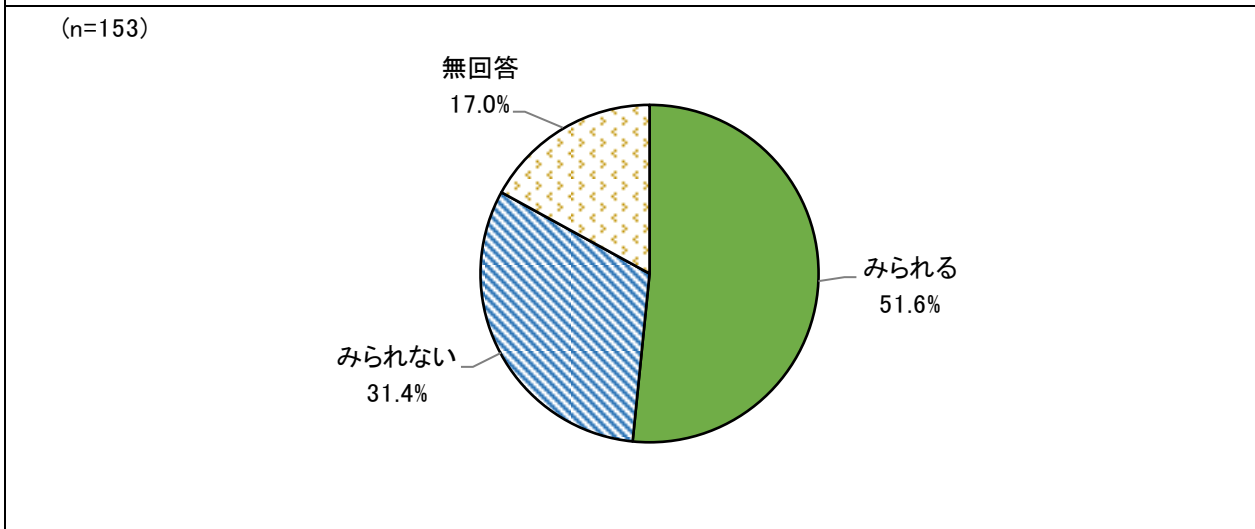
現在介護している方は、「子ども又はその配偶者」が37.9%で最も多く、次いで「配偶者」が27.5%、「訪問介護員(ホームヘルパー)、家政婦等」が5.9%、「兄弟・姉妹」が1.3%などとなっています。



(11) 認知症状について

問10 認知症状がみられますか。(○印は1つだけ)

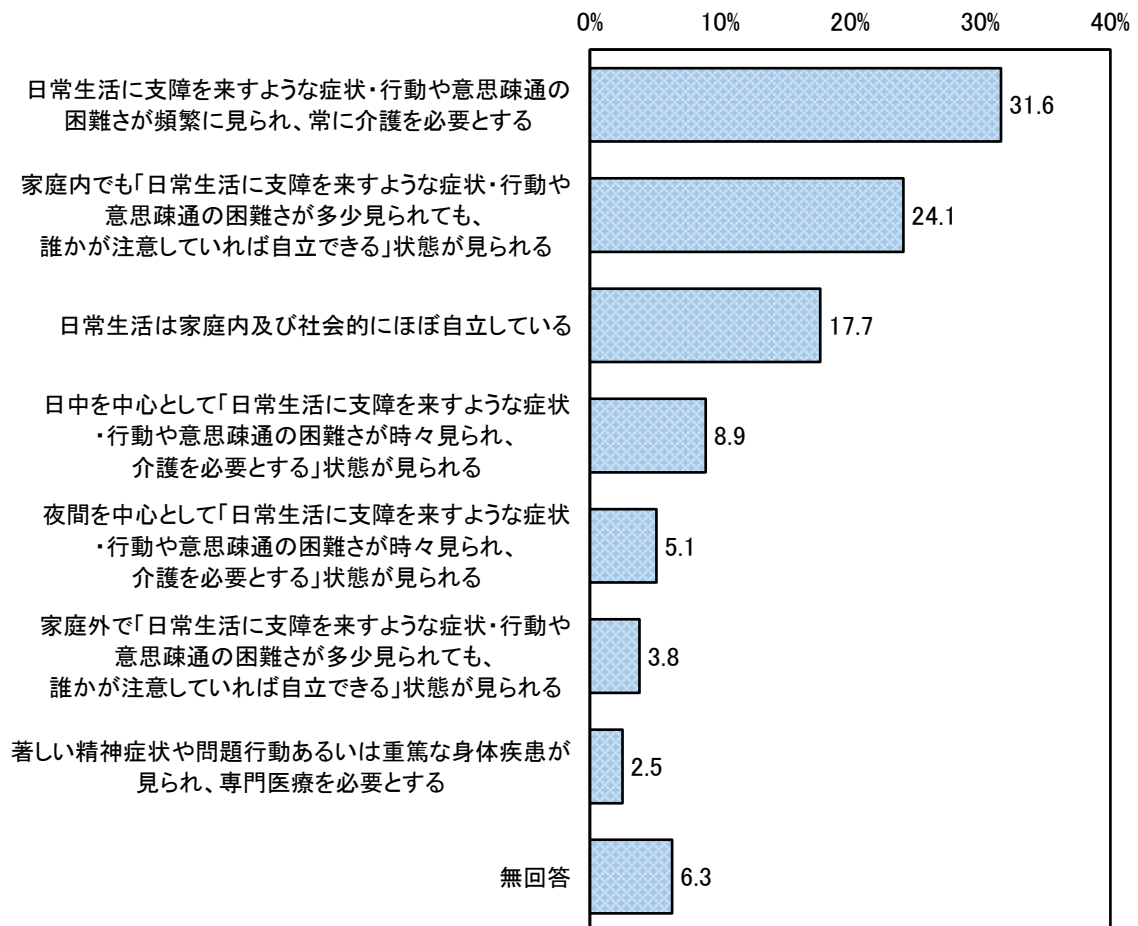
認知症状がみられるかは、「みられる」が51.6%、「みられない」が31.4%となっています。



問10-1 それはどのような状況ですか。(○印は「1」～「7」から1つだけ)

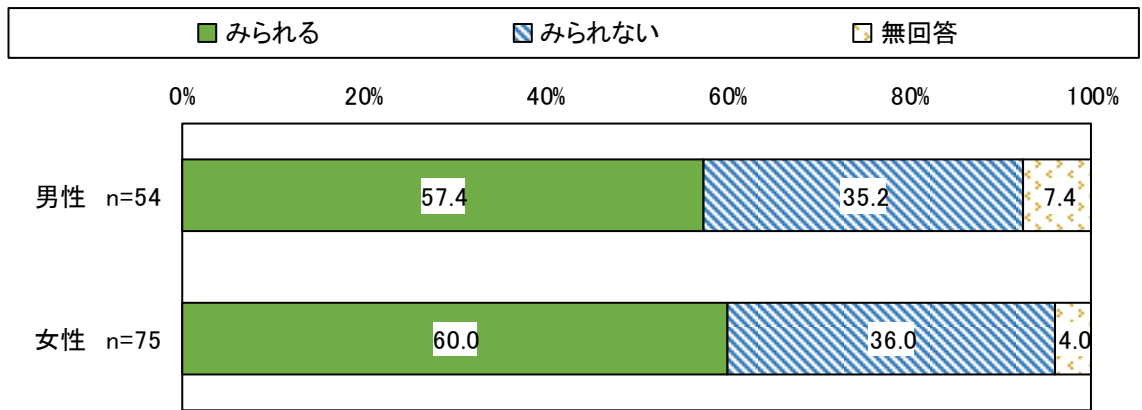
問10で「1. みられる」と回答した方に、その状況を尋ねると、「日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする」が31.6%で最も多く、次いで「家庭内でも『日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる』状態が見られる」が24.1%、「日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している」が17.7%、「日中を中心として『日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする』状態が見られる」が8.9%、「夜間を中心として『日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする』状態が見られる」が5.1%などとなっています。

(n=79)



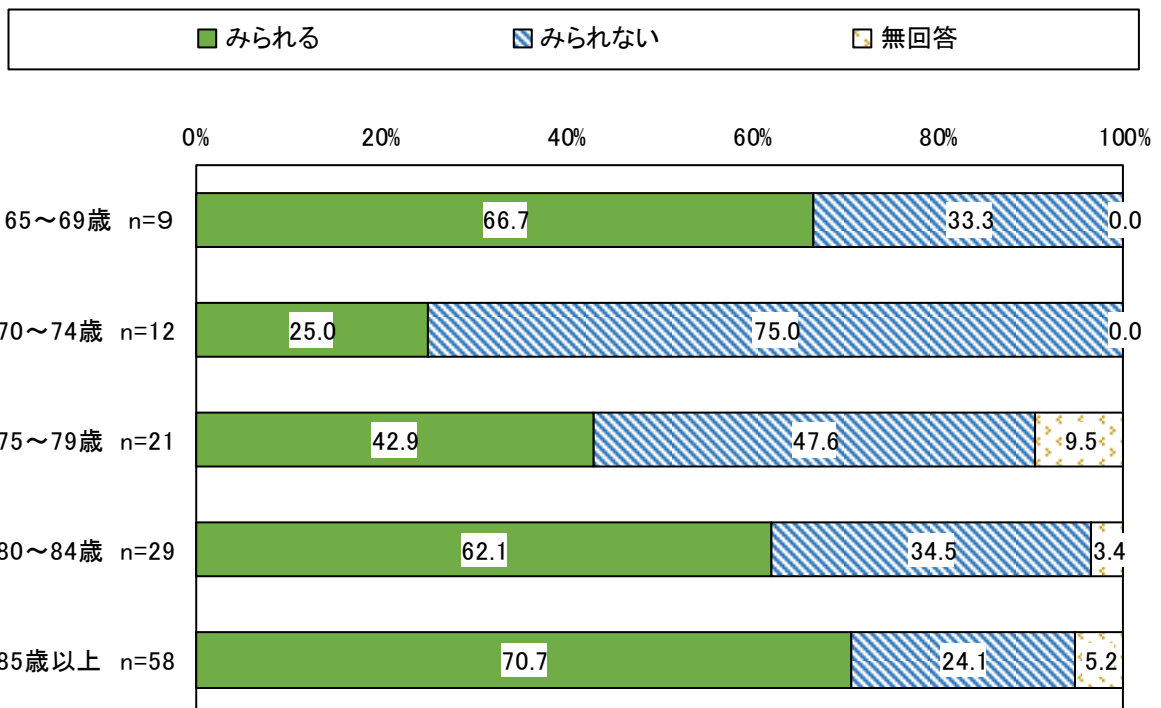
○男女別認知症状の状況

認知症状がみられるかを男女別にみると、「男性」は 57.4%、女性は 60.0%が「みられる」と回答しています。



○年齢別認知症状の状況

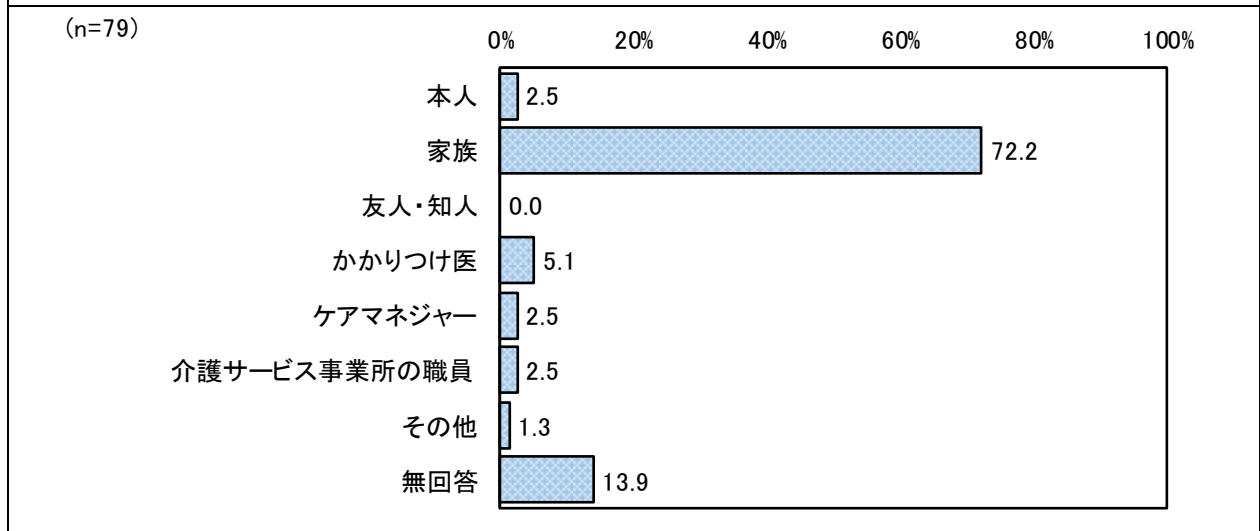
認知症状がみられるかを年齢別にみると、「65～69歳」が 66.7%、「70～74歳」が 25.0%、「75～79歳」が 42.9%、「80～84歳」が 62.1%、「85歳以上」は 70.7%が「みられる」と回答しています。



(12) 認知症状に気づいた人について

問10-2 認知症のご本人の変化に誰が最初に気づきましたか。(○印は1つだけ)

問10で「1. みられる」と回答した方に、誰が最初に変化に気づいたかを尋ねると、「本人」が2.5%、「家族」が72.2%、「かかりつけ医」が5.1%、「ケアマネジャー」が2.5%などとなっています。

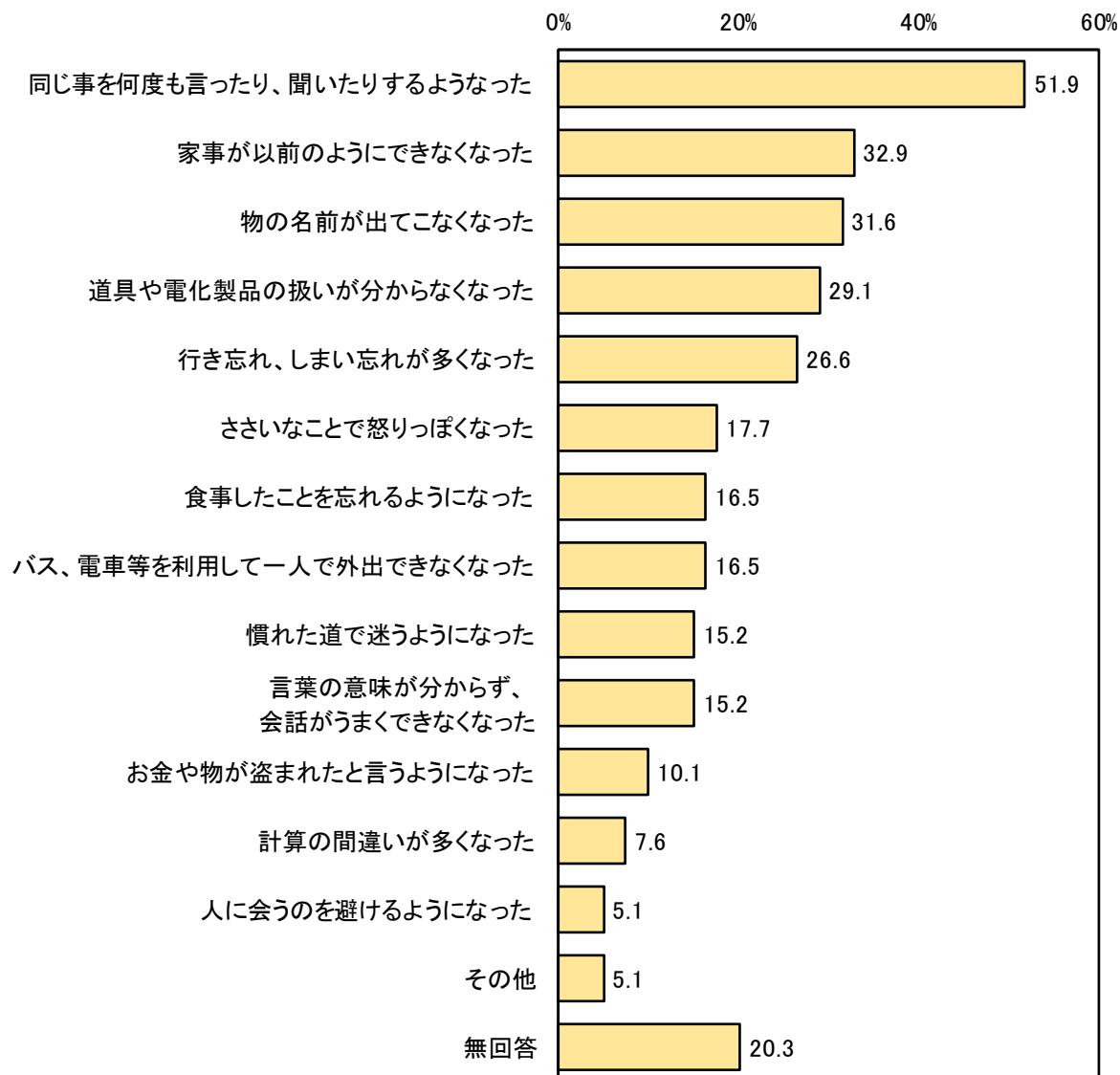


(13) 認知症状に気づいたきっかけについて

問10-3 認知症ではないかと気づいた、あるいは不安に思うきっかけとなったのは、どのようなこと(変化)でしたか。(〇印はいくつでも)

問10で「1. みられる」と回答した方に、認知症ではないかと気づいた、あるいは不安に思うきっかけとなったのは、どのようなこと(変化)かを尋ねると、「同じ事を何度も言ったり、聞いたりするようになった」が51.9%で最も多く、次いで「家事が以前のようにできなくなった」が32.9%、「物の名前が出てこなくなった」が31.6%、「道具や電化製品の扱いが分からなくなった」が29.1%、「行き忘れ、しまい忘れが多くなった」が26.6%などとなっています。

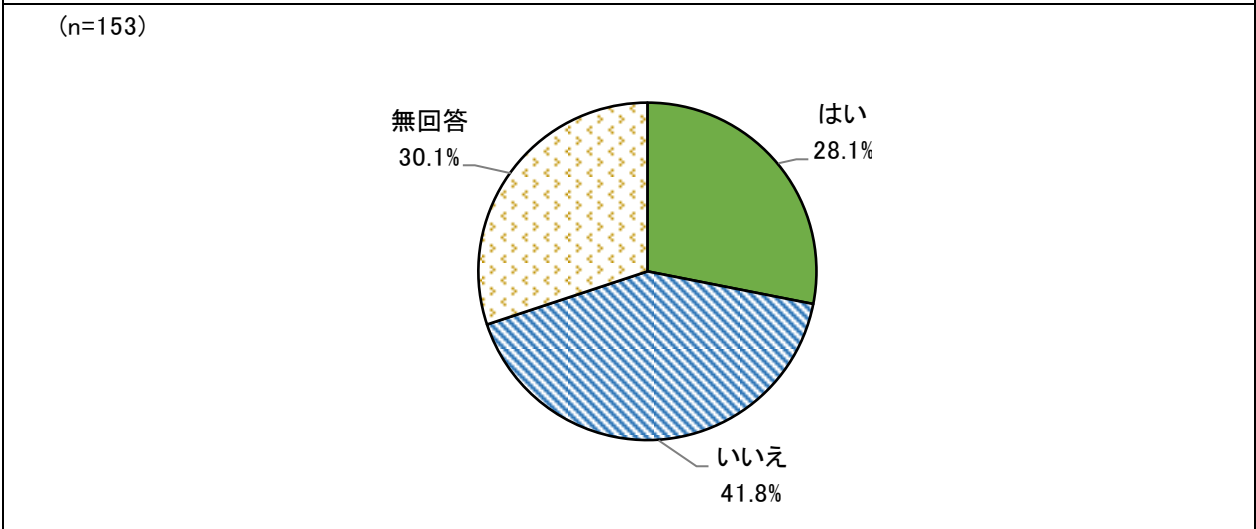
(n=79)



(14) 認知症にかかる相談窓口の把握について

問 1 1 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○印は1つだけ)

認知症に関する相談窓口を知っているかは、「はい」が 28.1%、「いいえ」が 41.8%となっています。



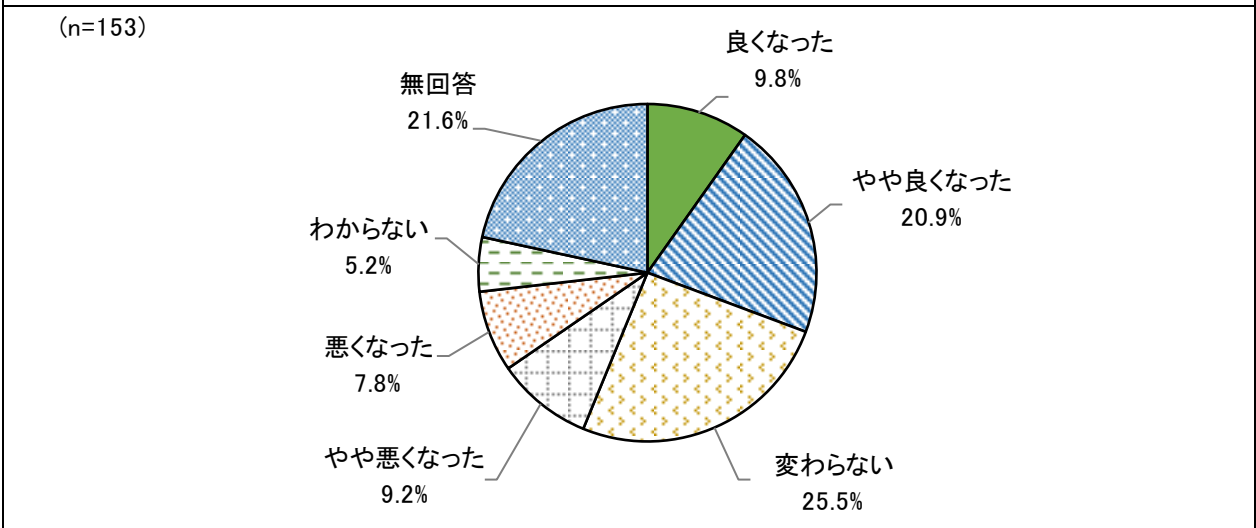
(15) 身体の状態について

問 1 2 介護サービスを利用する前と比べて、身体状態は良くなりましたか。

(○印は1つだけ)

介護サービスを利用する前と比べて、身体状態は良くなったかは、「良くなった」が 9.8%、「やや良くなった」が 20.9%、「変わらない」が 25.5%、「やや悪くなった」が 9.2%、「悪くなった」が 7.8%となっています。

また、「わからない」が 5.2%となっています。

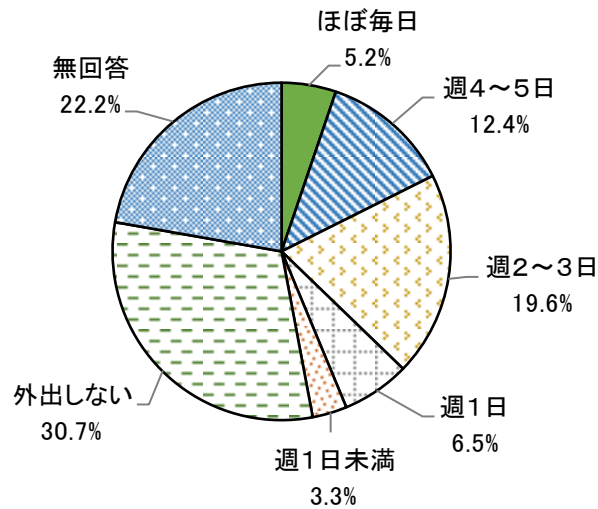


(16) 外出の頻度について

問 1 3 外出する頻度はどのくらいですか。(○印は1つだけ)

外出する頻度は、「ほぼ毎日」が 5.2%、「週 4～5 日」が 12.4%、「週 2～3 日」が 19.6%、「週 1 日」が 6.5%、「週 1 日未満」が 3.3%となっています。  
また、「外出しない」が 30.7%となっています。

(n=153)

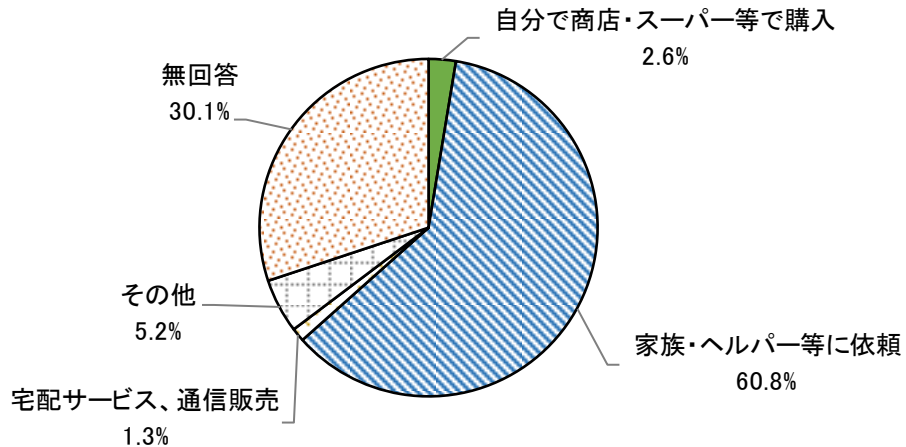


(17) 買い物について

問 1 4 日常の買い物は主にどのようにしていますか。(○印は1つだけ)

日常の買い物は主にどのようにしているかは、「自分で商店・スーパー等で購入」が 2.6%で、「家族・ヘルパー等に依頼」が 60.8%、「宅配サービス、通信販売」が 1.3%、「その他」が 5.2%となっています。

(n=153)

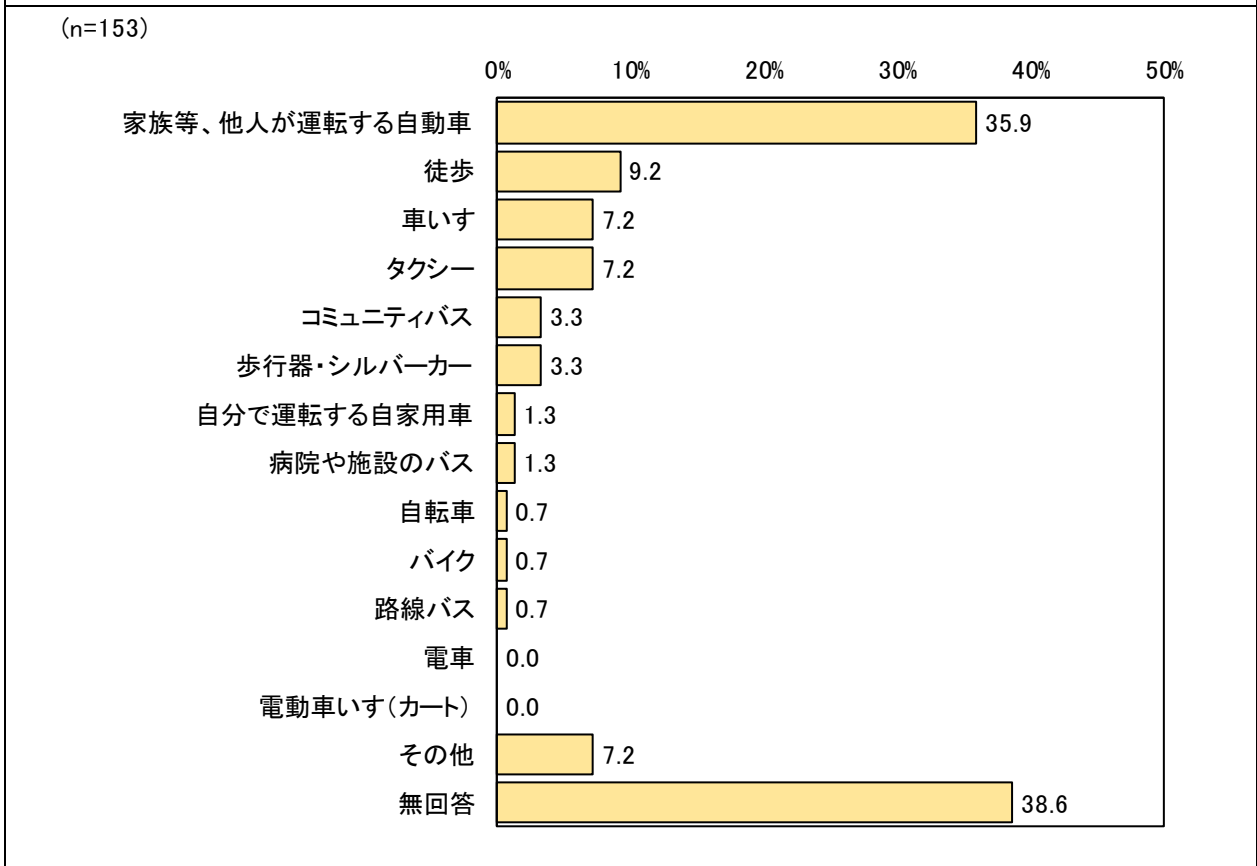




(18) 移動手段について

問15 買い物等で外出する際の移動手段は何ですか。(〇印はいくつでも)

買い物等で外出する際の移動手段は、「家族等、他人が運転する自動車」が35.9%で最も多く、次いで「徒歩」が9.2%、「車いす」と「タクシー」がともに7.2%、「コミュニティバス」と「歩行器・シルバーカー」がともに3.3%などとなっています。



○年齢別外出する際の移動手段

買い物等で外出する際の移動手段を年齢別にみると、全ての年齢で「家族等、他人が運転する自動車」が最も多くなっています。

	件数	徒歩	自転車	バイク	自分で運転する自家用車	家族等、他人が運転する自動車	電車	路線バス	コミュニティバス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
65～69歳	9	11.1	0.0	0.0	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4
70～74歳	12	16.7	0.0	0.0	0.0	58.3	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7
75～79歳	21	9.5	0.0	0.0	0.0	38.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	4.8	14.3	28.6
80～84歳	29	17.2	3.4	3.4	6.9	34.5	0.0	3.4	13.8	3.4	6.9	0.0	6.9	20.7	6.9	20.7
85歳以上	58	6.9	0.0	0.0	0.0	41.4	0.0	0.0	0.0	1.7	6.9	0.0	5.2	6.9	8.6	32.8

○地区別外出する際の移動手段

買い物等で外出する際の移動手段を地区別にみると、全ての地区で「家族等、他人が運転する自動車」が最も多くなっています。

	件数	徒歩	自転車	バイク	自分で運転する自家用車	家族等、他人が運転する自動車	電車	路線バス	コミュニティバス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
犬山地区	61	18.0	1.6	1.6	1.6	26.2	0.0	0.0	6.6	1.6	11.5	0.0	4.9	13.1	6.6	32.8
城東地区	21	9.5	0.0	0.0	0.0	47.6	0.0	4.8	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	4.8	9.5	38.1
羽黒地区	60	3.3	0.0	0.0	3.3	56.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	3.3	6.7	10.0	20.0
楽田地区	15	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7	20.0
池野地区	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0

○家族構成別外出する際の移動手段

買い物等で外出する際の移動手段を家族構成別にみると、全ての家族構成で「家族等、他人が運転する自動車」が最も多くなっています。

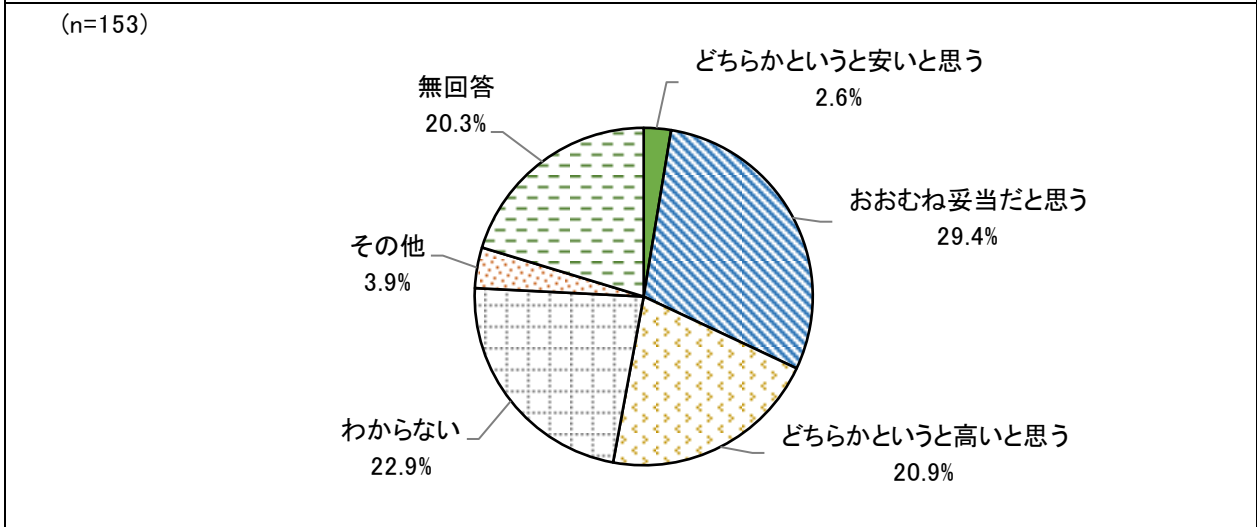
	件数	徒歩	自転車	バイク	自分で運転する自家用車	家族等、他人が運転する自動車	電車	路線バス	コミュニティバス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
ひとり暮らし	22	9.1	0.0	0.0	4.5	31.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	9.1	4.5	13.6	31.8
夫婦二人暮らし	32	18.8	0.0	0.0	3.1	43.8	0.0	3.1	9.4	0.0	12.5	0.0	0.0	18.8	6.3	18.8
本人とその他の高齢者 (65歳以上)のみの世帯	13	0.0	0.0	0.0	0.0	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	23.1	30.8
その他の世帯(同居世帯)	62	6.5	1.6	1.6	0.0	43.5	0.0	0.0	1.6	3.2	8.1	0.0	4.8	4.8	4.8	35.5

### 3 介護保険料や介護サービスの利用料について

#### (1) 介護保険料について

問16 現在支払っている介護保険料の額について、どのように感じていますか。  
(○印は1つだけ)

現在支払っている介護保険料の額について、「どちらかという安いと思う」が2.6%、「おおむね妥当だと思う」が29.4%、「どちらかという高いと思う」が20.9%、「わからない」が22.9%などとなっています。

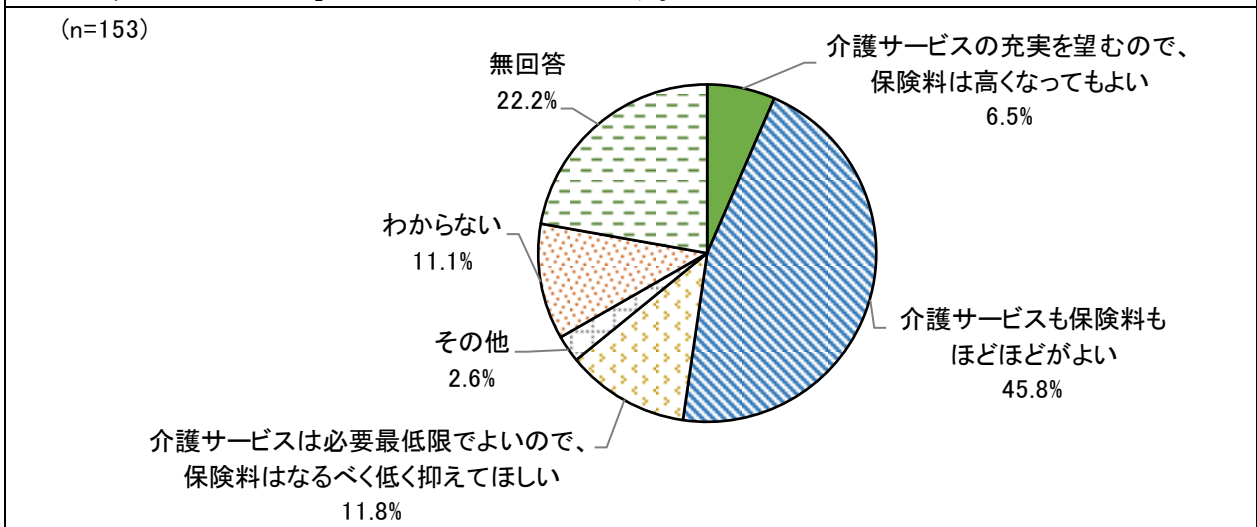


#### (2) 本市の介護保険料と介護サービスのあり方について

問17 現在の本市の介護保険料と介護サービスのあり方について、あなたはどのように思いますか。(○印は1つだけ)

介護保険料と介護サービスのあり方について、「介護サービスの充実を望むので、保険料は高くなってもよい」が6.5%、「介護サービスも保険料もほどほどがよい」が45.8%、「介護サービスは必要最低限でよいので、保険料はなるべく低く抑えてほしい」が11.8%などとなっています。

また、「わからない」が11.1%となっています。

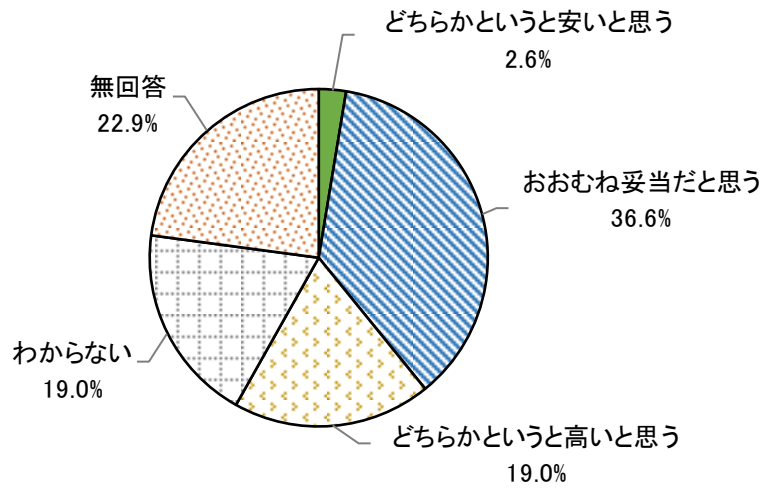


(3) 介護サービスの利用料について

問18 現在、利用しているサービスの利用回数や利用時間、内容からみて、利用料（1割から3割の自己負担金額）をどのように感じますか。（○印は1つだけ）

利用しているサービスの利用料について、「どちらかという目安と思う」が2.6%、「おおむね妥当だと思う」が36.6%、「どちらかという高いと思う」が19.0%となっています。また、「わからない」が19.0%となっています。

(n=153)

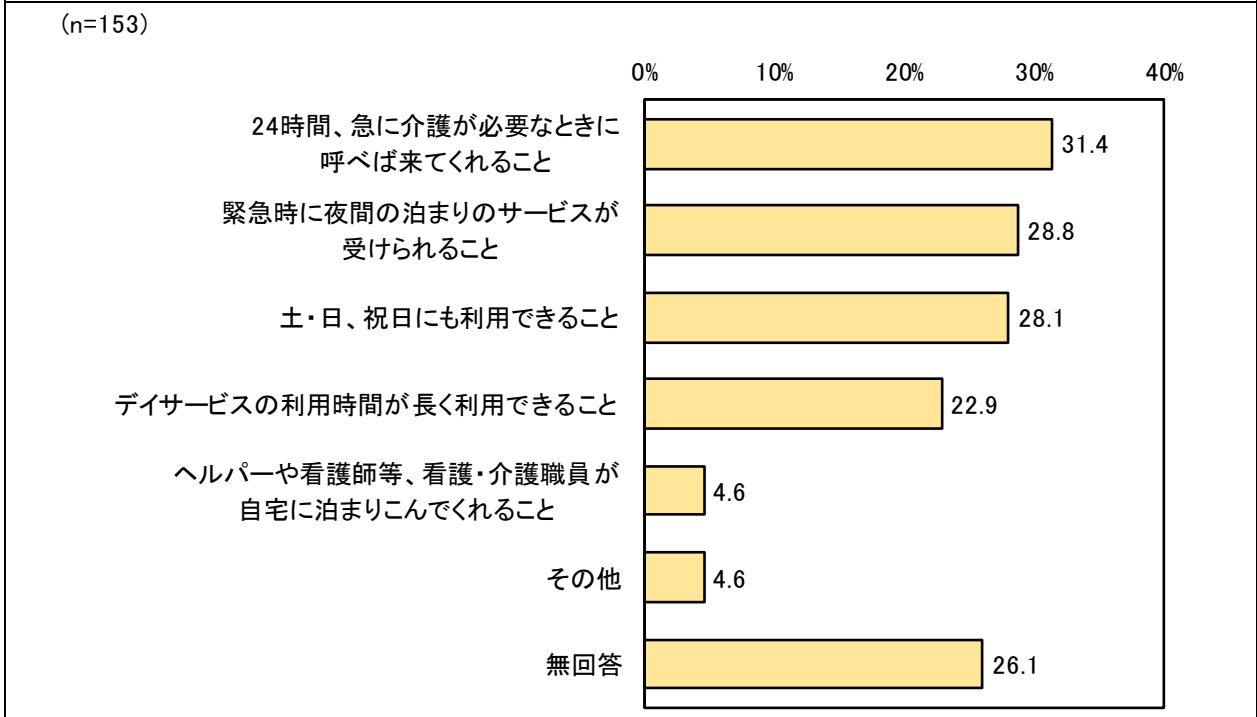


## 4 介護サービスの今後の利用意向について

### (1) 在宅生活の継続について

問19 要介護状態が重くなった場合、どのようなサービスがあれば在宅で生活が続けられると思いますか。(○印は2つまで)

要介護状態が重くなった場合、在宅で生活が続けられると思うサービスは、「24時間、急に介護が必要なときに呼べば来てくれること」が31.4%で最も多く、次いで「緊急時に夜間の泊まりのサービスが受けられること」が28.8%、「土・日、祝日にも利用できること」が28.1%、「デイサービスの利用時間が長く利用できること」が22.9%、「ヘルパーや看護師等、看護・介護職員が自宅に泊まりこんでくれること」が4.6%などとなっています。

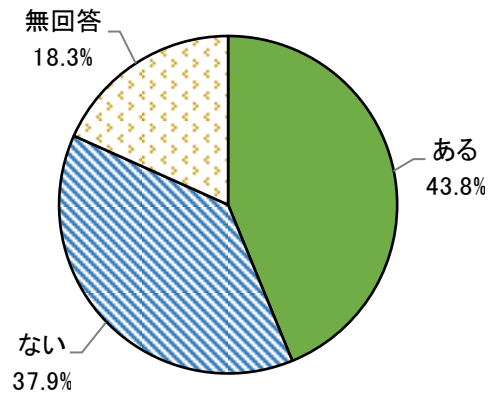


(2) 在宅医療について

問20 3年以内に医療機関に入院したことがありますか。(○印は1つだけ)

3年以内に医療機関に入院したことがあるかは、「ある」が43.8%、「ない」が37.9%となっています。

(n=153)

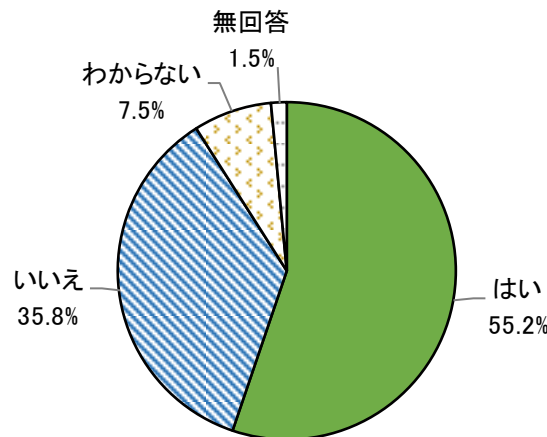


問20-1 退院時にケースワーカー・相談員に在宅医療のことを聞いたことがありますか。(○印は1つだけ)

問20で「1. ある」と回答した方に、退院時にケースワーカー・相談員に在宅医療のことを聞いたことがあるかを尋ねると、「はい」が55.2%、「いいえ」が35.8%となっています。

また、「わからない」が7.5%となっています。

(n=67)

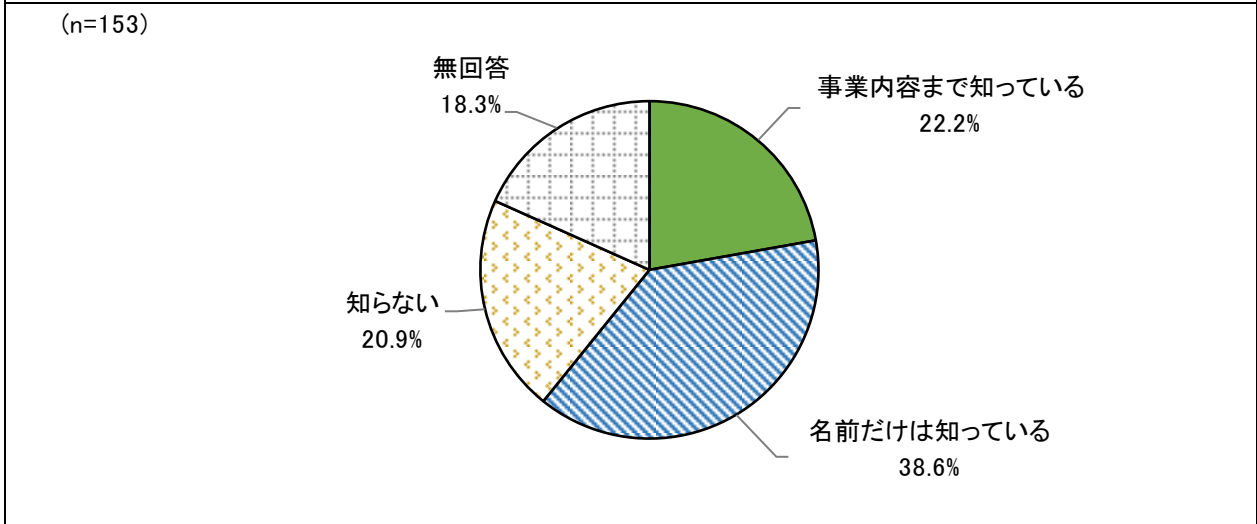


## 5 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）について

### (1) 高齢者あんしん相談センターの認知度について

問2 1 あなたは、高齢者あんしん相談センターを知っていますか。（○印は1つだけ）

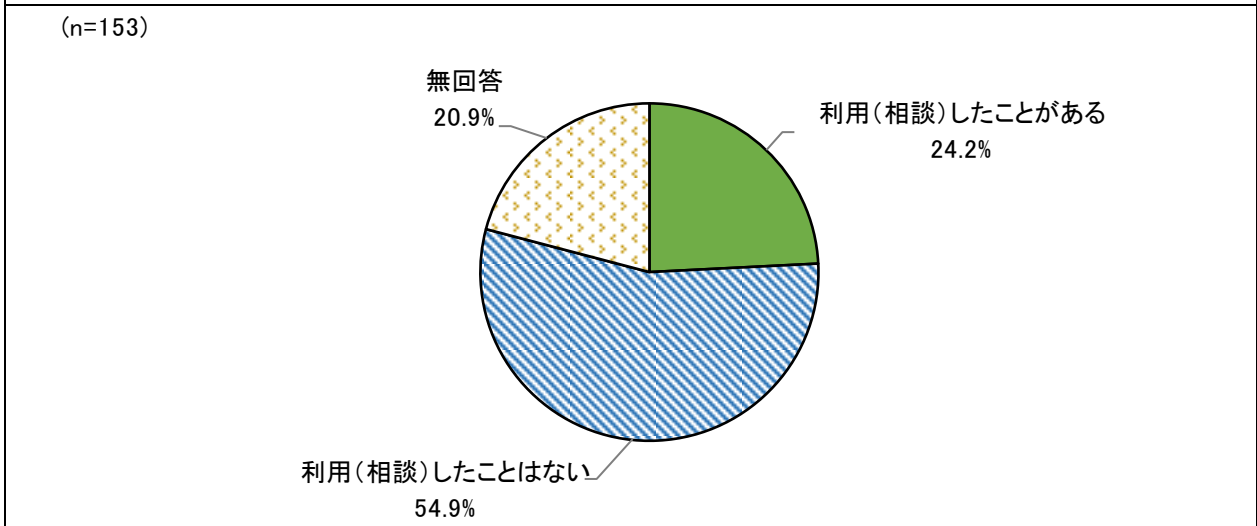
高齢者あんしん相談センターについて、「事業内容まで知っている」が22.2%、「名前だけは知っている」が38.6%、「知らない」が20.9%となっています。



### (2) 高齢者あんしん相談センターの利用について

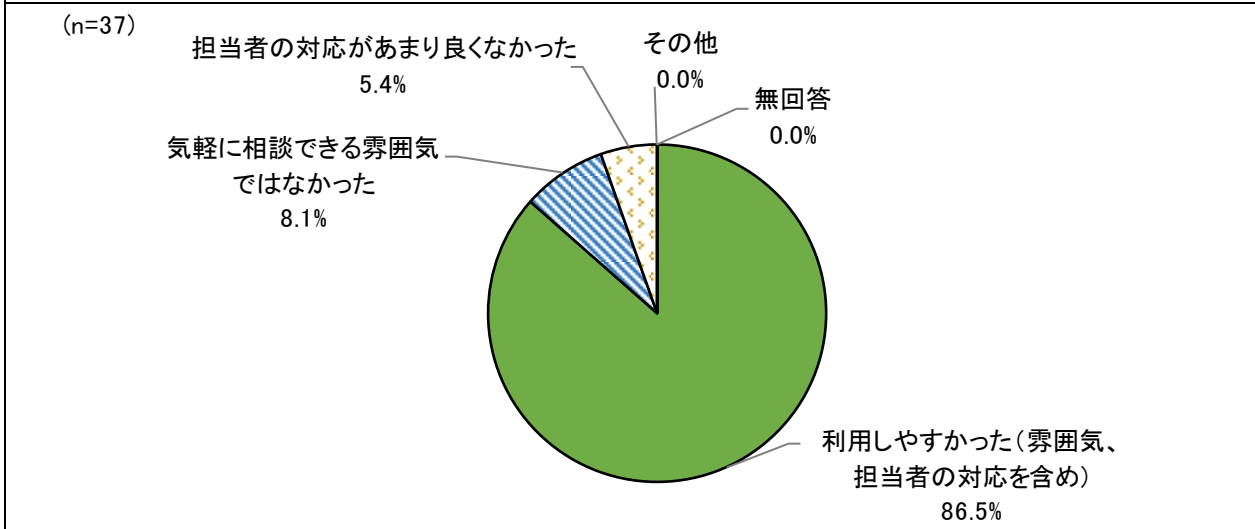
問2 2 あなたは、高齢者あんしん相談センターで利用（相談）したことがありますか。（○印は1つだけ）

高齢者あんしん相談センターの利用（相談）について、「利用（相談）したことがある」が24.2%、「利用（相談）したことはない」が54.9%となっています。



問22-1 高齢者あんしん相談センターの印象はいかがでしたか。(○印は1つだけ)

問22で「1. 利用(相談)したことがある」と回答した方に、印象を尋ねると、「利用しやすかった(雰囲気、担当者の対応を含め)」が86.5%で、「気軽に相談できる雰囲気ではなかった」が8.1%、「担当者の対応があまり良くなかった」が5.4%となっています。



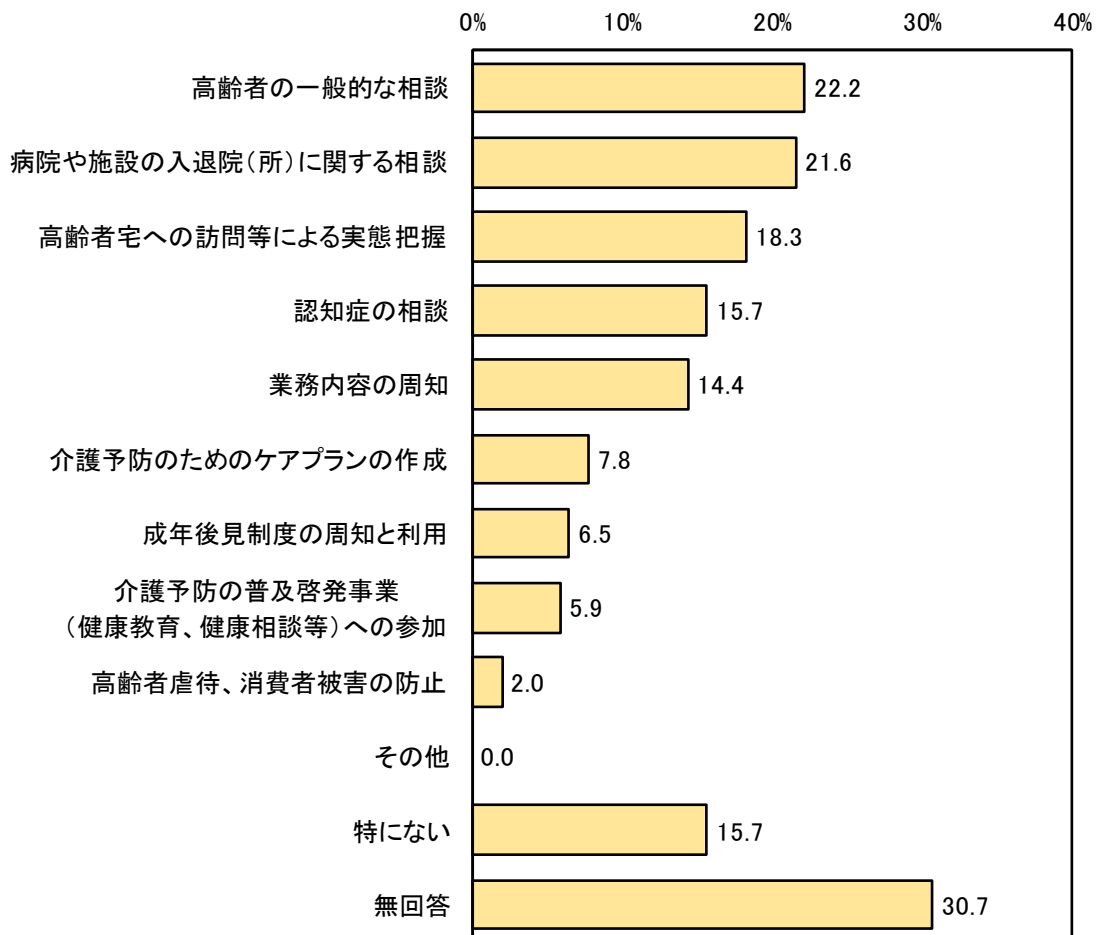


(3) 高齢者あんしん相談センターへの要望について

問23 今後、高齢者あんしん相談センターに特に力を入れてほしい事業は何ですか。  
(○印は3つまで)

今後、高齢者あんしん相談センターに特に力を入れてほしい事業は、「高齢者の一般的な相談」が22.2%で最も多く、次いで「病院や施設の入退院(所)に関する相談」が21.6%、「高齢者宅への訪問等による実態把握」が18.3%、「認知症の相談」が15.7%、「業務内容の周知」が14.4%となっています。  
また、「特にない」が15.7%となっています。

(n=153)

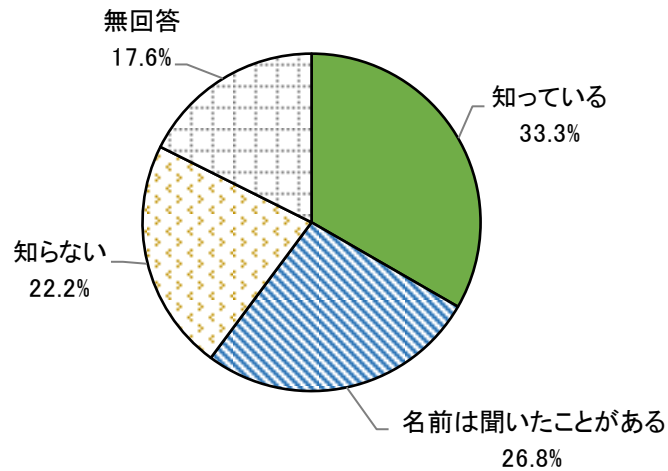


(4) 成年後見制度について

問24 「成年後見制度」について知っていますか。(○印は1つだけ)

「成年後見制度」について、「知っている」が33.3%、「名前は聞いたことがある」が26.8%、「知らない」が22.2%となっています。

(n=153)

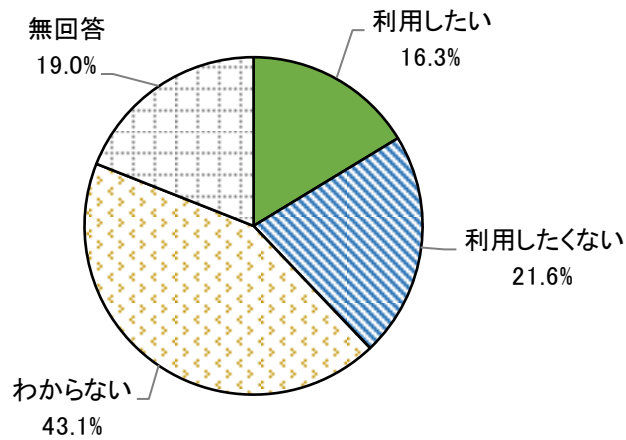


問25 あなたは将来、支援が必要になった場合に「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(○印は1つだけ)

将来、支援が必要になった場合に「成年後見制度」を利用したいと思うかは、「利用したい」が16.3%、「利用したくない」が21.6%となっています。

また、「わからない」が43.1%となっています。

(n=153)

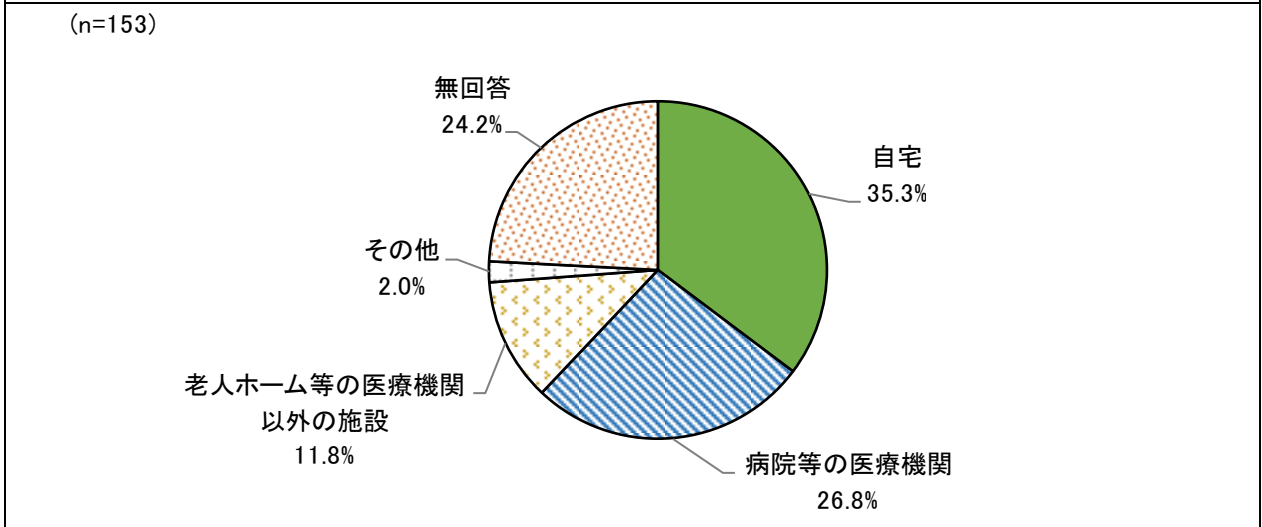


## 6 ご自身の将来について

### (1) 長期療養時の過ごしたい場所について

問26 病気等で長期の治療・療養が必要になった場合、どこで過ごしたいですか。  
(○印は1つだけ)

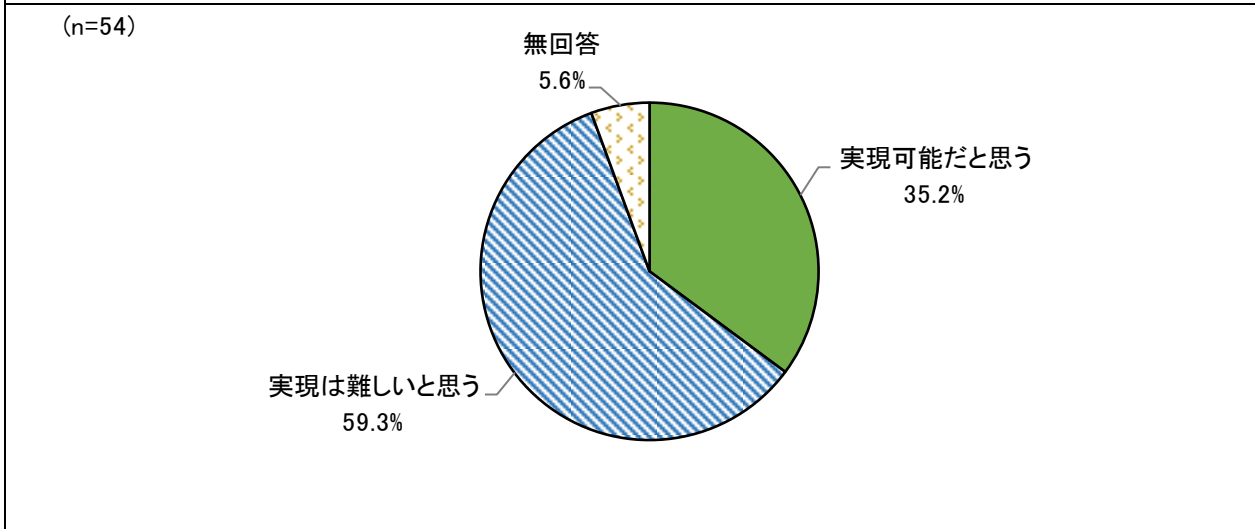
病気等で長期の治療・療養が必要になった場合に過ごしたい場所は、「自宅」が 35.3%、「病院等の医療機関」が 26.8%、「老人ホーム等の医療機関以外の施設」が 11.8%などとなっています。



(2) 在宅医療について

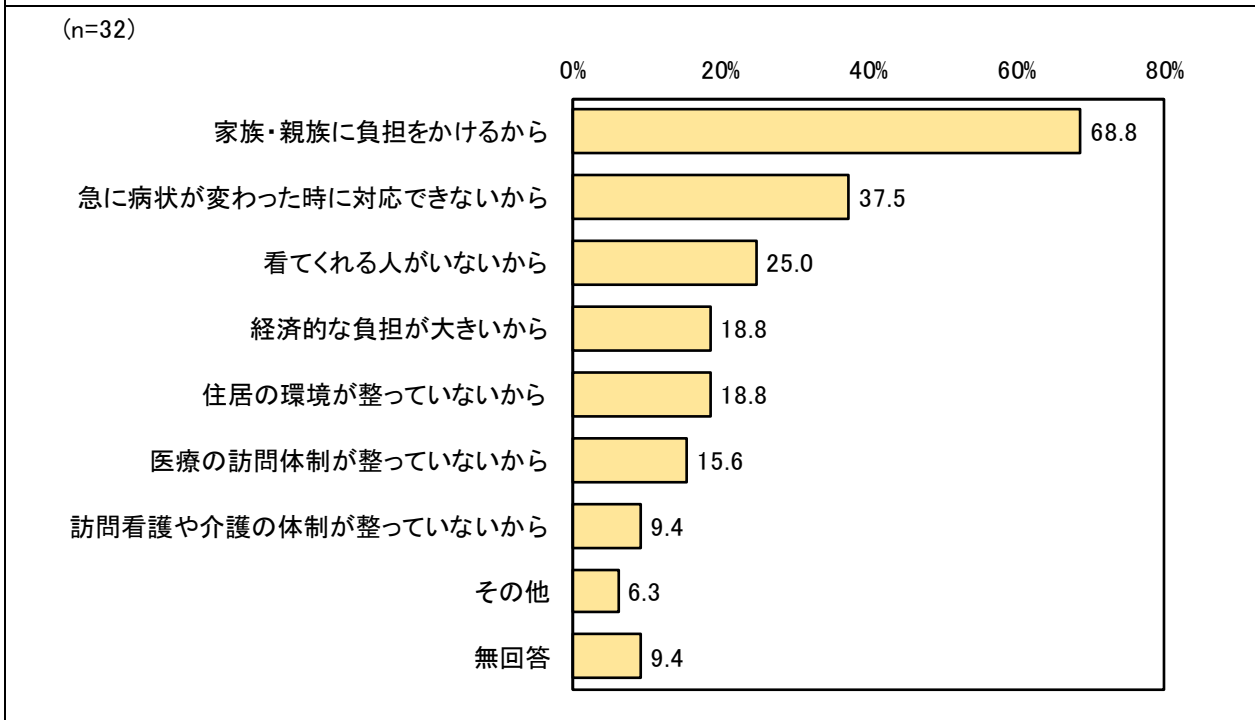
問26-1 自宅での在宅医療の実現は可能だと思いますか。(○印は1つだけ)

問26で「1. 自宅」と回答した方に、自宅での在宅医療の実現は可能だと思うかを尋ねると、「実現可能だと思う」が35.2%、「実現は難しいと思う」が59.3%となっています。



問26-2 在宅医療が難しいと考える理由は何ですか。(○印は3つまで)

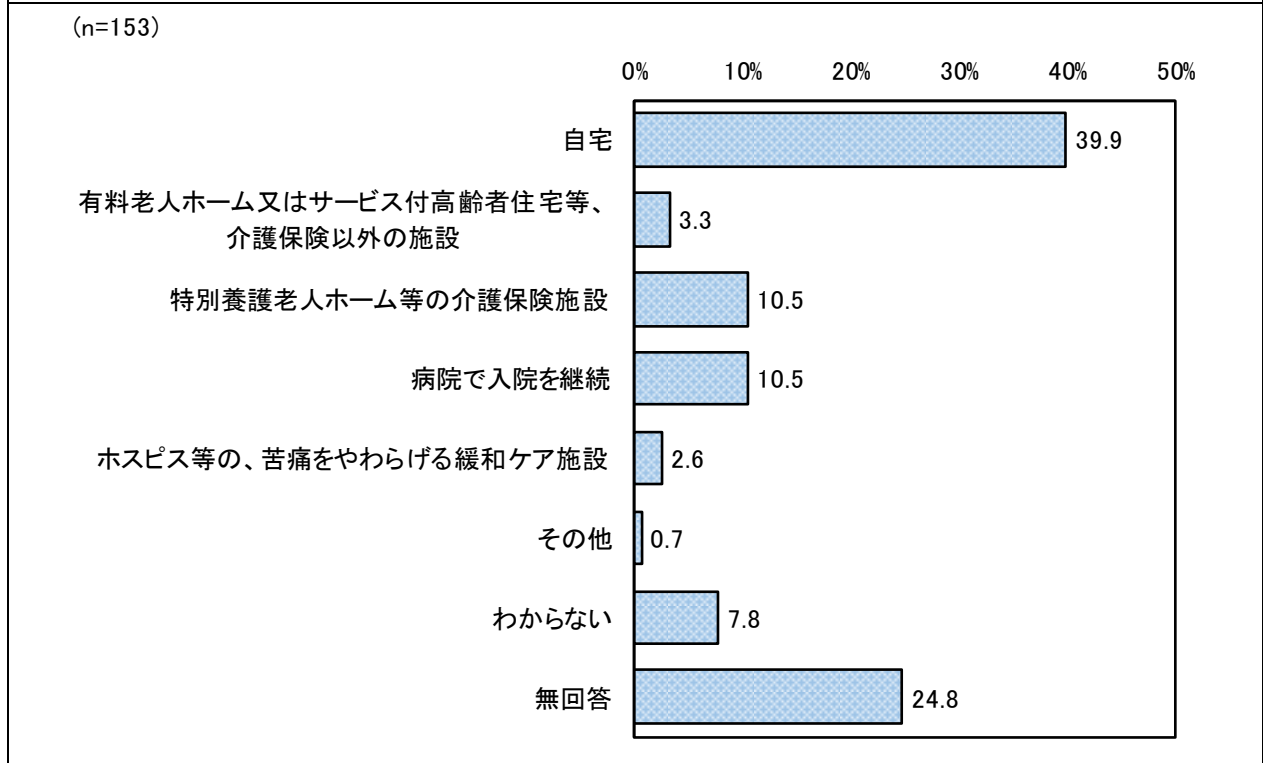
問26で「2. 実現は難しいと思う」と回答した方に、その理由を尋ねると、「家族・親族に負担をかけるから」が68.8%で最も多く、次いで「急に病状が変わった時に対応できないから」が37.5%、「見てくれる人がいないから」が25.0%、「経済的な負担が大きいから」と「住居の環境が整っていないから」がともに18.8%などとなっています。



(3) 人生の最終段階（終末期）に過ごす場所について

問27 人生の最終段階（終末期）を迎えた時、どこで過ごすことを望みますか。  
 (○印は1つだけ)

人生の最終段階（終末期）を迎えた時に過ごすことを望む場所は、「自宅」が39.9%、「有料老人ホーム又はサービス付高齢者住宅等、介護保険以外の施設」が3.3%、「特別養護老人ホーム等の介護保険施設」と「病院で入院を継続」がともに10.5%、「ホスピス等の、苦痛をやわらげる緩和ケア施設」が2.6%などとなっています。  
 また、「わからない」が7.8%となっています。



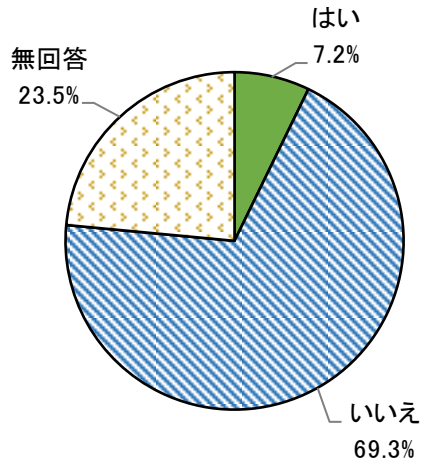
## 7 交通支援施策について

### (1) コミュニティバスについて

問28 普段、コミュニティバスを利用しますか。(○印は1つだけ)

普段、コミュニティバスを利用するかは、「はい」が7.2%、「いいえ」が69.3%となっています。

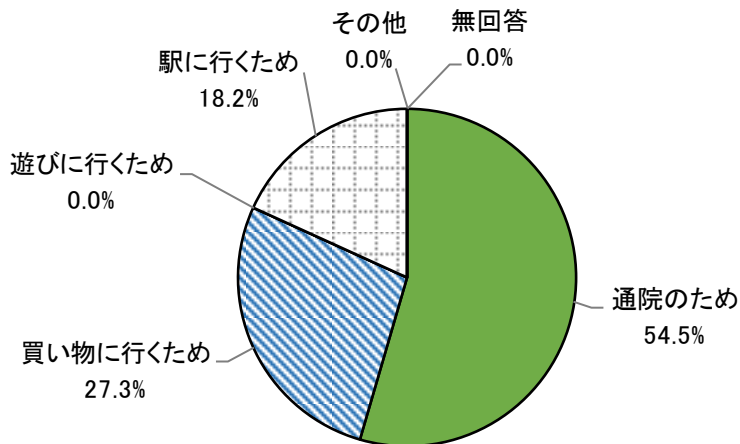
(n=153)



問28-1 主にどのような時にコミュニティバスを利用しますか。(○印は1つだけ)

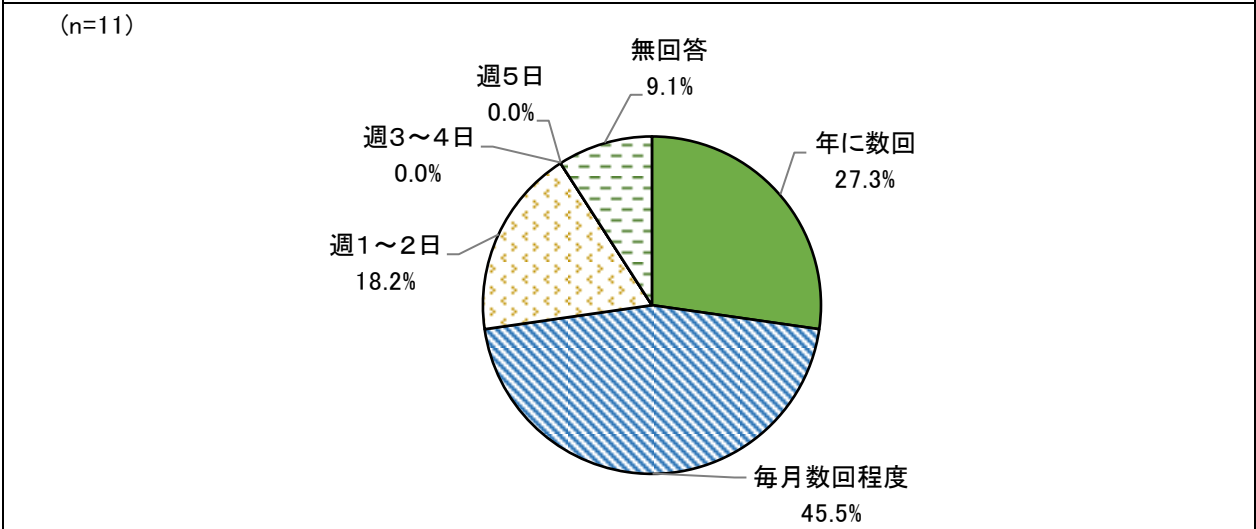
問28で「1. はい」と回答した方に、どのような時に利用するかを尋ねると、「通院のため」が54.5%、「買い物に行くため」が27.3%、「駅に行くため」が18.2%となっています。

(n=11)



問28-2 どれくらいの頻度で利用しますか。(○印は1つだけ)

問28で「1. はい」と回答した方に、利用頻度を尋ねると、「年に数回」が27.3%、「毎月数回程度」が45.5%、「週1～2日」が18.2%となっています。



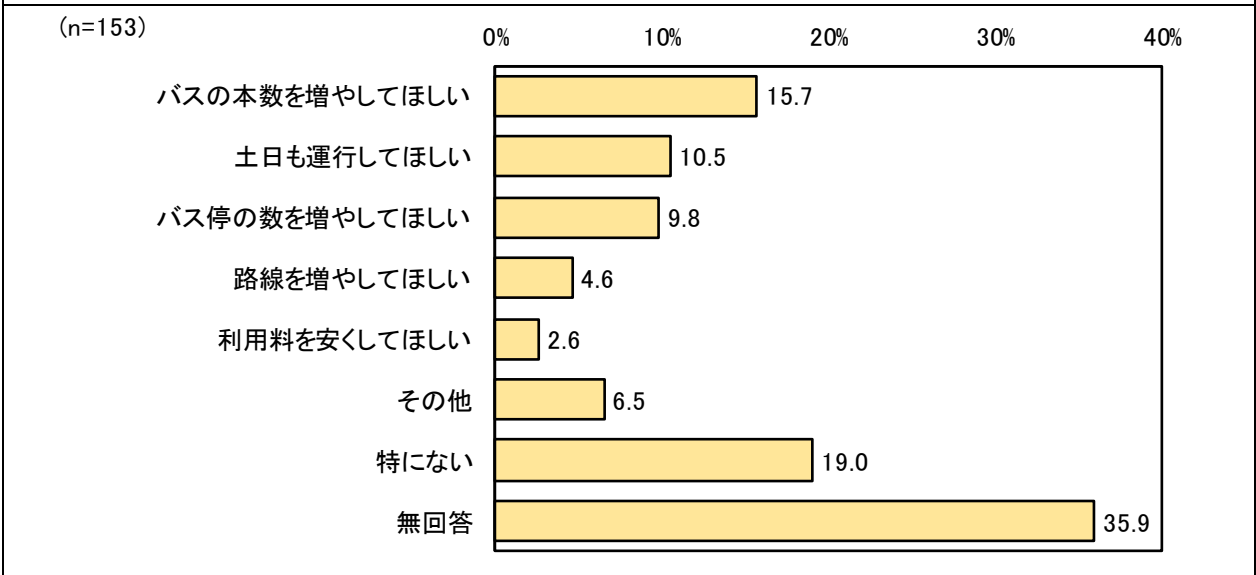
(2) コミュニティバスへの要望について

問29 コミュニティバス事業について、今後どのようなことを求めますか。

(○印は1つだけ)

コミュニティバス事業について求めることは、「バスの本数を増やしてほしい」が15.7%で最も多く、次いで「土日も運行してほしい」が10.5%、「バス停の数を増やしてほしい」が9.8%、「路線を増やしてほしい」が4.6%、「利用料を安くしてほしい」が2.6%などとなっています。

また、「特にない」が19.0%となっています。



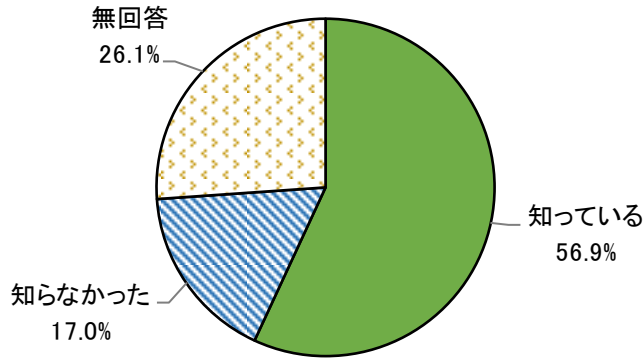
※複数回答された方が多かったため、複数回答として集計しています。

(3) タクシー助成について

問30 本市では、満85歳以上の方にタクシーの基本料金を助成しています。(最大28枚の利用券) この支援について知っていましたか。(○印は1つだけ)

タクシー助成について、「知っている」が56.9%、「知らなかった」が17.0%となっています。

(n=153)

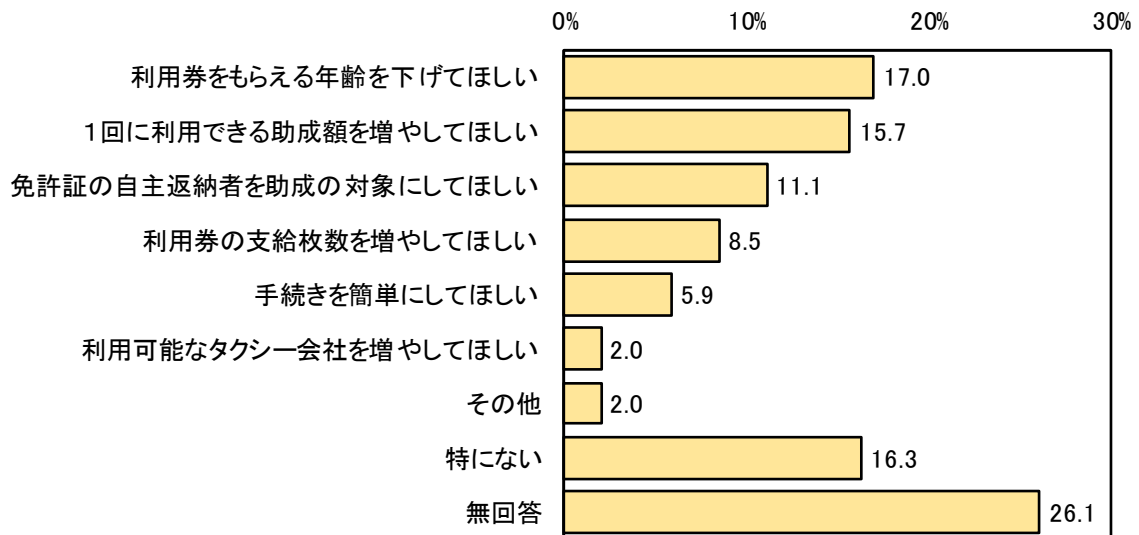


問31 本市のタクシー助成について、今後どのようなことを求めますか。(○印は1つだけ)

タクシー助成について求めることは、「利用券をもらえる年齢を下げしてほしい」が17.0%で最も多く、次いで「1回に利用できる助成額を増やしてほしい」が15.7%、「免許証の自主返納者を助成の対象にしてほしい」が11.1%、「利用券の支給枚数を増やしてほしい」が8.5%、「手続きを簡単にしてほしい」が5.9%などとなっています。

また、「特にない」が16.3%となっています。

(n=153)



※複数回答された方が多かったので、複数回答として集計しています。



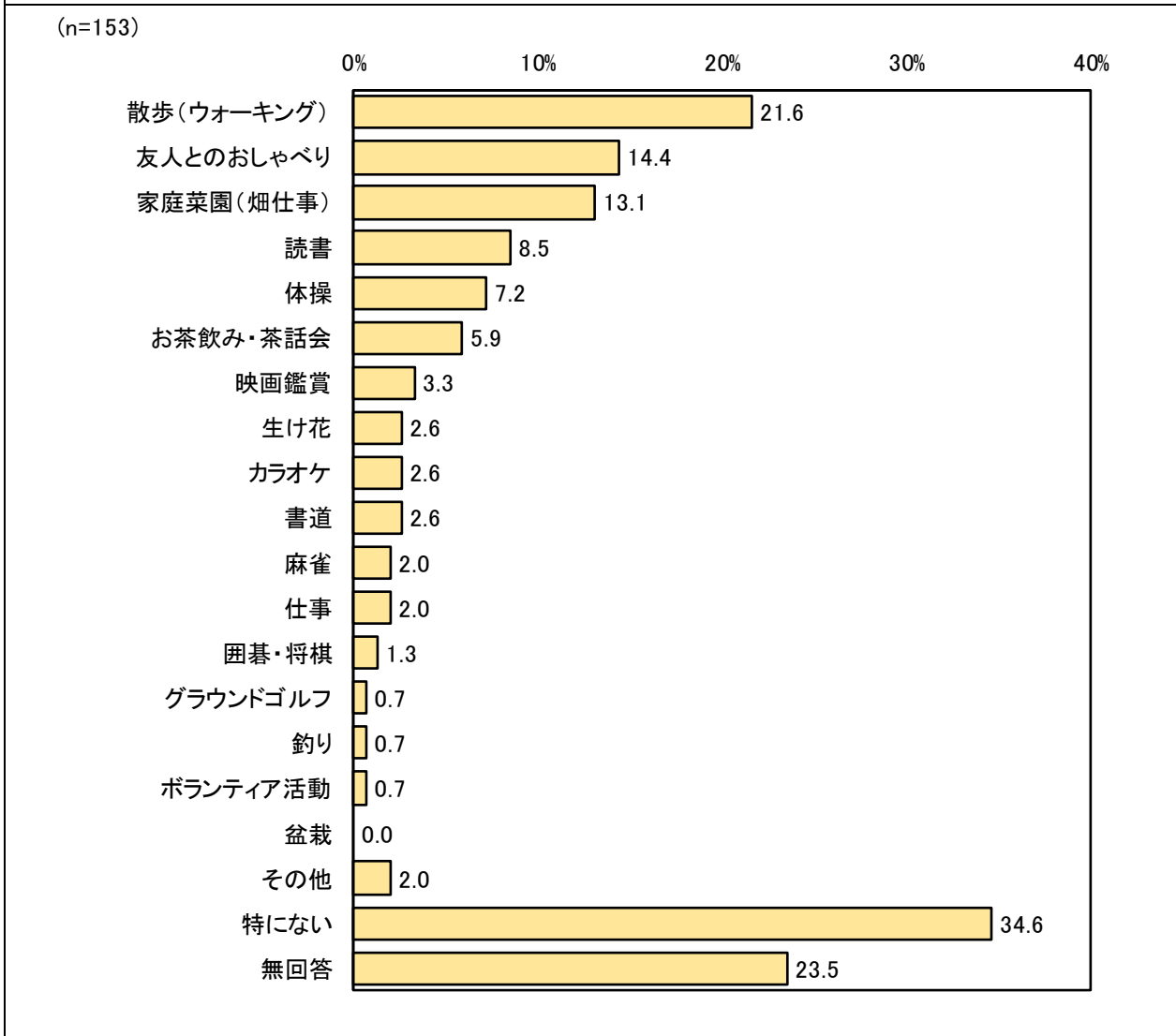
## 8 高齢者施策全般について

### (1) 元気で生活するために行っていること、やりたいことについて

問32 あなたが元気で生活するために、現在、行っていることや、これからやりたいと思っていることは何ですか。(〇印はいくつでも)

元気で生活するために、現在、行っていることや、これからやりたいと思っていることは、「散歩(ウォーキング)」が21.6%で最も多く、次いで「友人とのおしゃべり」が14.4%、「家庭菜園(畑仕事)」が13.1%、「読書」が8.5%、「体操」が7.2%となっています。

また、「特にない」が34.6%となっています。

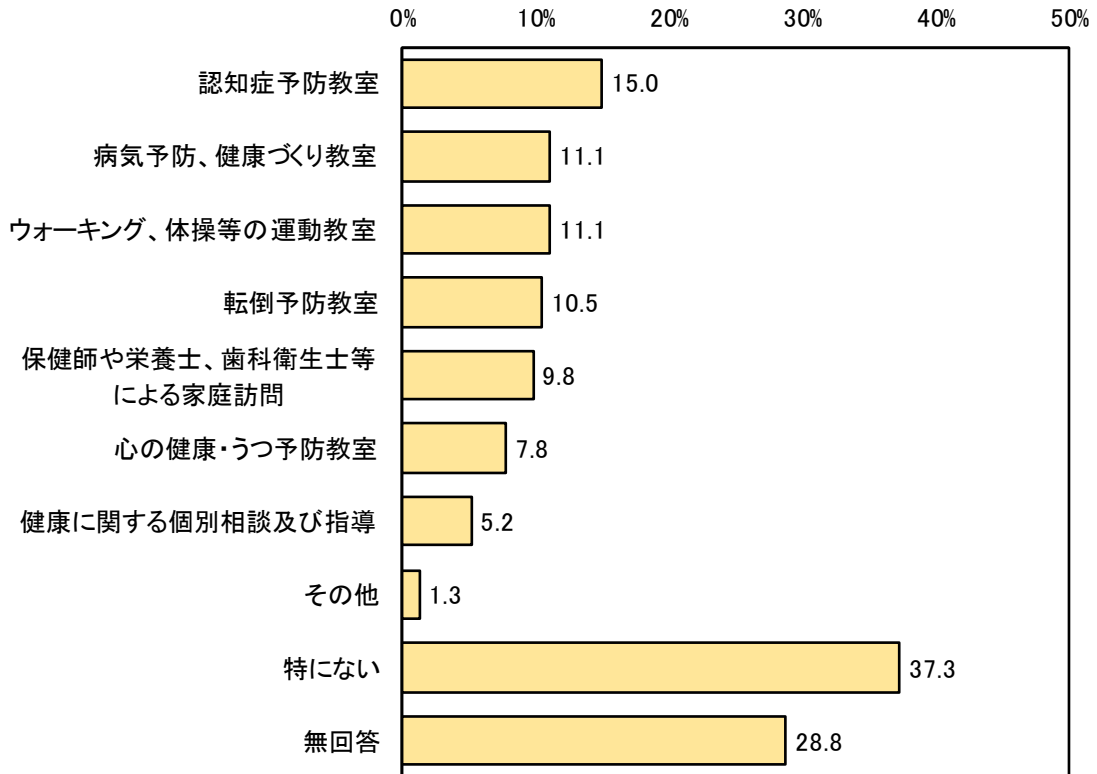


(2) 参加したい市の介護予防事業について

問33 今後、本市で以下のような一般介護予防事業を実施するとしたら、参加したいですか。参加したい事業を選んでください。(○印はいくつでも)

参加したい介護予防事業は、「認知症予防教室」が15.0%で最も多く、次いで「病気予防、健康づくり教室」と「ウォーキング、体操等の運動教室」がともに11.1%、「転倒予防教室」が10.5%、「保健師や栄養士、歯科衛生士等による家庭訪問」が9.8%などとなっています。

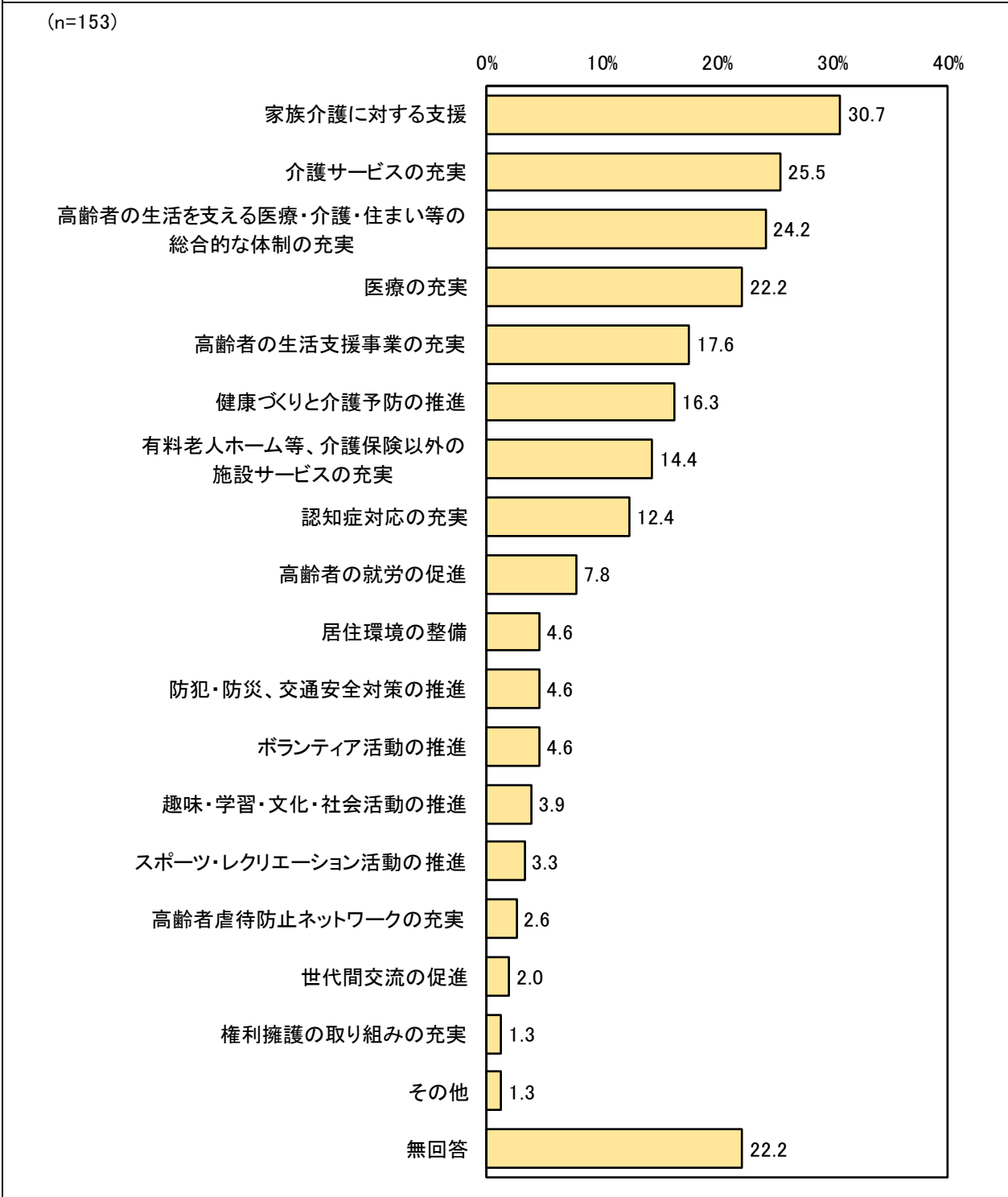
(n=153)



(3) 高齢社会に対応していくため、市が力を入れていくべき取組について

問34 高齢社会に対応していくため、本市は何に力を入れていくべきだと思いますか。  
(○印は3つまで)

高齢社会に対応していくため、力を入れていくべきだと思うことは、「家族介護に対する支援」が30.7%で最も多く、次いで「介護サービスの充実」が25.5%、「高齢者の生活を支える医療・介護・住まい等の総合的な体制の充実」が24.2%、「医療の充実」が22.2%、「高齢者の生活支援事業の充実」が17.6%などとなっています。





### Ⅲ 調査結果のまとめ



### Ⅲ 調査結果のまとめ

#### ①一般高齢者、総合事業対象者、在宅要支援認定者向け調査

##### 1 調査結果のまとめ

##### ○健康状態（年齢別×認定状況別）

認定を受けていない一般高齢者の健康状態は、65～79歳では、「とてもよい」と「まあよい」を合わせて健康であると回答している高齢者が約8割を占めています。

一方、年齢が上がるにつれて「あまりよくない」と「よくない」を合わせて健康ではないと回答している高齢者の割合が高くなっていき、80歳以上の2割以上の方が健康ではないと回答しています。

	認定を受けていない					
	件数 (件)	とてもよい (%)	まあよい (%)	あまりよくない (%)	よくない (%)	無回答 (%)
65～69歳	327	16.5	64.8	8.6	1.5	8.6
70～74歳	373	13.9	68.6	9.1	2.1	6.2
75～79歳	336	12.2	66.1	15.2	2.7	3.9
80～84歳	194	12.9	60.3	21.1	2.1	3.6
85歳以上	107	7.5	60.7	23.4	1.9	6.5

総合事業対象者の健康状態は、すべての年齢層で「とてもよい」と回答した方がいませんでした。

	事業対象者					
	件数 (件)	とてもよい (%)	まあよい (%)	あまりよくない (%)	よくない (%)	無回答 (%)
65～69歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
70～74歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
75～79歳	3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
80～84歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
85歳以上	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0

要支援1の健康状態は、75～84歳を除いた年齢層の方が、「とてもよい」と「まあよい」を合わせて健康であると回答している方が多くなっています。

	要支援1					
	件数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
	(件)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
65～69歳	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0
70～74歳	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
75～79歳	11	0.0	45.5	45.5	9.1	0.0
80～84歳	15	6.7	40.0	46.7	6.7	0.0
85歳以上	18	5.6	55.6	27.8	11.1	0.0

要支援2の健康状態は、65～69歳は回答者がおらず、また、すべての年齢層で「とてもよい」と回答した方がいませんでした。

75～84歳の方では、「まあよい」の割合が「あまりよくない」と「よくない」を合わせた割合より高く、健康であると回答しています。

70～74歳と85歳以上の方は「あまりよくない」と「よくない」を合わせた割合が「まあよい」の割合より高く、健康ではないと回答しています。

	要支援2					
	件数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
	(件)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
65～69歳	-	-	-	-	-	-
70～74歳	4	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0
75～79歳	5	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0
80～84歳	8	0.0	75.0	12.5	0.0	12.5
85歳以上	12	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0



健康状態を要支援者全体で見ると、65～69 歳では、「とてもよい」と「まあよい」の合計と「あまりよくない」と「よくない」の合計が同じ割合となっています。

75～84 歳では、「とてもよい」と「まあよい」の合計が「あまりよくない」と「よくない」の合計よりも高く、健康であると回答しています。

70～74 歳と 85 歳以上では、「あまりよくない」と「よくない」の合計が「とてもよい」と「まあよい」の合計よりも高く、健康ではないと回答しています。

	要支援1+2					
	件数 (件)	とてもよい (%)	まあよい (%)	あまりよくない (%)	よくない (%)	無回答 (%)
65～69歳	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0
70～74歳	7	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0
75～79歳	16	0.0	56.3	31.3	12.5	0.0
80～84歳	23	4.3	52.2	34.8	4.3	4.3
85歳以上	30	3.3	40.0	43.3	13.3	0.0

○外出の頻度と移動手段（年齢別）

外出の頻度をみると、一週間での外出頻度では「週5回以上」、「週2～4回以上」、「週1回」の順に割合が高く、週に1回以上外出している割合が88.7%となっています。

【参考】前回の調査：週に1回以上外出している割合は95.3%（一般高齢者のみの調査）

外出する際の移動手段については、全体では「自分で運転する自家用車」が約6割と高くなっていますが、年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「自分で運転する自家用車」の割合が減少していき、80～84歳では38.9%、85歳以上では20.9%と低い割合になっています。

また、「人に乗せてもらう自家用車」、「コミュニティバス」、「タクシー」については、年齢が上がるにつれて割合が高くなっていきます。

■移動手段（年齢別）

	件数	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	コミュニティバス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
65～69歳	340	55.6	31.8	2.6	73.2	21.2	32.4	6.5	7.9	0.9	0.3	0.0	0.9	2.6	0.6	7.4
70～74歳	400	48.5	33.0	1.3	69.5	19.3	24.3	5.0	6.8	0.8	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	7.2
75～79歳	374	51.6	31.8	1.9	51.3	24.1	25.7	7.2	14.7	0.0	0.5	0.0	1.1	7.5	0.5	6.1
80～84歳	234	50.0	22.6	4.3	38.9	31.2	18.4	8.1	16.7	1.7	0.9	0.9	4.3	14.1	0.9	5.1
85歳以上	153	38.6	20.3	1.3	20.9	39.2	11.8	5.9	15.7	3.3	1.3	2.0	10.5	35.3	0.7	5.2

一方で、昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「とても減っている」と「減っている」を合わせた割合が19.0%となっており、外出を控えている人は14.6%となっています。

外出を控えている理由については「足腰の痛み」が52.5%と最も高く、次いで「交通手段がない」、「病気」などとなっています。

このように年齢に伴い、体の不調に依る外出の控えや、自分で自家用車を運転することを控えることにより、外出の機会が減少していることに繋がっています。高齢者が気軽に外出することができる移動手段の支援が必要です。

## 2 地域活動の参加意識について

### ○地域活動の参加意識

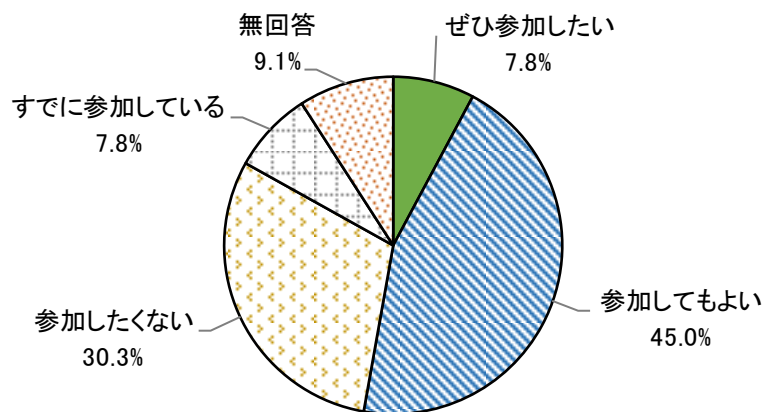
地域活動への参加については、「町内会・自治会」、「趣味関係のグループ」、「スポーツ関係のグループやクラブ」の順に参加率が高くなっています。（「参加していない」以外の合計）

地域住民の有志によって行われる、健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思う方の割合は約5割、企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思う方は約3割となっています。

また、地域住民の有志によって行われる、健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者としてすでに参加している方の割合は約8%程度、企画・運営（お世話役）としてすでに参加している方の割合は約5%程度となっています。

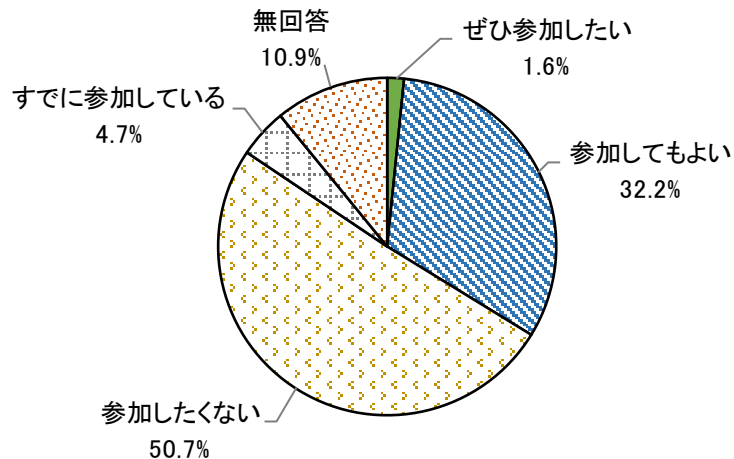
#### ■地域活動に参加者として参加したい

(n=1,530)



#### ■地域活動に企画者として参加したい

(n=1,530)



### 3 ボランティアによる支援について

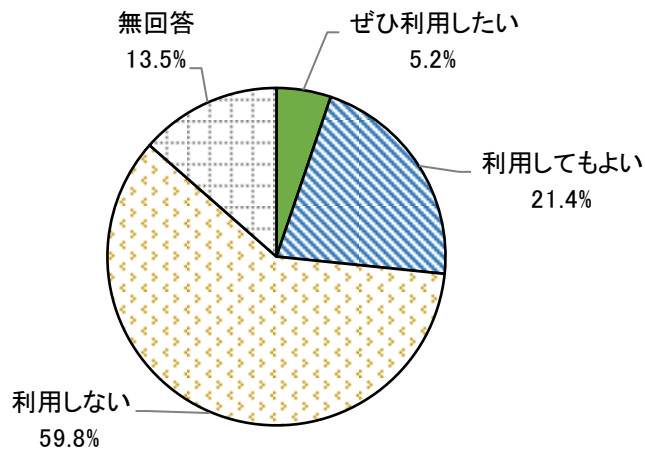
#### ○ボランティアによる支援の利用と必要な手助け

地域ボランティアによる手助けの利用について、「ぜひ利用したい」が 5.2%、「利用してもよい」が 21.4%となっており、全体の 25%程度に利用意向があります。

地域ボランティアに求めたい手助けについて、「庭の手入れ」や「家事の手伝い」といった身の回りの生活支援が多くなっています。

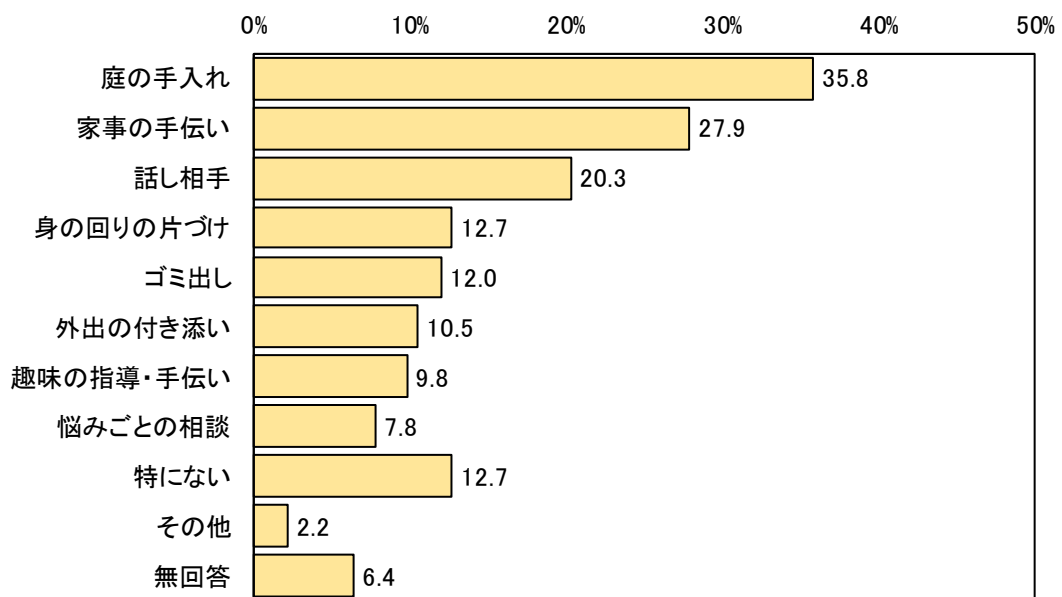
#### ■ボランティアによる支援の利用意向

(n=1,530)



#### ■求めたい手助け

(n=408)



## 4 認知症にかかる相談窓口の把握について

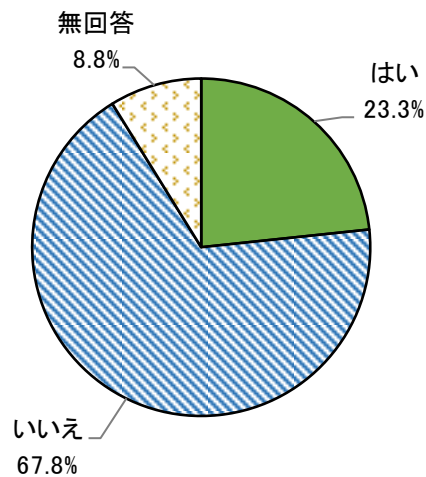
### ○まわりの人とのたすけあいと相談相手

認知症に関する相談窓口の認知度について、「いいえ」が67.8%と7割近くの回答者が認知症に関する相談窓口を知らない状態となっています。

本市では相談窓口のほか、認知症サポーター養成講座の開講や、犬山市認知症初期集中支援チームといった、認知症に関する各種施策を展開していますが、これらの相談窓口や施策についてより広く周知して住民の認知度を上げ、認知症対策を推進していく必要があると考えられます。

#### ■認知症に関する相談窓口の認知度

(n=1,530)



## 5 交通支援施策について

### ○コミュニティバスとタクシー助成への要望

コミュニティバスの利用について、「はい」は18.2%と全体の2割程度になっています。

コミュニティバス事業への要望としては、「バスの本数を増やしてほしい」や「土日も運行してほしい」が多くなっており、コミュニティバス事業の運営の拡大に関する要望が多くなっています。

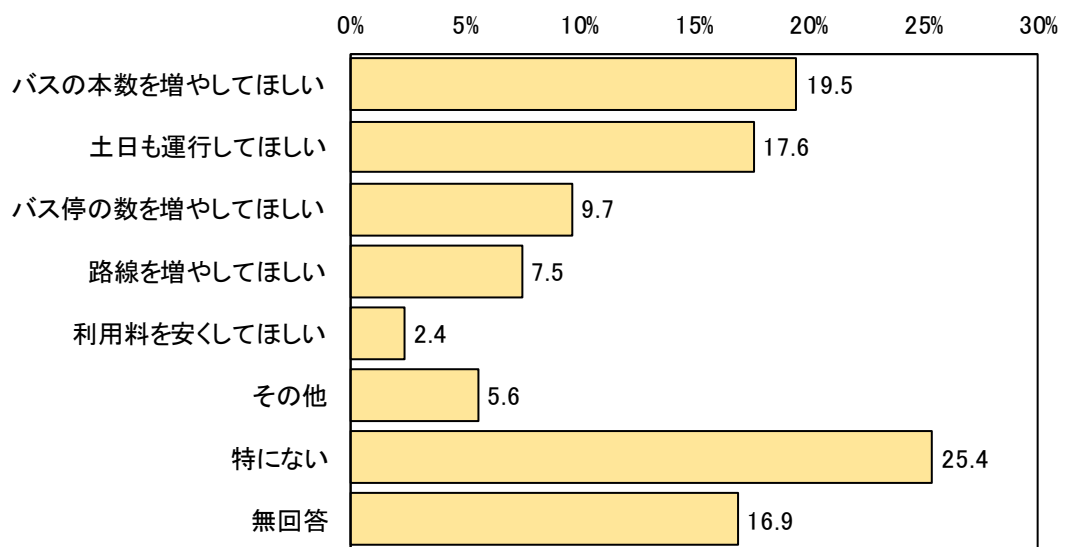
タクシー助成の認知度について、「知っている」が56.9%と全体の過半数がタクシー助成について知っています。

タクシー助成への要望について、「利用券をもらえる年齢を下げしてほしい」や「免許証の自主返納者を助成の対象にしてほしい」が多くなっており、助成の対象を増やしてほしいという意見が多くなっています。

コミュニティバス事業、タクシー助成事業ともに、高齢者を含めて市民にとって更に利用しやすくなることが求められています。

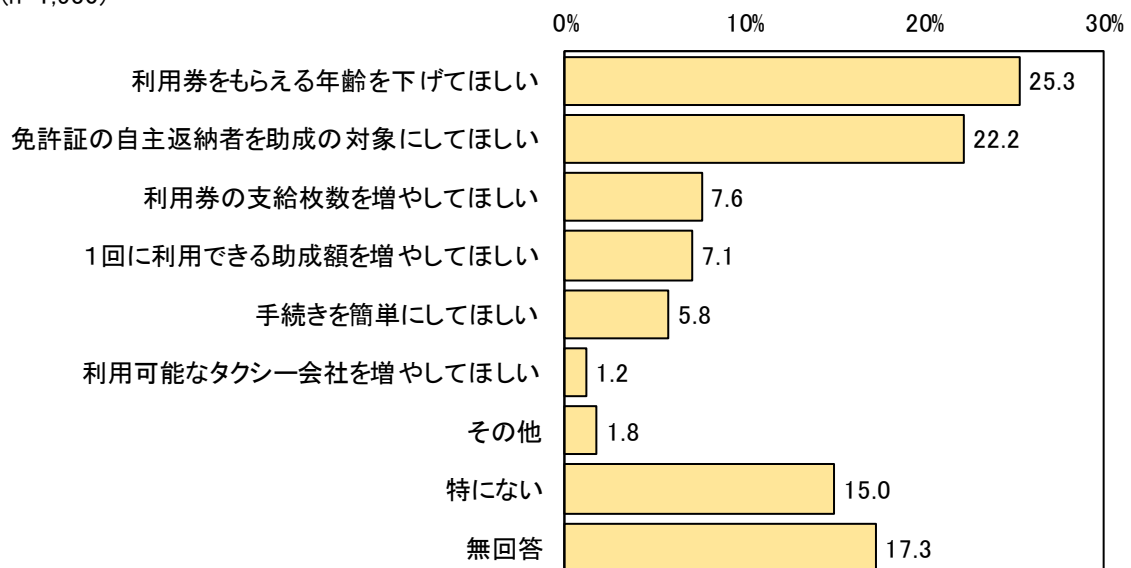
#### ■コミュニティバスへの要望

(n=1,530)



#### ■タクシー助成への要望

(n=1,530)



※複数回答された方が多かったので、複数回答として集計しています。

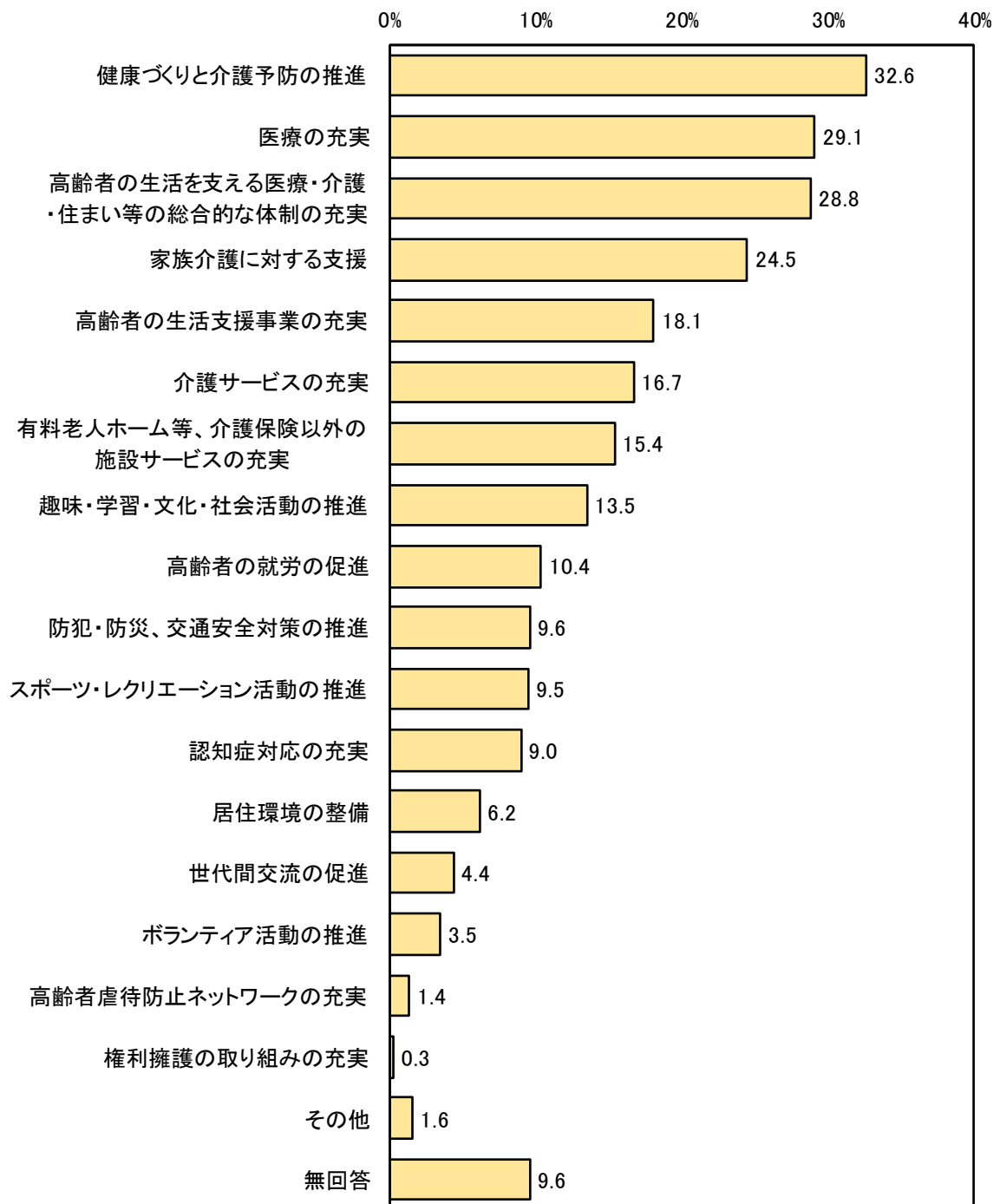
## 6 市が力を入れていくべき取組について

### ○市が力を入れていくべき取組

高齢社会に対応していくため、力を入れていくべきだと思うことについて、「健康づくりと介護予防の推進」、「医療の充実」、「高齢者の生活を支える医療・介護・住まい等の総合的な体制の充実」が多くなっており、次期計画のポイントでもある「医療と介護の連携」の推進が必要になると考えられます。

#### ■市が力を入れていくべき取組

(n=1,530)

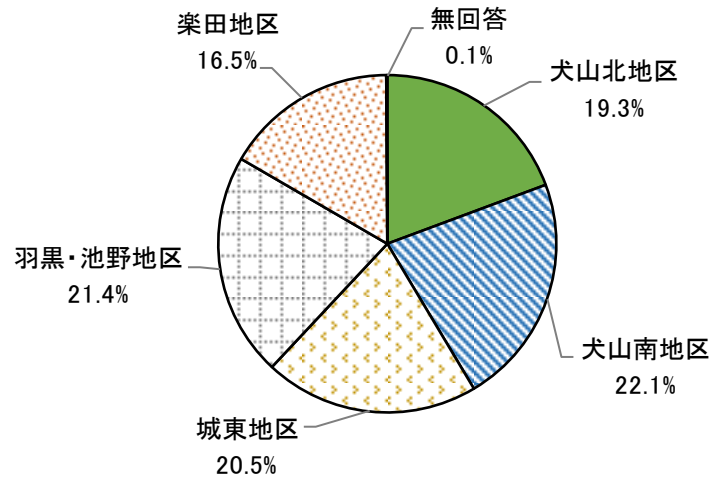


## 7 リスク分析

### (1) 日常生活圏域

調査回答者の居住している日常生活圏域は、「犬山北地区」が 19.3%、「犬山南地区」が 22.1%、「城東地区」が 20.5%、「羽黒・池野地区」が 21.4%、「楽田地区」が 16.5%となっています。

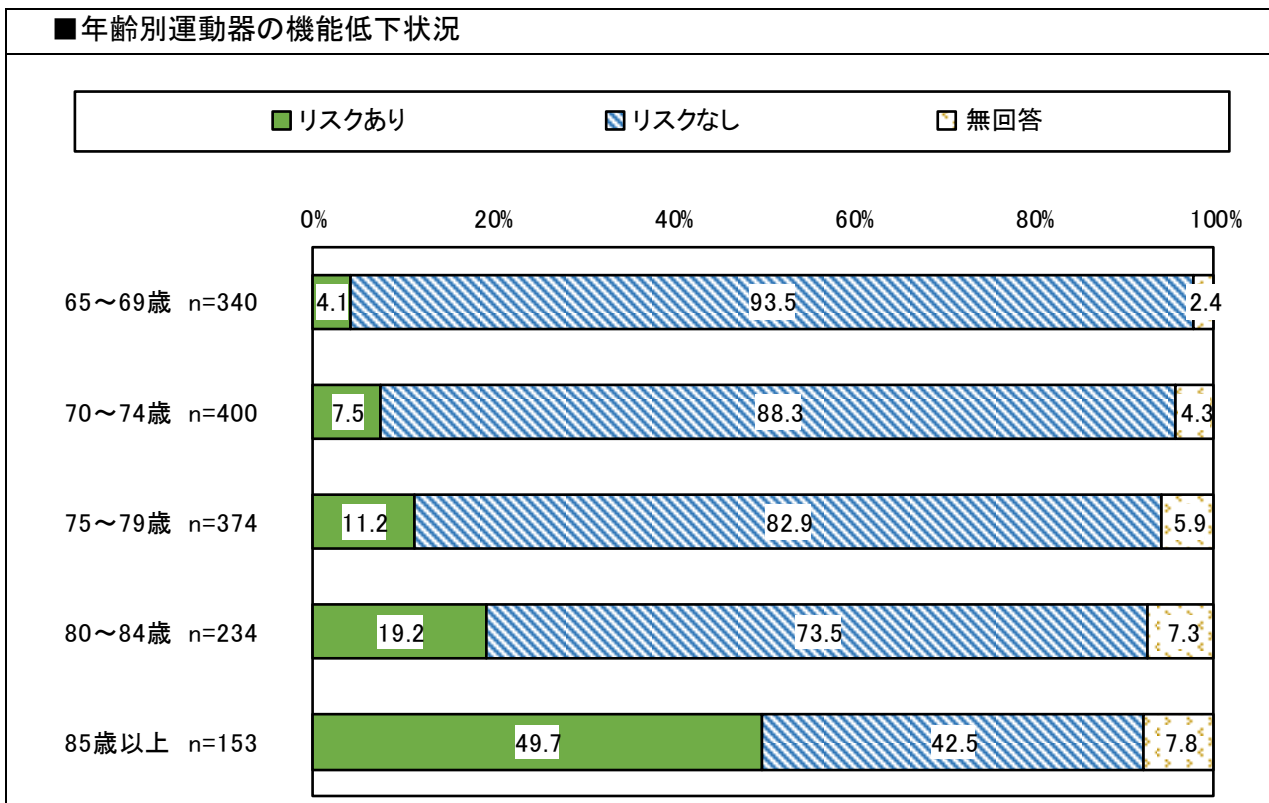
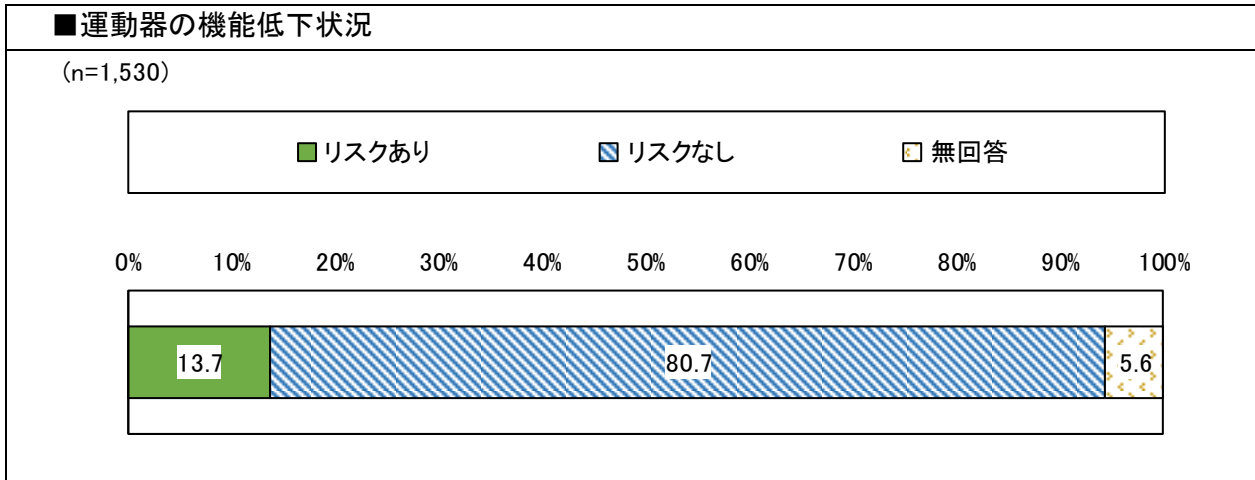
(n=1,530)

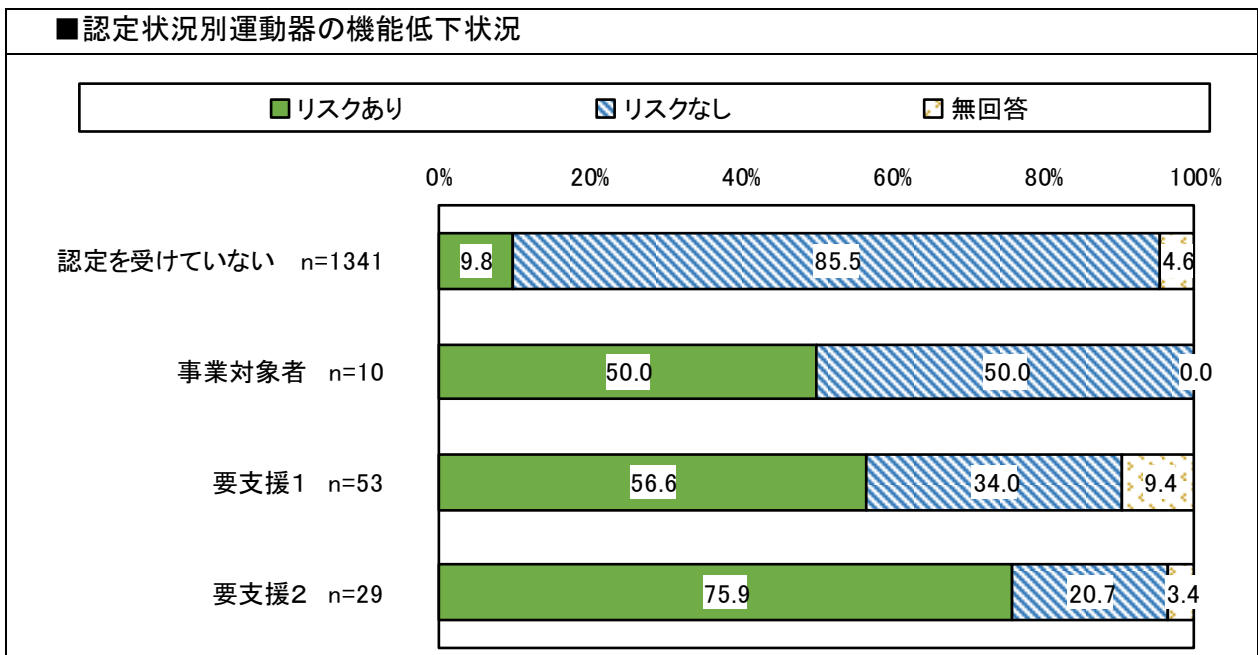
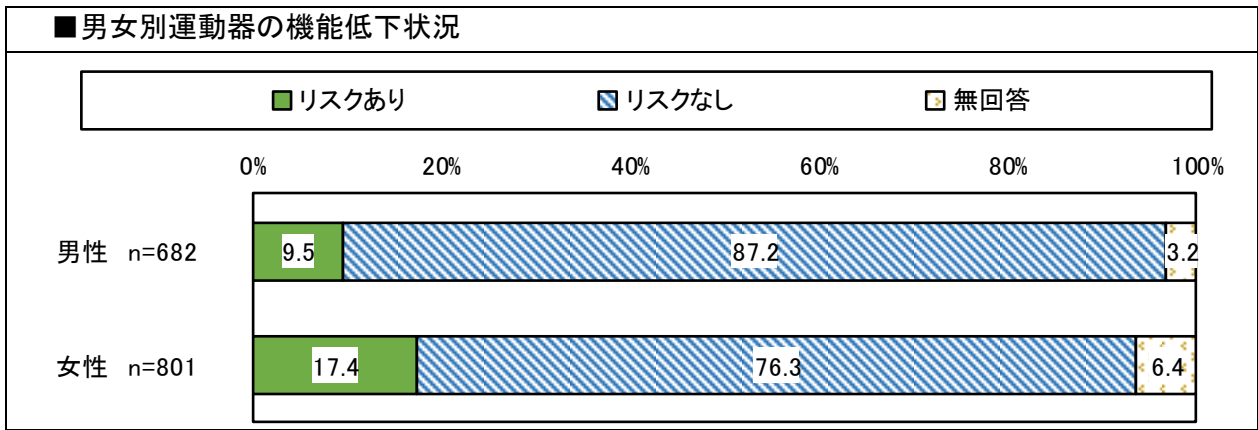


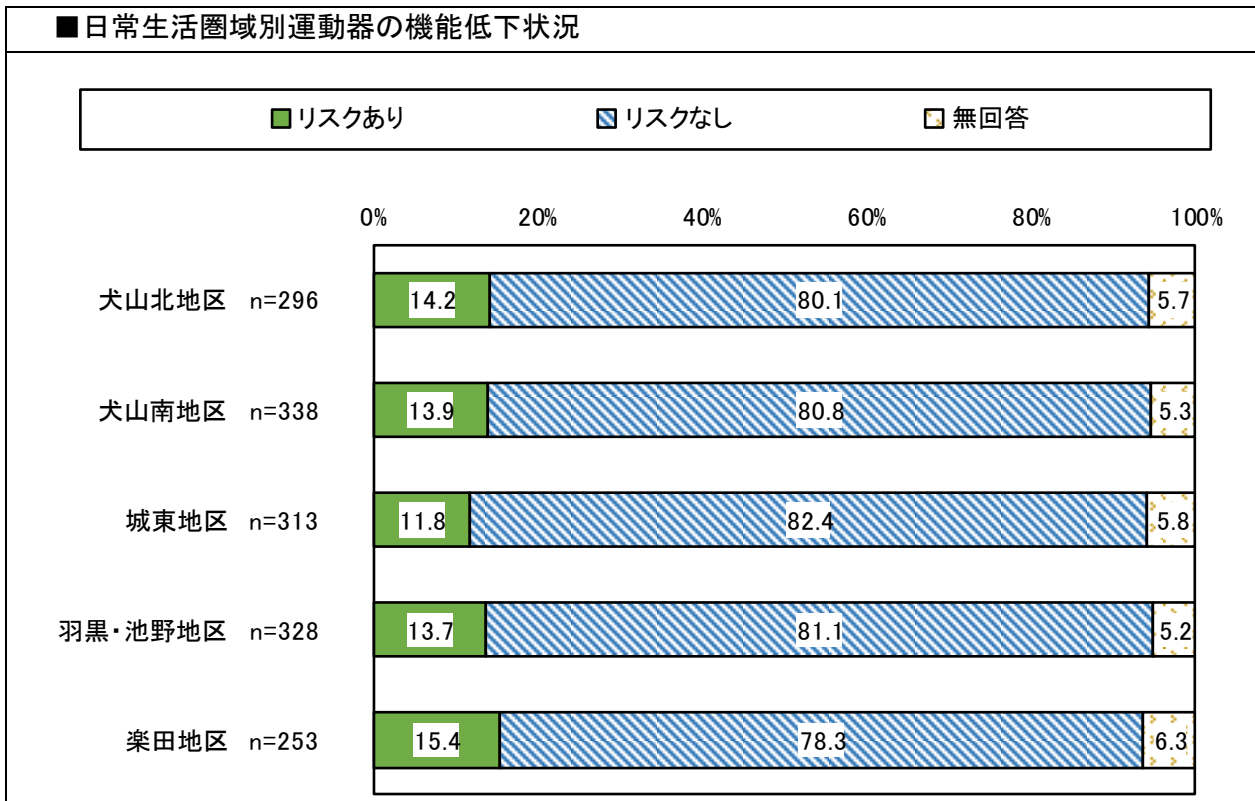


(2) 運動器の機能低下について

問6～問10は、運動器の機能低下を問う設問です。  
 運動器の機能低下状況は以下のようになります。



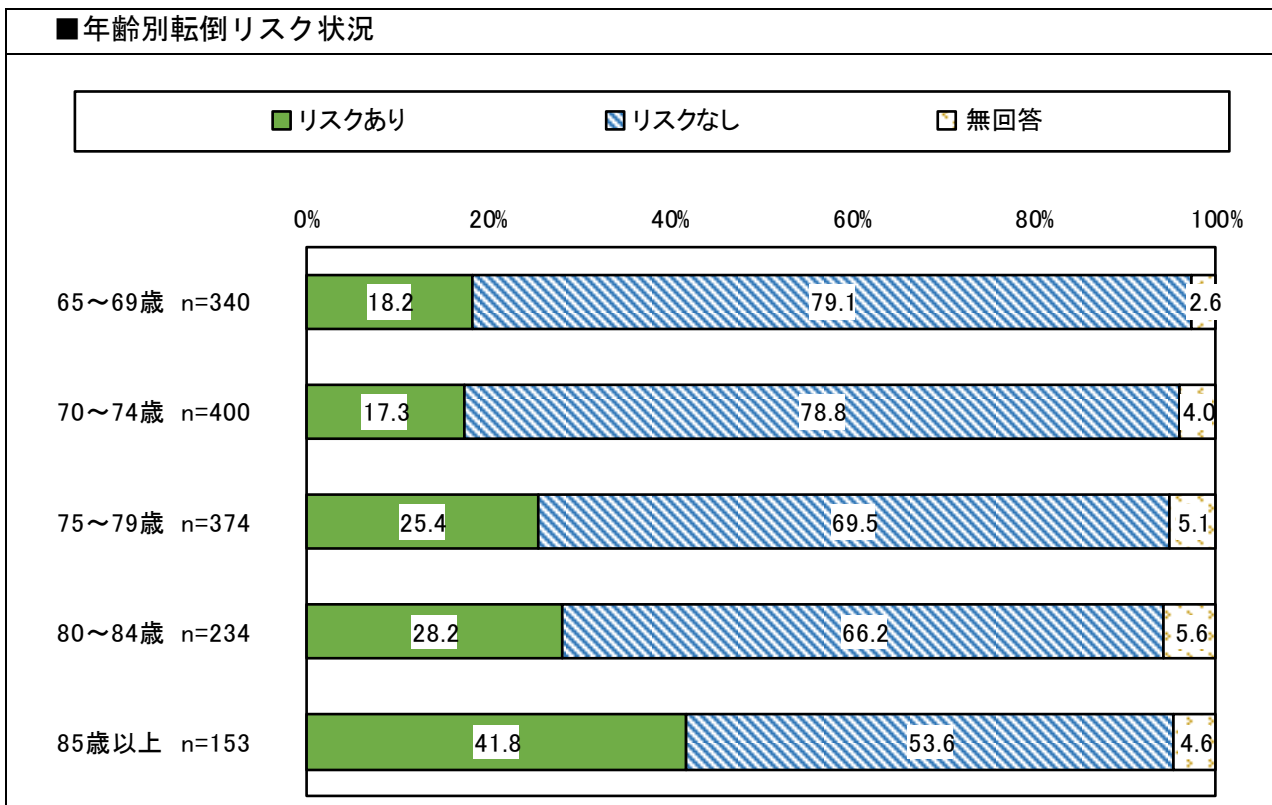
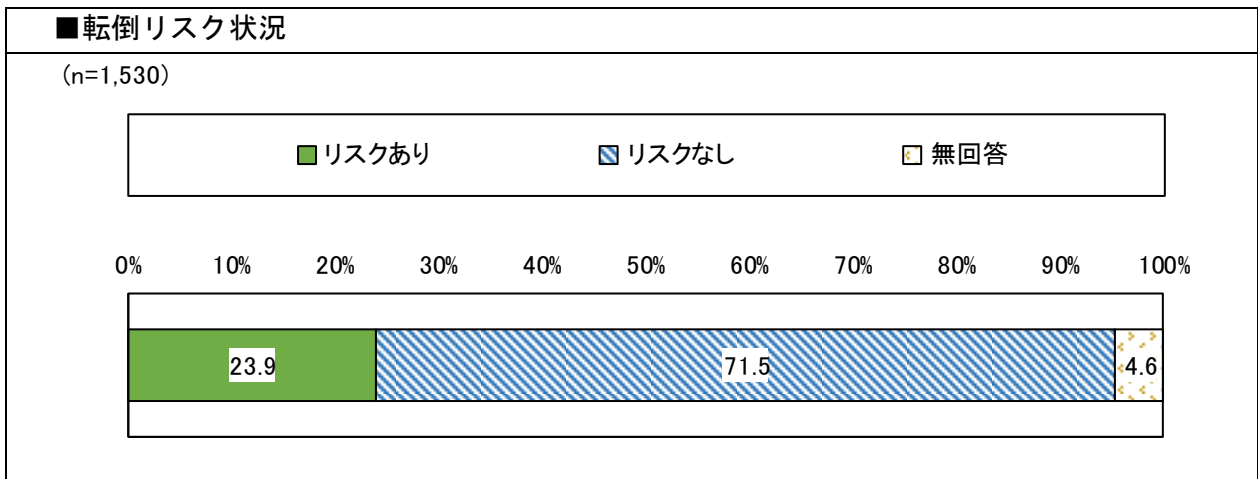


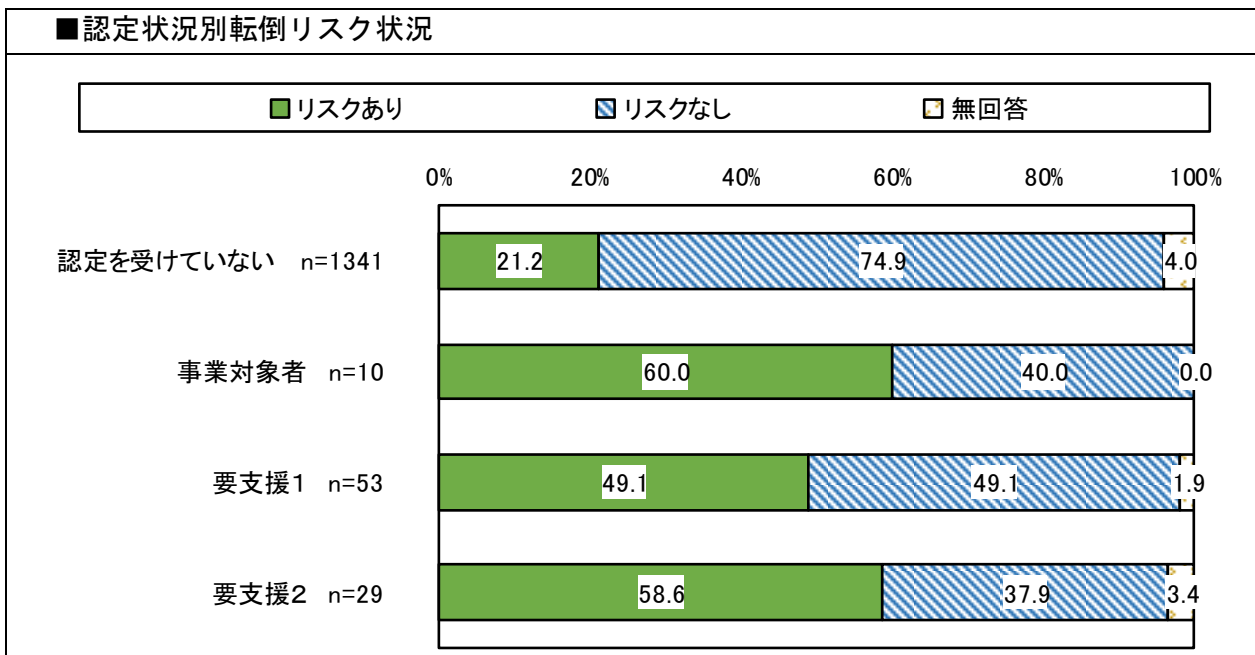
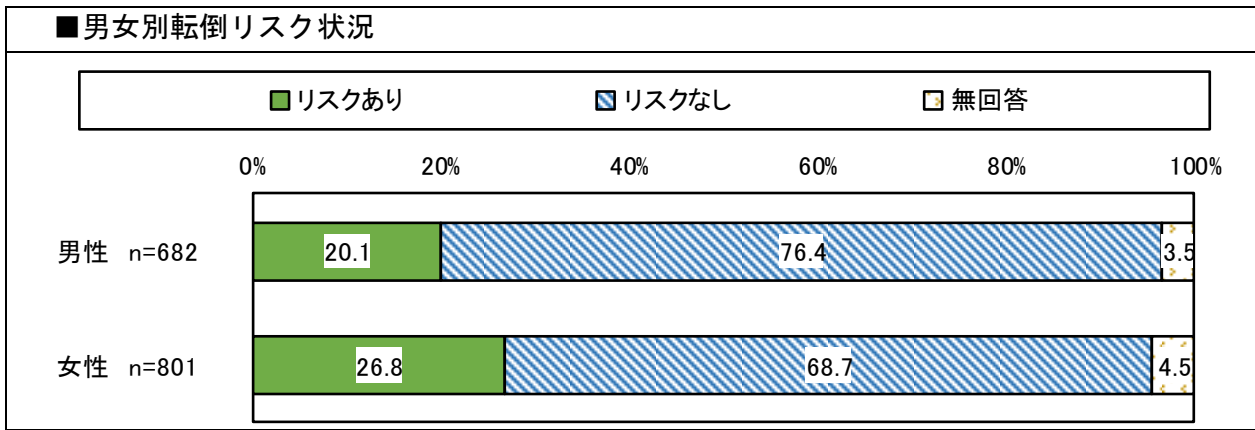


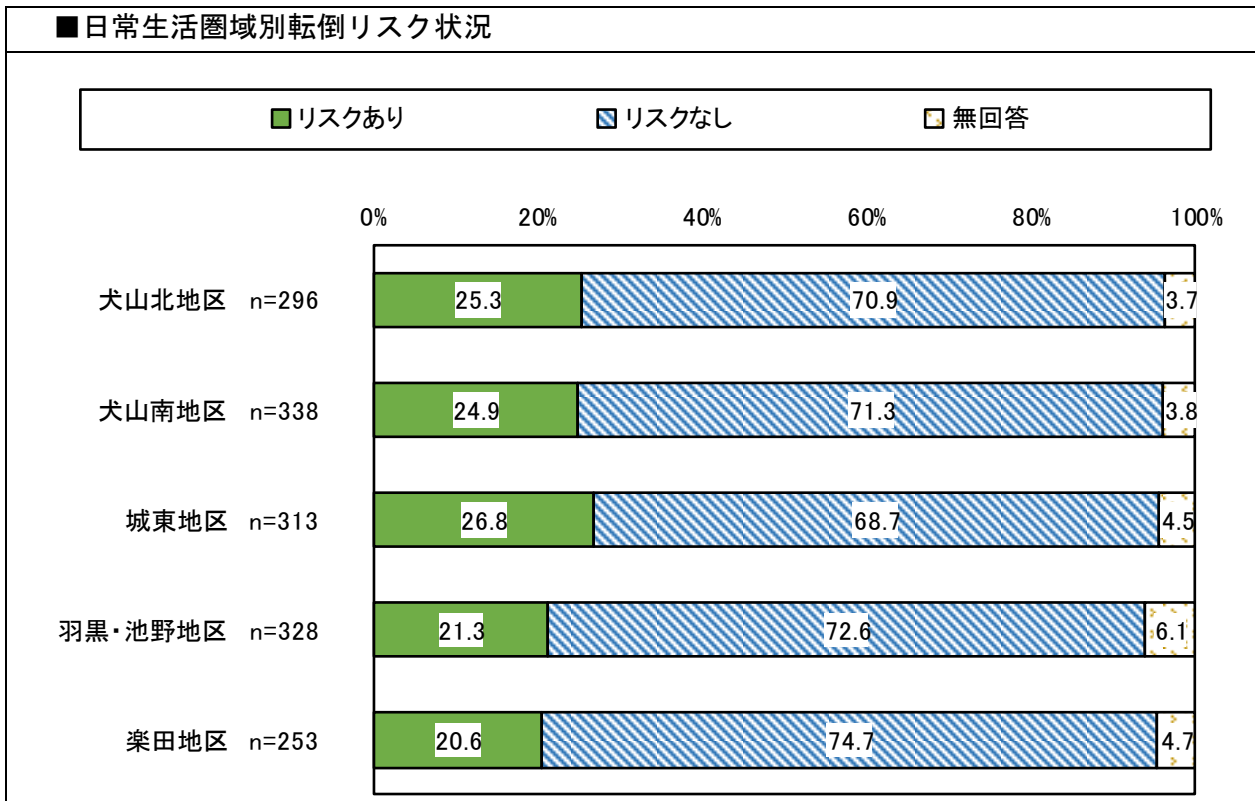
運動器の機能低下は、全体の13.7%が該当者となっています。  
 年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、85歳以上の49.7%が該当者となっています。  
 男女別では、「男性」の9.5%、「女性」の17.4%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっています。  
 認定状況別では、認定度が上がるにつれて該当者が多くなり、「要支援2」の75.9%が該当者となっています。  
 日常生活圏域別では、「楽田地区」が15.4%で最も多く、次いで「犬山北地区」が14.2%、「犬山南地区」が13.9%、「羽黒・池野地区」が13.7%、「城東地区」が11.8%となっています。

(3) 転倒リスクについて

転倒リスク状況は以下のようになります。







転倒リスクは、全体の 23.9%が該当者となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、85 歳以上の 41.8%が該当者となっています。

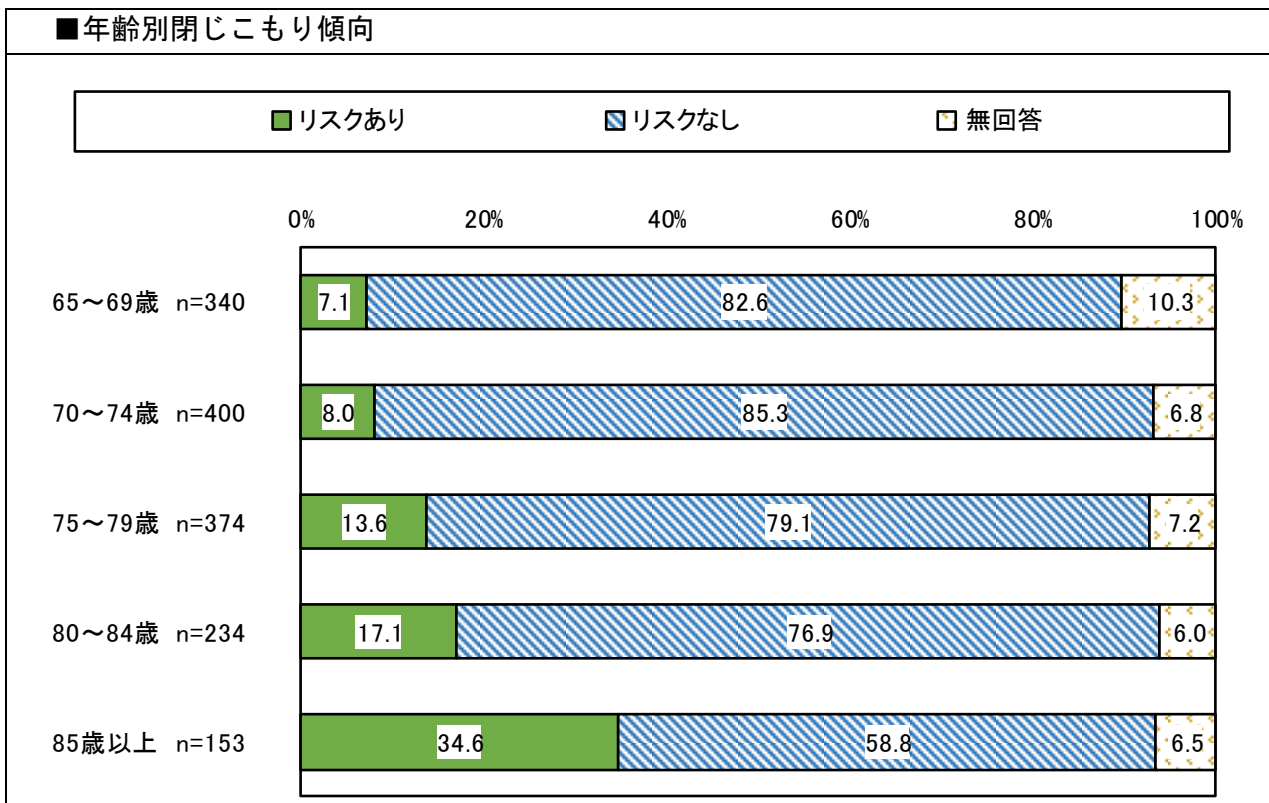
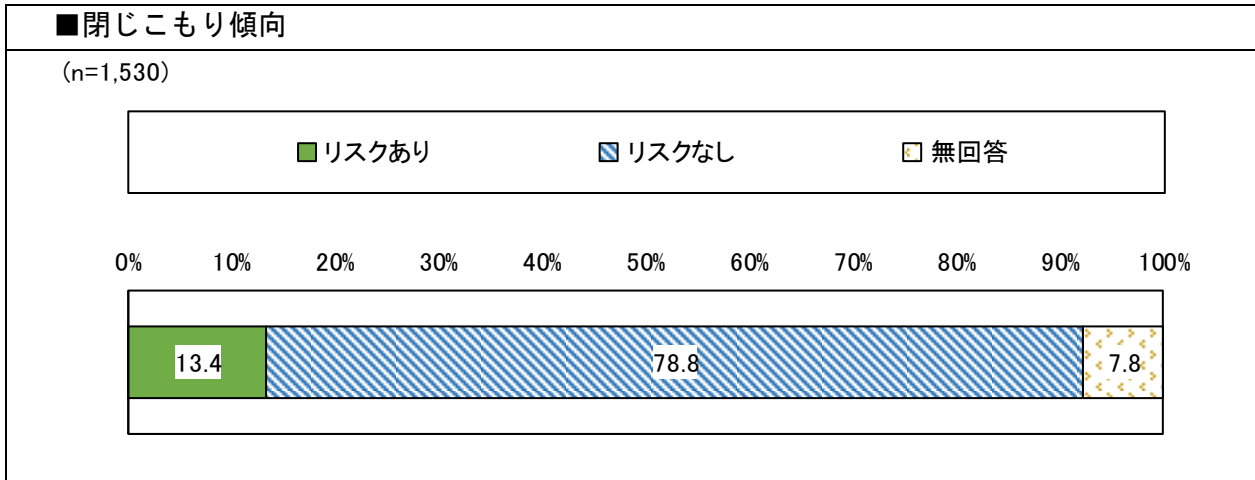
男女別では、「男性」の 20.1%、「女性」の 26.8%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっています。

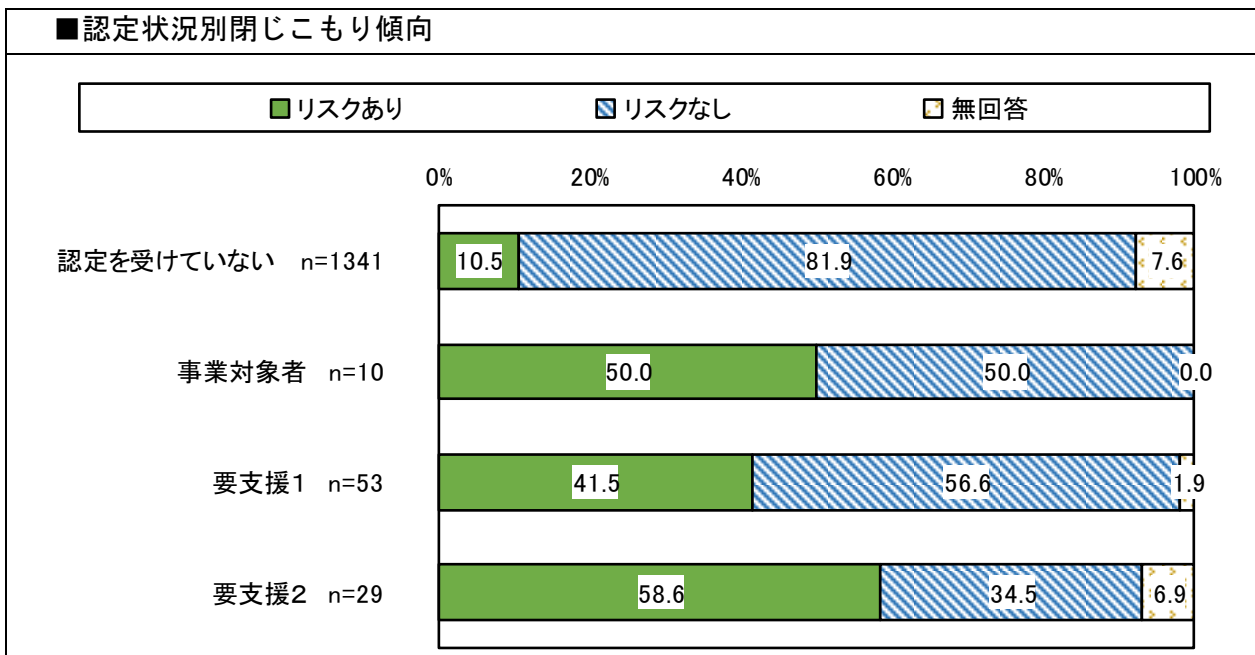
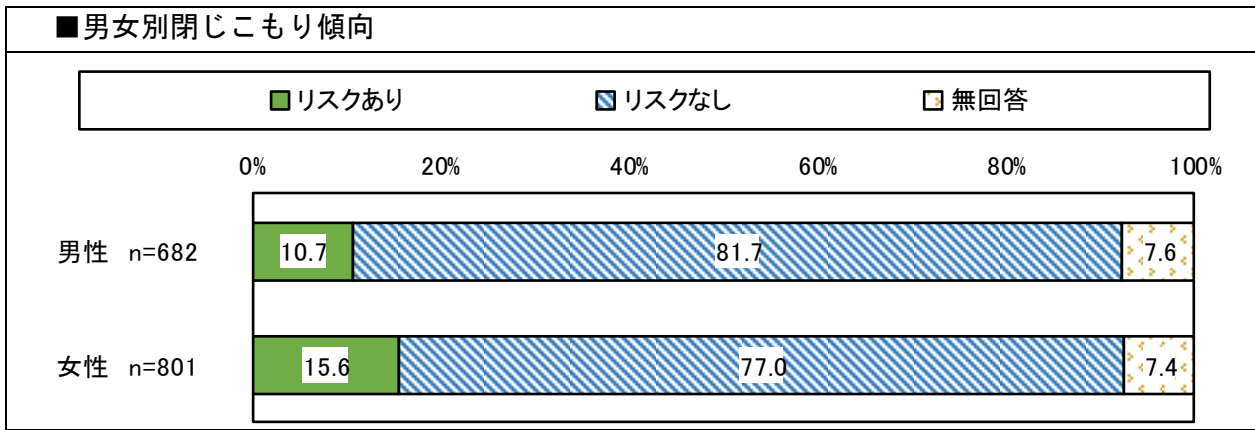
認定状況別では、「事業対象者」が 60.0%で最も多く、次いで「要支援 2」が 58.6%などとなっています。

日常生活圏域別では、「城東地区」が 26.8%で最も多く、次いで「犬山北地区」が 25.3%、「犬山南地区」が 24.9%、「羽黒・池野地区」が 21.3%、「楽田地区」が 20.6%となっています。

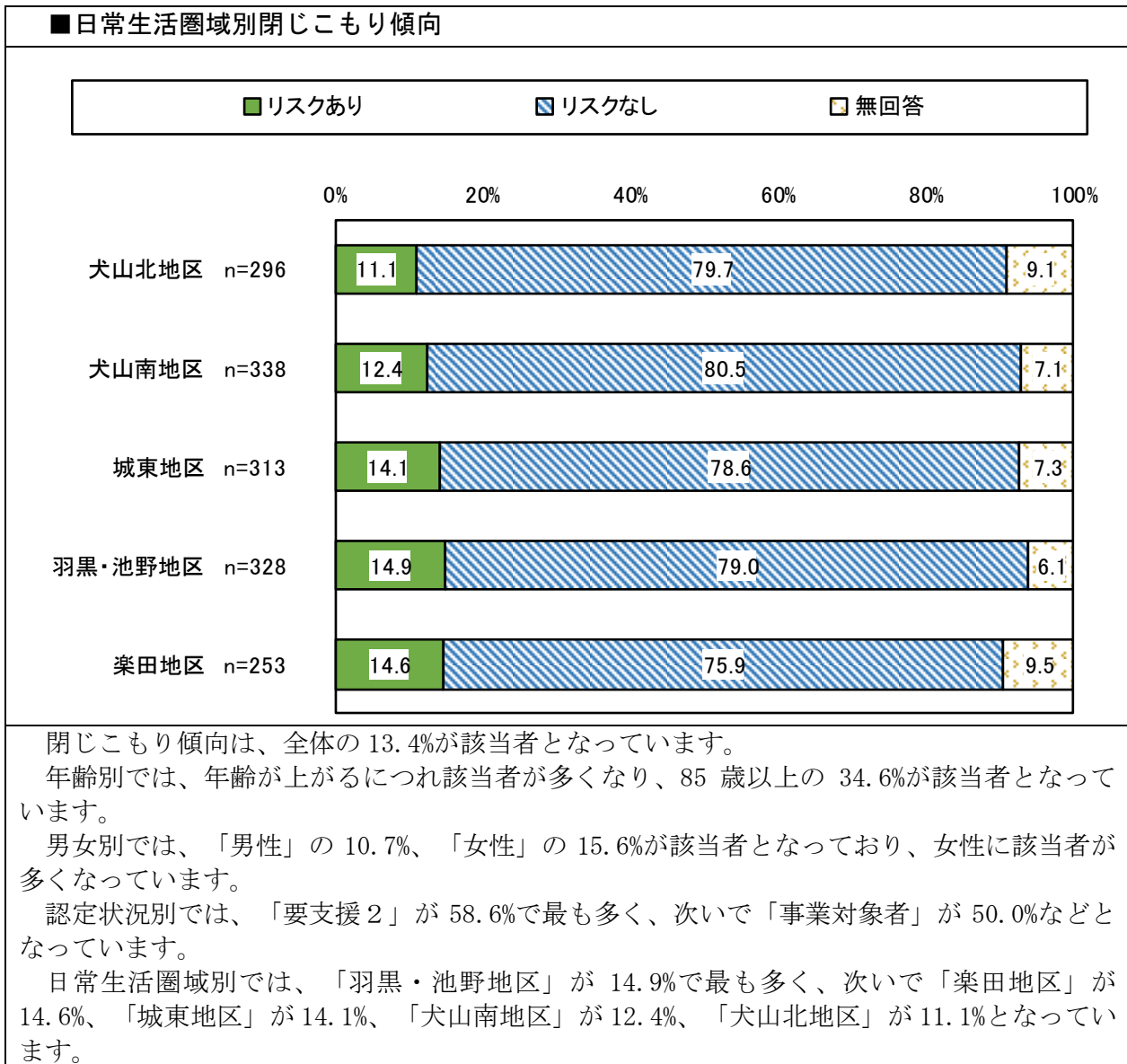
#### (4) 閉じこもり傾向について

問11は、閉じこもり傾向を問う設問です。  
閉じこもり傾向の状況は以下のようになります。



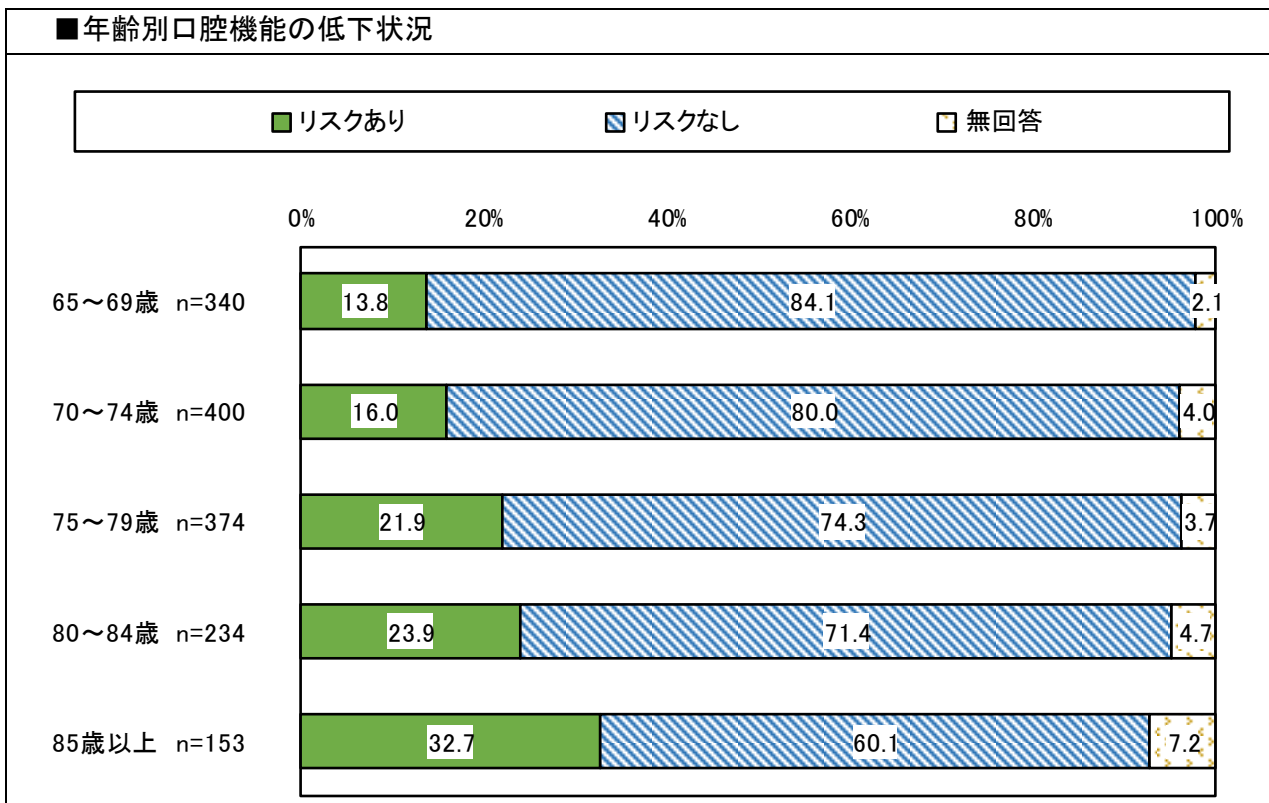
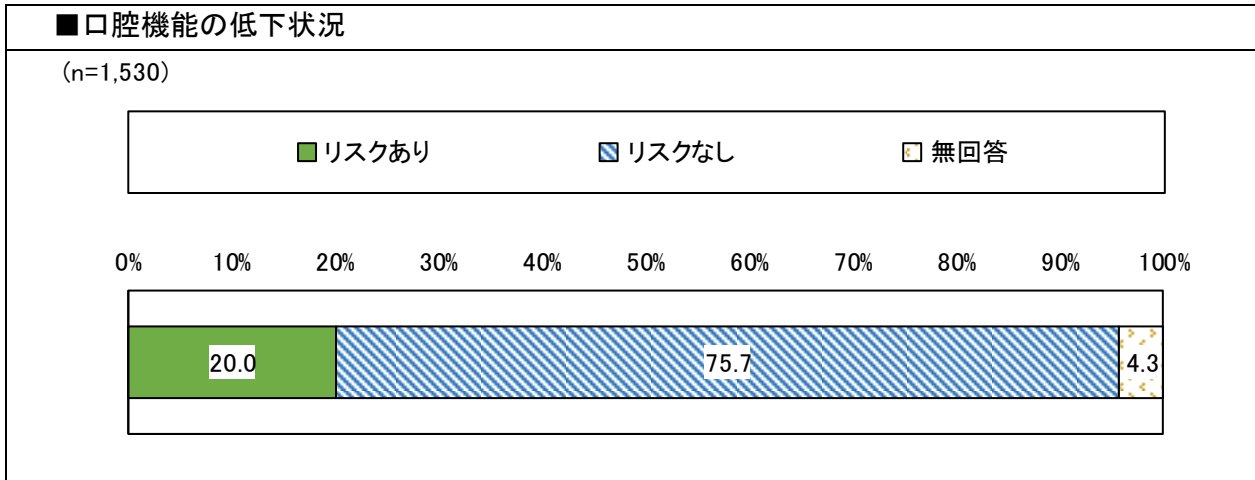


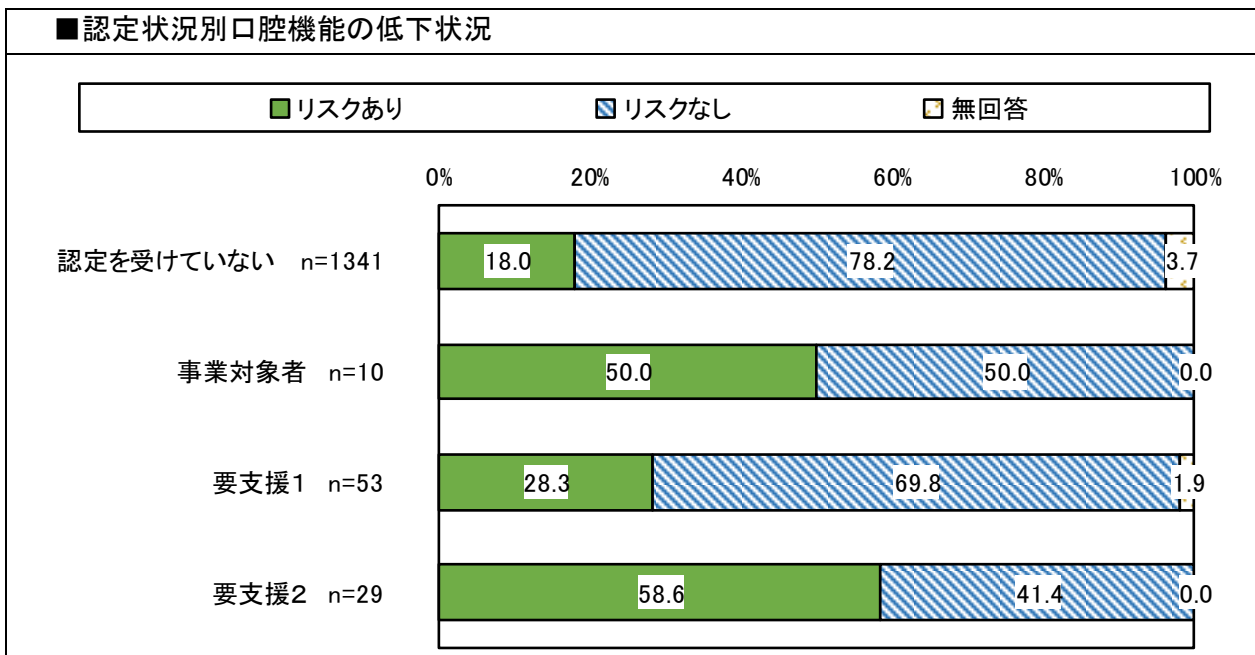
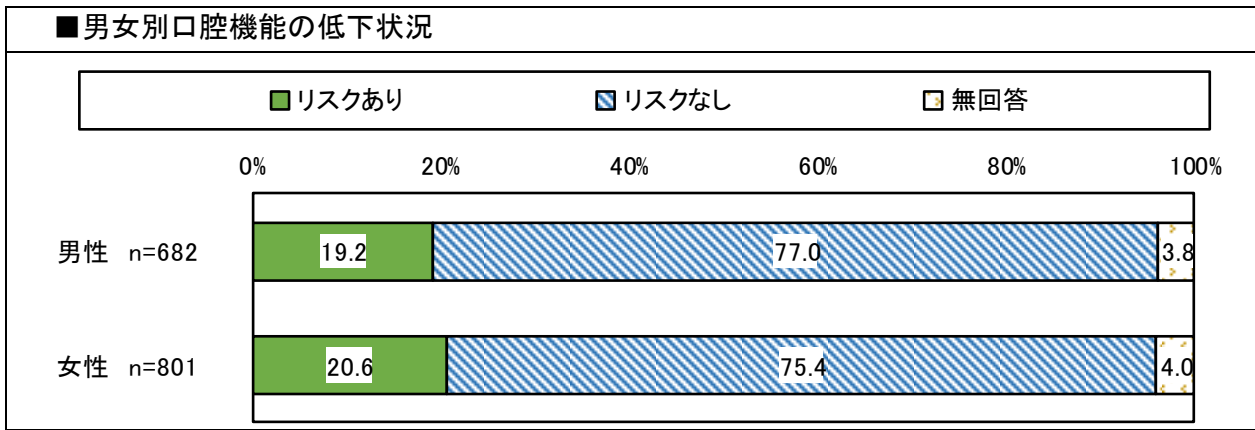


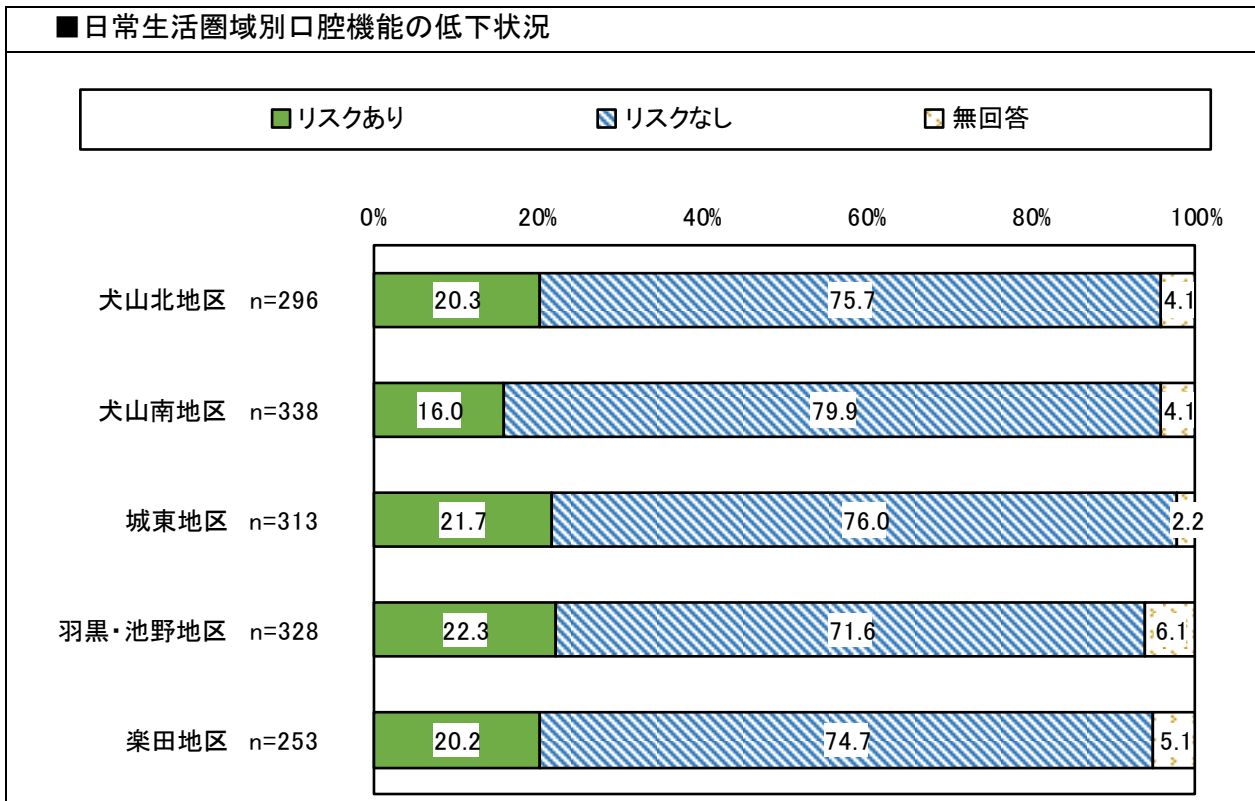


(5) 口腔機能の低下について

問16～19と問22は、口腔機能の低下を問う設問です。  
 口腔機能の低下状況は以下のようになります。



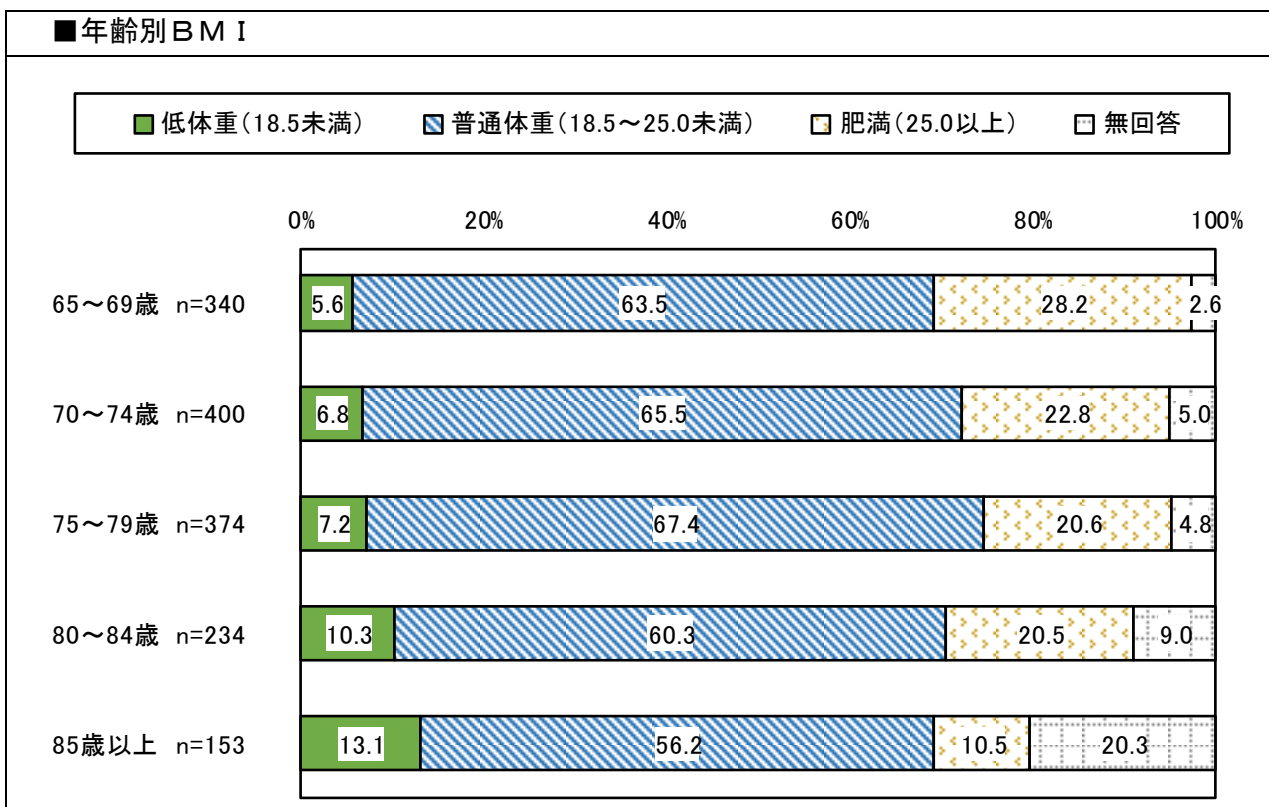
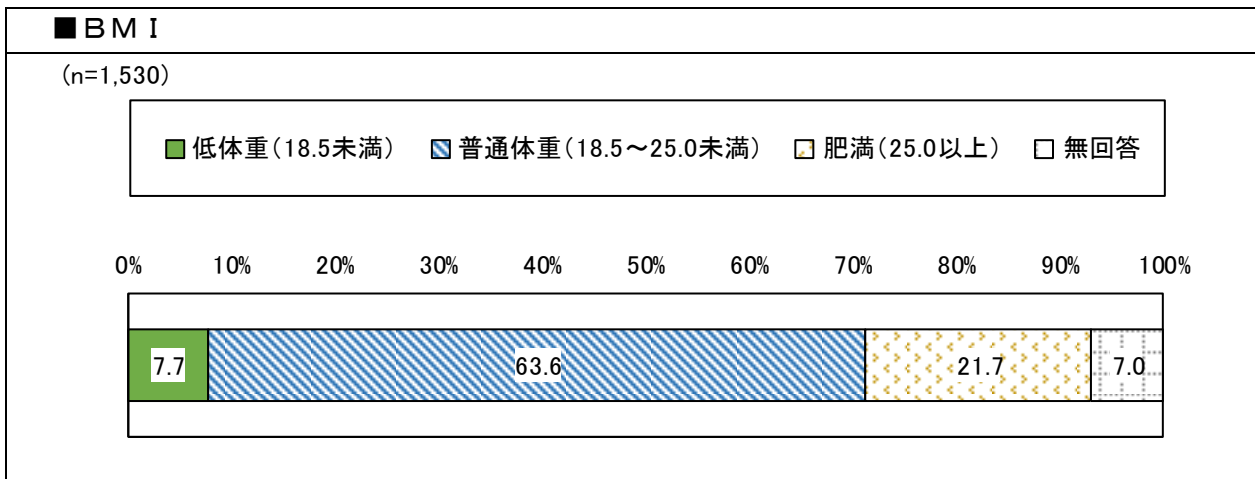


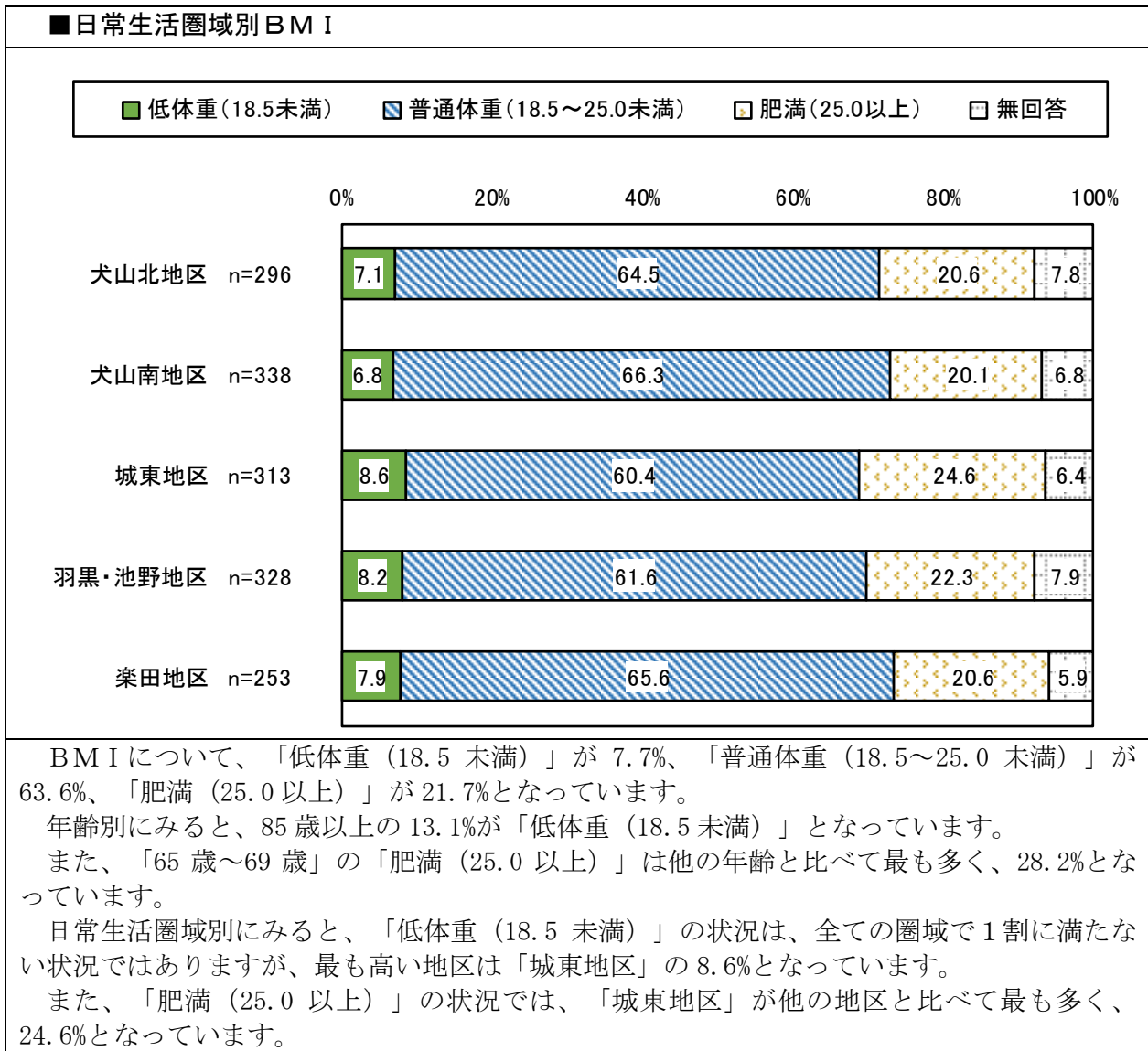


口腔機能低下は、全体の 20.0%が該当者となっています。  
 年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、85 歳以上の 32.7%が該当者となっています。  
 男女別では、「男性」の 19.2%、「女性」の 20.6%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっています。  
 認定状況別では、「要支援 2」が 58.6%で最も多く、次いで「事業対象者」が 50.0%などとなっています。  
 日常生活圏域別では、「羽黒・池野地区」が 22.3%で最も多く、次いで「城東地区」が 21.7%、「犬山北地区」が 20.3%、「楽田地区」が 20.2%、「犬山南地区」が 16.0%となっています。

(6) BMI

身長・体重より、回答者のBMIの状況は以下のようになります。

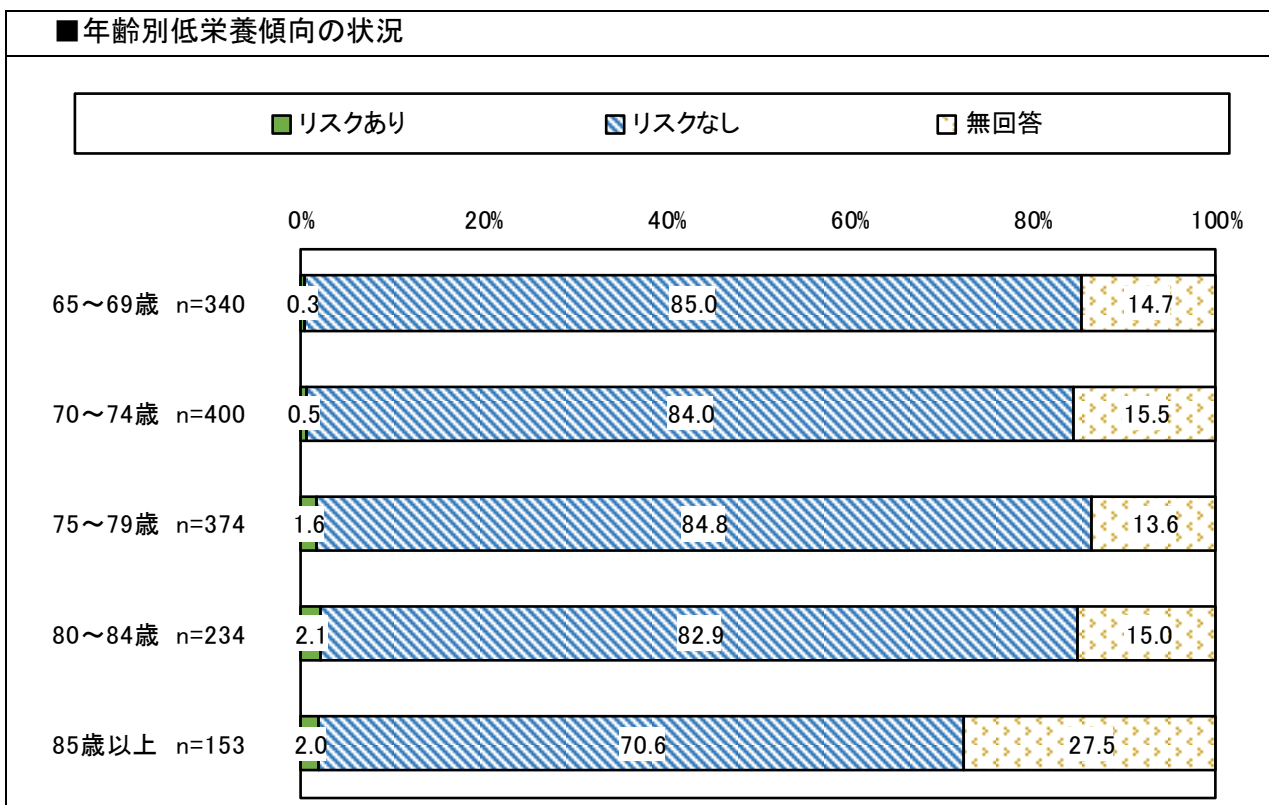
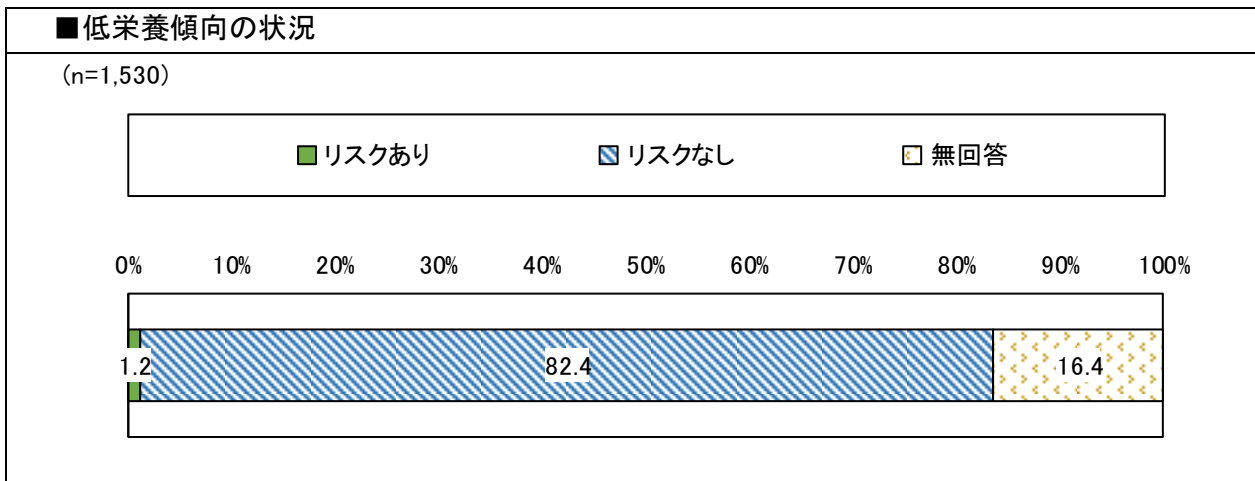


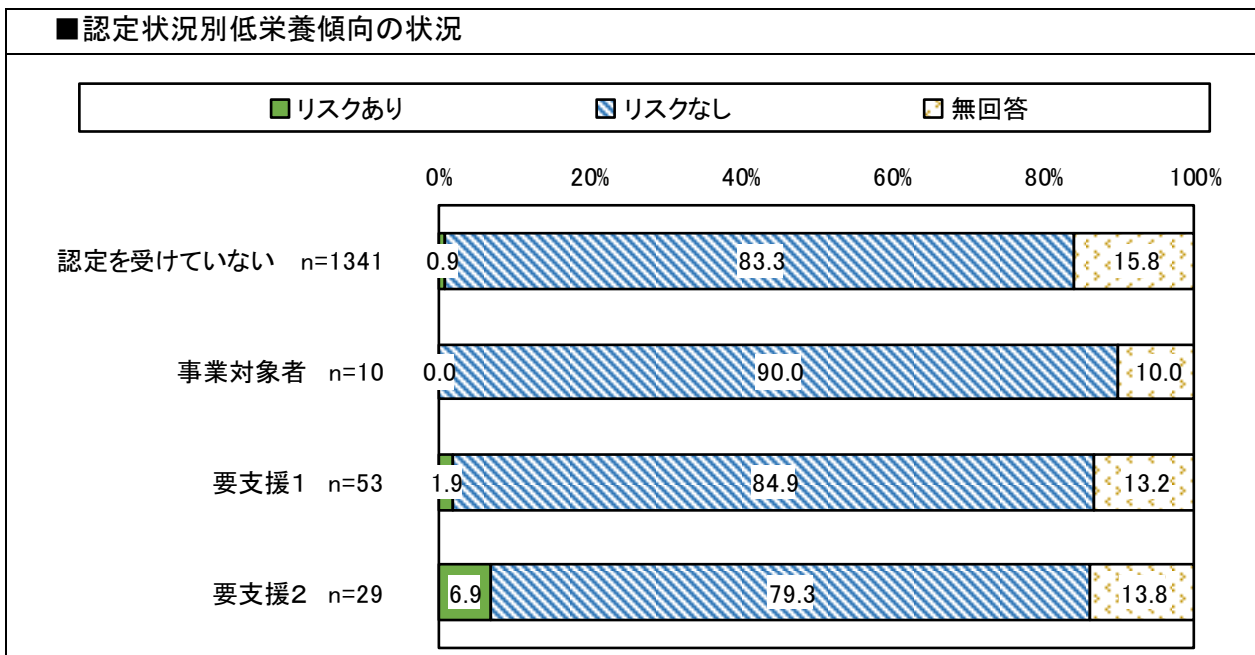
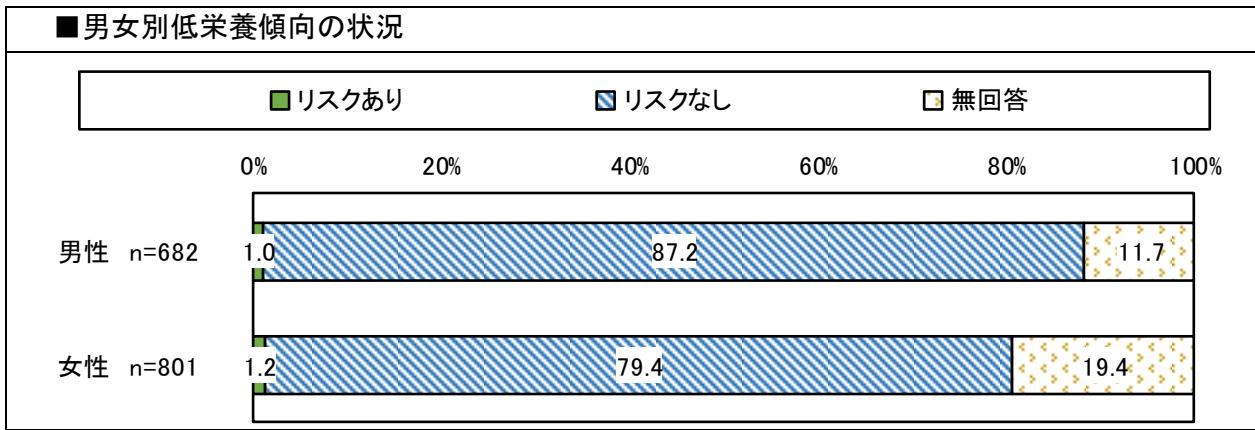


(7) 低栄養状態について

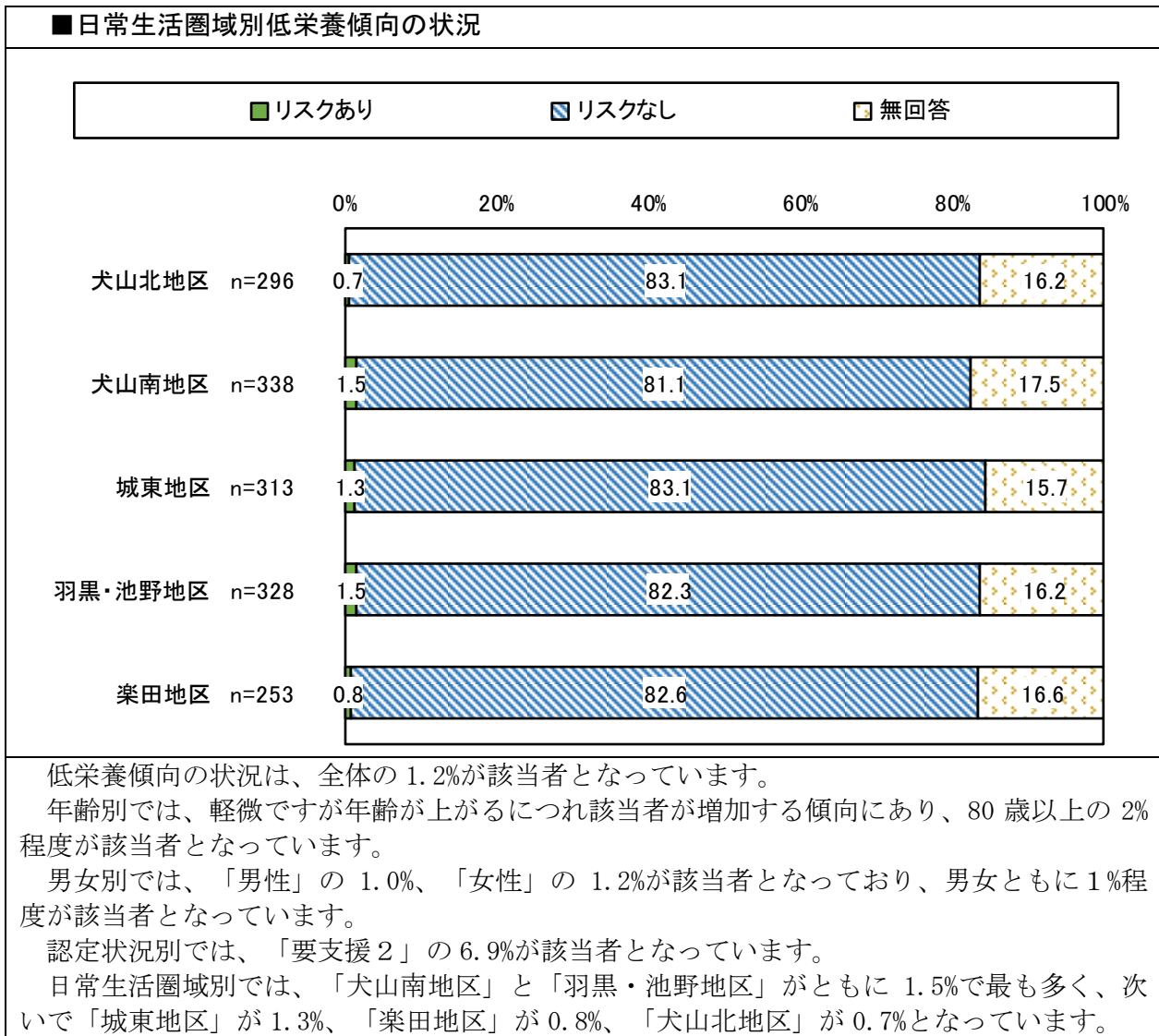
BMIが18.5以下に該当し、かつ問22「6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか」で「はい」と回答した場合は、低栄養状態と判定されます。

低栄養状態の状況は以下のようになります。



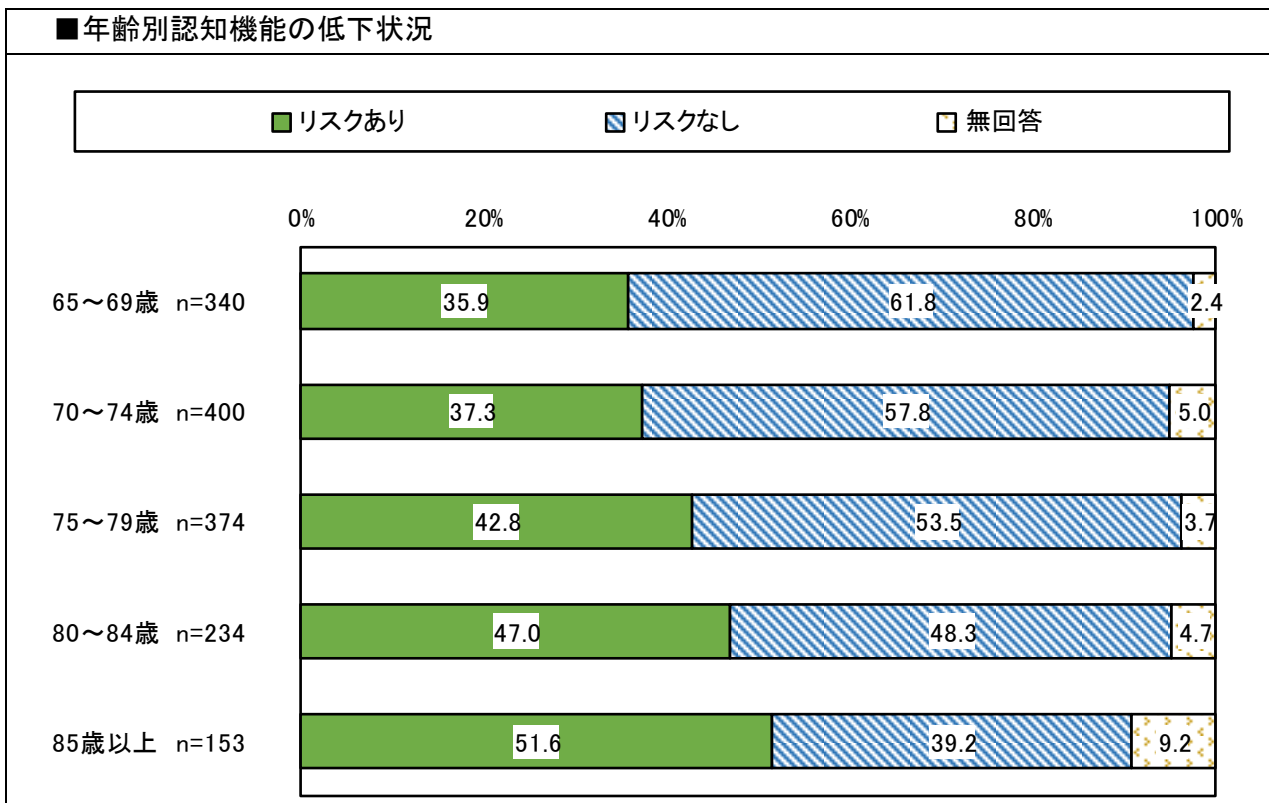
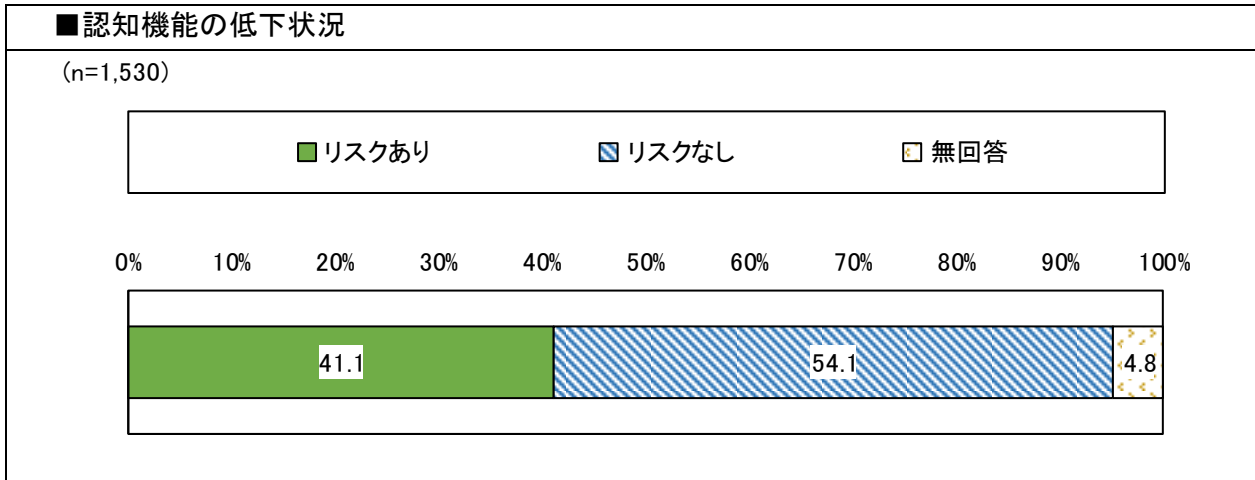


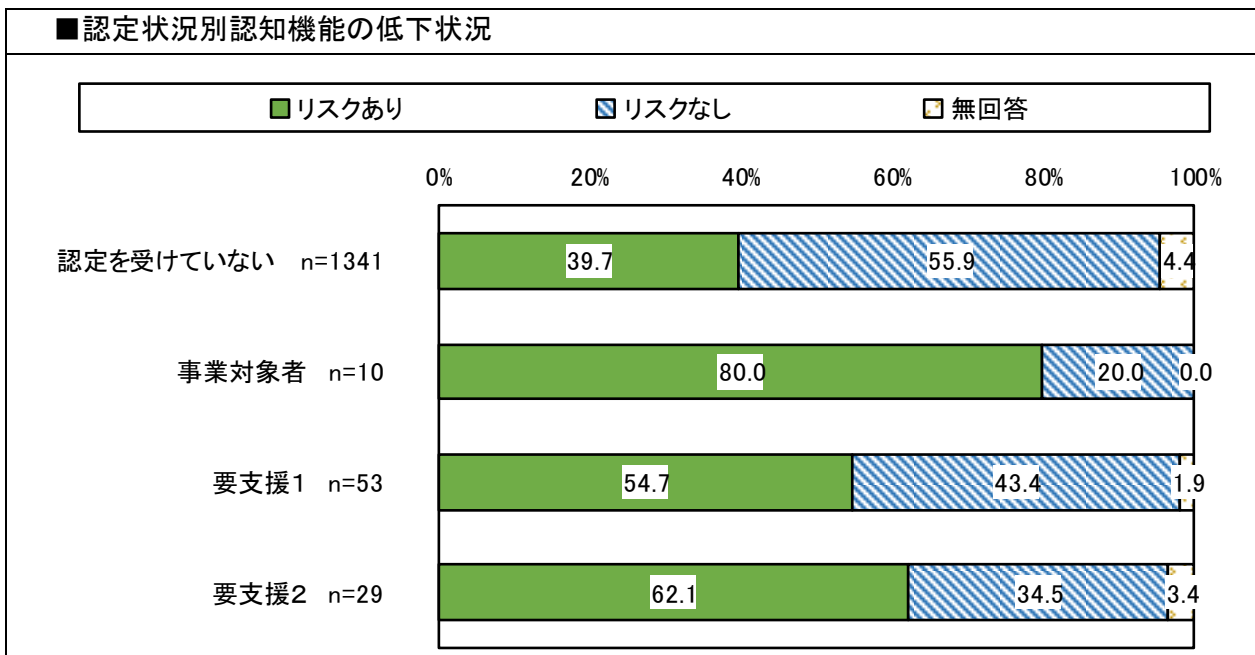
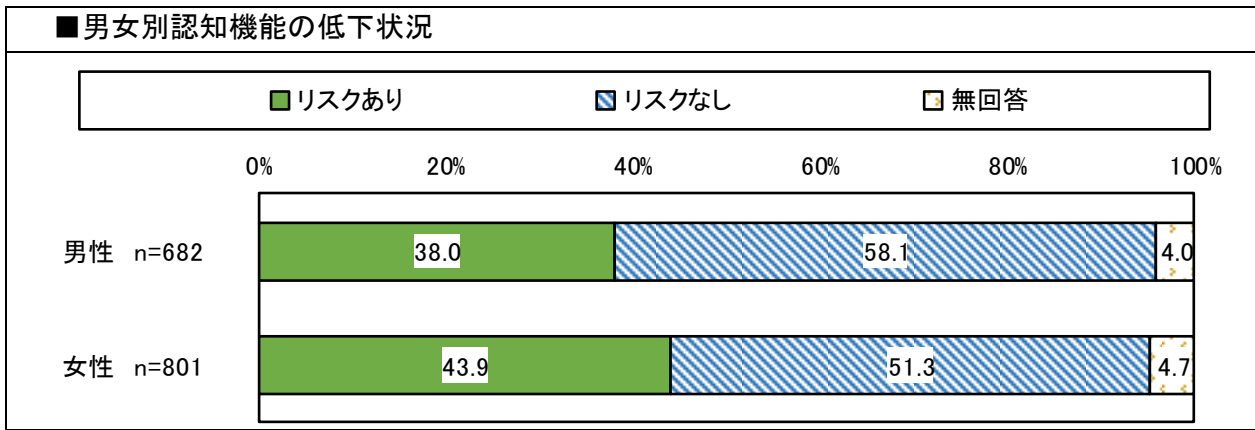


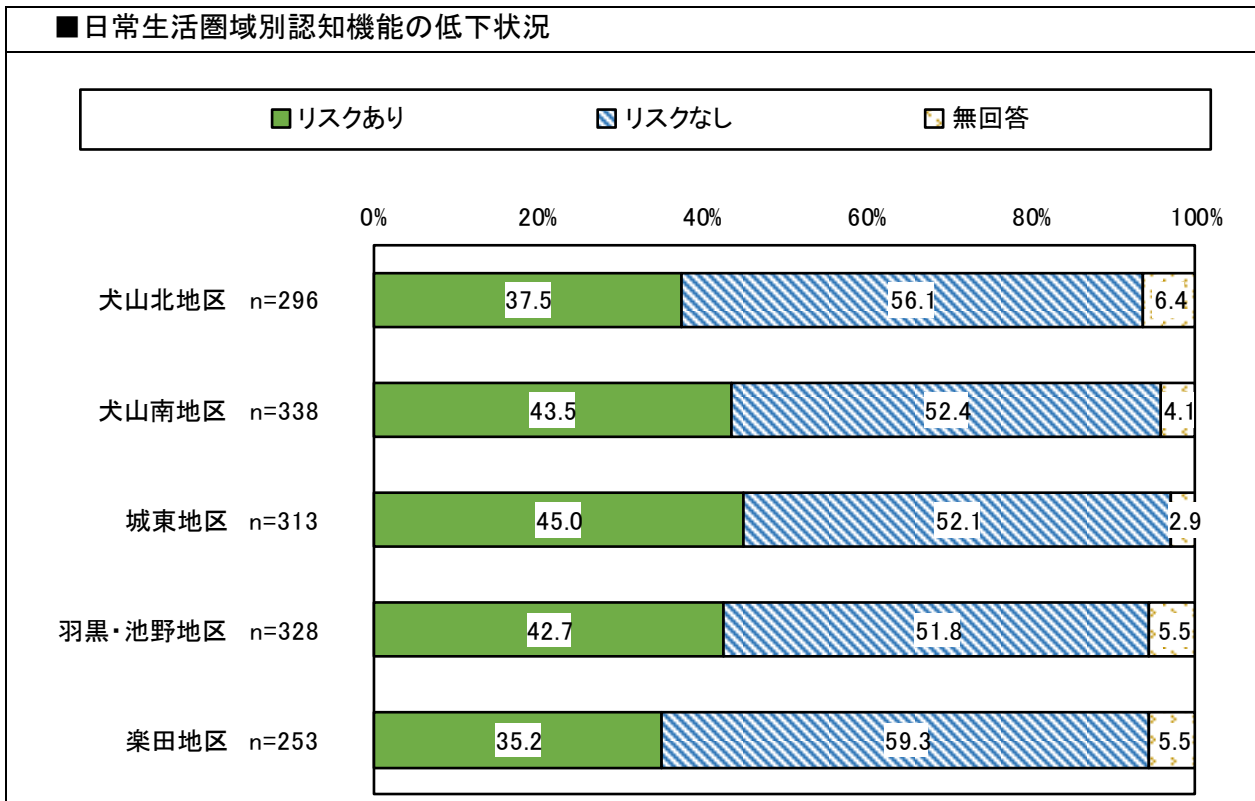


(8) 認知機能の低下について

問24～問26は認知機能の低下を問う設問です。  
 認知機能の低下状況は以下のようになります。







認知機能の低下は、全体の 41.1%が該当者となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、85 歳以上の 51.6%が該当者となっています。

男女別では、「男性」の 38.0%、「女性」の 43.9%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっています。

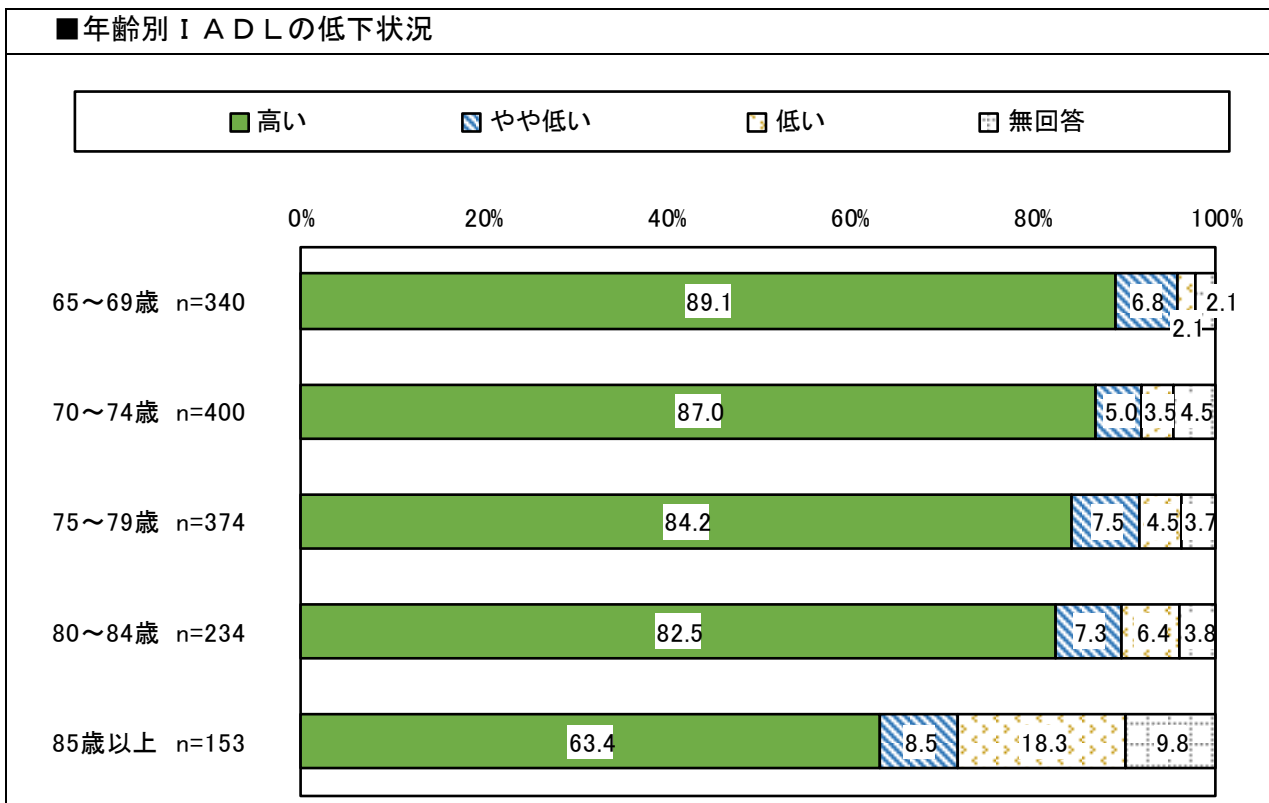
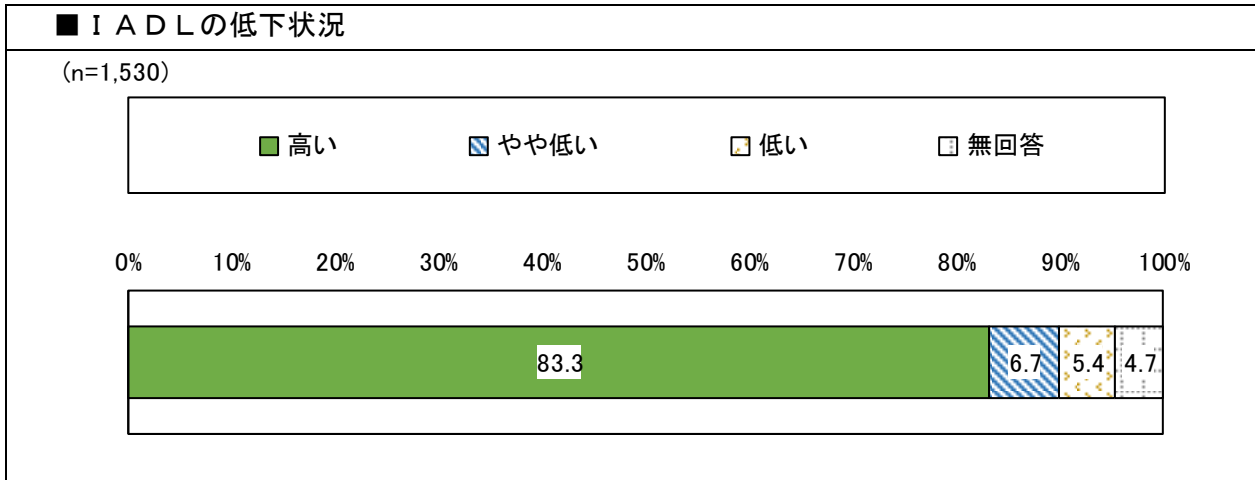
認定状況別では、「事業対象者」が 80.0%で最も多く、次いで「要支援 2」が 62.1%などとなっています。

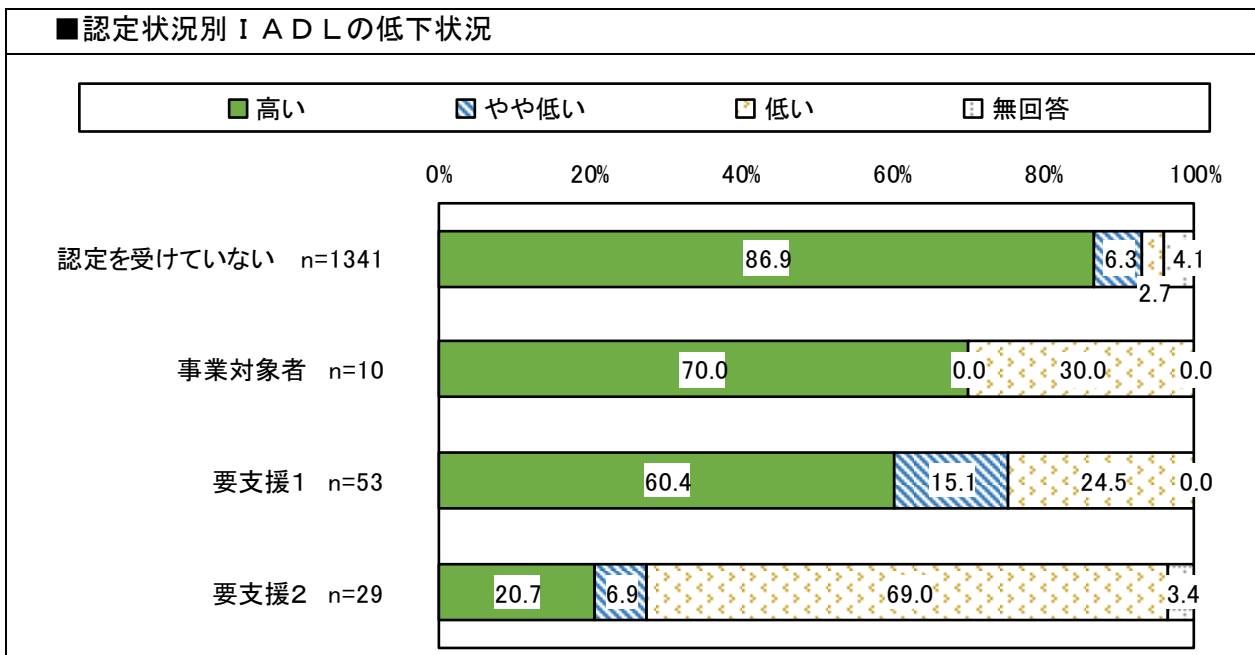
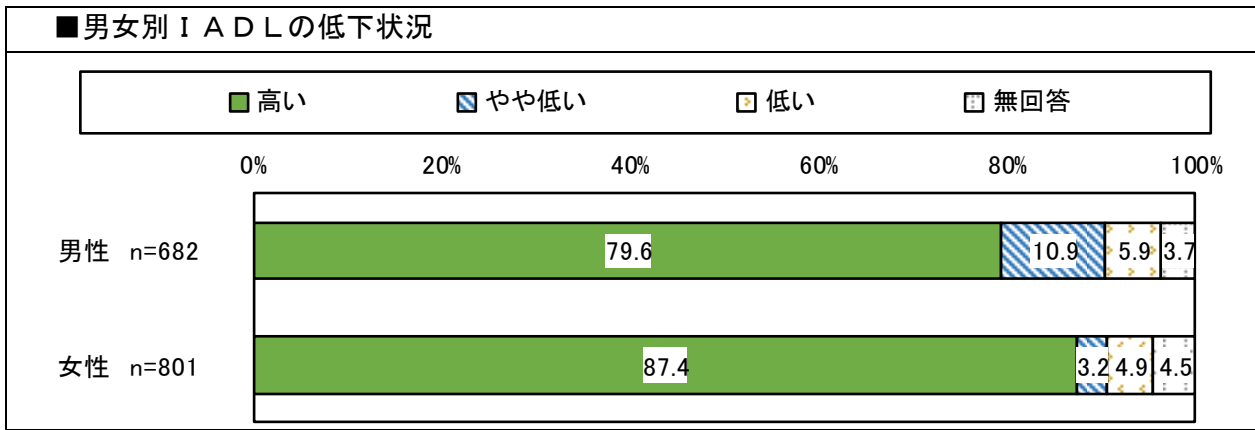
日常生活圏域別では、「城東地区」が 45.0%で最も多く、次いで「犬山南地区」が 43.5%、「羽黒・池野地区」が 42.7%、「犬山北地区」が 37.5%、「楽田地区」が 35.2%となっています。

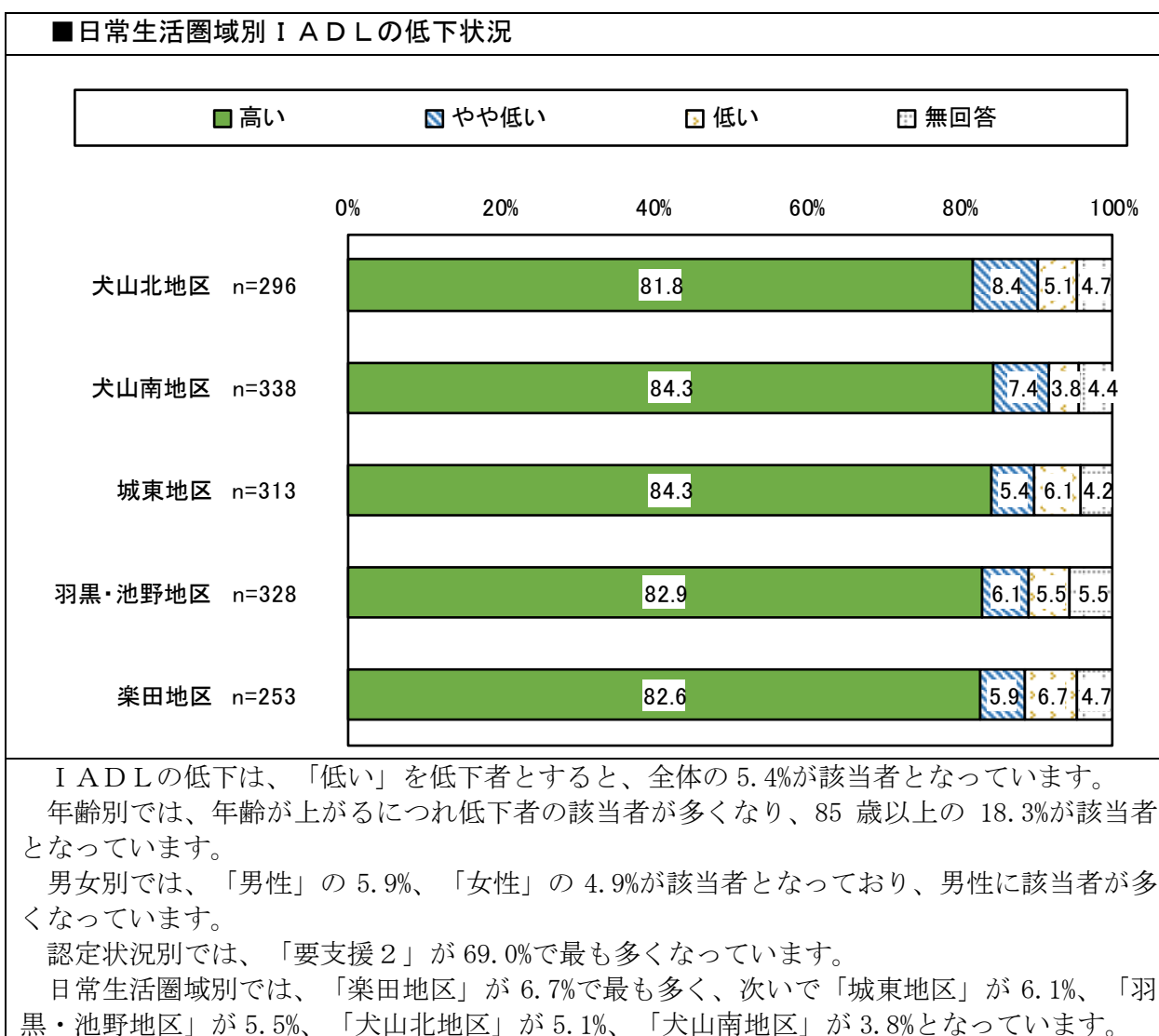
(9) IADL※(手段的日常生活動作)の低下について

問27～問31は、IADLの低下を問う設問です。

IADLの低下状況は以下のようになります。





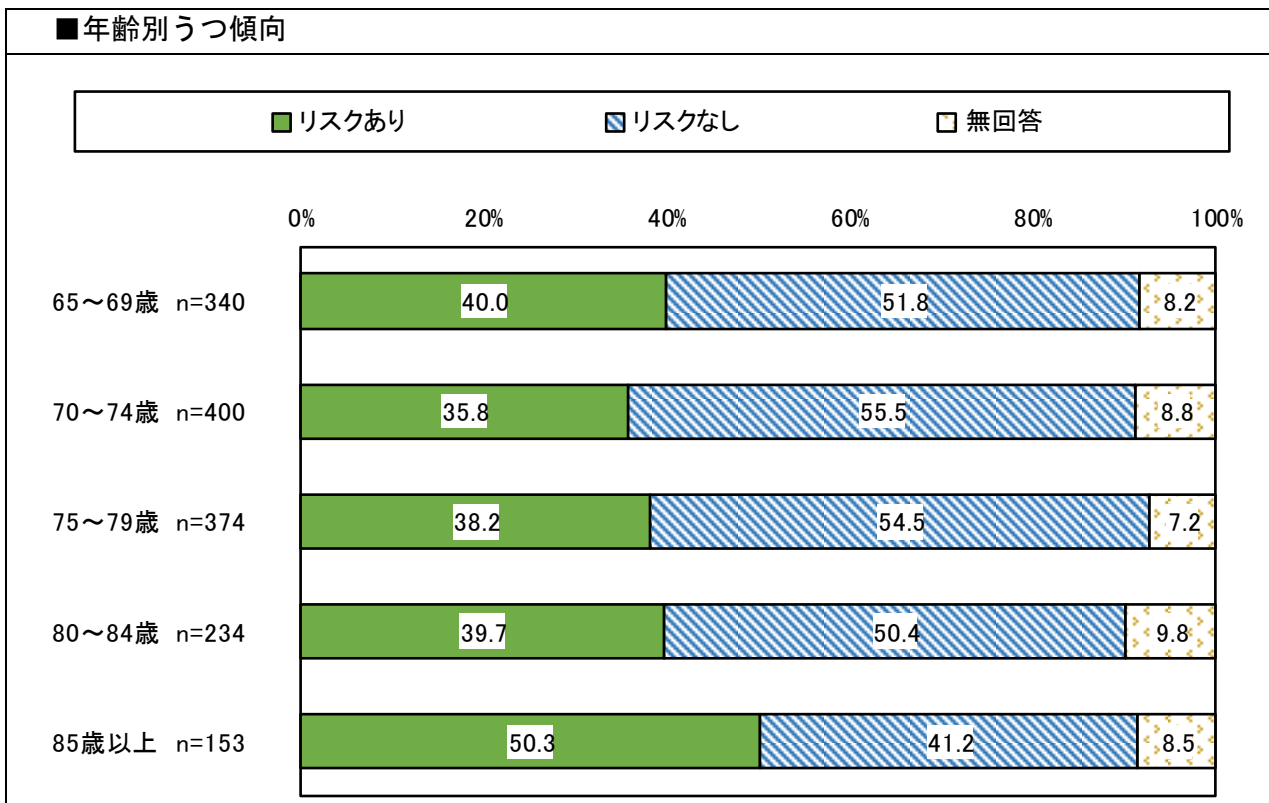
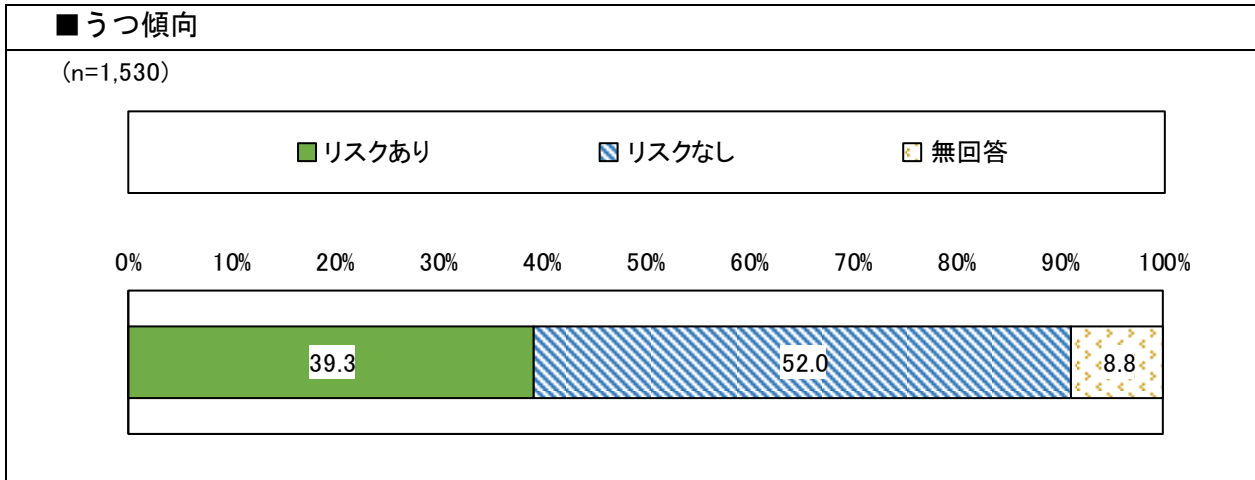


※ IADL (Instrumental Activities of Daily Living)

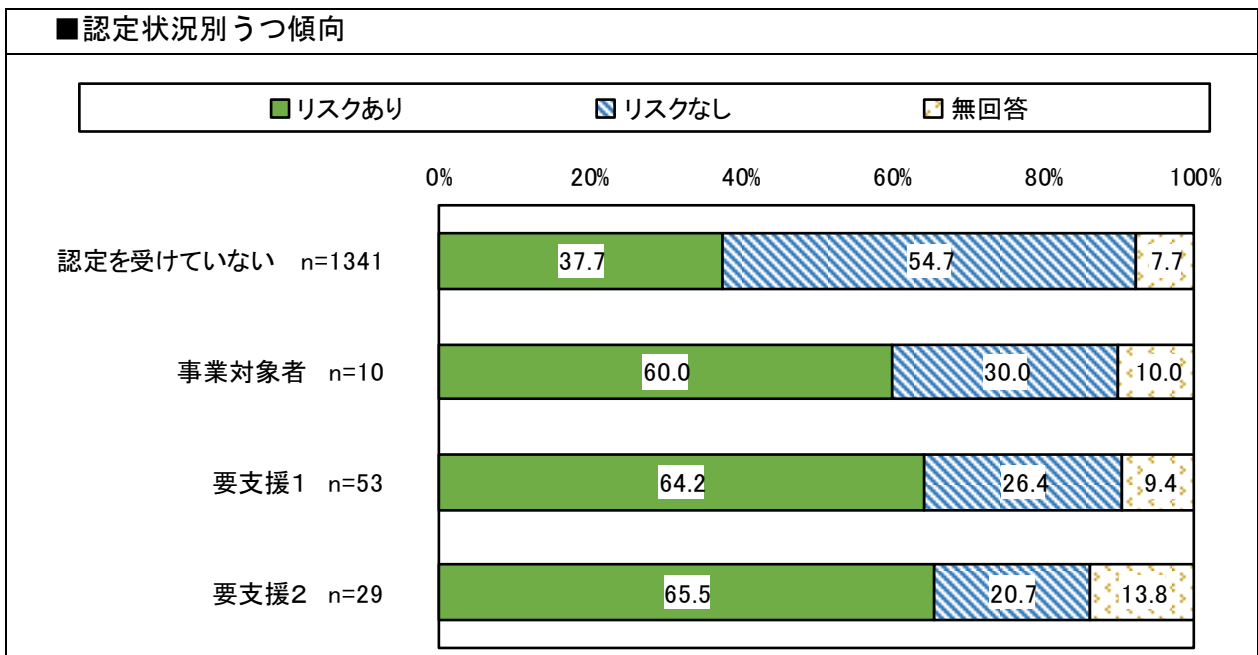
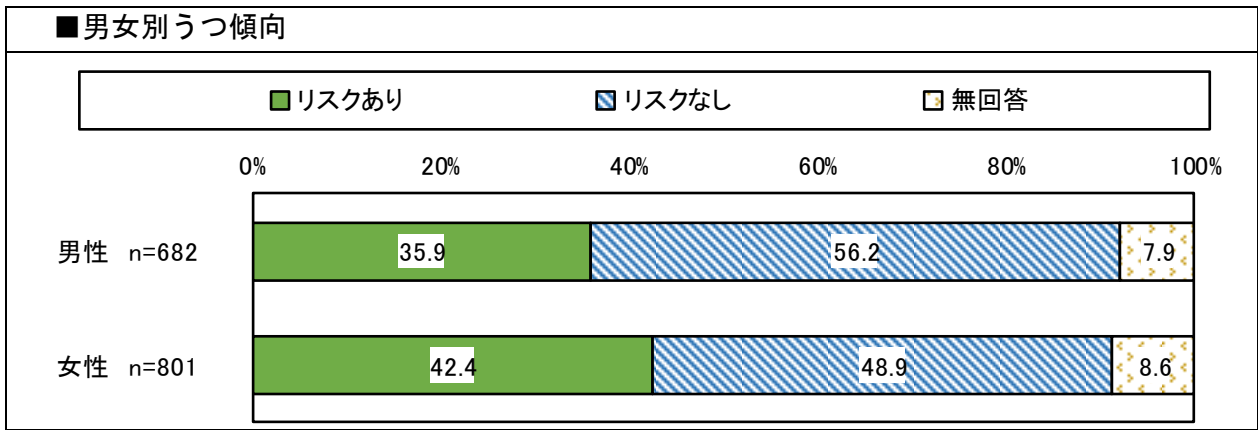
⇒排泄・食事・就寝等、日常生活の基本動作ADL(日常生活動作)に関連した、買い物・料理・掃除等の幅広い動作のこと。薬の管理、お金の管理、趣味活動、公共交通機関関連の利用、車の運転、電話をかけるなどの動作も含まれる。

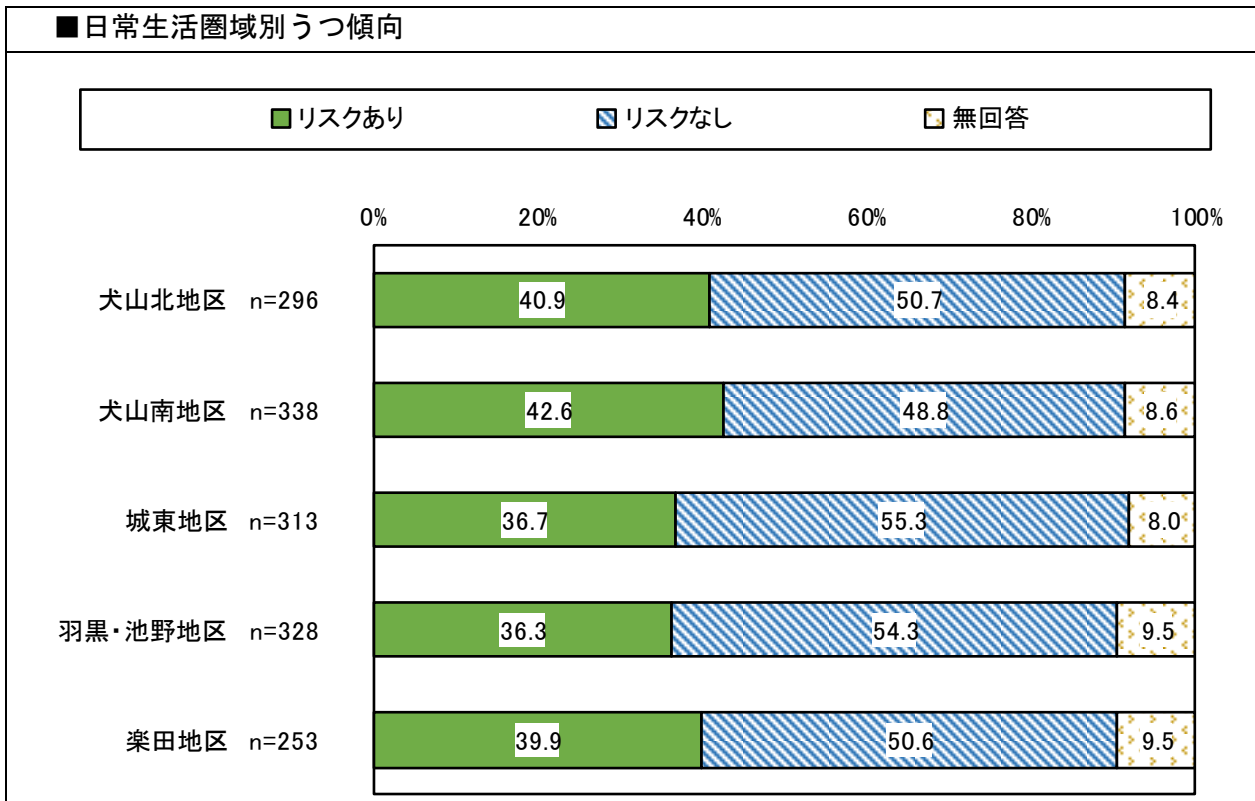
(10) うつ傾向について

問56、問57はうつ傾向を問う設問です。  
うつ傾向の状況は以下のようになります。









うつ傾向は、全体の 39.3%が該当者となっています。

年齢別では、すべての年齢層で 30%以上の該当者があり、最も該当者が多かった 85 歳以上では 50.3%が該当者となっています。

男女別では、「男性」の 35.9%、「女性」の 42.4%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっています。

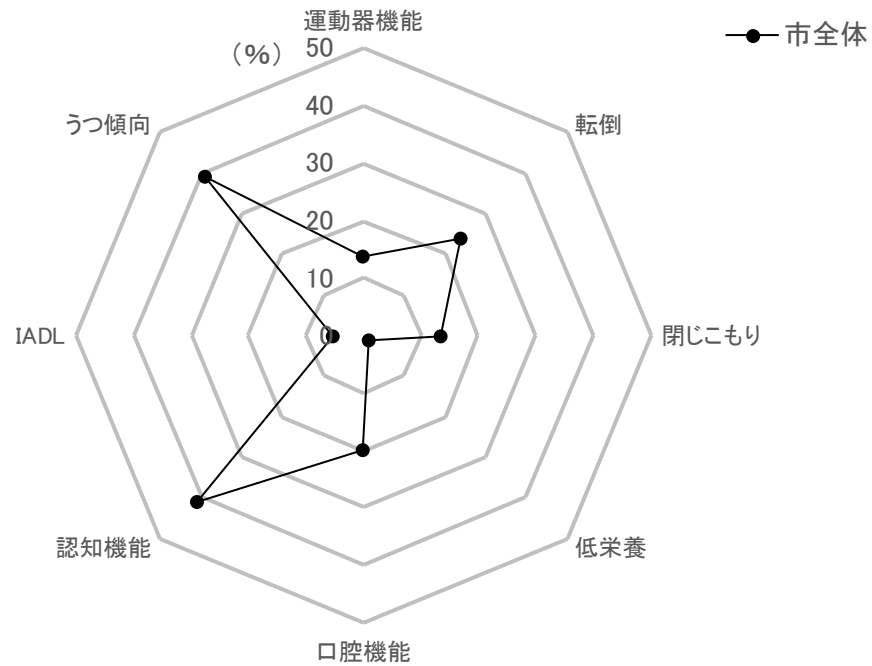
認定状況別では、認定度が上がるにつれて該当者が多くなり、「要支援 2」が 65.5%となっています。

日常生活圏域別では、「犬山南地区」が 42.6%で最も多く、次いで「犬山北地区」が 40.9%、「楽田地区」が 39.9%、「城東地区」が 36.7%、「羽黒・池野地区」が 36.3%となっています。

## 8 リスク状況（リスク高齢者の割合）

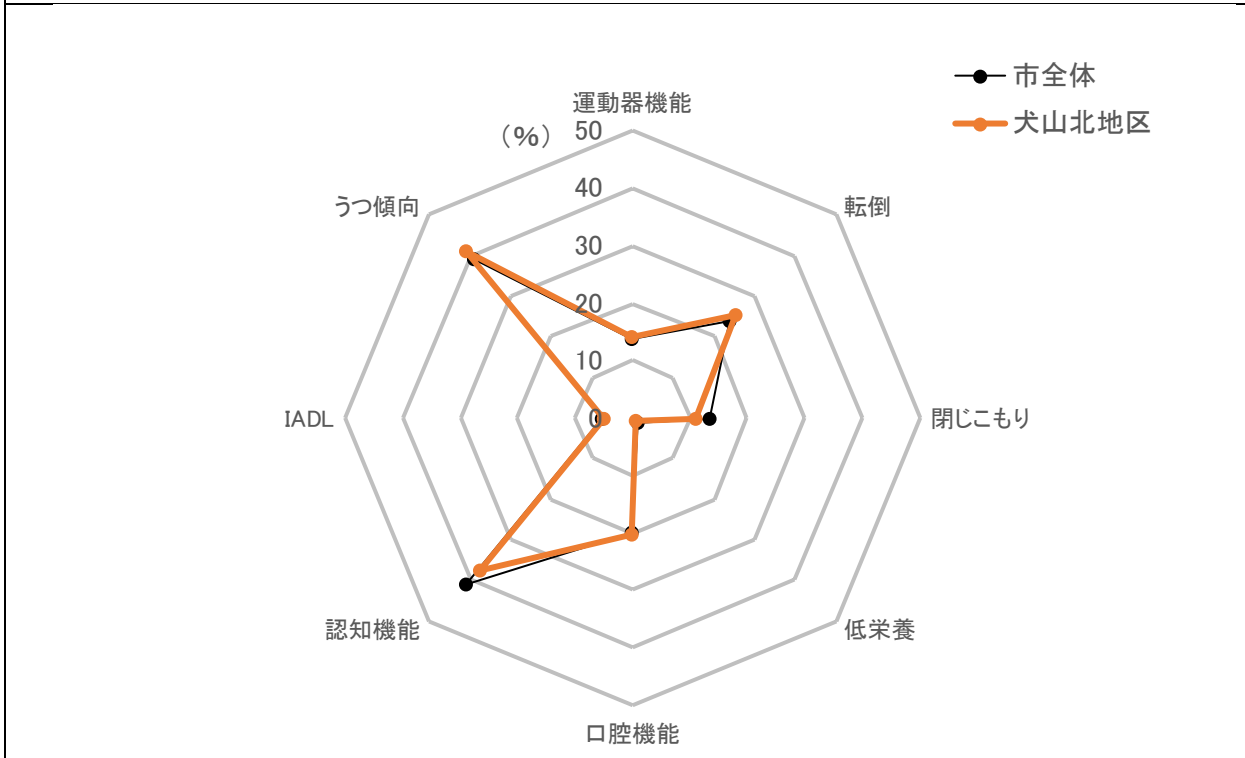
### ①市全体

本市のリスク状況別リスク高齢者の割合については、以下のようになっています。  
 8種類のリスクのうち、「認知機能」と「うつ傾向」の割合がそれぞれ約4割程度と他のリスクに比べて高くなっています。



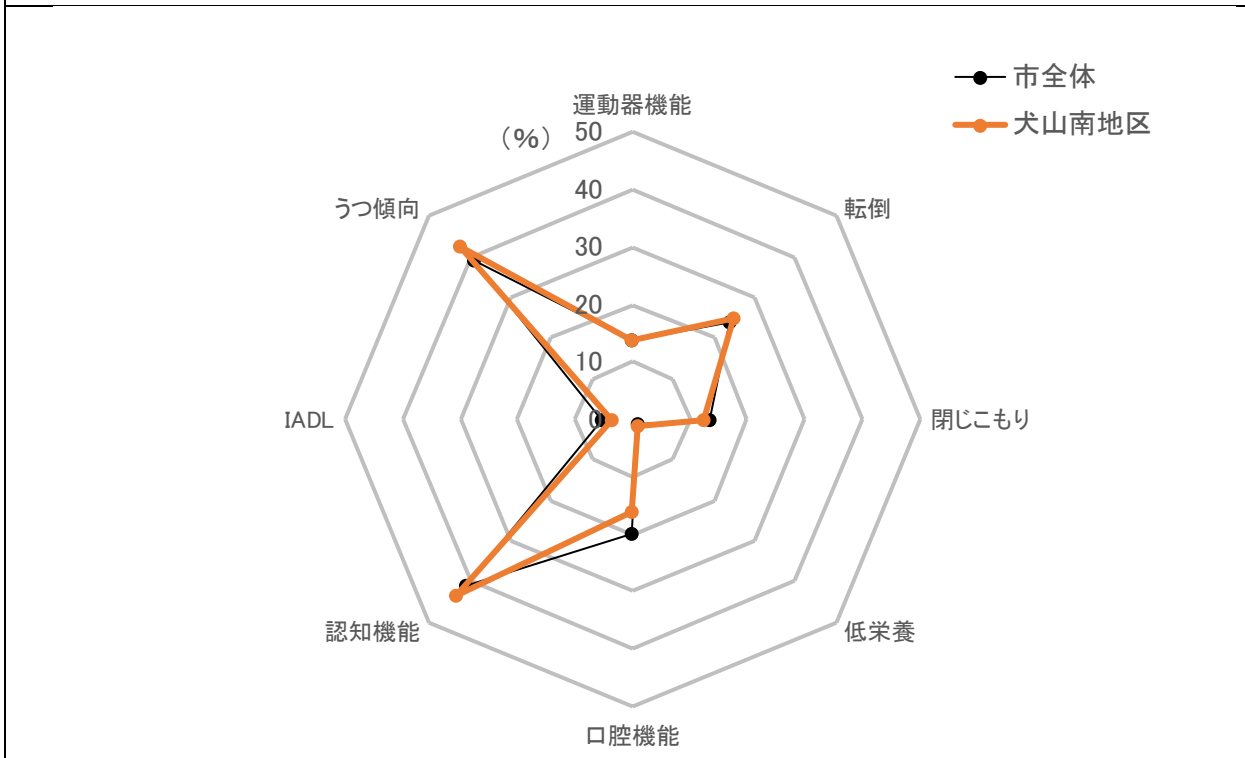
②犬山北地区

犬山北地区のリスク状況を市全体と比べると「運動器機能」、「転倒」、「口腔機能」、「うつ傾向」の割合は市全体よりも多くなっており、「閉じこもり」、「低栄養」、「認知機能」、「IADL」の割合は市全体よりも少なくなっています。



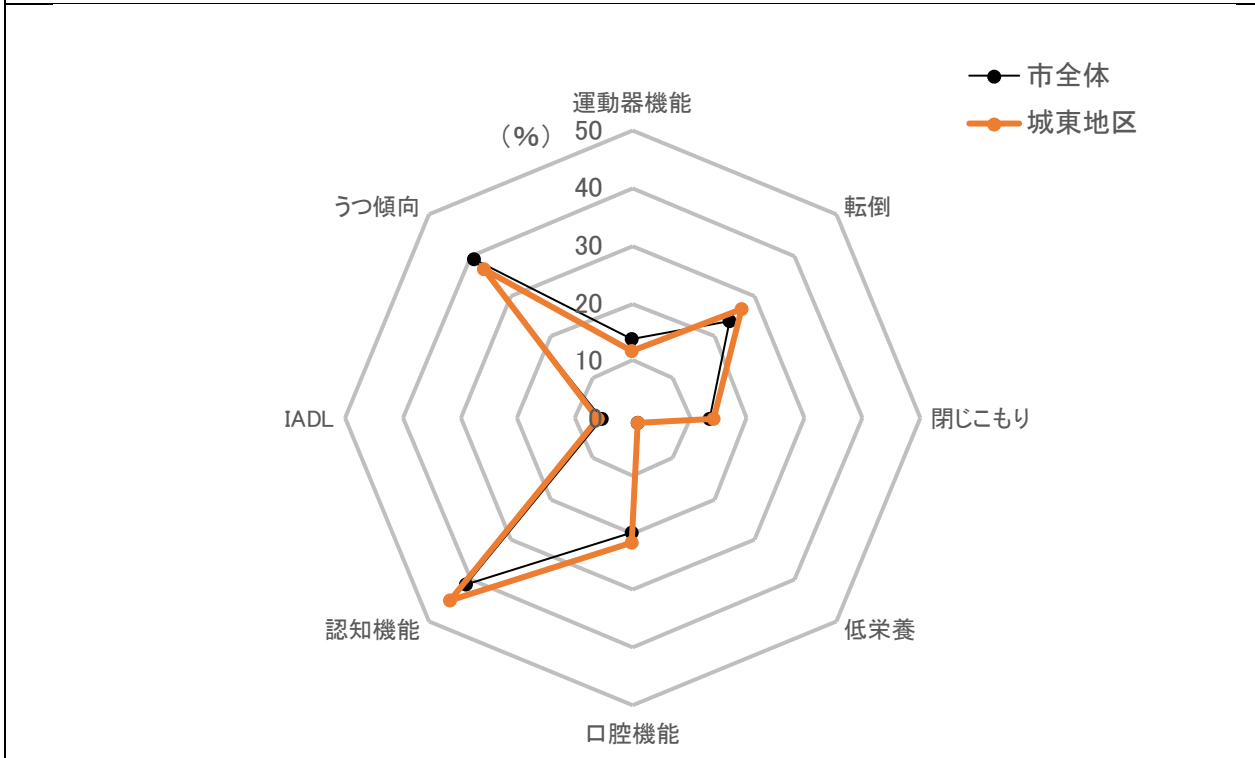
③犬山南地区

犬山南地区のリスク状況を市全体と比べると「運動器機能」、「転倒」、「低栄養」、「認知機能」、「うつ傾向」の割合は市全体よりも多くなっており、「閉じこもり」、「口腔機能」、「IADL」の割合は市全体よりも少なくなっています。



④城東地区

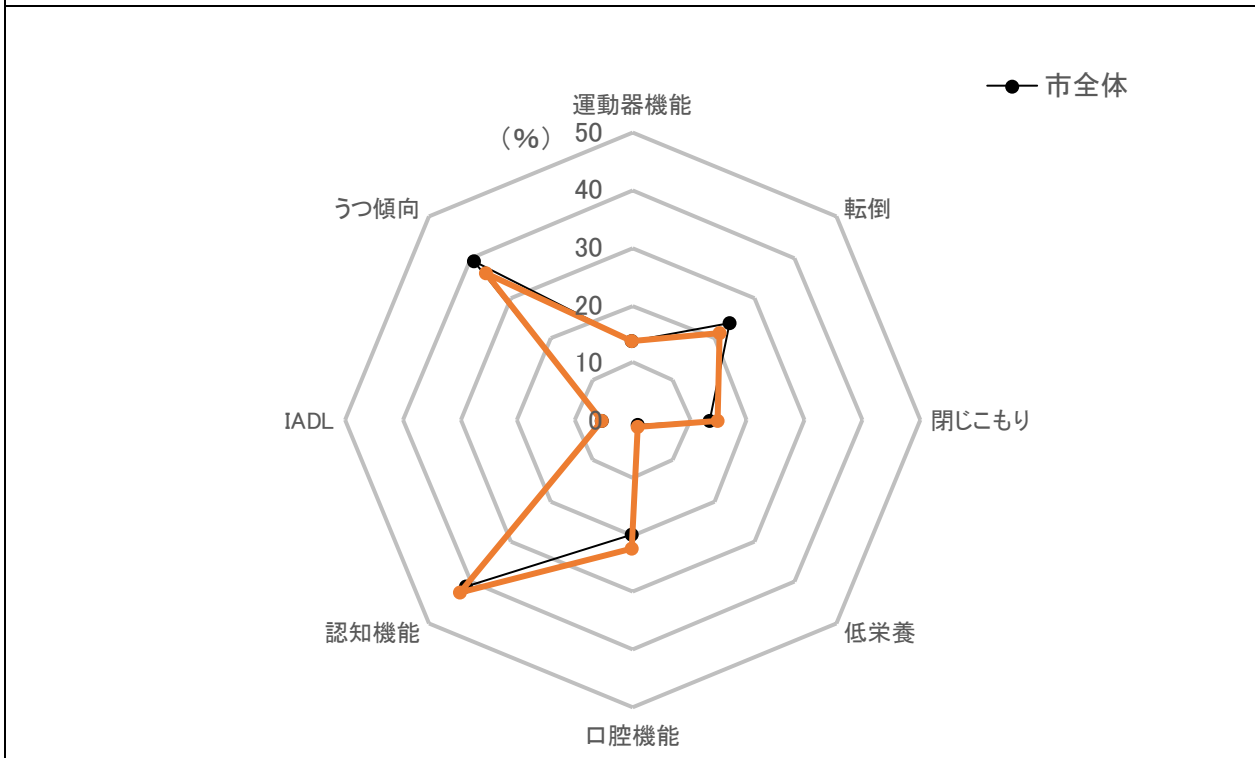
城東地区のリスク状況を市全体と比べると「転倒」、「閉じこもり」、「低栄養」、「口腔機能」、「認知機能」、「IADL」の割合は市全体よりも多くなっており、「運動器機能」、「うつ傾向」の割合は市全体よりも少なくなっています。



⑤羽黒・池野地区

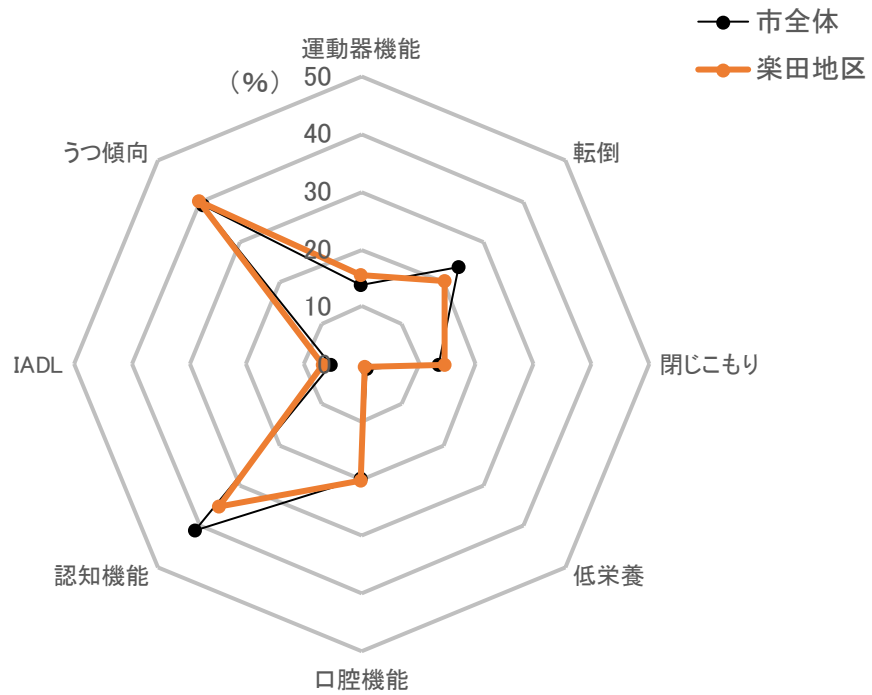
羽黒・池野地区のリスク状況を市全体と比べると「閉じこもり」、「低栄養」、「口腔機能」、「認知機能」、「IADL」の割合は市全体よりも多くなっており、「転倒」、「うつ傾向」の割合は市全体よりも少なくなっています。

また、「運動器機能」の割合は市全体と同じ割合となっています。



⑥楽田地区

楽田地区のリスク状況を市全体と比べると「運動器機能」、「閉じこもり」、「口腔機能」、「IADL」「うつ傾向」の割合は市全体よりも多くなっており、「転倒」、「低栄養」、「認知機能」の割合は市全体よりも少なくなっています。



## ②居宅サービス利用者向け調査

### 1 要介護（要支援）認定者の状況について

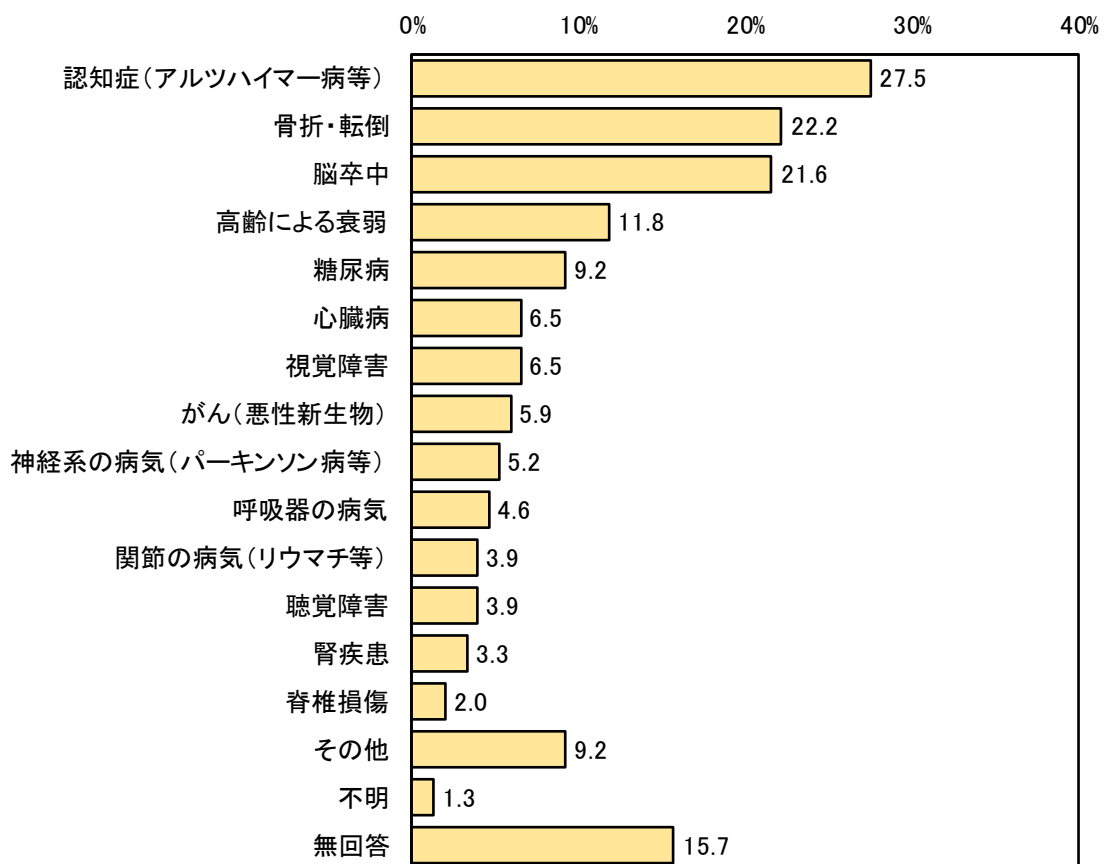
#### ○要介護認定を受けた理由と介護が必要となった要因

要介護認定者が認定を受けた理由は、「介護サービスを必要としていたため」が最も多く、次いで「病院、医師等から勧められたため」、「家族に勧められたため」、などとなっています。

介護が必要となった主な原因については、「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が27.5%で最も高くなっています。

#### ■介護が必要となった要因

(n=153)



○要介護認定が変化した要因

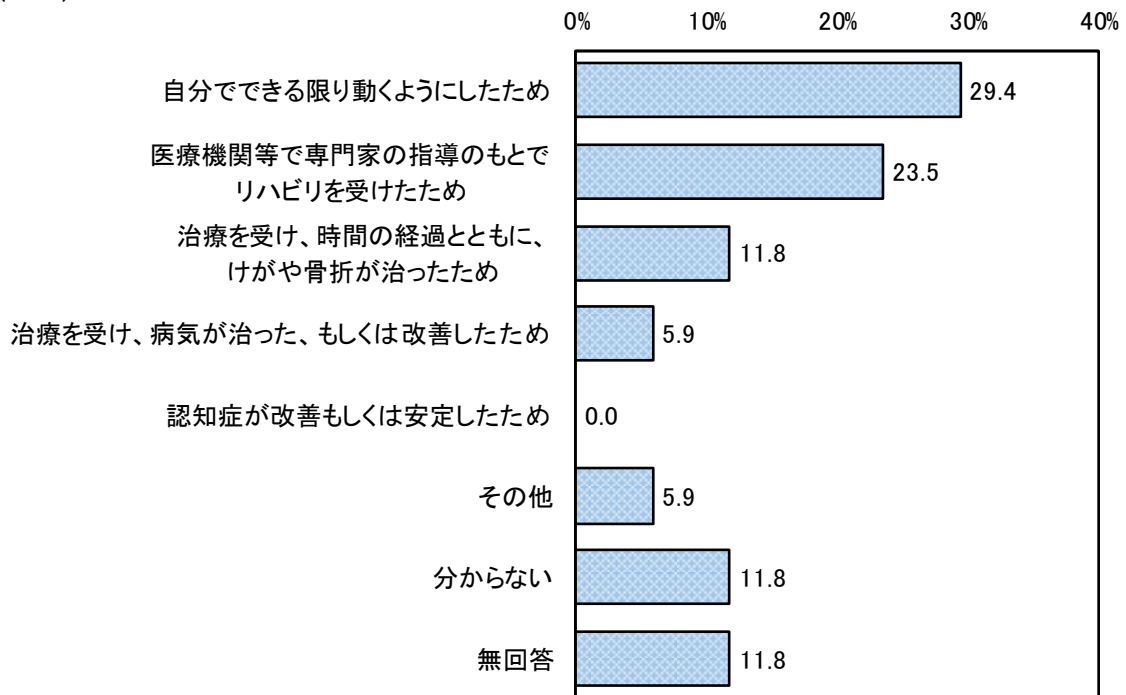
要介護度が軽くなった要因について、「自分でできる限り動くようにしたため」や「医療機関等で専門家の指導のもとでリハビリを受けたため」が多くなっています。

また、要介護度が重くなった要因は「認知症が徐々に悪化したため」や「動かなくなり、体力が落ちてしまったため」が多くなっています。

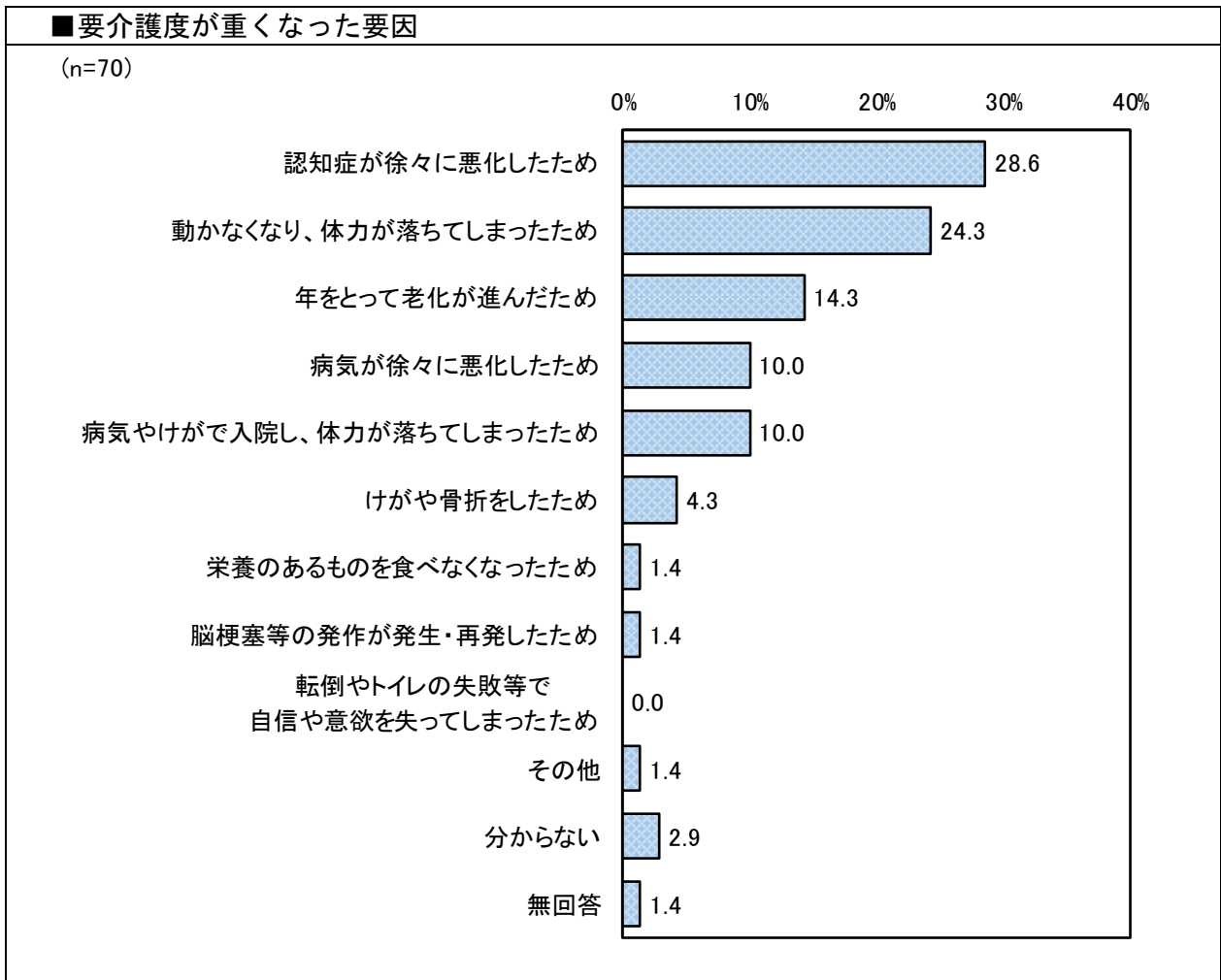
要介護度が軽くなった要因と重くなった要因を併せてみると、要介護度の重症化を防ぐためには運動等の介護予防のための取組が重要であると考えられます。

■要介護度が軽くなった要因

(n=17)







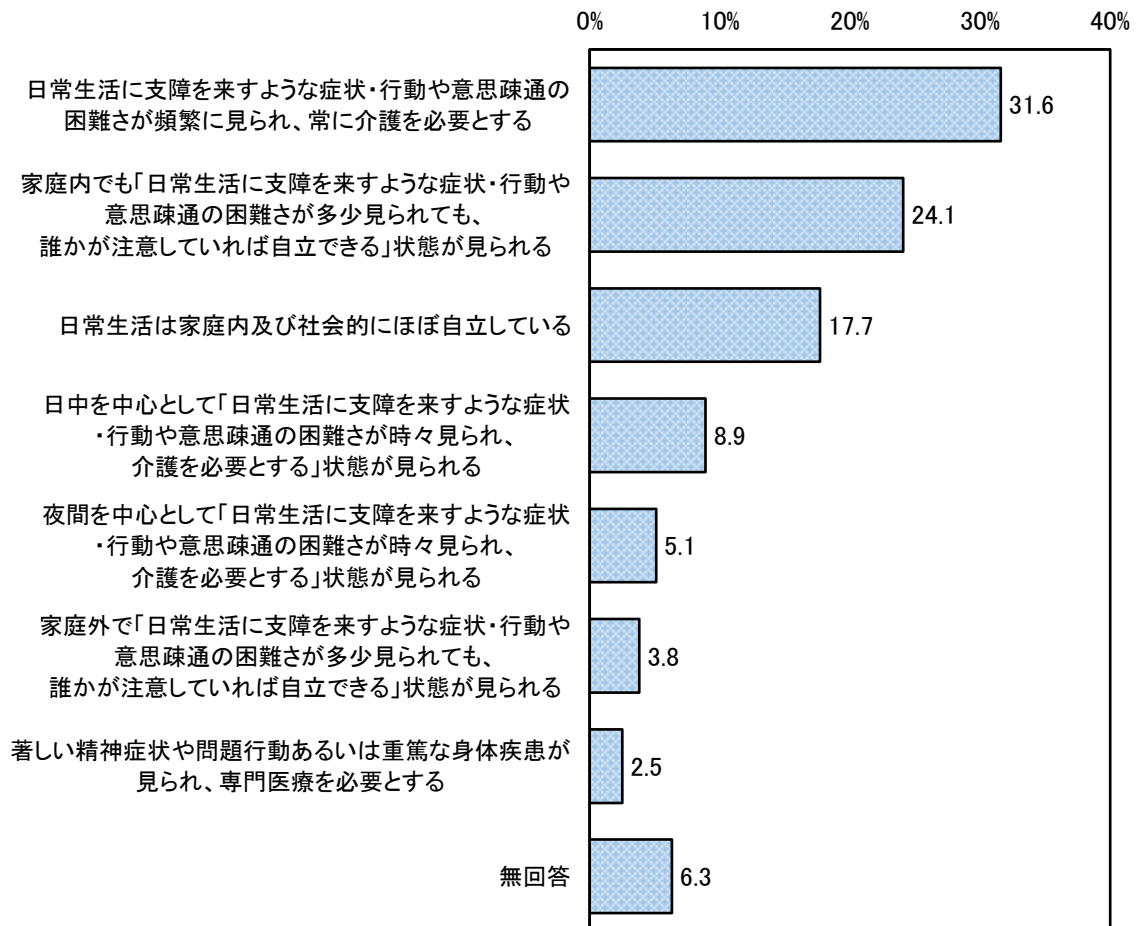
○認知症状

認知症がみられるかについては 51.6%の方が「みられる」に回答しており、症状としては「日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする」が3割以上と高くなっています。

要介護状態とならないよう、生活習慣の改善や基本検診・各種検診の受診による病気の早期発見・治療、また、介護予防事業や要介護状態となっても適切なりハビリ等の実施による重症化予防へとつなぐことが必要です。

■認知症状の状況

(n=79)



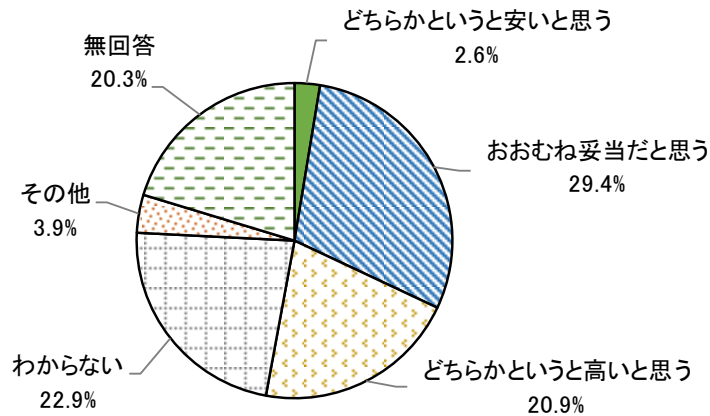
## 2 介護保険サービスについて

現在の本市の介護保険料の額について、「おおむね妥当だと思う」が約3割となっており、  
「どちらかという高いと思う」が約2割となっています。

また、介護サービスの利用料については「おおむね妥当だと思う」が最も多くなっており、  
本市の介護保険料と介護サービスのあり方については「介護サービスも保険料もほどほどがよい」  
が最も多くなっていることから、次期計画においても実績等を注視し、現状に即した保険料・サービス料の設定が必要になると考えられます。

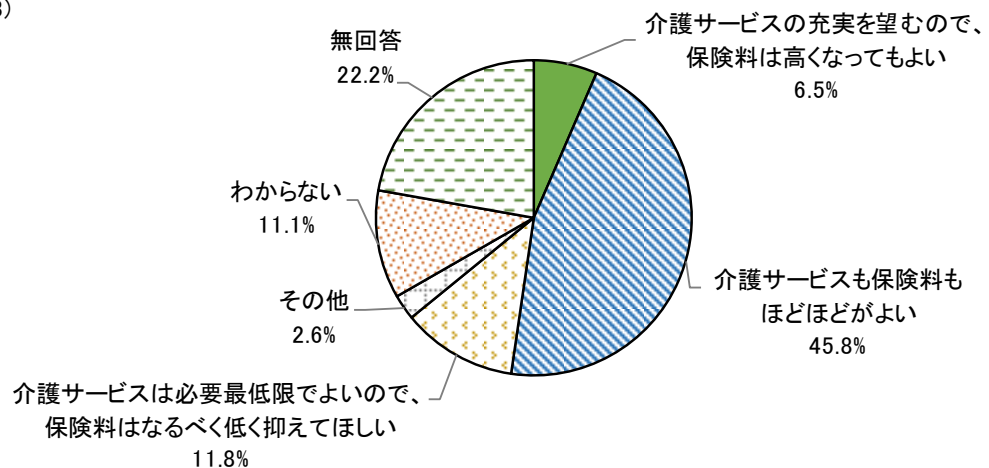
### ■介護保険料の額について

(n=153)



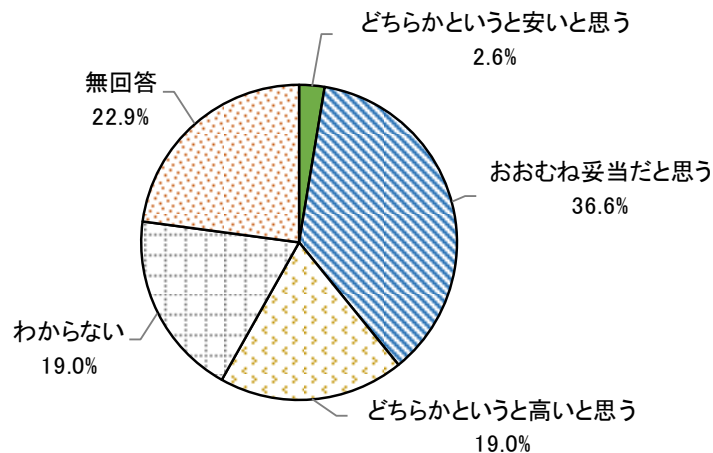
### ■介護保険料と介護サービスのあり方について

(n=153)



### ■介護サービスの利用料について

(n=153)



### 3 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）について

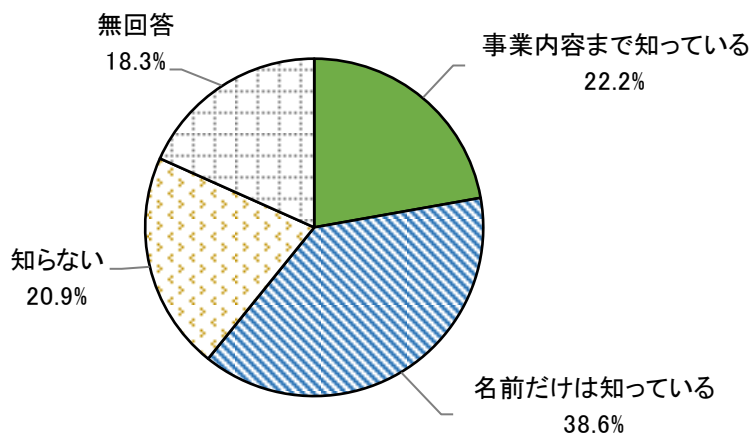
高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度は、「事業内容まで知っている」と「名前だけは知っている」を合わせて認知度が60.8%となっており、前回調査と比べ3ポイント程度高くなっています。

高齢者あんしん相談センターの利用については、「利用したことがある」の割合が24.2%と、前回調査と比べて10ポイント以上高くなっており、特に力を入れてほしい事業では「高齢者の一般的な相談」の割合が最も高くなっています。

また、『知っている』と答えた方の中で「事業内容まで知っている」方は約2割となっており、前回調査よりも割合は増加しましたが、今後も相談支援や情報発信の拠点となっている高齢者あんしん相談センターの周知、啓発に努める必要があります。

#### ■在宅で生活するために必要なサービス

(n=153)



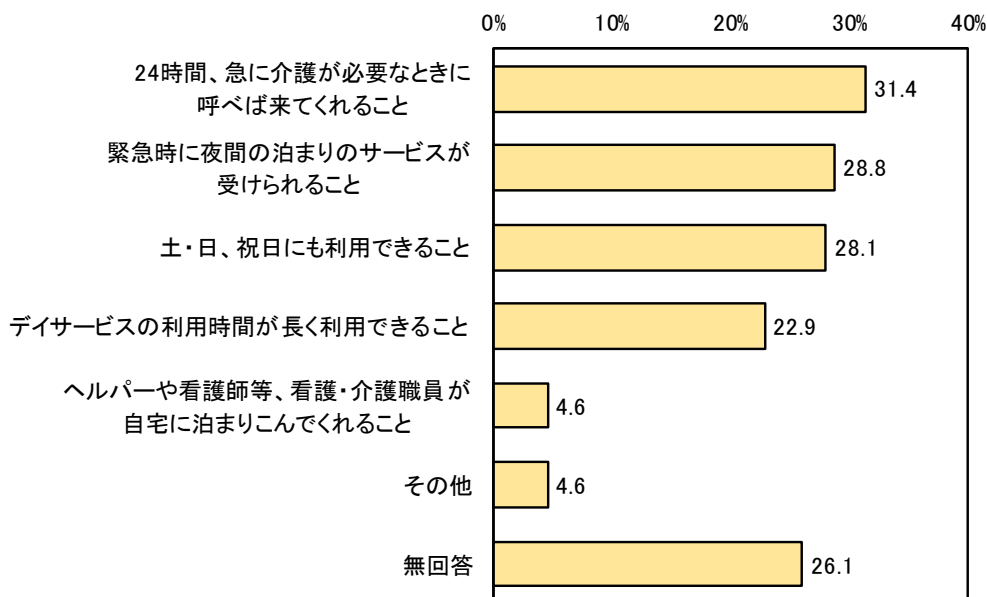
### 4 今後のサービスについて

どのようなサービスがあれば在宅で生活が続けられるかについては「24時間、急に介護が必要なときに呼べば来てくれること」と「緊急時に夜間の泊まりのサービスが受けられること」が約3割となっています。

前回調査でも上記の2項目が上位に来ており、今後も引き続き夜間や緊急時の対応のサービスを充実し、在宅サービスの需要に答えていく必要があります。

#### ■在宅で生活するために必要なサービス

(n=153)



## 5 在宅医療について

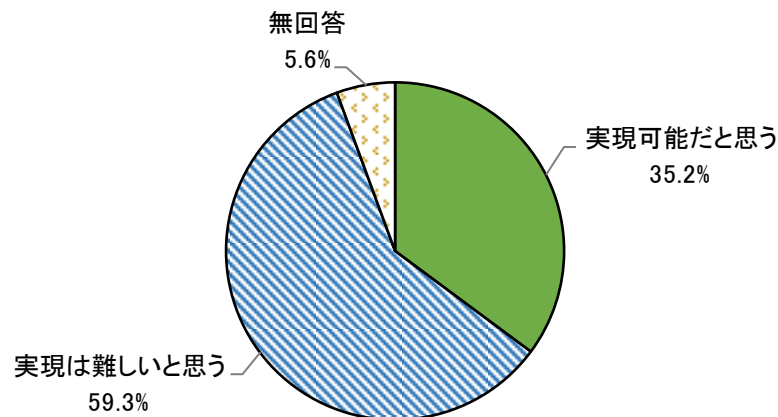
ケースワーカー・相談員に在宅医療のことを聞いたことがあるかを尋ねると、「はい」が55.2%と、過半数の回答者が在宅医療について聞いたことがあると回答しています。

病気等で長期の治療・療養が必要になった場合に過ごしたい場所で「自宅」と答えた方のうち、自宅での在宅医療の実現は可能だと思うかを尋ねると、「実現可能だと思う」が35.2%、「実現は難しいと思う」が59.3%となっており、在宅医療は難しいと考える方が多くなっています。

また、人生の最終段階（終末期）を迎えた時に過ごすことを望む場所は、「自宅」が39.9%で最も多くなっています。

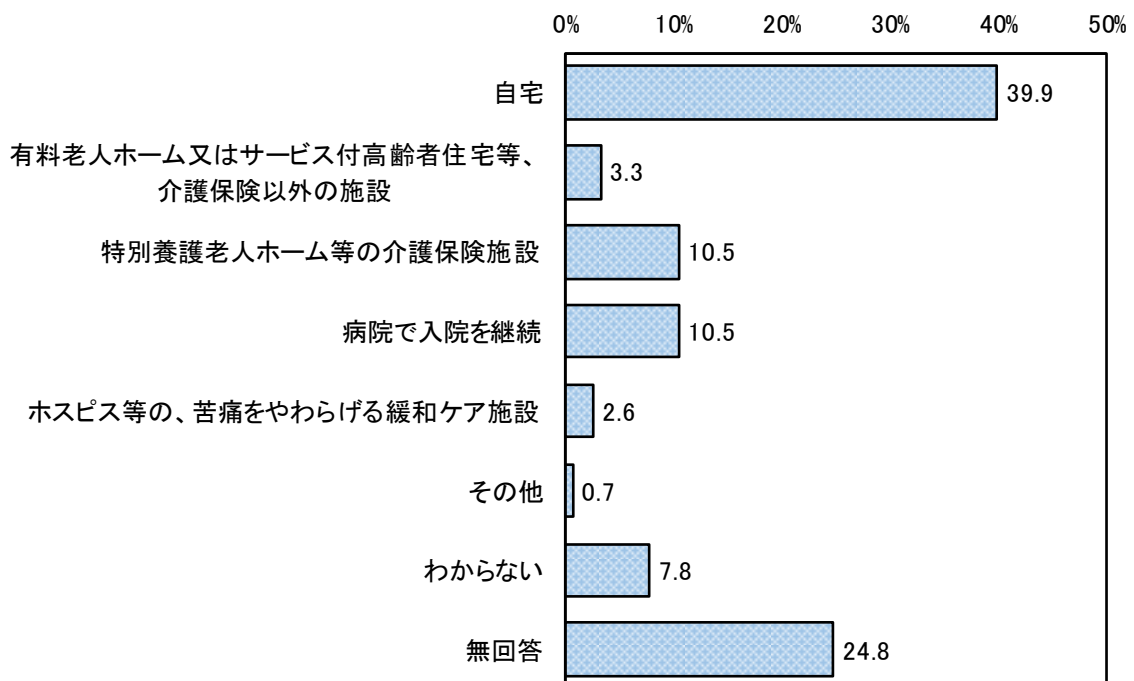
### ■ 自宅での在宅医療の実現は可能だと思うか

(n=54)



### ■ 人生の最終段階（終末期）を迎えた時に過ごすことを望む場所

(n=153)





## IV 自由記述





## IV 自由記述

## ①一般高齢者、総合事業対象者、在宅要支援認定者向け調査

## (1) 高齢者福祉サービス

<p>①非常時における介護施設の担当者の知識（危機管理の行動手順の欠如）のレベルアップが必要。</p> <p>②要介護する家族も介護施設にて働いている方々と自宅で同じことを行っているのが実態であり、その様な家族に対して施設に支払う費用を援助して頂ければと思う。（例：施設に介護費 30 万円/月ほど支払っているがそれに加えて介護依頼した家族等は 12～15 万円/月支払っているの、30（施設）+15=45 万円の中から家族介護日数 12～3 日分として 10～15 万円支援していただけると良い）</p>
<p>高サ賃等の施設を犬山にも呼び込んでほしい。今現在は一戸建ての家に住んでいるが、いずれは老人ホームに行かねばならないと思う。しかし一気にそこに行くわけではないので、その繋ぎとなるような施設がほしいと思う。</p>
<p>問 86「高齢社会に対応していくために本市は何に力を入れていくべきか」の回答の多い事業に力を注いで頂きたいと思います。</p>
<p>“見守り緊急通報システム”を一人世帯に限定することなく 2人世帯でも利用できるようにしてほしい。まして一方が要介護者である場合は強く要望したい。また固定電話利用者のみを対象としているが今日では携帯電話・スマホという無線通話システムが増えている。無線機器でも利用できるシステムを検討してほしい。</p>
<p>市の福祉行政の努力に感謝します。高齢になりますと医療関係の充実が強く望まれますのでコミュニティバスも近隣市町村までのコースを（スーパーについても同じです）設定して頂きたいと思います。</p>
<p>高齢者は家に閉じこもるので高齢者が集まる場所・楽しめる施設を多く作ってほしい、皆さんでお喋り・趣味・レクリエーション活動をする事で楽しみ・生きがいができ健康につながるのではないかと思います。要支援 1 でも週 1 回しか施設を利用できないので、その他に市の高齢者施設を利用できるようにして頂きたい。楽しみにしている高齢者はたくさんいると思います。</p>
<p>高齢者のゴミ出しは（特に冬）大変です。1 袋 50 円～100 円くらいで玄関先から集積所まで運んでくださるボランティアの方がいらっしゃるとう助かります。</p>
<p>高齢者福祉等より一層充実してほしいと思います。</p>
<p>「高齢者の生活支援事業について」通院への付き添いや相談事について充実を望みます。「家族介護に対する支援について」知人の家では家族で介護しておられますが、医療関係者が大勢来て下さるので疲れます、マニユ通りではなく着替えなどは家の者がするのに・・・と伺いました。</p>
<p>高齢者福祉施設には更なる介護予防事業・健康増進に役立つ事業などの拡充、国保とリンクさせた介護サービス自己負担額の見直しなどを望む。高齢者に健康を増進する充実したサポートを企画し、終活期間（ステージ）になったら 1 週間程度で人生の終焉となれば介護制度が健全に運営できるのではないだろうか。</p>
<p>コミュニティバスで病院に通院する場合、上野～羽黒迄行くと 11 時 4 分の帰りのバスに間に合わないと次のバスが 1 時間半後くらいになり、その間居る場所が無い。駅まで出るのに歩いて 30 分程かかるので大変。帰りのバスの本数を増やしてほしい。</p>
<p>①医療の充実について：一つの市内で出来る事があるので近隣市町村とも広げ健康診断なども広域で行うことも必要と思います。</p> <p>②老人の足について（交通）：土・日のバスの運行実施を実現してほしいです。災害弱者の私たちはどうしたらいいのか不安です、設問にこの項目がなくて残念！</p>

犬山の高齢者福祉は近くの市町に比べて貧弱すぎる。
①防災公園の駐車場をフリーにする。 ②テニス・ウォーキングのため公園に自分で出来るアスレチック施設を作る。 ③スポーツに参加できるようPRする。 ④自費で参加しているスポーツクラブの補助。 ⑤市の施策では不満、民間調査の必要あり。
外出し色々な変化や刺激を感じるためにも移動時の交通費補助を考えてほしい。例えば名古屋駅までの名鉄電車の費用援助など。
①介護保険制度の仕組みをもう少し詳しく教示してほしい。 ②団塊の世代が後期高齢を迎えるにあたり、福祉施設の充実を図って頂きたいと思います。
問 86「高齢社会に対応していくために本市は何に力を入れていくべきか」に関し高齢者に参加してもらい事業を広報等で知らせるだけではなく、町内会・民生委員の人が訪問して誘い出すことをもっと積極的に行うと良いのではないのでしょうか？
将来老人ホームに入りたくても国民年金だけでは有料老人ホームに一人も入ることが出来ない状況です。安い金額で入所できる施設を望みます。
設問とは少し違いますが以下の点についてご留意ください。 ①アンケートが計画にどのように反映され実現していくのか？ただ計画を作って終わりには絶対にしてしないでください。 ②相談センターの予算・人員・施設の更なる拡充は急務と思います。頑張ってください。
認知症対応・介護サービス・家族介護に対する支援の充実を望みます。
認知症の母の介護を自宅で何年もしたことがあります。もっと自宅介護をしている人の手助けをしてほしい。
養護老人ホームの一覧表。（費用や介護度等の内容が一目でわかるような物がほしいので、作成して頂きたい）
家族は息子と夫なので介護サービスの充実を望みます。
高齢者のタクシー助成について以前は券が 24 枚頂けたそうですが、今はその半分になったと聞きました。私はまだ頂いておりませんが、往復では 2 枚必要となりそれでは病院にも行く事が出来ません。（現在、年間最大 28 枚が助成されています。）
要介護に認定されない人もデイサービスを受けられるようにしてほしい。
介護される側への各種サービスと介護する側への手当の充実も大切。
高齢者のタクシー券増か 80～90 歳の買い物・通院のためのタクシー・バスは無料又は低額で利用できるようにしてほしい。
高齢者の 1～2 人世帯に対して、老々介護や一人暮らしに関し何でも相談できアドバイスをもたらせる体制がほしい、とても不安です。
食事は自分で作っていますが、たまにはお弁当をサービスして頂けると有難いです。
元気老人のパワーを活用して高齢者福祉に貢献できるシステムを作る。福祉施設等への元気老人の積極支援を支える制度を作り、老人による老人の福祉協力体制を構築する。犬山市の先進事業として取り組む施策の検討をしてください。
犬山は介護施設が少ないと思います。もう少し安く・利用できる施設の数が多くなるといいなと思っています。
今後高齢者が多くなり介護にかかる金額が多くなります。健康づくりと介護予防に力を入れて、あまり介護保険を使わなくても元気でいられるように出来ると良いと思います。
これから先、自分にも老いが来ます。介護施設の充実と安く入れる施設を増やしてください。
要支援では買い物に行ってもらえない&通院介助してもらえないので困ります。足が悪いと病院へ行くにも不便ですが、タクシーでは交通費がかかるので病院・スーパーを回る交通手段を考えてほしいです。
バスを利用する事が出来ない人は（乗り場まで行けないなど）利用券が配布されても使えないので、少なくともタクシーの方が良いと思います。

<p>デイサービスを利用しているが、希望した施設へは入れなかった。デイサービスで運動ができマッサージもしてもらえる施設をもっと増やしてもらいたい。要介護認定の主人もデイサービスに通っているが、週1回の所しか空いていなかった。自分と同じ施設を希望したが主人がその施設を利用するのは難しく、他の場所へ行かざるを得なかった。しかも希望する施設ではなく重症の人達が通う施設だったため、自分の番がくるまで塗り絵や簡単な計算、鉛筆で和歌の文字をなぞったり書いたりしている。自分から運動することは何もなく、順番が来たら電気をかけてもらったり揉んでもらう施設である。</p>
<p>国民健康保険で入れるような老人ホームを希望する。タクシー券は80歳で助成があったら…と思う。</p>
<p>認知症で要介護3の方が特別養護老人ホームに入れるまでの長い待機期間中、ショートステイに行くにも費用がかかるようですが家族の生活もありますので他に良い方法はないのでしょうか。</p>
<p>問69の「2.有料老人ホーム又はサービス付高齢者住宅等、介護保険以外の施設」と「3.特別養護老人ホーム等の介護保険施設」の違いが分からない。どのような介護をして頂けるのか？どのような人が入れるのか？代金はどのように払うのかが分からないので教えてもらいたい。</p>
<p>あくまでも“自立支援”が大切だと思います。</p>
<p>①福祉バスの年間利用回数を増やしてほしいです。交流会・イベントに参加するにも後期高齢者の運転する車に数人乗り合わせている現状です。乗っていても事故が心配になります。 ②独居老人の見守りについて：子供が遠くに住んでいたり、全くの独りの方がケガや突然の病気になった時、ヘルパーさんを何日も呼ぶのは経済的に大変な方もおられます。地域で助け合うことが出来ればと思います。</p>
<p>福祉や介護に携わる人員を増やす&amp;質を高める。</p>
<p>①本アンケートの集計結果と対策について返答願う。 ②高齢者福祉として独居・老老家庭への見回り・声掛けが町内会民生委員と市内在籍の市の職員が2ヶ月に3回程程度行う。 ③災害時対策。1. 通告 2. 避難援助 3. 避難所の充実（備品・ベッド（段ボール）・空調・トイレ・高齢者や病人の隔離など）現在の避難所は単なる風雨をしのぐ箱。 ④わが町内も58%が高齢者家庭となり近所付き合いは年々希薄、速達・救急車が来ても知らん顔。“隣の人は何する人ぞ”、故に当人当家に何か起きてても救いは求められない。免許を返納したくても命がかかっている。机上の空論ではなく、頭で判断するのではなく、足で見て全て己の事として本気で取り組んでもらいたい。何れは己のこととなる。</p>
<p>福祉・介護の充実が予算があつての話。産業（企業）誘致を更に進めてほしい。</p>
<p>地区ごとに高齢者対象の介護予防・防災などの事業の機会を増やしてほしい。</p>
<p>現在独り暮らし生活4ヶ月。定年後に名古屋から犬山市に移住ということもあり、近隣に知人・友人が少ない状況。一番の心配事は病気になったとき、通院自体から困る。タクシーを利用すると往復で5,000円超え。入院治療も3ヶ月制限、自宅療養も介護者が全くいない者は現在の時間単位の介護サービスでは不十分で不安しかない。全くの独り暮らし・独居高齢者の生活援助・介護サービスの充実・対策を強く希望する。</p>
<p>今の所、自分には必要がなく実感が湧かない。昨年家内の母親を引き取り半年ほど家内が面倒をみたが、在宅医療の専門医とケアマネジャーとの連携が非常に密に行われ大変お世話になった。こうした事業の拡充と従事者への配慮などを求めたい。</p>
<p>今は配偶者（88歳）が行っているが、洗濯や食事の世話を週2回位（半日程度）援助してほしい。</p>
<p>現状まだ働いているため実感が無いが、老人ホーム等は費用が高いと聞いている。施設への補助を増やしてほしい。</p>
<p>免許証返納後の行動のため巡回バスの充実（土日祝日運行・本数増便・運行時間の拡大）を真剣に考えてください。</p>

高齢になり収入は無いのに施設に入るにもお金がかかる。見てくれる者がなくこれから年を取っていく身としてはとても不安です。もっと安く入れる施設を作ってください。

## (2) 介護保険制度

介護保険料が高すぎる。
①介護保険を利用する必要はないと思われる人が利用しているのは如何なものか？ ②保険料を安くしてほしい。厚生年金受給のない身としては保険料を負担に思います。
若い人は低いが高齢者になると介護保険料が高いのは生活に支障が出る。
介護を受けていないのに保険料が高いと思う。
介護保険を利用していない者には高いと思いますが今後お世話になるかもしれません、無駄遣いはしないで下さい。
介護保険料は安くお願いします。
デイサービスに通う姉の介護をしています但し宿泊がもう少し増えたらいいと思います。姉は年金のみなので（特養に入ってもらいたいが）無理なのかと思っています。
介護保険料は高すぎると感じます。必要かと疑問に感じる程の薬を処方されている 91 歳の義母は傍目には健康そうに見えます。介護保険を利用していないので、年金（国民年金のみ）から引き落とされてガックリしている様子を見るとかわいそうに思います。
介護保険を払っているのに介護を受ける時にまたお金を払うことに不満を感じる。保険料は高いのにどこまで見てくれるのか。
高齢者の人口割合が増え続けて社会保険料が増加することはよく知られています。現役世代の人達にかかる負担を少しでも減らす工夫が求められておりこのアンケートもその一環だと思います。高齢者にも過度な保護やサービスは避け「自分で出来る事は極力して頂く」ことは決して悪いとは思いません。苦しいことや苦しい時は年齢に関係なく（老若関係なく）皆で分かち合うべきと考えます。
もう少し低額で介護施設に入居できるようになれば良いと思います。
介護保険料も高いですが利用料 1 割が 2 割になったら支払いが大変です、利用料は上げないようお願いします。私達は国保で 1 割の恩恵を受けられず又後期高齢者も 2 割にされそうなので年金がどんどん引かれ生活が厳しくなっています。よろしくお願いします。
介護保険を使用して介護サービスを受ける場合、夫婦どちらかがサービスを受けない場合は介護保険料を安くしてほしい。
母が特養でお世話になっておりますが、手厚い支援を受けており大変感謝しております。施設によっても差があるのかもしれませんが、日本の老人福祉も大したものだと思います。ある年齢になった時、もう少し誰でも入れるようになれば嬉しいです。今は介護度が高くないと（ほぼ独りでの生活が出来ない状態にならないと）入所を希望できません。身体機能が回復可能と見込めるうちに入所したいです。
後期高齢者の保険料が大変高いので生活がやや苦しいです。
介護保険を払っているが、いざという時にちゃんと介護を受けられるかが心配です。
私の家では 2 人で 123,000 円の介護保険料を支払っています。今後は保険料を上げることをないような介護の在り方にしてほしいです。
65 歳以上で収入を得る機会がある人と無い人との差が大きい。働きたくても働けない人の中に自分も含まれているが、働く機会があり収入の多い人から税・介護保険料はもっと多く取り、少ない人からは取るべきではない。取るべき人はたくさんいるはず、調査すべき。
政府の場当たりの方針に基づく一部高齢者に対する介護保険料と介護サービス料のアップは不公平感が強く利用を躊躇せざるを得ない。今から 2025 年以降の介護福祉の破綻問題に備えてほしい。
私は非課税で今は保険料が 1 割負担ですが、2022 年には 2 割負担になるそうですね。生活が苦しくなります。せめて非課税の人達だけでも、いままで通り 1 割負担据え置きにならないでしょうか。期待しています。

介護保険料を下げてください。
介護保険料について 85 歳以上なのに（体は健康）所得だけで 3 割負担というのはどうか？年齢で考えてもどうか？と思います。
来年の 1 月で 72 歳になります。若い頃は自営業で国民年金を払っていましたが、国民年金の支給額の低さにびっくりしました。今は月に 38,000 円位、そこから介護保険料などを引かれるので生活が大変です。たまたま体が健康で週 5 日間バイトをしています。生活が苦しいです。高所得者の人達から税金を少し多めに取って、高齢者の人達を優遇してほしいと思います。生活保護者の方が仕事をしなくても楽しそうに生活していますよ？厳しく見直してほしいと思います。
固定資産税などを十分支払っているのに、介護保険料まで支払うのは大変です。
介護保険認定の調査について、6 ヶ月後に再調査するのを無くして 2 年間よしとしてほしい。
国も団塊の世代が多く年を取っていくことは 50 年も前に分かっていたはず。付け焼刃のような法律を作り、収入のない年寄りからも介護保険を徴収するとは言語道断である。
私達が今払っている介護保険は、私達が必要としたときに本当に使えるのですか？
これから先 30 年間位は必要経費が増加の一途と云われている国や地方の財政に余裕があれば広く厚い加護をすればこの制度はありがたいものと誠に結構に思う。しかしそれは“現状”又“これから先”とても無理な事。多くの高齢者は元気を保ちひたすら保険料を納め、それを幸せなことと置き換えている。不幸にして介護を受けている人は大変苦痛な事と察します。反面、中には誰の目にもなぜあの人か？と思う元気な方が週 1 日位支援を受けている。主に一人暮らしが多いようだ。子供と同居の老人は子に何かと面倒をかけているがこれが当たり前なことだと思う。一人暮らしの方も多くは後継ぎがいるが自己の都合で別居し、すべて自分で物事を行い面倒なことと思う。（であれば子と同居をすればと思うが。）今 80 歳以上の者は自分の親の面倒は当たり前として世話をしてきた。けれど時代も変わりこうした制度が出来、有難いことに思うが国としても“始めた頃”と“今”と“この先”利用者又それに伴う経費の増加は想定以上の感ありと思う。これから先も保険料アップは必然かと思う。多くの元気を保ち恩恵を受けないよう努力している老人に思いをして頂くためにも、これから先保険料上げを避けて頂ければと思惟する。介護申請は厳格に可否判断をされているかと思うが今一度見直しも必要かと思う。傍目誰もが相応だと認められる人が利用を受けられる人だと思う。小さなことでどうでもと思うようなことが傍目で身近なことだと不公平として目に付く。
介護保険について詳細を知りたい。
介護保険制度を始めた時に使い過ぎたと思います。もっと計画を立ててくれたら・・・と思います。団塊の世代はきっと介護保険など使えないだろうと思うと、高い介護保険を払うのが悔しくなります。自分はあるべくお世話になる前に死にたい、医療で長生きさせてくれなくてもいいと思っています。現在も医療費の無駄遣いが多く、本当に必要な方や病気を絞って使い過ぎを防止してほしいと思います。毎日、日課のようにリハビリに通っている方が多いようですが、治らない病気に保険料を使い過ぎないようにしてほしいです。
①独りになった時“おひとり様”が集まって色々と好きなことが出来る場所（各地域単位で町内の公民館などを利用して）があったらいいと思います。 ②介護保険について各町内で講習会を開いてほしいと思います。知らないことがいっぱいですが、まことしやかな話が多いので市から来て話を聞かせてください。
①介護保険料は上がる一方で保険利用範囲の介護度も厳しくなっており、年金生活者には厳しいのが現状です。 ②高齢者に寄り添いながら話をじっくりと聞いてもらえるカウンセリング的な場所があるといいと思います。

## (3) 行政

最近職員の対応が良くなりました。
今後ますます高齢者が増えるので当局の対応が大変ですね。
①福祉課との連携を密にしてほしい。 ②社協の事業と長寿社会課の事業が重なり参加に苦慮することがある。 ③もう少し福祉課が社協の応援を出来るような組織に（同じ福祉課なので）してほしい。
高齢にならなければわからない不安や体の不都合がある。誰しも若い時には気づかない事だ。役所の一人よがりではなく高齢者達の実際の声を聴いてほしい。自宅以外の受け入れ態勢の充実をお願いしたい。他市に比べて不十分に感じるのはわたしだけだろうか？
市の統計的現状と年度別施策立案目標及び実体、10年単位での企画。
施設を作ったり勉強会を開いたり、見かけばかりの一過性の策に税金を投入するのではなく「医療の充実（安心し信頼できる最新医療に力を入れた病院を作ってほしい）」「免許返納後の移動や買い物」など犬山市の自宅で生涯暮らせるように税金を使ってほしい。
町内に認知症と思われる人有り、対応がわからず町内全員が困っているので対応方法を教えてほしい。
市役所の雰囲気について一言。 ①職員は窓口に出向くと概ね親切で言葉もゆっくり・丁寧だが内容は年配者には冷たく（そう感じる）疲れる。室内は静かで活気が無く（ゆっくり仕事をしているように見える）何故かみんな暇そうにしている。パタパタとスリッパを鳴らしながら近づいてくる職員、緊張感に欠けるなあ・・・とちょっとイラッとする。 ②高齢者あんしん相談センター（あー、長いネーミング！）、地域包括支援センター（これ何？）へ出向けば完結ですか？あちこちの窓口で“たらい回し”ということは無いですか？先ずこれから始まります。「〇〇へ行って書類を揃えて・・・」あー、年寄りには疲れます。 設問 68 に関して在宅医療は病気の状態にもよると思うし在宅で過ごすために必要な条件面なども現時点では状況が不明なので判断することはできない。 設問 69 に関して人生の終末期を自宅で迎えるための条件と亡くなった後の法的な問題（事件性や事故などの認定）を考慮すると現実では病院の方が安心であると思う。
市は縦割りで事業を行っているので似たようなことをしている所が出てくる。横のつながりも大切にしたらシンプルで良いものが見えてくるような気がします。
地域に根差し気軽に参加出来る集会所や公民館等に、市や高齢者福祉センターの担当者が来所して月1回でもいいので指導してほしい。
高額な税金を投入して最高の医療設備・技術を提供してもらうより、医療や介護を必要とする人を出さないように血税を使う方がよほど良い方法と考えます。市民に健康長寿の秘訣と条件を周知し、取り組みやすい環境を整える事が重要と思います。医療を必要とする人や要介護の人達の経済状況（高齢者）に対して、生活費が守られているがために全く就労意欲のない一部の若い障がい者に対する支援の在り方を考えるべきだと思います。
施設職員さんの忙しさ、きめ細かい介助に頭が下がります。利用者の家族ボランティアさんが1ヶ月に1回でも参加できると、職員さんに心のゆとりができて良いのではないのでしょうか。
窓口に行った時の職員の皆様の親切な対応に感謝です。
犬山市の健康年齢が国の中でも上位だということは、市は頑張って取り組んでおられると思います。
一生懸命、取り組んでいただいております。
現在要介護1の認定を受けており、1年に1度市より委託を受けたケアマネさんの訪問チェックを受けています。来宅される方は資格を持っているかどうかなど何の自己紹介も無く、こちらには何も聞かず自分がチェックする事項のみこなされます。此の件は私の仕事ではないとばかりに余計な事は何も話しません。こちらの話は何も聞いて頂けませんが、グズグズの話の中に本当の姿があると思います。この対応には失望&失望です。
独り住まいの高齢者に対する生活相談や支援について、気軽に相談できる窓口があるといいと思います。

<p>介護や支援をお願いしたいと思うことが多々あります。しかし口の軽い人・物言いの軽はずみな人がいます。頭の良い悪いの問題ではなく、親身になって相談に乗ってくれる人を希望したいです。現実にはプライドの高い人の裏面を地域で見えています。介護する側もストレスがあり、息抜きをしたい時にサポートして頂けると有難いです。</p>
<p>①高齢者に地域で元気の出る仕事をしてもらうこと。現在、市が行っている草刈りから簡単な作業などを業者任せではなく、地元の人が提案した工事内容を地元で行えるように予算化し支援していくことで活性化できる(高齢者の生きがいにもなる)。</p> <p>②城東地区の荒れている里山で高齢者にJ A・市役所が指導し、田畑・作物を育てる事でやりがい・生きがい・働く場所が広がる。1年でも長く健康で働くことで介護保険も低くできる。予防につながる積極的取り組みが一番効果的な対策となる。</p> <p>③犬山城下町にある古い歴史ある商店を応援したい・社会に役立ちたいのでボランティアで販売のお手伝いをしている。パートで週2日ほど軽労働している。市内の役員をしている。畑で野菜を作り、みんなにあげると自己満足かもしれないが喜びが得られる。</p> <p>④自分ができる事を毎日一步一步でも前進させること。健康維持のためメタボを脱するウォーキングを続けること。観光案内役として全国から訪れて下さるお客様に「今日は楽しかった、ありがとう」と言われると自己満足だが喜びに変わる。8人でローテーションしているパート仲間と色々と話が出来ることや頑張ろうと日々励まし合えること。奥さんの協力でお弁当持参で仕事が出来ること感謝し頑張れる。歴史を知る・学ぶ・調査が大好き。</p> <p>安心して老後の生活ができる市にしてください。</p>
<p>①今の所、高齢者福祉関係に携わっていないため、どのような内容か？申し込み方法は？など知らない事が多い。利用するときに分かりやすい説明か資料での案内があると助かります。</p> <p>②介護保険も今現在はお金を納めているだけですが、一人暮らしのため介護を受ける時は誰に頼めば良いのでしょうか？</p>
<p>元気な人の集まる老人会！孤独な老人・出歩けない老人・病弱な老人が取り残されている。もう少し助けあえる高齢者組織が必要と思われる。そのために必要な組織的・財政的援助が行政に求められていると思う。それに高齢者も何か役に立ちたいと思っている。持っている技術・知識・経験等を吸い上げて横につなげてほしい。犬山市の市役所は老人からほど遠い所に居るのではないかと！</p>
<p>よく耳にする話ですが犬山市は高齢者の独り暮らし・高齢者2人暮らしに対しては福祉内容も良く色々な支援が受けられるよう手厚くされていますね。しかし若い人達と同居の場合は何の支援もなく、同じく保険料を納めているのに不公平ではないかと思えます。同じ高齢者を抱える50歳・60歳の若い人達にとってはとても大変なことです。同じ高齢者なら差別なく支援を受けられるようにして下さい。最後に高齢者・福祉課の担当者の皆様、お世話になる方が多くなり大変かと思えますが、よろしくお祈りしますね。</p>
<p>免許を返納しコミュニティバス・路線バスを利用するようになりました。犬山市の取り組みを本当にありがたく思っています。更なる充実を願っております。</p>
<p>全国的に介護職員の待遇が其の他の職業と比較しまして悪いと感じています。介護職員の目配りと気遣いは普通の人では出来ないと思えます。四六時中注意して見えていますし患者の扱いも親切で、感謝しています。犬山市からも県・国に上記の件について上申してください。</p>
<p>高齢者福祉や介護保険の内容について理解できるような機関がほしい。無知のため、どうしたらよいのか不明な人が多いと思う。</p>
<p>スポーツ等に出掛ける時(例えばグラウンドゴルフなど)にバスの停留所・乗用車を置く所として南部公民館の駐車場などを使わせてほしい。犬山は利用できるところが少なすぎると思う。</p>

## (4) 将来

生活の質の向上。現在の生活がこれからも続くことを願っておりますが、年齢と共に低下すると思しますのでその際はよろしくお願ひします。
元気でいる限りは仕事をしたい。お金ではなく若い人たちとの繋がりが楽しいです。
今 83 歳、年齢に応じた体の動きで一人住まいの生活をしてしていますが、出来れば高齢福祉や介護のお世話にならないようにと心掛けています。
これからの介護予防のための運動（らくらく体操）や趣味（歌・花）を大いに活用していきたいです。
私は現在 82 歳ですが、長い間自営業だったため国民年金しかありません。なかなかお金を貯める事が難しく、わずかな年金だけで入居できる施設があるだろうか？と時々不安になります。まだ働ける身なのですが娘も独身なのでただそこが心配です。働けなくなったらまた犬山市役所へ相談しますのでよろしくお願ひします。
現在は健康に恵まれ趣味に打ち込むことが出来ていますが、将来介護が必要になった時に支援をお願いしなければならないと思います。健康な時にボランティアで何か支援のお手伝いが出来たらいいなと思います。
①アンケートに回答してみて我が身の事であると感じた、今はまだ不自由なことが少ないが年齢を重ねるとここに書かれているような事態がやって来るのだろうと思う。 ②息子達と対話しておく必要を感じた。 ③現在多様な地域活動を行っていることが自身の健康維持に繋がっていると実感したので、今後もできる限り活動を継続させたい。
両親の介護をしてきたので介護保険が必要なことは理解できます。ゆくゆくは自分たちも高齢になっていくので先を考えると不安です。
今の所は健康で何も不足はありませんが（具体的にはわかりませんが）高齢になった時に、幸せな環境で暮らせることを望みます。
今現在は必要ありませんが、先はどうなるかわかりません。
高齢者といわれても「まだまだ元気」という気持ちなので理解できないのですが、これが続くと良いと思っています。
今はまだ仕事もしているし介護も不要ですが、将来必要となった時に団塊の世代と言われる私達は、十分な介護・医療が受けられるか不安です。
高齢者になり介護保険は必要だと思いますが、年金生活となると不安でいっぱいになります。若い人に伝えるといいですね。
今は健康にも気を付け問題は無いが将来は不安。出来る限り自立して生活したいが遅かれ早かれ援助は必要になると思うのでその時はよろしくお願ひしたい。
主人が昨年脳梗塞を患い今年の3月に退院しましたが、居宅介護支援の事などについて市役所での説明もなく不安でした。他の方から親切な居宅介護支援事業所を紹介して頂き今に至っております。今は介護している自分が元気ですが、将来自分が要介護にかかったら・・・ととても不安です。
現在血圧降下剤を服用の他は何ら支障も無く元気ですが、人様の手を借りねばならぬ様になれば別です。その際はよろしくお願ひします。
現在は何も利用しておりませんが、年とともにとても不安で、明るい気持ちで生活は出来ません。これから少しずつ勉強しようと思います。
高齢者人口増加一途の対応に向けてのアンケート調査の実施、市長さんはじめ関係担当課のみなさまご苦勞様です。只今私は77歳、振り返れば37歳は乳癌手術、生死50%の診断の由で子供は1歳のBDでした。65歳には心臓冠動脈3本共のバイパスの大変な手術でした。どちらの手術も医術・仁術に長けた医師に出会う幸運に恵まれ、今日まで再発無く生活しています。先生へのご恩返しは元気な状態で、自分の手足で自在に行動でき、知的好奇心を持ち続けて、生き生きと日々を楽しむことだと思い独居生活中です。東京に離れて住む家族に迷惑を及ぼさないをモットーに！！一人で頑張れる日々の長からんことを願いつつ、いざという時は高齢者あんしん相談センターを活用させて頂きます。



長寿社会課様。日頃何かとお世話様になります。現在は元気ですが、年を重ねて居ります。いっとうなるかわかりません。身体の続く限り作務にと動いております。ありがとうございました。

現在は必要としていませんが、今後何かありましたらよろしくお願ひします。

## (5) その他

何時事も気持ちはありますが、体がついていけないと思うとつい顔出し出来ません。

友人・グループ・サークルなど皆で楽しめるスポーツなどの活動を促進してほしい。

最後にどんな状態になるかわからないので、あまり考えていませんでしたが色々な考え方・選択肢があることを勉強したいと思います。色々参考になるアンケートでした。

住みよい街だと思っておりますが、老人が楽しむ場所が少ないように思います。身近にあれば嬉しく思います。「か→(感謝) き→(興味) く→(工夫) け→(健康) こ→(行動)」で頑張っております。

有難いことに私も夫(76歳)も通院しておりません。健康でいられるのはフロイデのおかげと感じています。近くにスポーツ設備があるのは本当に嬉しいです。それに週1度「さらさら」へ行っていますが心身ともにさっぱりとしリセットできます。病気の治療よりも予防が大切だと思います。予防の大切さをもっと広めてほしいと思います。

“生涯の学び”がとても大切だと思います。市民総合大学などはとても役立っています。犬山城などの施設利用料無料についても助かっております、有難うございます。高齢化がますます進行する中であって介護・福祉・民生が大切です、よろしくお願ひいたします。

集団には馴染めずマイペースで生きる事を望む方々も含めて検討することを大切にしていける社会であってほしいと思います。

毎年春になると脳の検査を申し込んでいますが外れてガッカリ！！検査をしてスッキリ！！したいです。

現在自身には不自由がなく思い浮かばないが、今後は要望等が出てくるかもしれない。

朝ウォーキングをしていますが石作公園の周りの雑木が増えなかなかキレイになりません。ボランティアを募り作業をしてはいかがでしょうか。

高齢者とはいっても元気な人が多いので社会で活躍できる機会・場所の提供を考えてほしい。

①長野県が男女共に長生き1・2位にいるのは前すわ病院の院長が推進した減塩食にある。現在県下に20人近くの指導員を配置し、力強く推進した結果として薬に依存するという現象解決から原因解決に変えていったことが長寿に繋がっている。色々な支援も大切だが、元気でいる事は本人にとっても周りの人にとっても大変良いことだ。もう一度今の方法がベターなのか考えて頂きたい。

②年4回一人参加の2泊3日の旅行に参加、また現在77歳だが働いており約400坪での野菜作りが一人で出来ているのでこのアンケートにはあまり関心がない、人の助けを必要とはしないも生活の維持についての勉強会等を長野県の体制を参考に実施してほしい。現象解決ではなく原因解決を主とした政策に転換してほしい。※このアンケートを市長に見てもらってください。

医療・介護施設で働く方の重労働で責任も重く大変な姿を見てきましたので、関係者に対する報酬の見直しを進める必要があると思う。

意見・要望はありませんがこのアンケートについて一言。「できるし、している」という言い廻しがどんなものでしょうか？

高齢者のスポーツが普及し元気な高齢者が増えているが、その割には市の新体育館を除いたスポーツ設備は粗末である。今一度各地区にある設備・道具類を見直してほしい。高齢者が元気で活動(スポーツ)できる場所が必要である。

<p>問 86「高齢社会に対応していくために本市は何に力を入れていくべきか」に関し町内役員も関係書類がパソコン等を使用した印刷が増えパソコンが使えないため役員の新任を拒否する人が多くなっています。格安授業料でのパソコン・タブレット関係の教室を開催していただきたいと思います。</p>
<p>高齢となっても健康を保ち生活していくには、日々の食事や運動について考え実行することが必要ですが 40 歳～50 歳となつてからでは既に遅いと思います。食事や運動について習慣的に考える事を小中学生時代から教える事が大切だと思います。</p>
<p>問 86「高齢社会に対応していくために本市は何に力を入れていくべきか」に関し道路の白線を引き直すなど防犯・防災、交通安全対策の推進に力を入れてほしい。</p>
<p>あくまで自助努力し他人に迷惑をかけることなく年齢を重ねたいと思っている。どうしても必要となった時でも自身で考えた本人の意思を理解し補助を受けられたら・・・あくまで“人生は本人もの”、尊重を願う。問 86「高齢社会に対応していくために本市は何に力を入れていくべきか」に関し路面の整備をお願いしたい。車道は整備されるが路肩・歩道はデコボコが多く自転車や徒歩で通行しにくい箇所が多すぎる。自転車道が整っていれば外出も安全で“出掛けよう”と思えるのではないだろうか。</p>
<p>老人も若者も共有できる施設。（例えば子育て支援と老人支援が隣り合わせにあり、日々行事（会合など）・子供の日・七五三・おひな様祭りなど四季を通じて交流・共有し、日本の文化を大切に受け継ぐ犬山であったらいいと思います。）施設共有には交通の便利さが一番大切。老人も子供も親達も多く参加できると考え、犬山東口方面・西口市役所の近くに施設を新設されることを切に望み提案します。</p>
<p>自分はまだ介護を受けたことが無いためよく理解できませんが家族は大変だと思います。聞くところによるともし入所した場合はとても高額とのこと・・・介護保険はどのようになるのか分かりかねこの欄に書かせて頂きました。</p>
<p>弱った高齢者に必要な援助は大切ですが、夫婦共々そのような高齢者にならないように自身も考え努力することが一番だと思います。しかし引込み思案の人・人付き合いの苦手な人もおられます。そのような人いかに前向きに生きる気力を持ってもらう事が出来るかがカギになると思います。大変難しいことですが専門家の方々に考えて頂きたいと思います。</p>
<p>昔から村の付き合いはややもすると強制を伴っているようだ。様々な活動においても昔の町内会と同じように強制が伴っているように感じる。今後は自由参加を基本に考えてほしい。</p>
<p>高齢者といってもまだまだ元気です。あまり美しくない街、犬山市の道路など有志を募って綺麗にしてはいかがでしょうか。介護を受ける事よりお役に立てることを企画してください。</p>
<p>①教育が大切だと思います。子どもは年老いた両親を世話すべき・幼い時から父母を敬うよう教える・親の恩に報いる事・家族を大切にする事を学ぶ必要があると思います。 ②老人には知恵があるのでそこを生かせる活動の場があると良いと思います。そうすれば受身ではなく能動的な生き方が出来るので活動的になれるのではと思います。可能な活動を不可能にしているのは身体の問題というより態度の問題である場合が多いのではないのでしょうか。 ③老人には時間が多くあるので今まで出来なかった事に挑戦したり、新しい事を学べる場が多くあると良いと思います。（年寄りのような青年もいれば青年のような高齢者もいますから） ④保育園と老人ホームが一緒になっている施設があれば、お互いに益があり良いのではないのでしょうか。</p>
<p>家内が現時点で介護 2 での支援を受けさせていただいています。人間社会は当たり前だと思いますが、人と人との思いやり・助け合いの心が大切だと思います。今後とも何かとお世話になるとは思いますが、ご配慮をお願いいたします。</p>
<p>未経験のため、実感がわかりません。</p>
<p>問 78「コミュニティバス事業について」に関し羽黒駅や善師野駅他、遠い所ではなく駅の近くに停車してほしい。</p>
<p>テレビなどの健康づくり番組で食べ物の効果などためになる情報が提供されているが、見てもすぐに忘れてしまって活用されにくい。そのような番組を犬山市の HP など、オンデマンドでいつでも見られるように健康動画コーナーなどを製作してほしい。忘れたときにいつでも見られることで、効果が維持できるのではないだろうか。</p>

幸いにもこれまで寝込むような病気もしたことがないので、介護や老後について特に考えたことはありません。
このアンケートは介護される側の立場を中心に考えられているが、介護する側の事をもっと考えてほしい。現役で働いているため、色々な活動に参加する余裕・暇が無い。
犬山市が走らせているバスを小型にし道の狭い所も運行してほしい。道が広い所の人には便利でも私たちは一度も利用できません。市民全体で利用できるようにお願いします。
施設を利用している高齢者でも元気な人が多くいる。 ①介護施設でも有給で仕事が出来る環境づくり。(施設入居者・利用者が社会に参加できる・お小遣いを自分で得られる) ②教養・学習が出来る施設づくり。(現在は"子ども扱い"の施設が多い) ③老人ではなく一人前の人間として扱い、社会参加と生きがいのある老人施設の拡充。
市内のレジャー施設など沢山の割引制度を望みます。
税金を有効利用してほしい。
生活に追われて考える事が出来ません。
まだ介護を利用する状況にないので要望はないが、増税で可処分所得が減っており預貯金を崩すことが多くなっている。
このような調査・取り組みは大変良いと思うが、75歳以上の方には訪問による調査も必要かもしれません。
コミュニティバスについて ①車を小型にして狭い道でも通れるようにしてほしい。小型の軽自動車を増やしてどこでも行けるようにしてほしい。現在は乗っている人も少なく、バスも大きすぎてガソリンをまき散らして幹線を走っているようなものです。幹線は外にも交通の便があるので幹線主導は切り替えて枝道の狭い所にも入っていけるような車を増やしてほしい。道が狭いから行けない！！という理由は無くしてください。現在のままでと何のために高い保険料を払っているのか分かりません！！もっときめの細かい行政になってほしいと思います。
高齢者でも健康な人に対しては、できるだけ就労の促進に努めて下さい。
隣近所のご老人から家庭菜園でできた野菜をよく頂き助かっています。犬山市としてプランターや鉢植えでも出来る野菜作りを奨励・指導して頂き、市民の誰もが野菜作りができれば農家や農地が減少している中でも家計に優しく体力や生きがいも養われ、八百屋や道の駅等で販売すれば生産性にも寄与できます。先ずは農業に特化した政策から徐々に推進してはどうでしょうか？
自然を利用したゆとりある憩いの場を犬山市の東西南北の地域に設けてほしい。
免許証を返納したくても買物が出来ない・歩けないから車を利用するという声をよく聞きます。利用できるコミュニティバス路線にするために地域の意見も聞くべきではないでしょうか？
集まりがあっても仲良し会に「しないように・ならないように」する本人の自覚も大切だと思います。
老人が休憩できる公園を多く造ってほしい！！
税金は子供のために使ってください。子は宝です。
独り暮らしになって6年、生きがいサロンへ月に4回参加させて頂きとても楽しく過ごさせて頂いています。ありがとうございます。
全般的に高齢者が利用できる施設が不足していると思われる。特に問86の3.趣味・学習・文化・社会活動に参加できる施設を(それも利用料が高くては意味がない)もっと多く設置して頂きたい。全国15ヶ所以上の都市に居住したことがあるが、文化的施設が貧弱な御市は町そのものが暗く感じられる。
独り暮らしで毎日が寂しいです。
お世話になります、ありがとうございます。

他県と比べても見劣りはしないと思いますが、予算の中で出来る限り他県より上を目指してください。
現在は元気で生活しています。出来る限り息子夫婦に心配をかけないよう食事・洗濯などは自分で頑張っています。
目標はピンピンコロリです。各地の長寿村（丹後地域の長寿村や沖縄の読谷村、長野等）を参考にした食生活や生活習慣（8020 活動等）の見直しが必要です。病んで寝たきり（生きているだけ）の生活では意味がありません。介護施設への補助は悪徳経営者を太らせるだけで最悪です。
私は人生の半分、毎日が辛い。一日中寝ていたい&身体を動かしたくない、でも楽をすれば寝たきりになってしまう…。だから無理をしても起きてガンバル！お医者さんに「こんなに苦しいのに、私は頑張っている」と伝えると、どの先生も「頑張っているから寝たきりになっていないのだ」と言ってくれる。寝たきりではなくてもボロボロな人もいる事を分かってもらえない事が辛い。フラフラでも一步一步、人の何十倍もかけて頑張っています。
調査結果の報告・対策を広報等で周知してほしい。
フロイデ（ドイツ語・福祉とは関係ない建物）を福祉会館の代わりにするのは納得できない。フロイデは国際観光センターだから福祉とは関係ないと思う。
市で色々な老人向けのイベントがあるが、老人としては交通手段が少なく利用しづらい。
今の所は元気に一人暮らし&車にも乗れるので、わからないことがあり答えられない設問もあってすみません。ありがとうございました。
①有料老人ホームは大変良いとのことですが、年金生活者には高額でそこに入りたくても手が届かない人が多いと聞きます。一人生活になった時、老人ホームの利用が必要になると思います。高額な有料老人ホームが少しでも安価に（年金生活者でも払うことができる）利用できるよう取り組んで頂けるようお願いします。 ②高齢者が病院に入った時に、世話をさせていただく看護婦の態度があまりにも“ひどい”とよく聞きます。私の母親の時も医師・看護婦共に態度が悪く、二度と病院へ入りたくないと実感したことがあります。高齢者を“人として見ていない”というその態度が許せません。
要介護の状態にならないよう、自宅近くに予防のために気軽に通える施設があると良い。60代くらいから利用できる所があると良い。
実感が無いのでよくわかりません。申し訳ありません。
あまり高齢者に気を遣わず、若い人の負担を少なくしてほしい。
まだ介護サービスを受けていないので行き届いているかどうかはわかりませんが、サービスは充実していると思います。元気なのにヒマな老人が多いので、保育園のように毎日通える老人の保育所を作って手作業の仕事させる・自分で進んで何かを作って食べるなど介護サービスにばかり頼らない方がいいと思います。自立しろ！！と言いたくなったり…
高齢者同士の交流の場所があるとよいと思います。市民会館・南部公民館などで催し物がある時にコミュニティバスを利用できれば、高齢者が明るく元気で楽しく過ごせるのではないのでしょうか。
今の所、毎日が楽しく家族に恵まれありがたく一日一日が過ぎていきます。“ありがとうございます”と手を合わせております。
高齢者向けのサロン・スポーツ・レクリエーション・コミュニティ活動がありますが、参加メンバーはいつも同じです。本当に参加してほしい方は閉じこもりがちで孤独になりがちです。何とかならないかと声を掛けますが難しいです。もっと少人数単位（3～4人）で集まってお喋りしたり、本を読んだりゲーム（かるた・トランプ・麻雀など）が出来たらいいなと思います。グループを作るきっかけが難しいです。
市内に在宅クリニックがあると良い。
北欧の進んだシステム、国の体制等の研究・視察を犬山市独自で推進してはどうか。特色ある市政作りを大いに進めるべし。
私達の年金で入れる施設がほしいです。

人生 100 年時代を迎え高齢者福祉や介護保険は重要となるが経済的にも苦しい中、充実させるのは特に難しいでしょう。頑張ってください。
小生は 20 歳の時に新聞で見た「歯の健康 8020 運動」が強く印象に残り、70 歳の今でもむし歯ゼロを続けることができました。結果、今のところ病気もせずに健康維持ができています。8020 運動に変わる新しいスローガンでいつでも（特に若い女性）個人が認識できる健康運動目標の設定・考案をお願いします。
スポーツをする会場費が高いので利用しにくい。
犬山中央病院の拠点化・改革。
犬山市にどれくらいの介護施設（市・私）があるのか分かりません。先ずそこから知りたいと思います。
私は独り暮らしなのに町内の民生委員さんは訪問に来ません。前の方達はよく来てくれたのに・・・また続けられるそうですがどんなものでしょう。
犬山市に大きな市民病院を作って下さい。昔のように保険にしてもらいたいです。今は良い医者がいません、金儲けでは治りません。
車を手放したら自由がなくなりボケそうです。
コミュニティバス（楽田東部線）について ①中央病院への通院に利用しているが 1 番は毎日 20～30 分遅れてくる。運転手さんに聞くと楽田でラッシュの時間帯に 2 回も踏切を通るためとのこと。真夏・真冬の駐車場で 40 分も待つのは大変苦痛。1 番だけ時刻表を実態に合わせて変更するかコースを変更してほしい。 ②中央病院への通院時に満員で乗れないことがある。また帰りも駅で既に満員になり病院からは乗れないことがある。 ③買い物に犬山へ出る時、午前中の便は満員で乗れないことがある。帰りも午後の場合は駅で既に満員になり乗れないことがある。満員のとき買い物は電車を利用しているが、病院の場合は診察予約の時間に遅れて大変。
固定資産（市で把握可能）・財産の差があるのに介護については・・・せめて終末を考えればレベルを同一にすべきでは。
自分では良いと思っても体がついてきません。
家の中に引っ込んでいる高齢者に、人と交わり健康な心と身体を保ち続けられるよう指導してほしいです。
アンケート調査で終わらず、具体的な施策の実現を望みます。ありがとうございました。
在宅介護に必要なのは介護する人の支援の充実だと思う。
安心して犬山市内をウォーキングできるコース（例：木曾川沿いコース）を市内各所に作ってほしい。（小牧市田県神社の川沿いのようにお手洗いや健康器具を配置したコース）
現在は健康に暮らしており、自分の健康を少しでも長く保てるように努力をしています。そのため福祉・介護についての関心が薄かったと思い、これからはもう少し勉強しようと思います。
若人と老人が仲良く話し合う場を設ける。
高齢者救援隊のような活動団体があり年 1 回位、住宅周辺の片付けや草取りなどをやっていただけると有難い。
高齢者への援助はどうしても置き去りになりがちなので、今後も格段のご援助を賜りますようお願い申し上げます。
今後一層の増幅が懸念される「超高齢化社会（高齢者の増幅）」による社会経済活動の”ひずみ”にどのように対応するか？？が大きな問題となっていると思う。”働く気力のある”高齢者を経済活動のどの部門で受け入れるのか、何を期待するのか、それぞれの年代で分担できるよう協働社会の構築をすることで、高齢者の働きがいや生きがいが培われるのでは・・・。先ず「生涯現役」を持続できる社会構造の完成を望みたい。高齢者の充実した”知的財産”・”技術財産”を発揮できる社会の実現が第一だと思う。
交通が不便、タクシーも少ない。

税金は公平に使ってほしい。閉じこもりを防ぐために一番困るのは“足（交通の便）”。車に乗れないとどこへも行けない。
スーパー内なら転んでもケガの程度は少ないと思う。散歩だと思い買い物ができる施設を誘致してほしい。
犬山市に期待していない。
①65 歳以上の方が就職できる場所が少なく、清掃か介護職しかない。年金が少ないのに働ける場所も少ない。 ②犬山市のフロイデやエナジーサポート（市体育館）は使用料が大口町や小牧市の体育館に比べてなぜ高いのか。犬山市民だが大口町に通っている。
高齢者福祉や介護保険の内容について理解できるような機関がほしい。無知のため、どうしたらよいのか不明な人が多いと思う。

## ②居宅サービス利用者向け調査

### (1) 高齢者福祉サービス

①義父を介護していますが夫婦とも正社員で一日仕事をしています。私は夜勤のある仕事・シフト勤務のため休みも毎月異なっています。デイサービスが台風でお休み・病気（発熱など）で預かっていただけない時は本当に困ります。簡単に休めないからです。そういった時に預かっていただける所があると助かります。

②地域密着型通所介護に契約しましたが、その際泊まることはできないと（泊まりも可能と思っていましたが）言われました。何年も毎日泊まれる方が半分を占めているからとの事でした。このグレーの部分の解決してほしいです。それができないのであれば宿泊可能な施設も利用できるようにしていただけると助かります。

- ・支援・介護度によるサービスの範囲を明確にしてほしい。
- ・民生委員の訪問回数を増やしてほしい。
- ・自治会の役（班長・町会長）を免除する制度があればいいと思う。

### (2) 介護保険制度

今 86 歳の主人が介護施設（デイサービス）で大変お世話になっております。私も 81 歳となり自分の事も心配しています。介護サービスの事を教えて下さい。

私は 90 歳で戦中戦後は食に苦勞しましたが、今は身体も思うように動かす事が出来ず年金も全て医療費に消えてしまいます。介護保険料も決して安くありません。これ以上医療費の負担は出来ません。その点に気を配って下さい。

仕事を退職して引き取り、83 歳の母の介護をしています。母の年金だけでは経済的な負担が大きく、介護サービスに必要なお金が足りません。自宅での介護が非常に大変なためショートステイを利用していますが、犬山にある親の家を担保に利用料が賄えたら…と思います。

### (3) 行政

市としては全体的にバランス良くやって頂いていると思う、生活弱者の保護（特に経済的な面）をもっと充実してほしいと考える。

・住宅地内の環境整備。（環境課さんに問い合わせましたが何も出来ないと言われました）→ご近所に薪ストーブを焚く家庭があり、その臭いが家中・近所中に強烈に臭い呼吸するのも苦しい夜があります。そのため（野焼きの臭いより長く臭う）自宅で過ごさせるのは過酷です。施設は町内から離れているし、空気清浄機や加湿に気を使っているので安心です。でもたまには家に連れてきて過ごしてもらいたいと思います。

・タクシーについて→車椅子では乗車できない。車椅子を折りたたんでトランクに乗せても、運転手さんは介護士さんのような乗車介助は全く出来ないのが、転倒しそうになったことがあります。それ以来タクシーは一切利用していません。介護タクシーがあることも知っていますが、わずかな距離利用のために遠方から来ていただくのは申し訳なくて頼めません。

認知症を介護している家族の実情をもっともっと理解して頂きたいと思います。寝たきりの認知症ではなく田舎生まれ・田舎暮らしの場合は足腰の弱っていない方も多くいらっしゃいます。そういう人を介護している家族同士の交流の場をもっと色々あってもいいのではないのでしょうか。家族介護に対する事業についても前向きに検討して頂けますよう、よろしく願いいたします。

**(4) 将来**

なし

**(5) その他**

老老介護&免許証が無いため身の回りの動きが出来ない、親の介護で必要なものがなかなか手に入らない、交通費の負担が辛い。
<p>コミュニティバス：</p> <p>①行きは良いよ帰りには怖いという昔の人の諺通りです。病院の受付だけは間に合います（間に合わせます）が帰りはどうしてもバスの時間がなく1時～2時頃まで待たねばなりません。今迄（3年～4年前頃から）乗って帰ったことは一度もありません。</p> <p>②小さいバスでいいと思います。（大きいバスにたくさんの人が乗っている所を見たことがありません）</p>
自宅で介護中ですが、今後施設や病院での治療が容易に出来るように望んでいます。
全てに影響を与える人口対策を優先すべきと考えます。少子化対策をもっと真剣に考えてほしいと思います。企業優先で転勤等が多くなり、家族が切り離されて絆が失われ、人情が無くなったために人を傷つける事件が多くなったように思われます。
アンケートの入力をwebでもできるようにしてください。
人生会議の充実。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老々介護（介護人67歳）の現在です。もうイヤです。</li> <li>・問33の事業、“心の健康・うつ予防教室”は介護する人のために必要だと思います。</li> </ul>
障害者が利用できる筋力トレーニングのためのジムをたくさん作ってほしい。
コミュニティバスについて：利用したくても本数が少ない。できれば本数を増やす&スーパーマーケットの前に停めてほしい。マイクロバスのため人数制限があり乗れず医者へも行けない。
毎回この調査票が届くたびに高齢で認知症の母の気持ちとして回答すべきか、全て私（代筆者）の気持ちで回答すべきか悩みます。
有料老人ホームは高額すぎて利用できない。



犬山市  
高齢者福祉・介護に関するアンケート調査  
調査結果報告書

---

令和2年3月

発行：犬山市 長寿社会課

企画・編集：犬山市 長寿社会課

---